

厚 木 市
子ども・子育て支援事業二一ズ調査
報 告 書

令和6年3月
厚 木 市

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査対象	3
3. 抽出方法	3
4. 調査期間	3
5. 調査方法	3
6. 回収状況	3
7. 報告書の見方	4

II 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について	7
(1) 居住地区	7
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	8
(1) 宛名の子どもの年齢	8
(2) 宛名の子どものきょうだい数	8
(3) 記入者	9
(4) 記入者の配偶者有無	9
(5) 子育てを主に行っている人	9
(6) 現在の暮らしの状況	10
(7) 暮らしの状況が苦しい理由	10
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	11
(1) 子育てに日常的に関わっている人	11
(2) 子育てに最も影響すると思う環境	11
(3) 子どもをみてもらえる親族・知人	12
(4) 親族に子どもをみてもらっている状況	12
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	13
(6) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	13
(7) 子育てに関しての相談先	14
(8) 子どもの発達や育ちについて気になること	15
4. 保護者の就労状況について	16
(1) 保護者の就労状況	16
(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	17
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻	19
(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	20
(5) 未就労者の今後の就労意向	21
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	23
(2) 定期的に利用している教育・保育事業	23
(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度	24

目 次

(4) 利用している教育・保育事業の実施場所	26
(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由	26
(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由	27
(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望	28
(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向	28
(9) 教育・保育事業を利用したい場所	29
(10) 幼稚園の利用希望	29
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	30
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	30
(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	31
(3) 子育て支援事業の利用状況	33
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	36
(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望	36
(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由	37
(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望	37
(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由	38
8. 病気の際の対応について	39
(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無	39
(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法	39
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	41
(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態	42
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	42
(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか	43
(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由	43
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	44
(1) 不定期に利用している預かり事業	44
(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由	45
(3) 不定期の預かり事業の利用希望	46
(4) 不定期の預かり事業の望ましい事業形態	47
(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望	48
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	50
(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）	50
(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）	52
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
(1) 育児休業の取得状況	54
(2) 育児休業給付、保険料免除についての認知状況	57
(3) 育児休業取得後の職場復帰の有無	57
(4) 育児休業取得後の職場復帰の時期	58
(5) 実際に職場復帰した時期と希望の職場復帰の時期	59

(6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する 職場復帰の時期	60
(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	61
(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	62
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	63
(10) 子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期 ..	64
12. ヤングケアラーについて	65
(1) ヤングケアラーの認知度	65
(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ	65
13. 厚木市の子育て環境について	66
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度	66
(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業	67
(3) 市の子育て環境の変化	68
(4) 「送迎ステーション事業」の利用意向	68

Ⅲ 就学児童調査結果

1. お住まいの地域について	71
(1) 居住地区	71
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	72
(1) 宛名の子どもの学年	72
(2) 宛名の子どものきょうだい数	72
(3) 記入者	73
(4) 記入者の配偶者有無	73
(5) 子育てを主に行っている人	73
(6) 現在の暮らしの状況	74
(7) 暮らしの状況が苦しい理由	74
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	75
(1) 子どもをみてもらえる親族・知人	75
(2) 親族に子どもをみてもらっている状況	75
(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	76
(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	76
(5) 子育てに関しての相談先	77
(6) 子育て支援事業の利用状況	78
(7) 子どもの発達や育ちについて気になること	81
4. 保護者の就労状況について	82
(1) 保護者の就労状況	82
(2) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間	83
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻	85
(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	86
(5) 未就労者の今後の就労意向	87

目 次

5. 病気の際の対応について	89
（1）子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無	89
（2）小学校を休んだ場合の対処方法	89
（3）病児・病後児保育施設等の利用希望	91
（4）病児・病後児保育の望ましい事業形態	92
（5）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	92
（6）子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか	93
（7）仕事を休んで看ることが難しい理由	93
6. 子どもの放課後の過ごし方について	94
（1）現在の放課後の過ごし方	94
（2）希望する放課後の過ごし方	96
7. 子ども会について	98
（1）子ども会への参加状況	98
（2）子ども会に加入していない理由	98
8. ヤングケアラーについて	99
（1）ヤングケアラーの認知度	99
（2）ヤングケアラーを知ったきっかけ	99
9. 厚木市の子育て環境について	100
（1）地域における子育ての環境や支援への満足度	100
（2）市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業	101
（3）市の子育て環境の変化	102

Ⅳ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

1. お住まいの地域について	105
（1）居住地区	105
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	106
（1）学年	106
（2）性別	106
（3）同居家族	107
（4）自分自身について	108
（5）食事の頻度	109
（6）ふだんの就寝時間	110
（7）困っていることや悩みごとがあるときの相談相手	110
（8）生活の満足度	111
（9）家庭生活について	112
（10）日常生活について	113
（11）安心できる居場所	115
（12）孤独感について	116
（13）「社会のために役立つことをしたい」と思うか	117

(14) 将来について明るい希望の有無	117
(15) 家での時間の使い方	118
(16) 外出の頻度	118
(17) 現在の外出状況になってからの期間	119
(18) 現在の外出状況になった年齢	119
(19) 現在の外出状況になった理由	120
(20) 最近6ヵ月間の家族以外の人との会話	121
(21) ヤングケアラーの認知度	121
(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ	122
3. 学校での生活状況	123
(1) 学校の授業以外での学習状況	123
(2) 学校の授業でのわからないことの有無	124
(3) 希望する進学先	124
(4) 進学先の希望理由	125
(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況	125
(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由	126
(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか	126
(8) 将来について明るい希望の有無	127
(9) 施設等の利用状況	128
(10) 施設等を利用したことによる変化	129

V 調査票

1. 未就学児調査	133
2. 就学児童調査	160
3. 小学5年児童・中学2年生徒調査	173

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき 2025 年度から 2029 年度までの 5 年間を計画期間とした「第 4 期厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出等に活用するため、ニーズの現状を把握し、分析を行う。また、「自治体こども計画」策定に向け、こどもの貧困等の実態調査を目的とする。

2. 調査対象

- (1) 未就学児調査 市内在住の小学校入学前の子どもがいる保護者 2,000 人
- (2) 就学児童調査 市内在住の小学生の子どもがいる保護者 2,000 人
- (3) 小学 5 年児童・中学 2 年生徒調査 市内在住の小学 5 年生及び中学 2 年生 2,000 人

3. 抽出方法

年齢別、地域別の分析が可能となるように、令和 5 年 11 月 1 日時点で住民基本台帳から未就学児・就学児童の保護者及び小学 5 年生・中学 2 年生を無作為に抽出した。

4. 調査期間

令和 5 年 12 月 1 日（金）～12 月 28 日（木）

5. 調査方法

アンケート調査票の郵送による配付・回収

6. 回収状況

調査区分	母集団数	標本数	有効回収数	有効回収率
未就学児	8,499	2,000	862	43.1%
就学児童	12,500	2,000	832	41.6%
小学 5 年児童・中学 2 年生徒	3,836	2,000	787	39.4%

7. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 設問の回答数(基数)は、(n)で表示している。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (4) 回答数(n)が30未満のものは、基数が少なく誤差が大きくなるため、一部を除き本文では触れていない。
- (5) 未就学児のクロス集計の年齢区分は以下の通りとなっている。

年齢	生年月日	年齢	生年月日
0歳	2022年4月以降	3歳	2019年4月～2020年3月
1歳	2021年4月～2022年3月	4歳	2018年4月～2019年3月
2歳	2020年4月～2021年3月	5歳	2017年4月～2018年3月

Ⅱ 未就学児調査結果

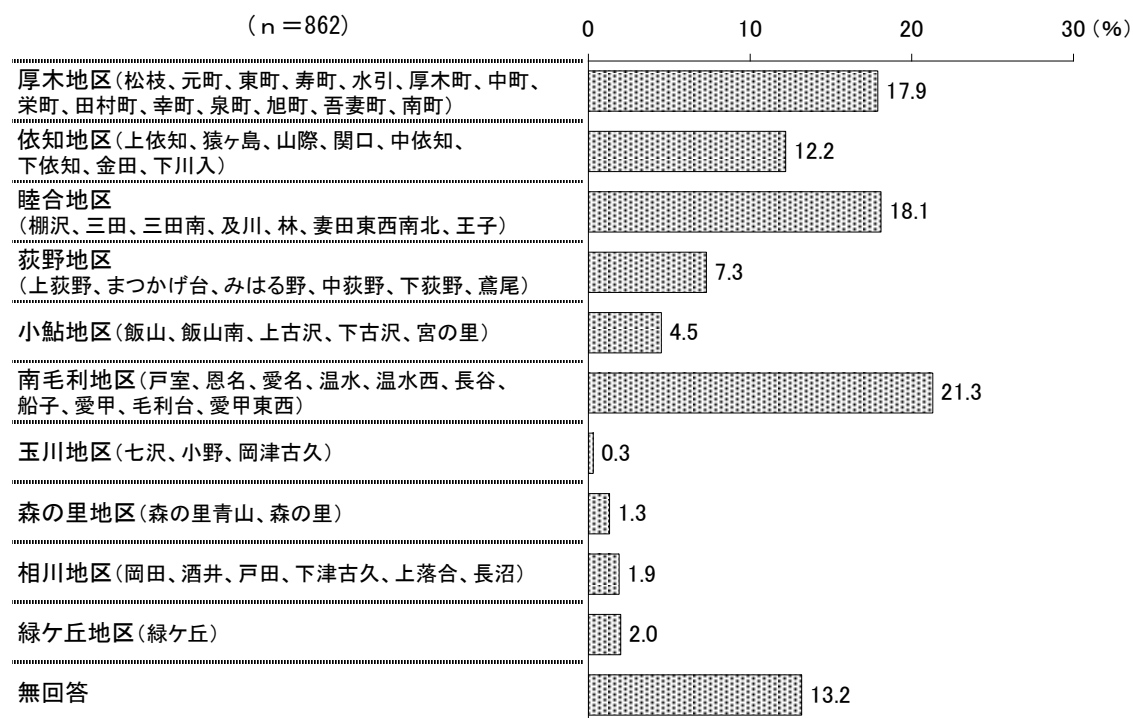
Ⅱ 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「南毛利地区」が21.3%で最も高く、次いで「睦合地区」が18.1%、「厚木地区」が17.9%、「依知地区」が12.2%となっている。

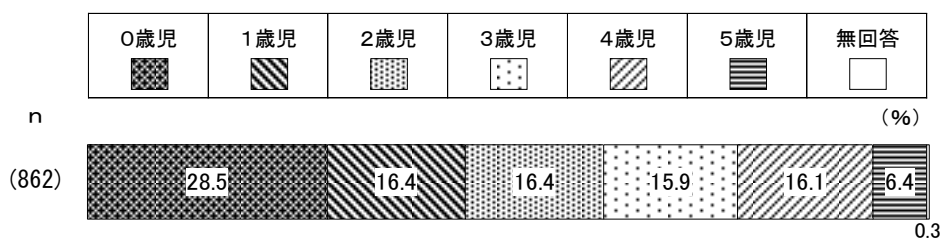


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

宛名の子どもの年齢は、「0歳児」が28.5%で最も高く、次いで「1歳児」と「2歳児」がともに16.4%、「4歳児」が16.1%となっている。



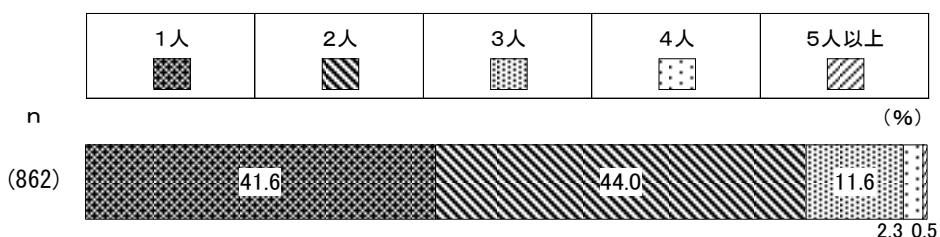
(2) 宛名の子どものきょうだい数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の生年月をご記入ください。

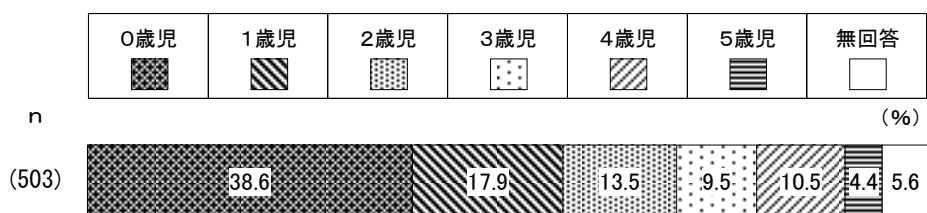
宛名の子どものきょうだい数は、「2人」が44.0%で最も高く、次いで「1人」が41.6%、「3人」が11.6%、「4人」が2.3%となっている。

末子の年齢は、「0歳児」が38.6%で最も高く、次いで「1歳児」が17.9%、「2歳児」が13.5%、「4歳児」が9.5%となっている。

【きょうだい数】



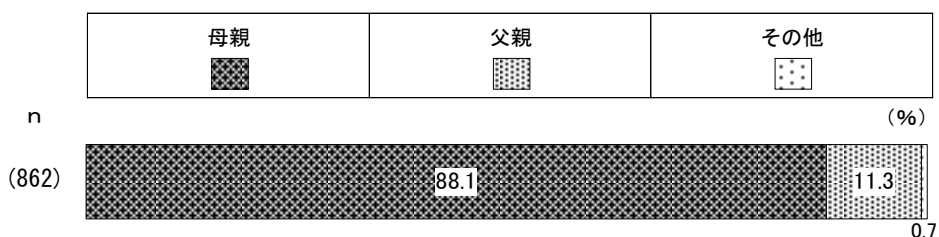
【末子の年齢】



(3) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

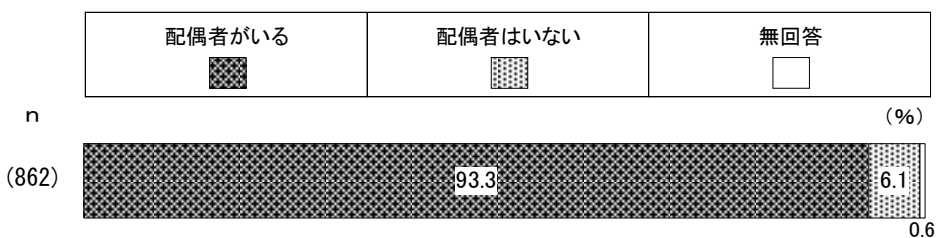
調査票の記入者は、「母親」が88.1%、「父親」は11.3%となっている。



(4) 記入者の配偶者有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の記入者の配偶者有無は、「配偶者がいる」が93.3%、「配偶者はいない」は6.1%となっている。

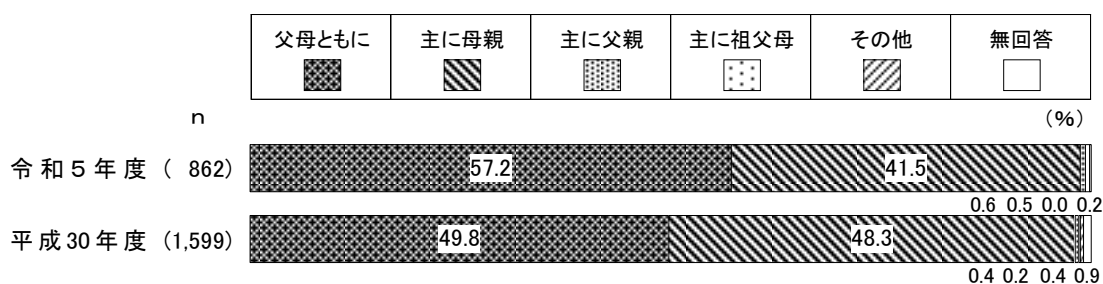


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が57.2%で最も高く、次いで「主に母親」が41.5%となっている。

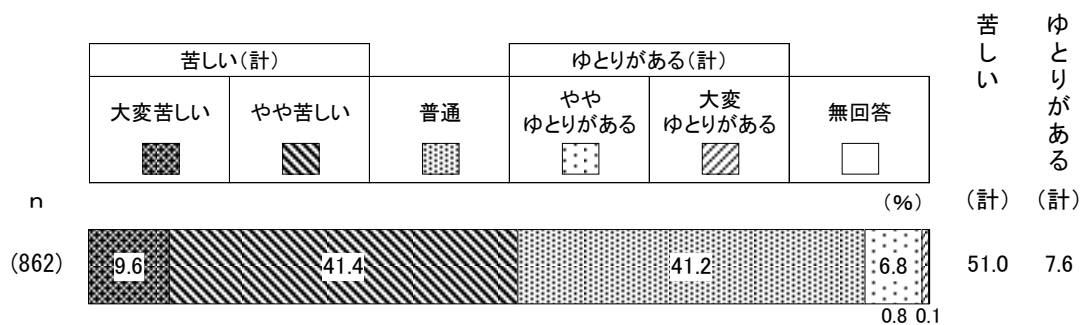
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」は7.4ポイント増加している。一方、「主に母親」は6.8ポイント減少している。



(6) 現在の暮らしの状況

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

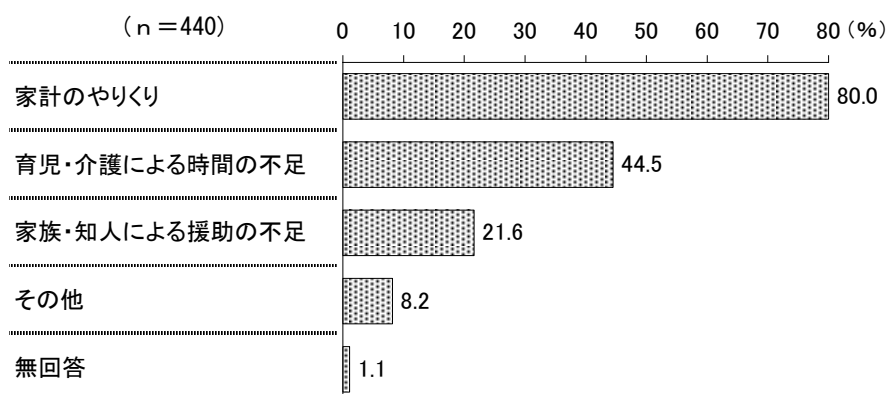
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」(9.6%)と「やや苦しい」(41.4%)を合わせた『苦しい(計)』は51.0%となっている。一方、「ややゆとりがある」(6.8%)と「大変ゆとりがある」(0.8%)を合わせた『ゆとりがある(計)』は7.6%となっている。また、「普通」は41.2%となっている。



(7) 暮らしの状況が苦しい理由

問8 問7で「大変苦しい」または「やや苦しい」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

暮らしの状況が苦しい理由は、「家計のやりくり」が80.0%で最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」が44.5%、「家族・知人による援助の不足」が21.6%となっている。



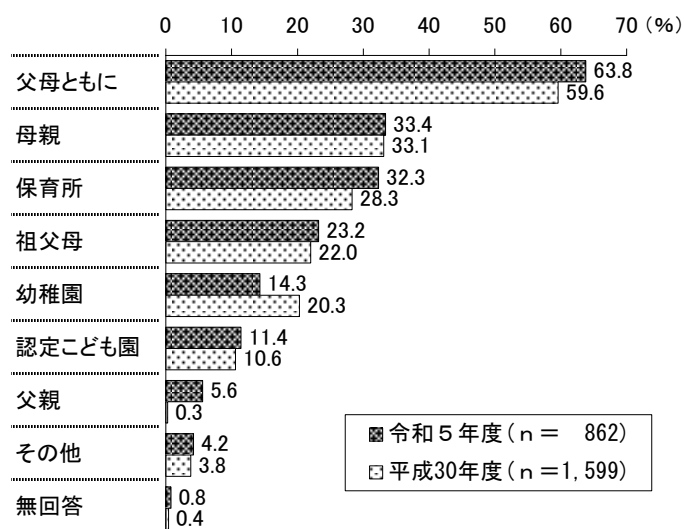
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」が63.8%で最も高く、次いで「母親」が33.4%、「保育所」が32.3%、「祖父母」が23.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「父親」は5.3ポイント、「父母ともに」は4.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は6.0ポイント減少している。

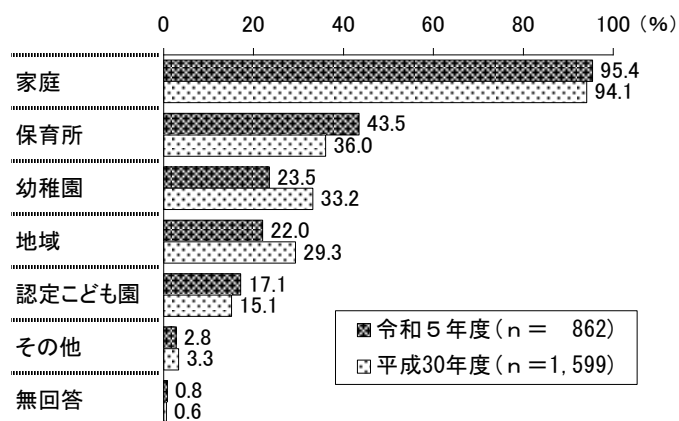


(2) 子育てに最も影響すると思う環境

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに最も影響すると思う環境は、「家庭」が95.4%で最も高く、次いで「保育所」が43.5%、「幼稚園」が23.5%、「地域」が22.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育所」は7.5ポイント増加している。一方、「幼稚園」は9.7ポイント、「地域」は7.3ポイント、それぞれ減少している。

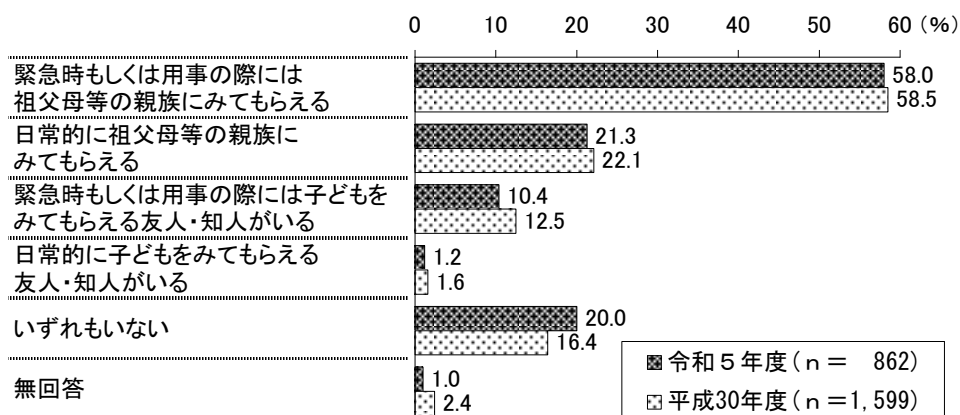


(3) 子どもをみてもらえる親族・知人

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.0%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.3%となっている。一方、「いずれもない」は20.0%となっている。

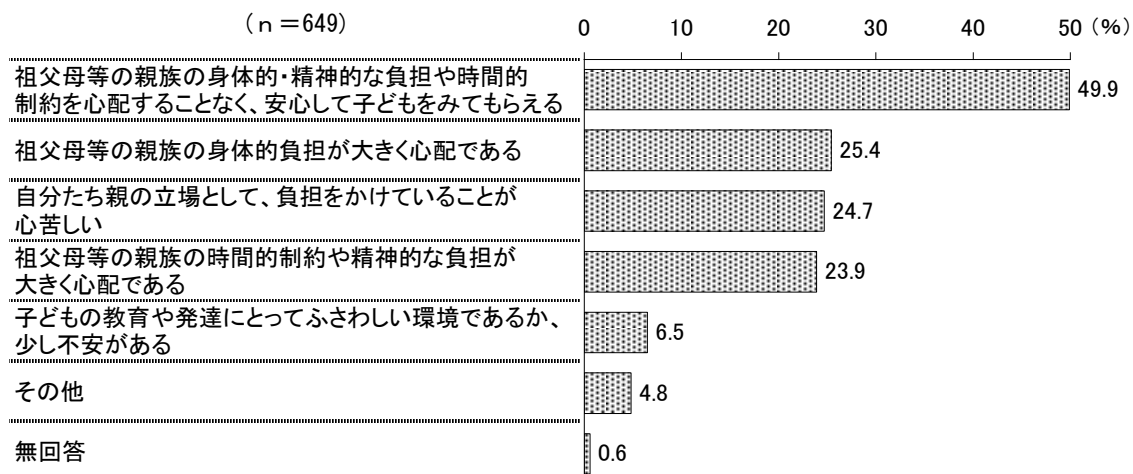
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」は3.6ポイント増加している。



(4) 親族に子どもをみてもらっている状況

問11-1 問11で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

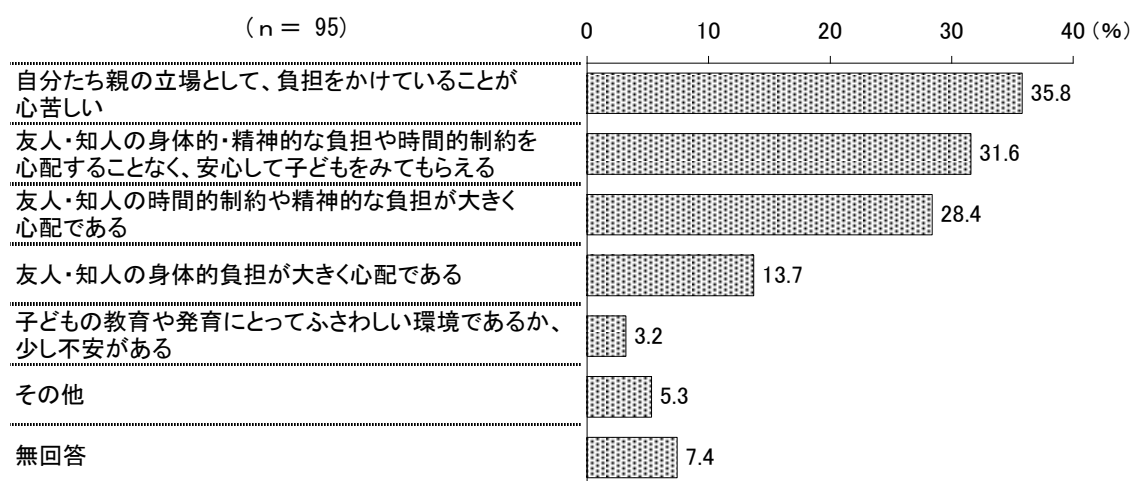
親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が49.9%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が25.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.9%となっている。



（５）友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問11－２ 問11で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が35.8%で最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が31.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が28.4%となっている。

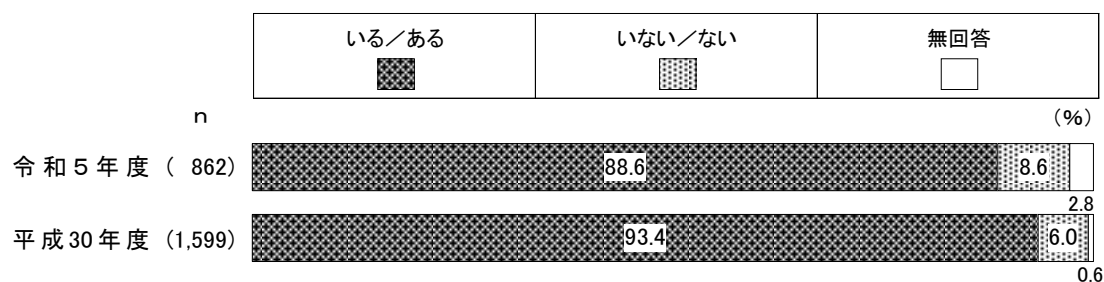


（６）子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる／ある」が88.6%、「いない／ない」は8.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」は4.8ポイント減少している。

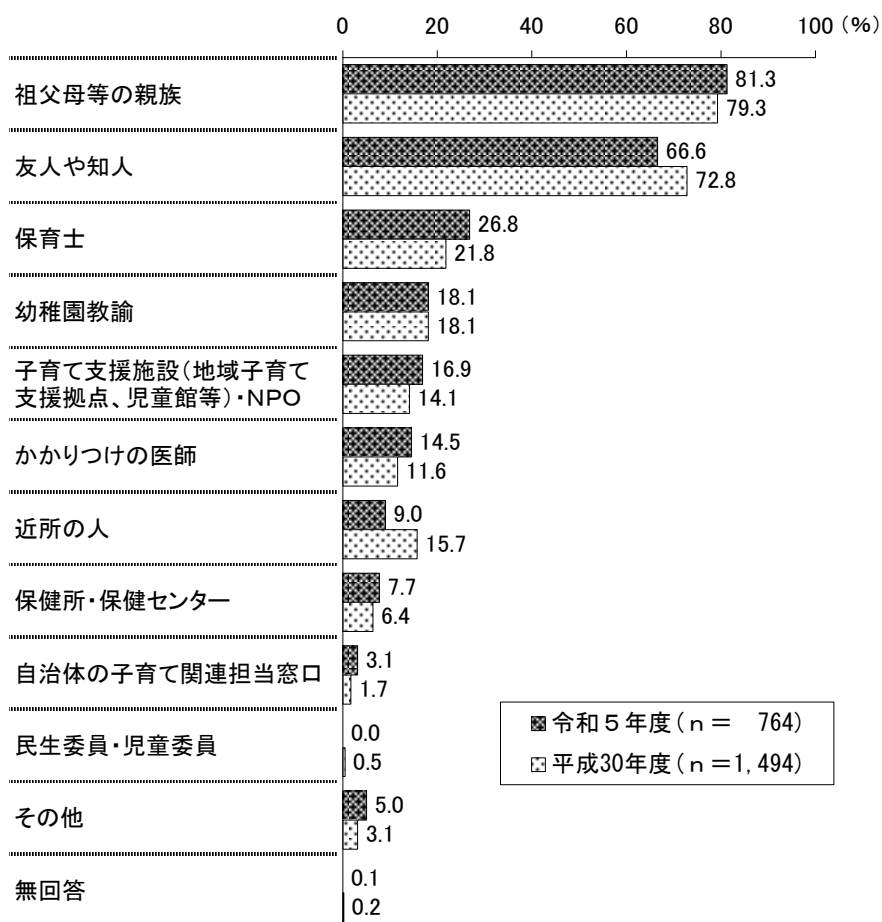


(7) 子育てに関しての相談先

問12-1 問12で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関しての相談先は、「祖父母等の親族」が81.3%で最も高く、次いで「友人や知人」が66.6%、「保育士」が26.8%、「幼稚園教諭」が18.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育士」は5.0ポイント増加している。一方、「近所の人」は6.7ポイント、「友人や知人」は6.2ポイント、それぞれ減少している。

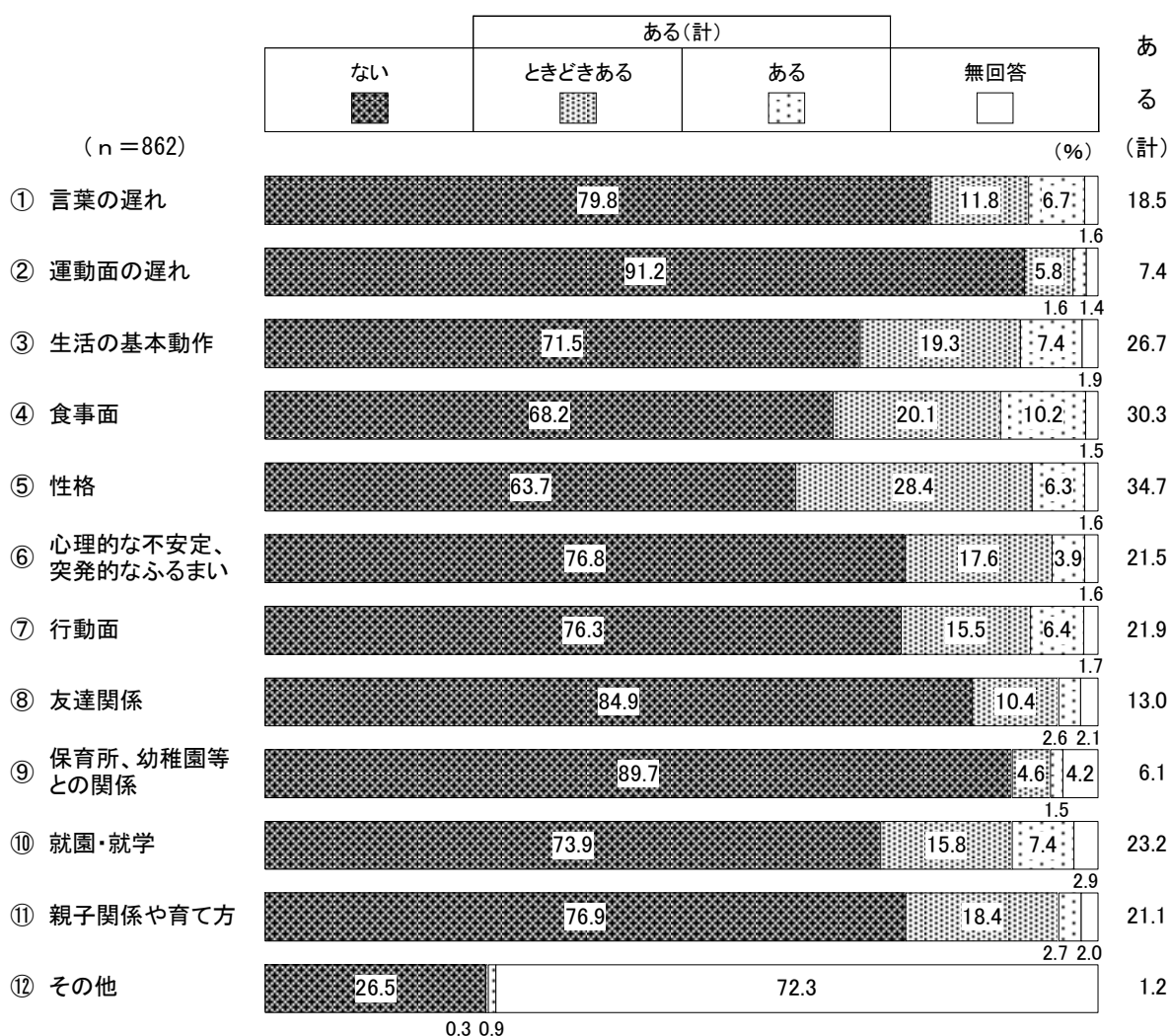


(8) 子どもの発達や育ちについて気になること

問13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

子どもの発達や育ちについて気になることが、「ない」は“運動面の遅れ”で91.2%と最も高く、次いで“保育所、幼稚園等との関係”で89.7%、“友達関係”で84.9%になっている。

一方、「ときどきある」と「ある」を合わせた『ある(計)』は“性格”で34.7%と最も高く、次いで“食事面”で30.3%、“生活の基本動作”で26.7%になっている。



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

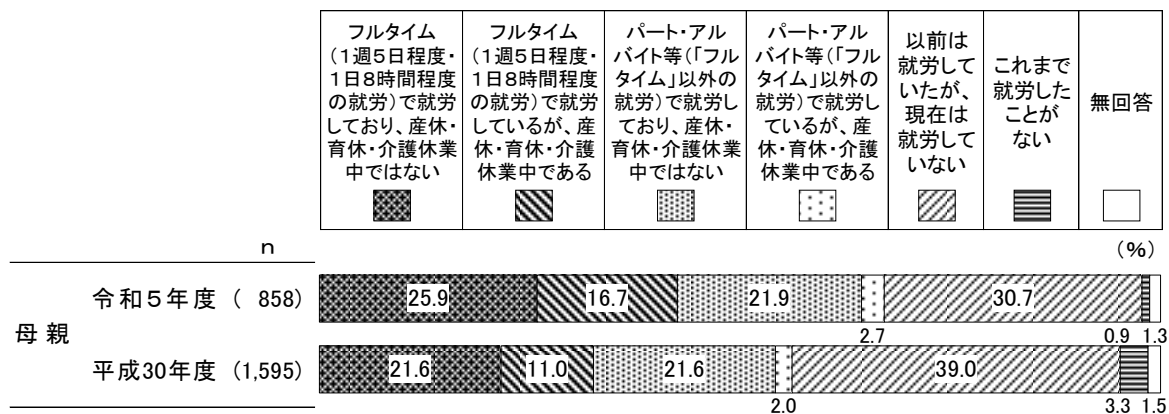
保護者の現在の就労状況は、母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.7%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.9%、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は5.7ポイント、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は8.3ポイント減少している。

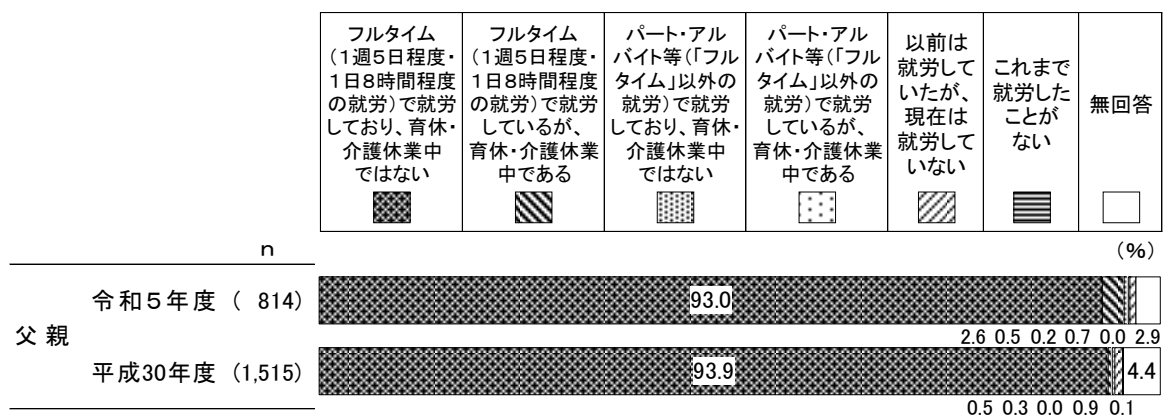
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.0%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」が2.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(1) 母親



(2) 父親



(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

問14-1 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数は、母親では、「5日」が70.1%で最も高く、次いで「4日」が16.1%、「3日」が5.9%となっている。

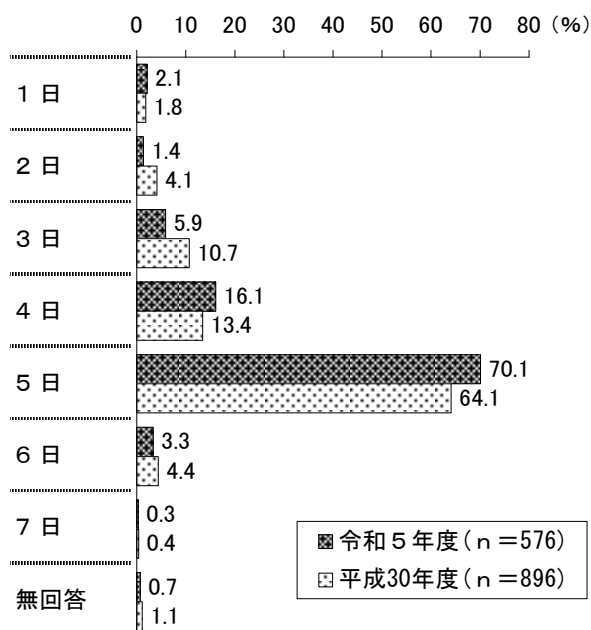
平成30年度調査と比較すると、「5日」は6.0ポイント増加している。一方、「3日」は4.8ポイント減少している。

父親では、「5日」が74.9%で最も高く、次いで「6日」が18.8%、「3日」が1.9%となっている。

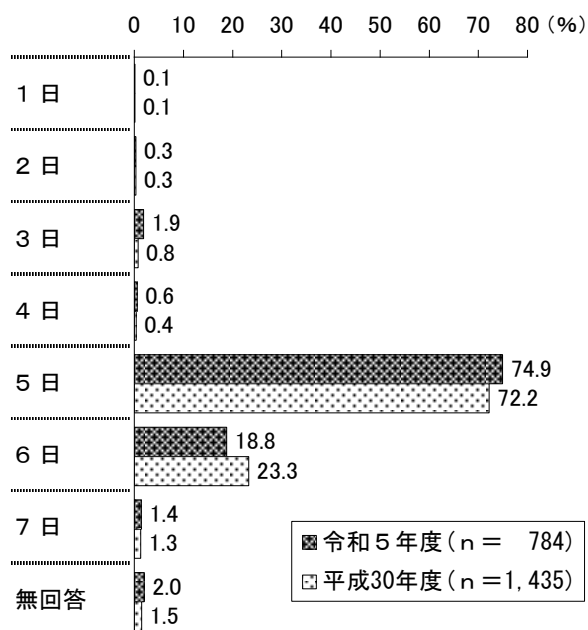
平成30年度調査と比較すると、「6日」は4.5ポイント減少している。

【1週当たりの就労日数】

(1) 母親



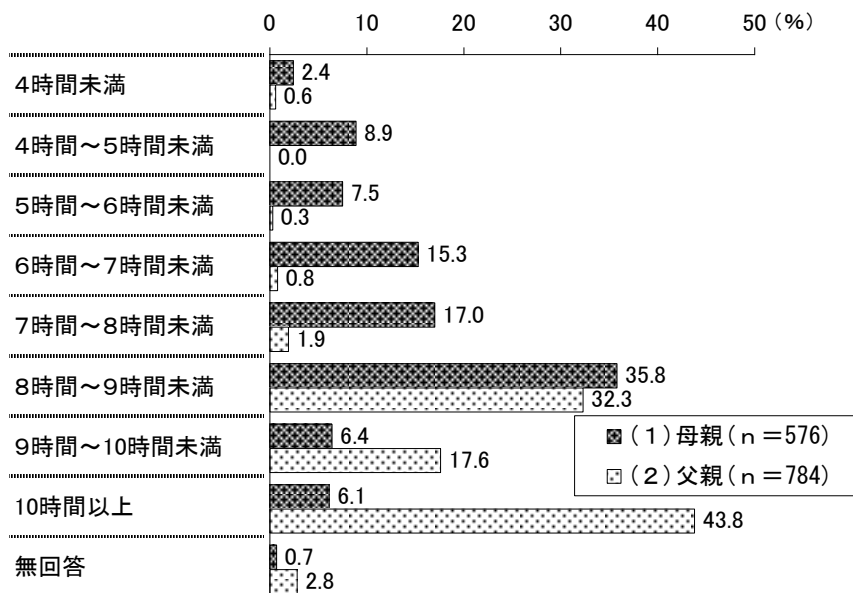
(2) 父親



1日当たりの就労時間は、母親では、「8時間～9時間未満」が35.8%で最も高く、次いで「7時間～8時間未満」が17.0%、「6時間～7時間未満」が15.3%となっている。

父親では、「10時間以上」が43.8%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が32.3%、「9時間～10時間未満」が17.6%となっている。

【1日当たりの就労時間】



(3) 家を出る時刻と帰宅時刻

問14-2 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

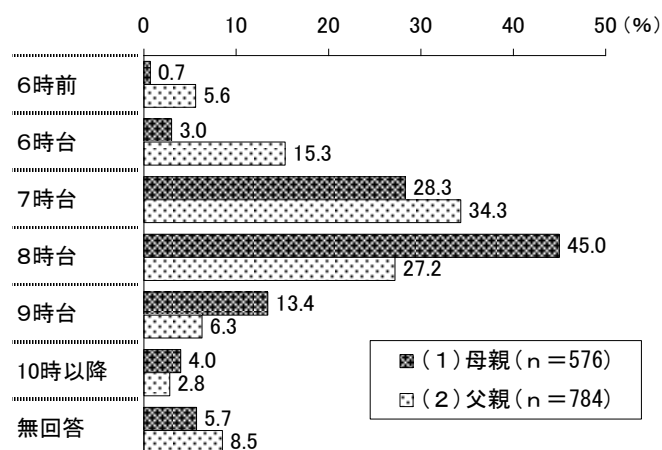
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が45.0%で最も高く、次いで「7時台」が28.3%、「9時台」が13.4%となっている。

父親では、「7時台」が34.3%で最も高く、次いで「8時台」が27.2%、「6時台」が15.3%となっている。

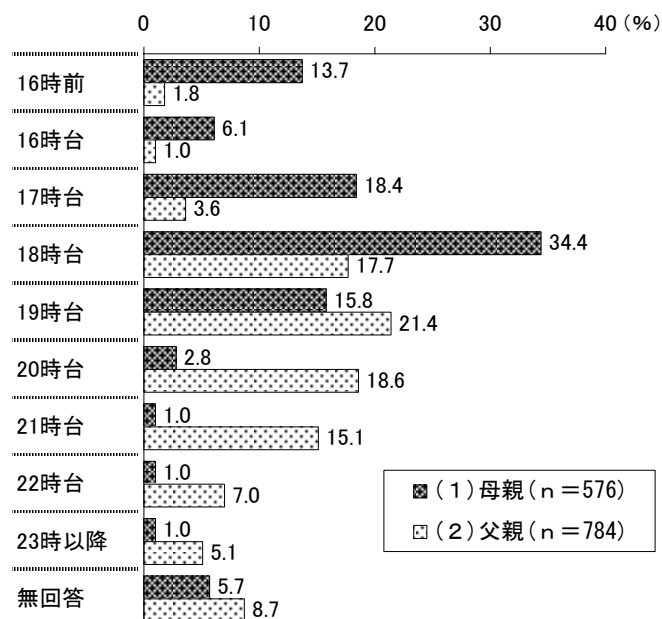
帰宅時刻は、母親では、「18時台」が34.4%で最も高く、次いで「17時台」が18.4%、「19時台」が15.8%となっている。

父親では、「19時台」が21.4%で最も高く、次いで「20時台」が18.6%、「18時台」が17.7%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

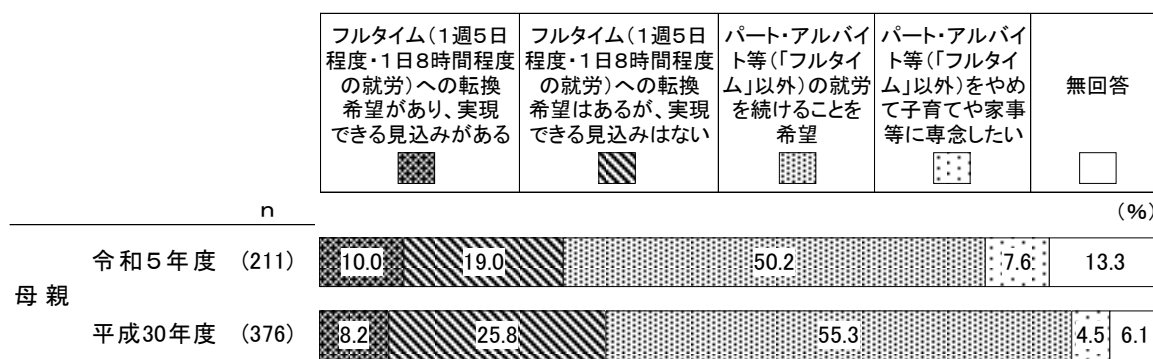
問15 問14で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が50.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が19.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）をやめて子育てや家事等に専念したい」は3.1ポイント増加している。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は6.8ポイント、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」は5.1ポイント、それぞれ減少している。

父親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が3件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「無回答」がそれぞれ1件ずつとなっている。

(1) 母親



(5) 未就労者の今後の就労意向

問16 問14で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

未就労者の今後の就労意向は、母親では、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が49.1%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

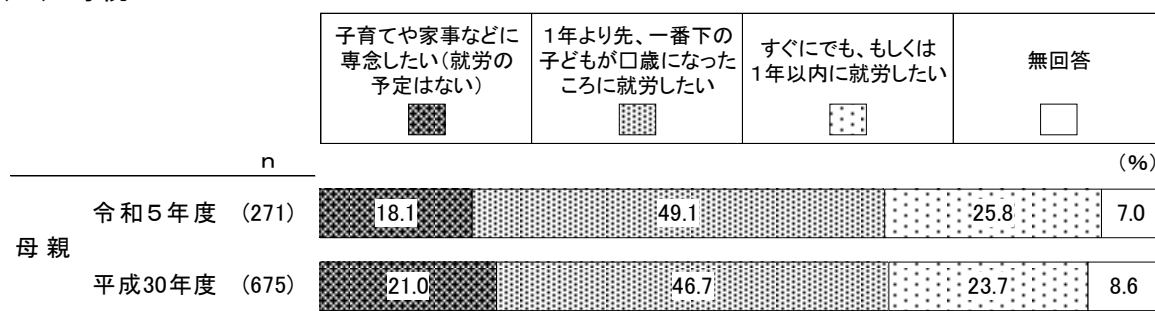
父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件、「無回答」が3件となっている。

就労を希望するときの末子の年齢は、母親では、「2歳～3歳」が41.4%で最も高く、次いで「6歳～7歳」が24.8%、「4歳～5歳」が12.8%となっている。

父親は回答対象者がいない。

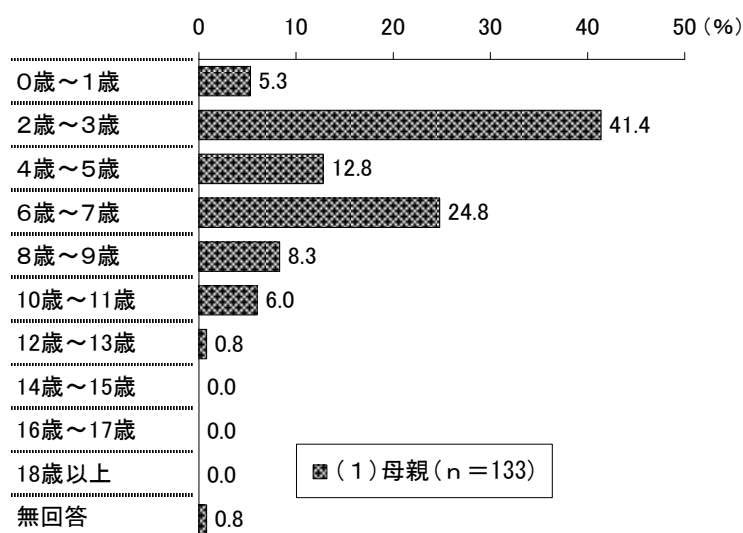
【今後の就労意向】

(1) 母親



【就労を希望するときの末子の年齢】

(1) 母親



希望する就労形態は、母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が25.7%、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」は74.3%となっている。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数は、母親では、「3日」が50.0%で最も高く、次いで「4日」が30.8%、「5日」が13.5%となっている。

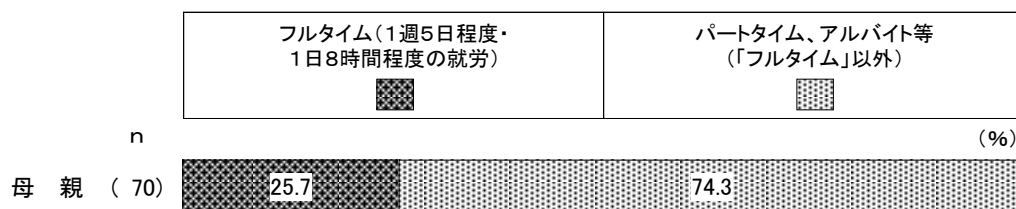
父親は回答対象者がいない。

パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間は、母親では、「5時間～6時間未満」が55.8%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が26.9%、「6時間～7時間未満」が9.6%となっている。

父親は回答対象者がいない。

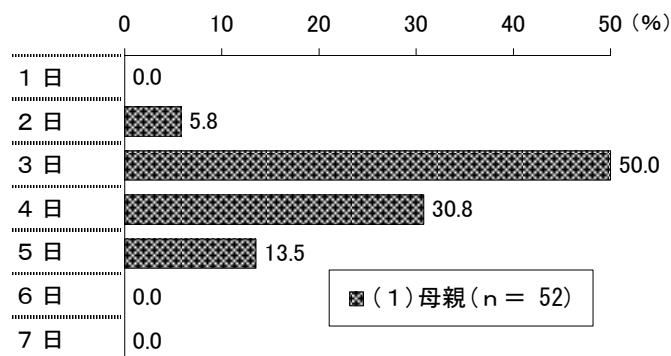
【希望する就労形態】

（1）母親



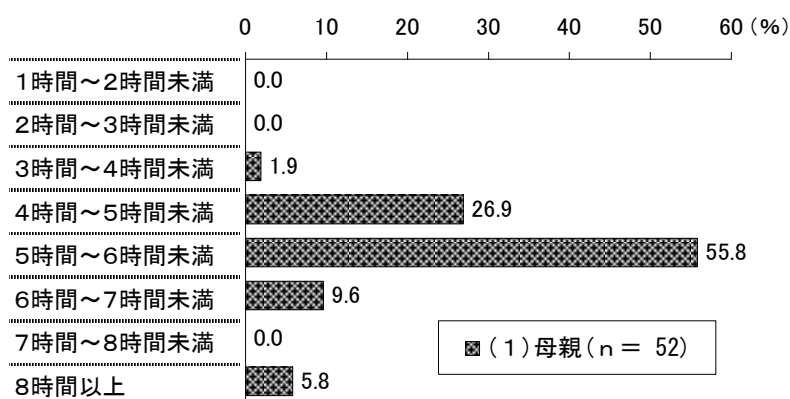
【パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数】

（1）母親



【パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間】

（1）母親



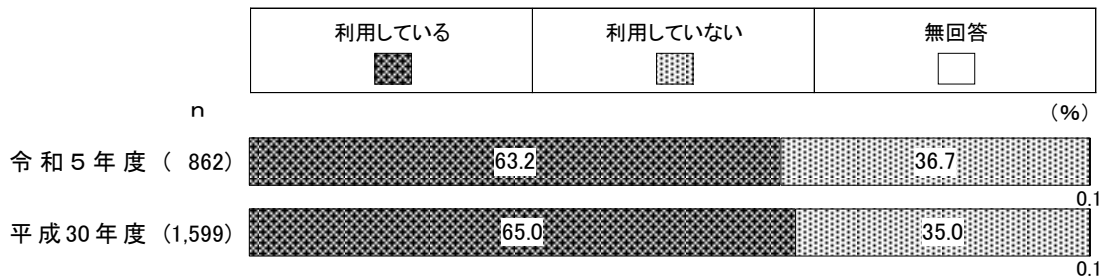
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が63.2%、「利用していない」は36.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

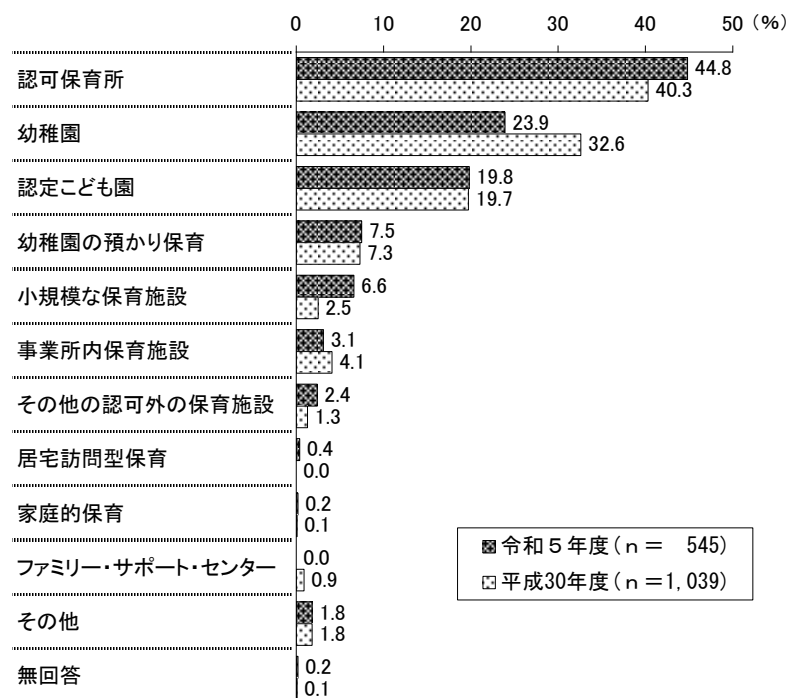


(2) 定期的に利用している教育・保育事業

問17-1 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が44.8%で最も高く、次いで「幼稚園」が23.9%、「認定こども園」が19.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」は4.5ポイント、「小規模な保育施設」は4.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.7ポイント減少している。



(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度

問17-2 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

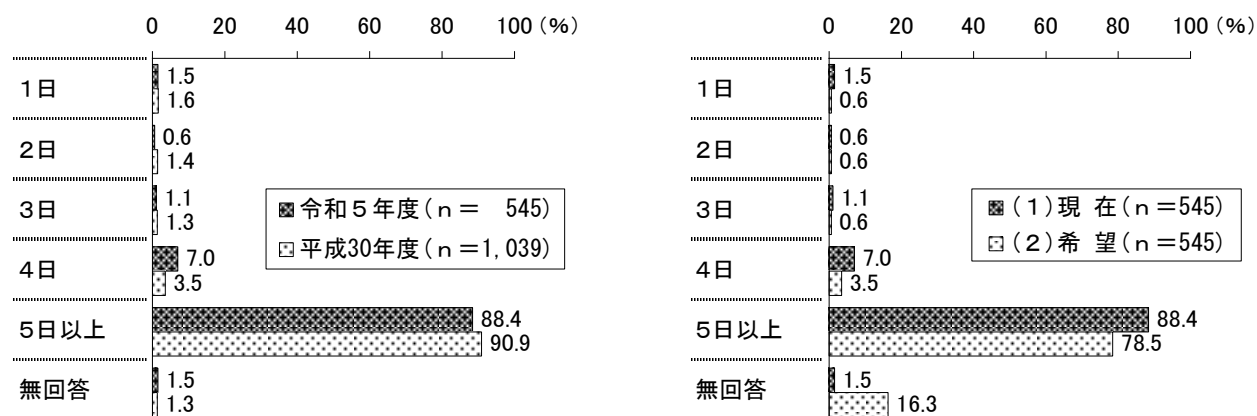
定期的に利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「5日以上」が88.4%で最も高く、次いで「4日」が7.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「4日」は3.5ポイント増加している。

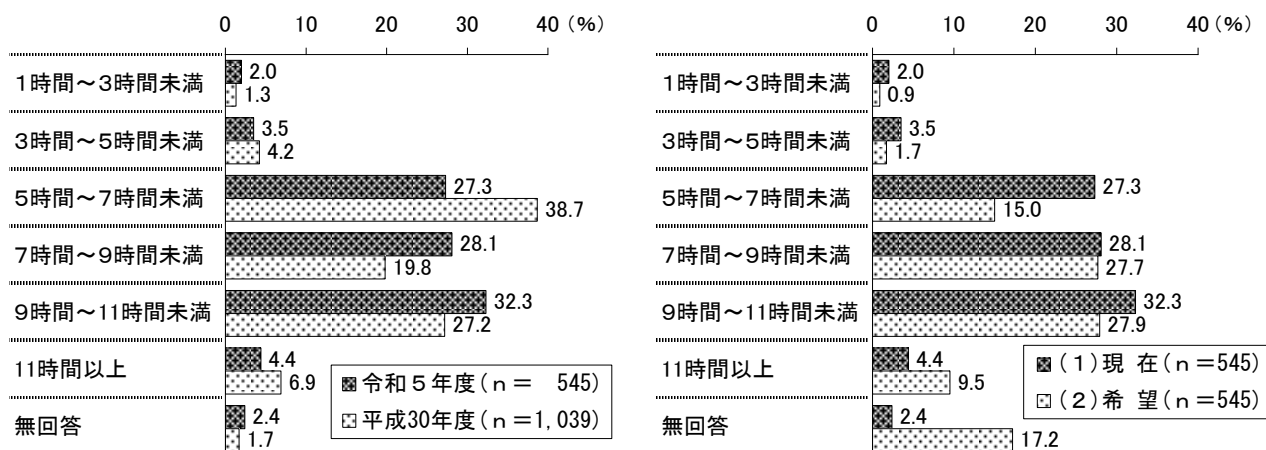
1日当たりの利用時間は、「9時間～11時間未満」が32.3%で最も高く、次いで「7時間～9時間未満」が28.1%、「5時間～7時間未満」が27.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～9時間未満」は8.3ポイント、「9時間～11時間未満」は5.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「5時間～7時間未満」は11.4ポイント減少している。

【1週当たりの利用日数】



【1日当たりの利用時間】



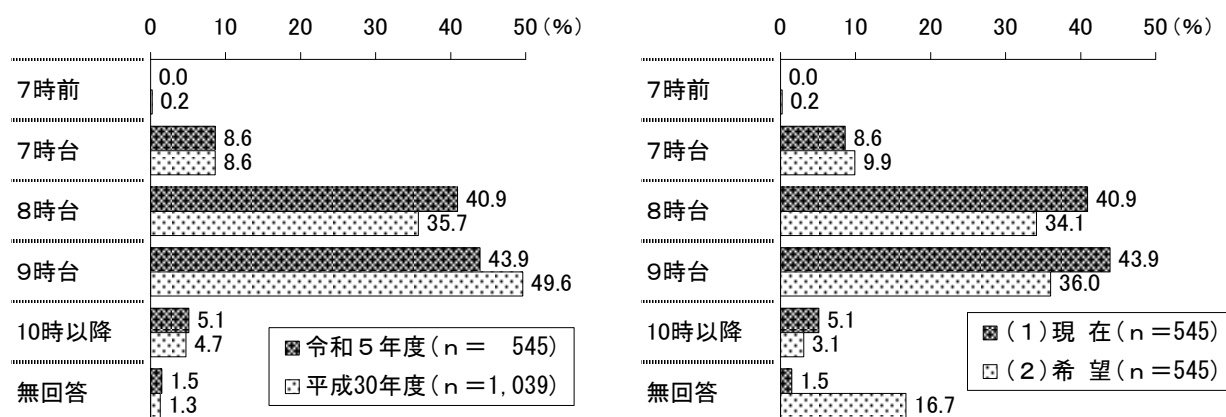
利用開始時刻は、「9時台」が43.9%で最も高く、次いで「8時台」が40.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」は5.2ポイント増加している。一方、「9時台」は5.7ポイント減少している。

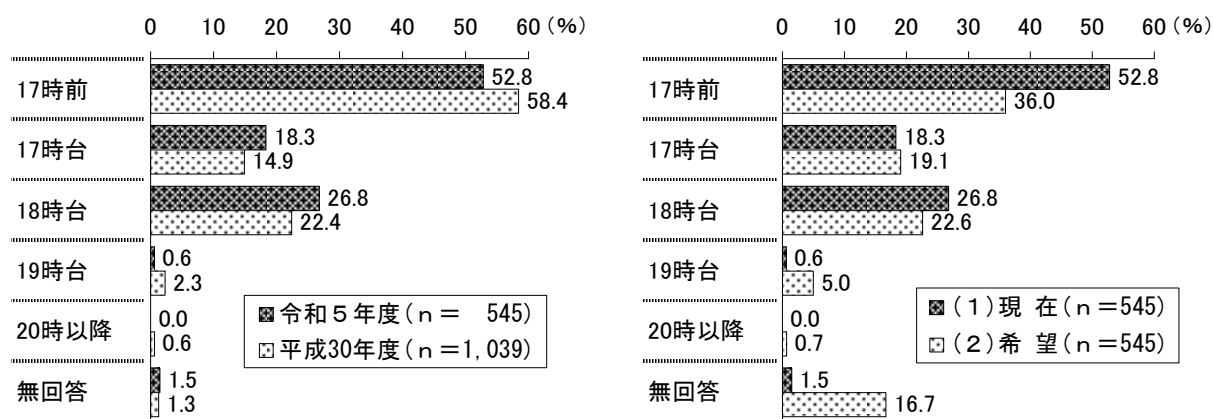
利用終了時刻は、「17時前」が52.8%で最も高く、次いで「18時台」が26.8%、「17時台」が18.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」は4.4ポイント、「17時台」は3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「17時前」は5.6ポイント減少している。

【利用開始時刻】



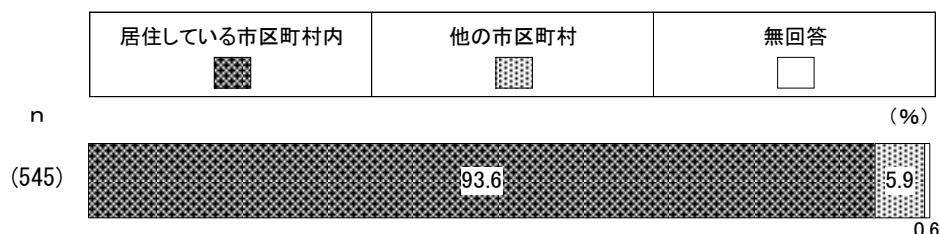
【利用終了時刻】



(4) 利用している教育・保育事業の実施場所

問17-3 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

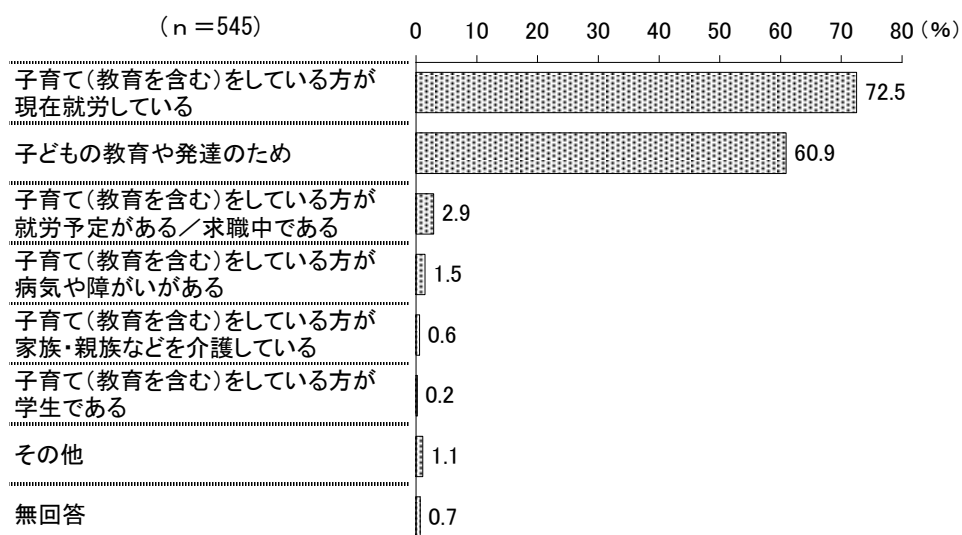
利用している教育・保育事業の実施場所は、「居住している市区町村内」が93.6%、「他の市区町村」は5.9%となっている。



(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

問17-4 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が72.5%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が60.9%となっている。



(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

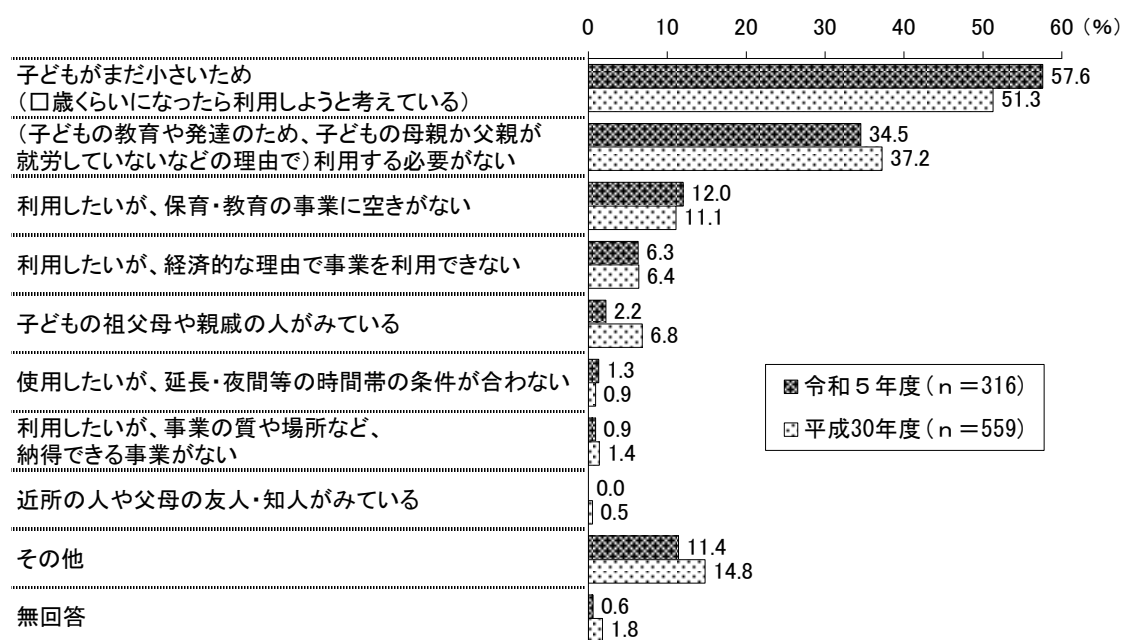
問17ー5 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が57.6%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が34.5%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が12.0%となっている。

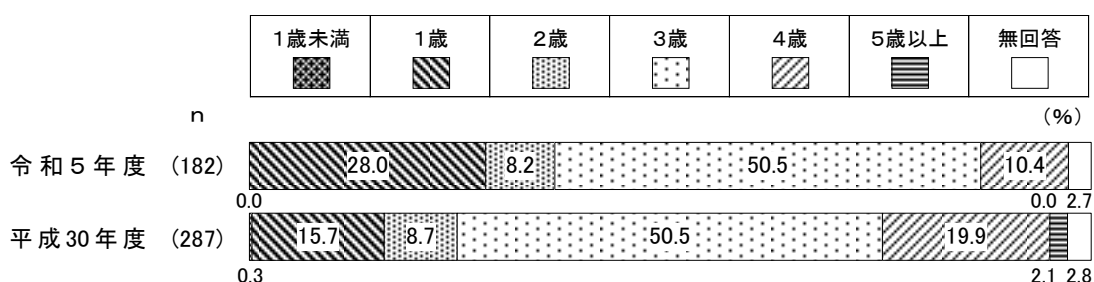
平成30年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」は6.3ポイント増加している。一方、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」は4.6ポイント減少している。

「子どもがまだ小さいため」と答えた方の、利用したい年齢は、「3歳」が50.5%で最も高く、次いで「1歳」が28.0%、「4歳」が10.4%、「2歳」が8.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」は12.3ポイント増加している。一方、「4歳」は9.5ポイント減少している。



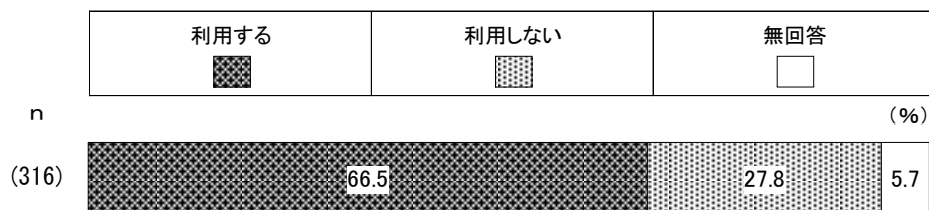
【利用したい年齢】



(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望

問17ー6 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。こども誰でも通園制度が始まったら、保育所等を利用したいですか。いずれかに○をつけてください。

「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望は、「利用する」が66.5%、「利用しない」は27.8%となっている。

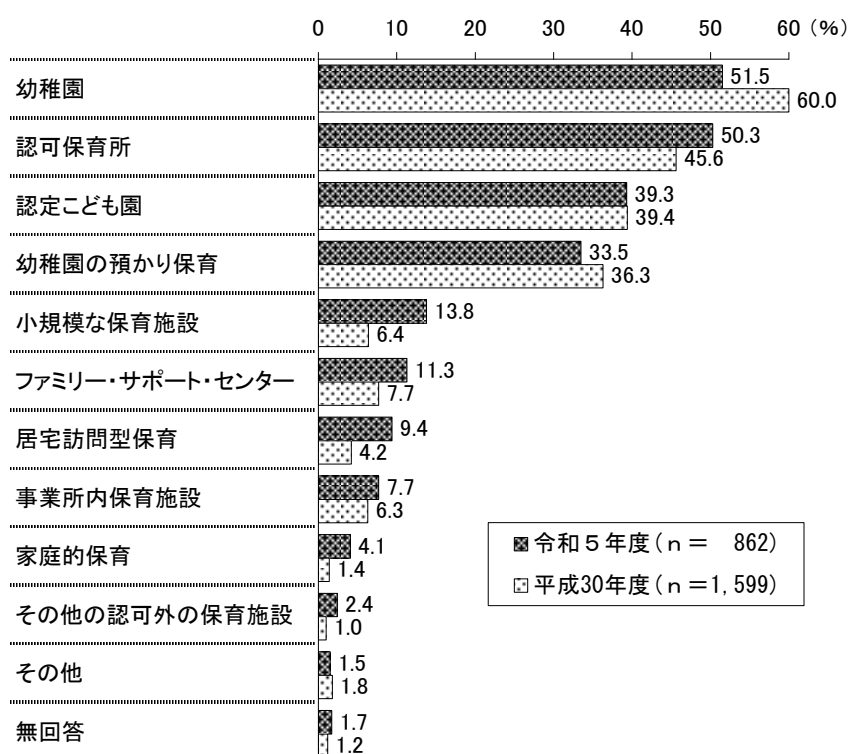


(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向

問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

平日の教育・保育事業の今後の利用意向は、「幼稚園」が51.5%で最も高く、次いで「認可保育所」が50.3%、「認定こども園」が39.3%、「幼稚園の預かり保育」が33.5%となっている。

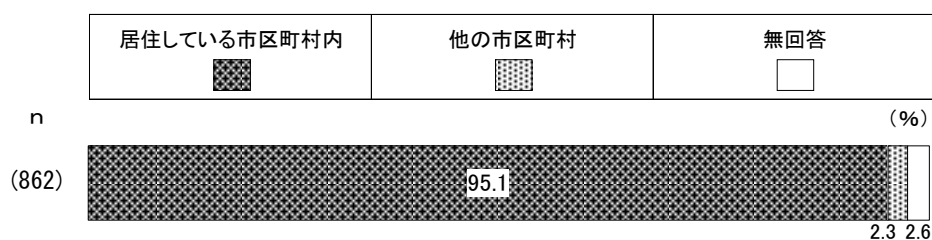
平成30年度調査と比較すると、「小規模な保育施設」は7.4ポイント、「居宅訪問型保育」は5.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.5ポイント減少している。



(9) 教育・保育事業を利用したい場所

問18－1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

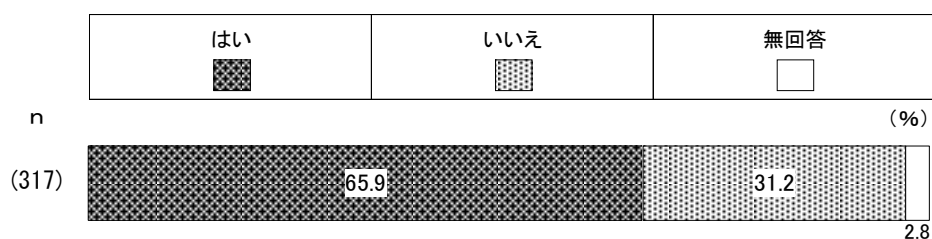
教育・保育事業を利用したい場所は、「居住している市区町村内」が95.1%、「他の市区町村」は2.3%となっている。



(10) 幼稚園の利用希望

問18－2 問18で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」「認定こども園」「小規模な保育施設」「家庭的保育」「事業所内保育施設」「その他の認可外の保育施設」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」「その他」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

幼稚園の利用希望は、「希望する（はい）」が65.9%、「希望しない（いいえ）」は31.2%となっている。



6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

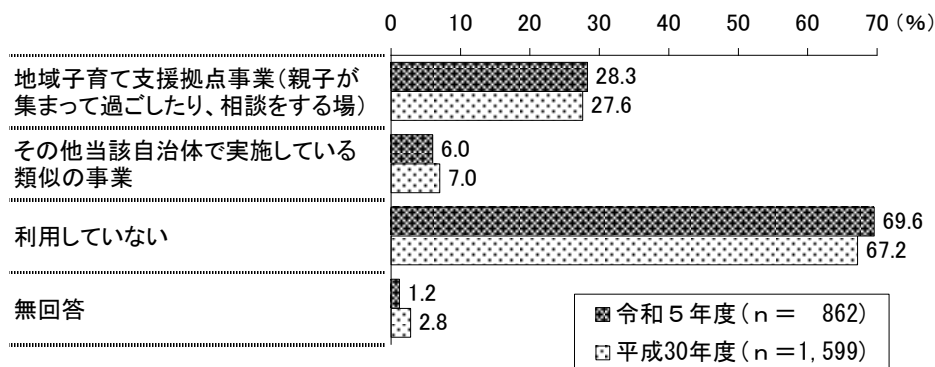
問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターもみじの手」、「ほっとれもんてい」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が28.3%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」は6.0%となっている。一方、「利用していない」は69.6%となっている。

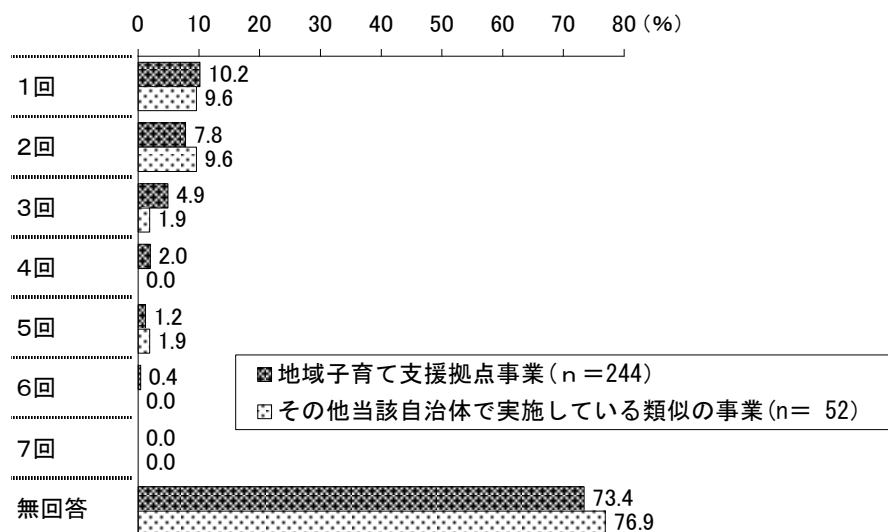
平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

1週当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が10.2%で最も高く、次いで「2回」が7.8%、「3回」が4.9%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」と「2回」がともに9.6%で高くなっている。



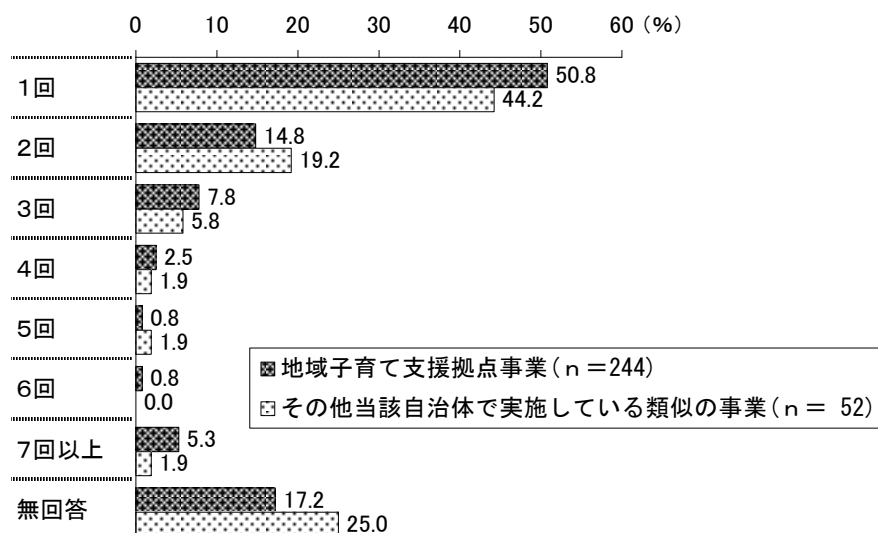
【1週当たりの利用回数】



1ヶ月当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が50.8%で最も高く、次いで「2回」が14.8%、「3回」が7.8%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」が44.2%で最も高く、次いで「2回」が19.2%、「3回」が5.8%となっている。

【1ヶ月当たりの利用回数】

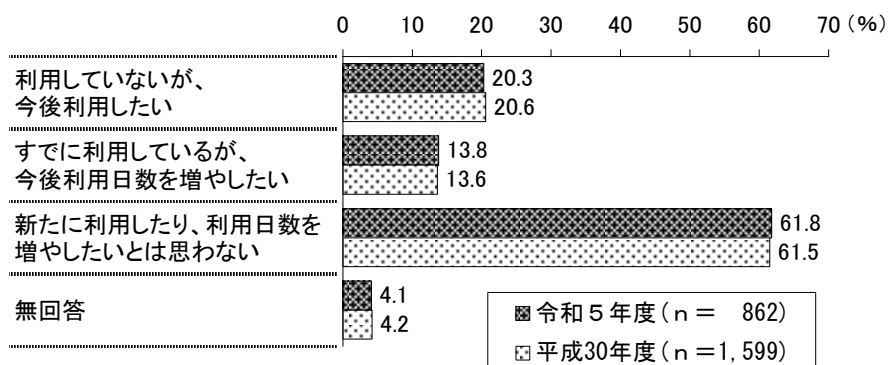


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が20.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は13.8%となっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は61.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。



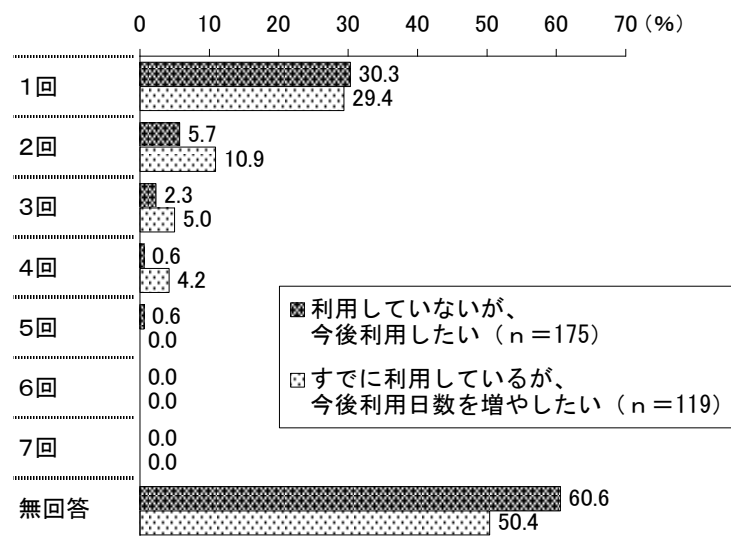
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が30.3%で最も高く、次いで「2回」が5.7%、「3回」が2.3%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が29.4%で最も高く、次いで「2回」が10.9%、「3回」が5.0%となっている。

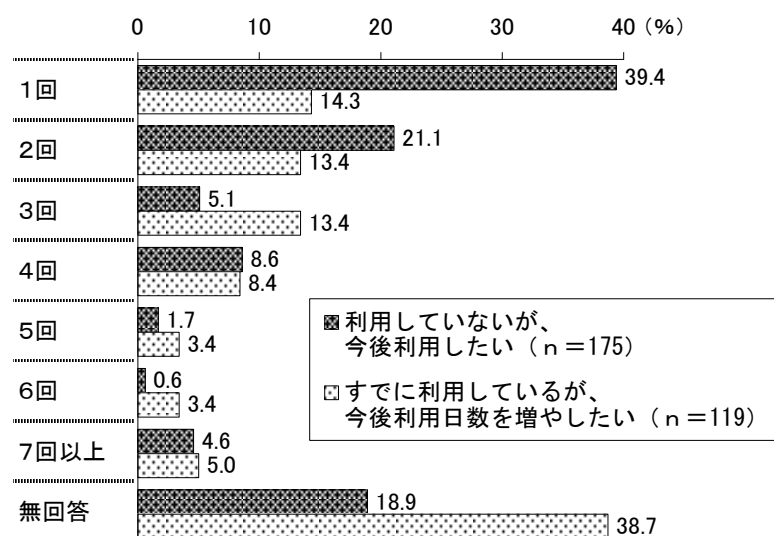
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が39.4%で最も高く、次いで「2回」が21.1%、「4回」が8.6%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が14.3%で最も高く、次いで「2回」と「3回」がともに13.4%となっている。

【1週当たりの利用希望回数】



【1ヶ月当たりの利用希望回数】



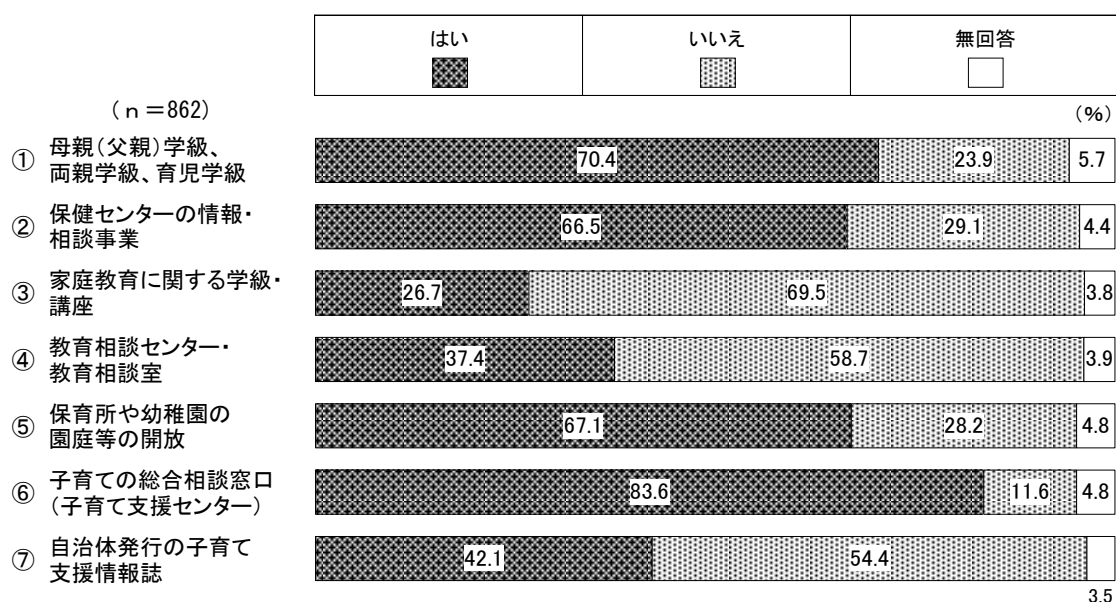
(3) 子育て支援事業の利用状況

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

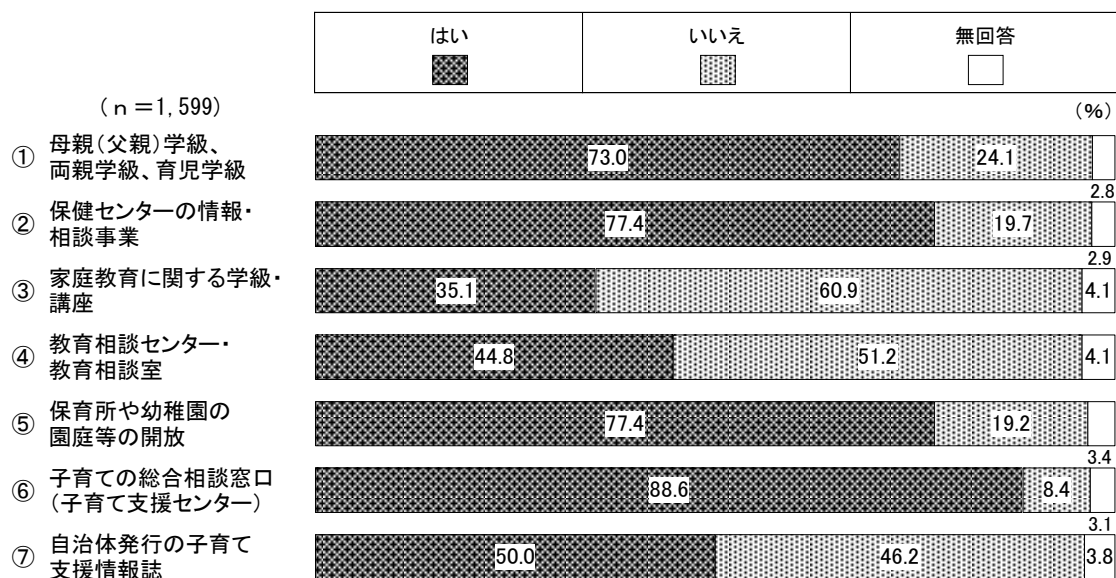
子育て支援事業の認知度について、「知っている（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で83.6%と最も高くなっている。一方、「知らない（いいえ）」は“家庭教育に関する学級・講座”で69.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「知らない」は“保健センターの情報・相談事業”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.6ポイント、それぞれ増加している。

【A 認知度（知っている）】



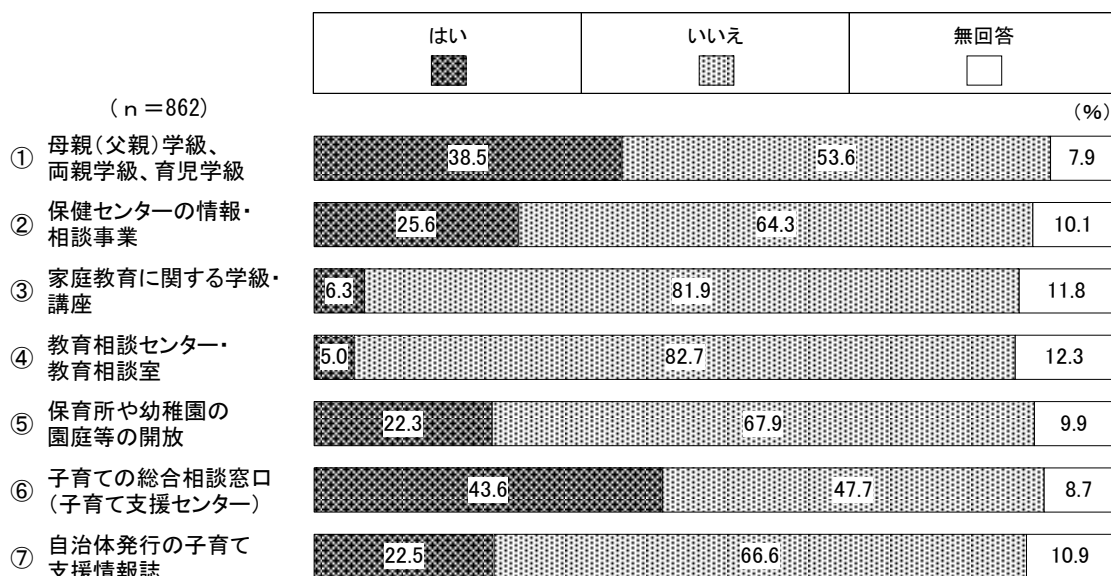
<平成30年度調査>



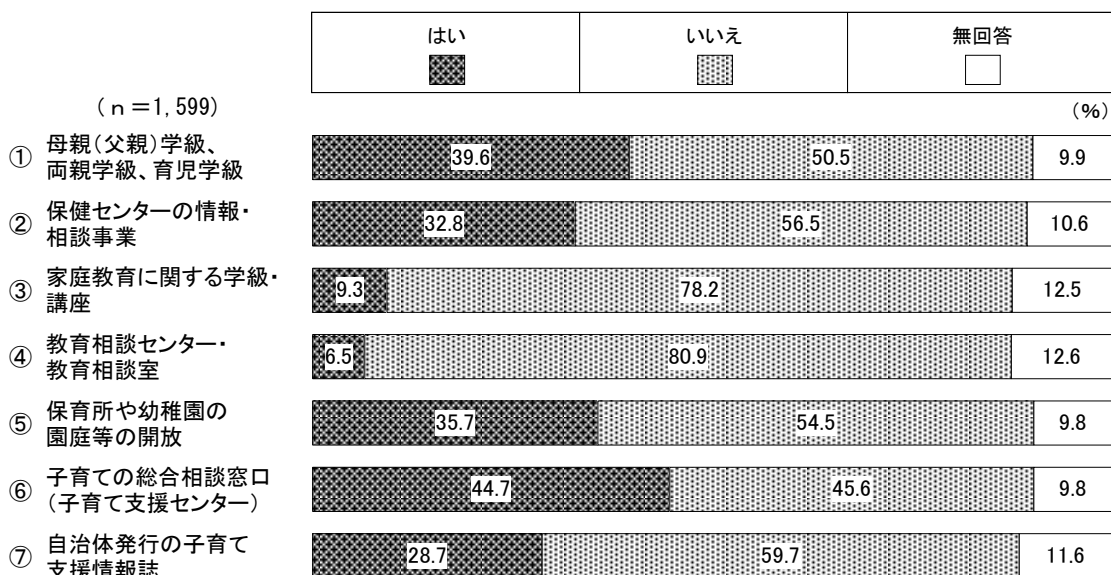
子育て支援事業の利用状況について、「これまでに利用したことがある（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で43.6%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（いいえ）」は“教育相談センター・教育相談室”で82.7%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したことはない」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で13.4ポイント、“保健センターの情報・相談事業”で7.8ポイント、それぞれ増加している。

【B 利用状況（これまでに利用したことがある）】



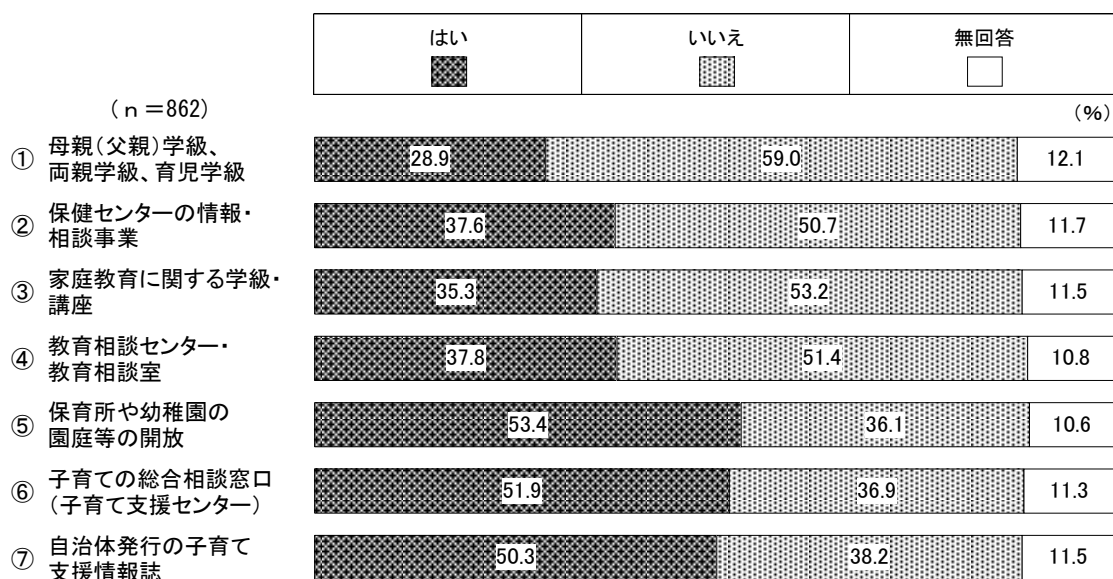
<平成30年度調査>



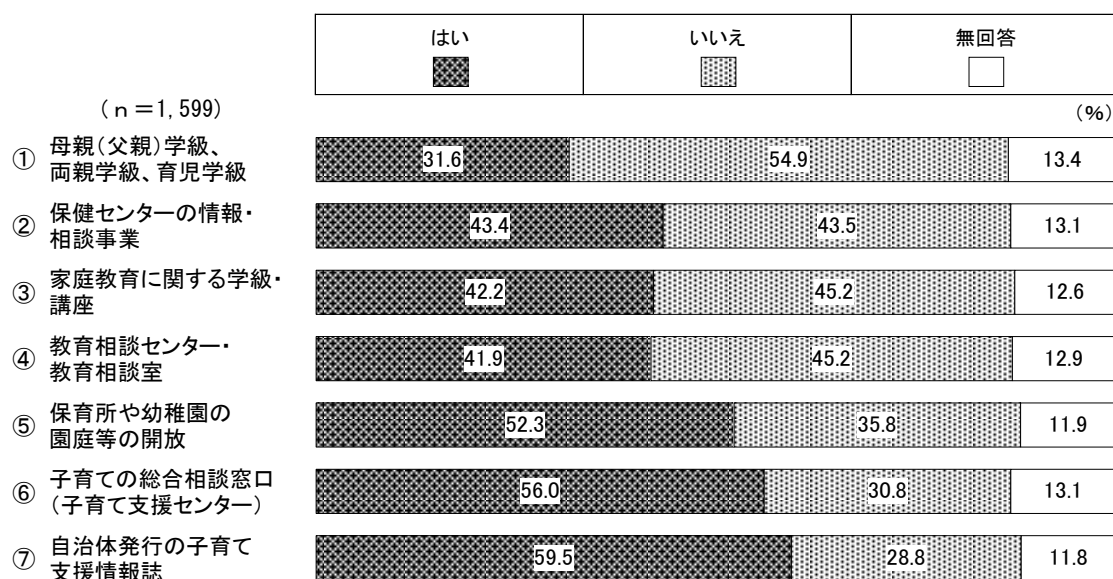
子育て支援事業の利用意向について、「今後利用したい（はい）」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で53.4%と最も高くなっている。一方、「利用したくない（いいえ）」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で59.0%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.0ポイント、それぞれ増加している。

【C 利用意向（今後利用したい）】



<平成30年度調査>



7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望

問22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が65.3%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は7.4%、「月に1～2回は利用したい」は26.6%となっている。

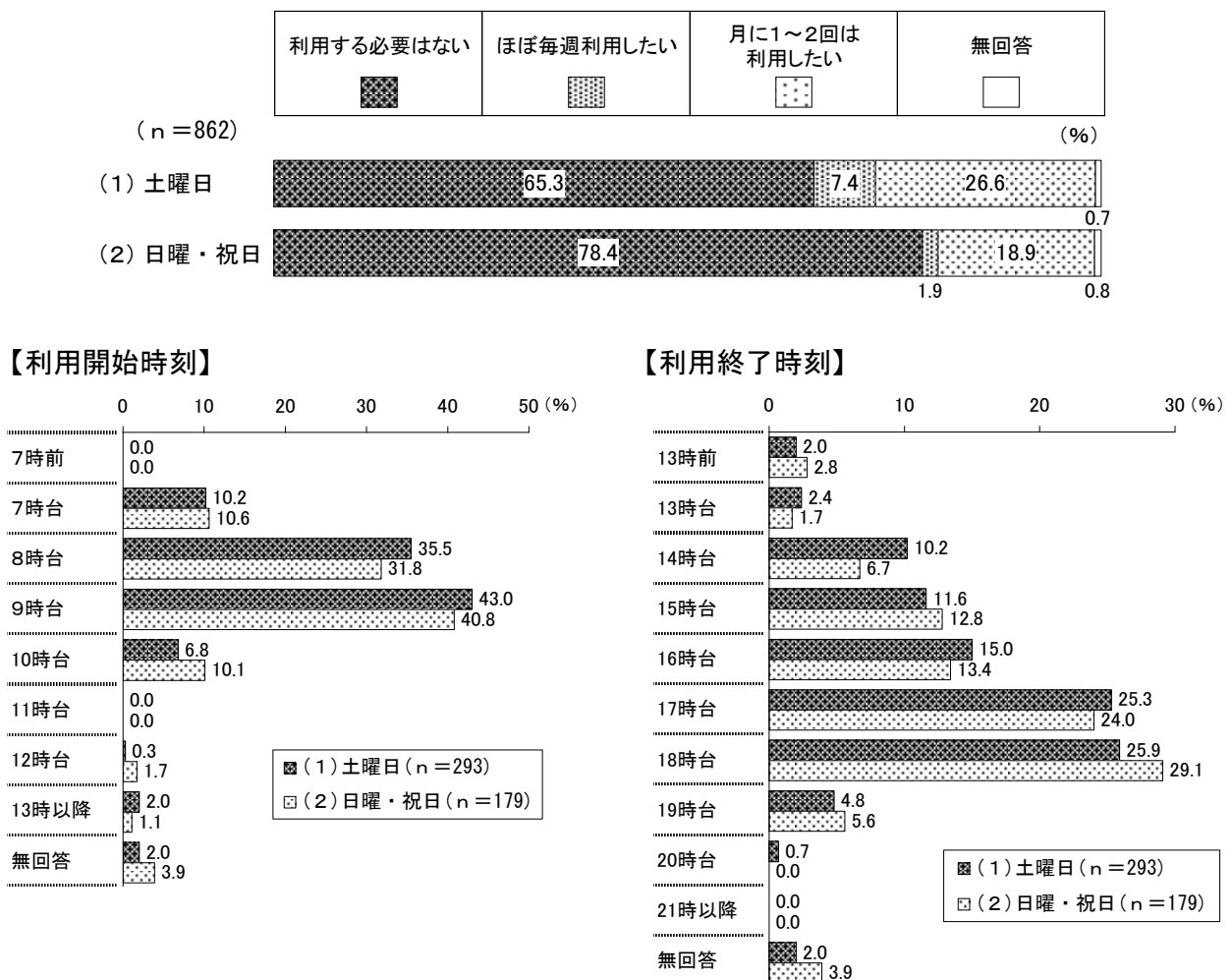
日曜・祝日では、「利用する必要はない」が78.4%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は1.9%、「月に1～2回は利用したい」は18.9%となっている。

利用開始時刻は、土曜日では、「9時台」が43.0%で最も高く、次いで「8時台」が35.5%となっている。

日曜・祝日では、「9時台」が40.8%で最も高く、次いで「8時台」が31.8%となっている。

利用終了時刻は、土曜日では、「18時台」が25.9%で最も高く、次いで「17時台」が25.3%となっている。

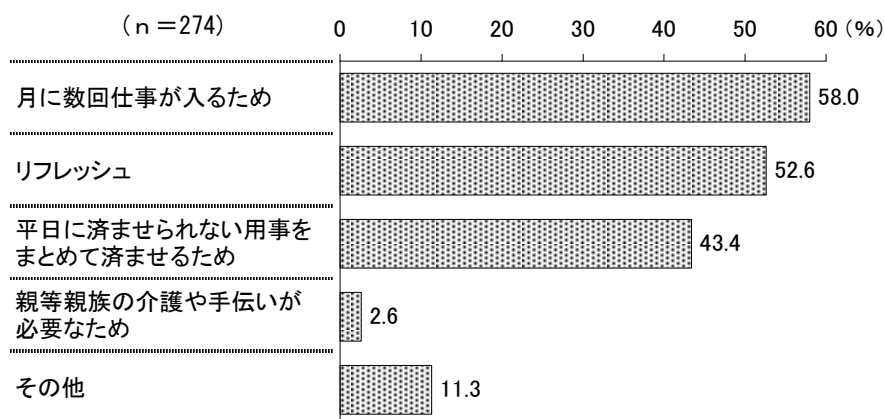
日曜・祝日では、「18時台」が29.1%で最も高く、次いで「17時台」が24.0%となっている。



(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由

問22-1 問22で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

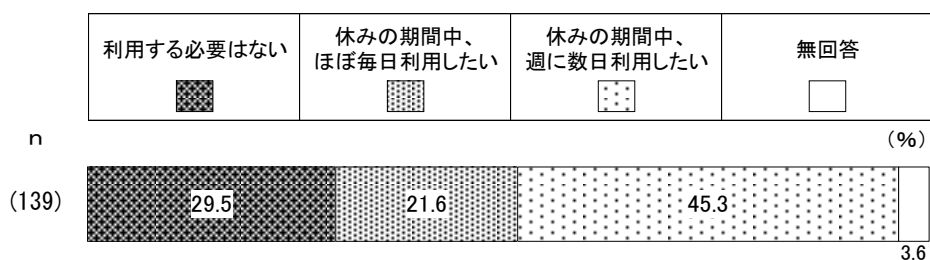
教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が58.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が52.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が43.4%となっている。



(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

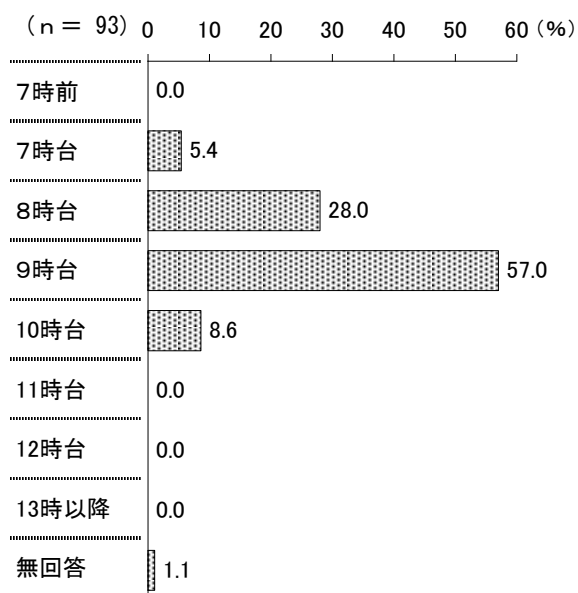
幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が29.5%となっている。一方、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は21.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」は45.3%となっている。



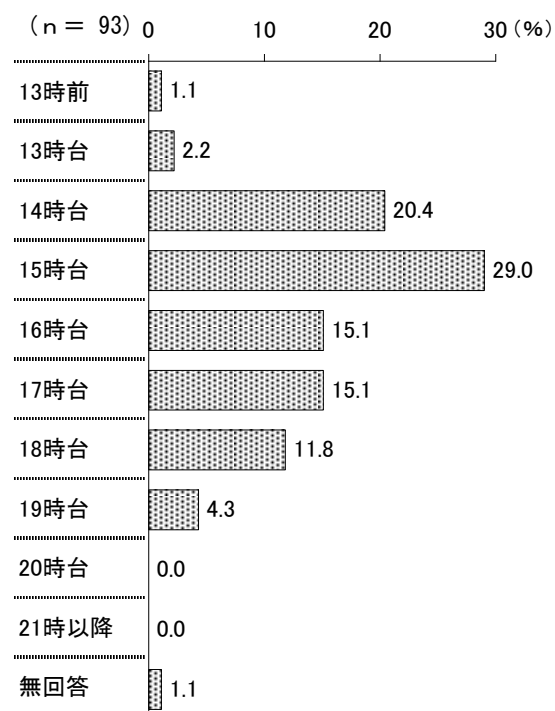
利用開始時刻は、「9時台」が57.0%で最も高く、次いで「8時台」が28.0%となっている。

利用終了時刻は、「15時台」が29.0%で最も高く、次いで「14時台」が20.4%、「16時台」と「17時台」がともに15.1%となっている。

【利用開始時刻】



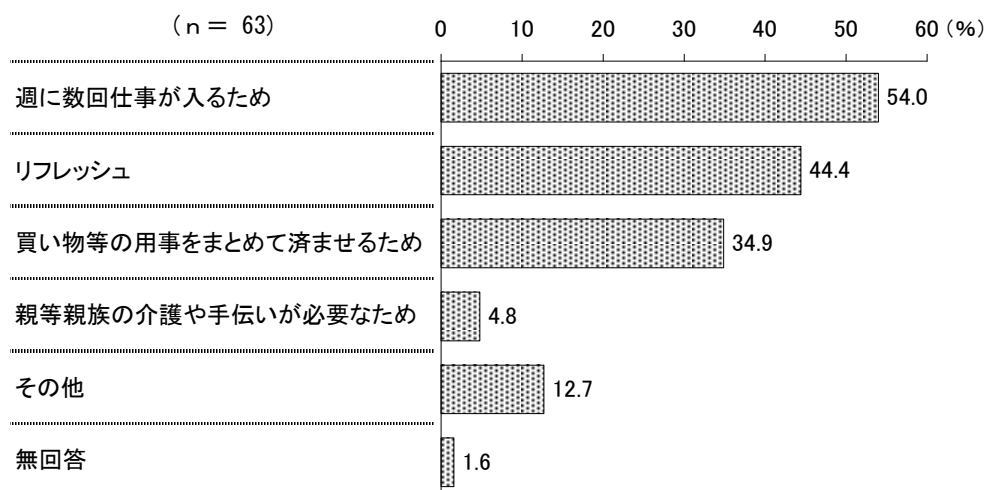
【利用終了時刻】



(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

問23－1 問23で「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が54.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が44.4%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が34.9%となっている。



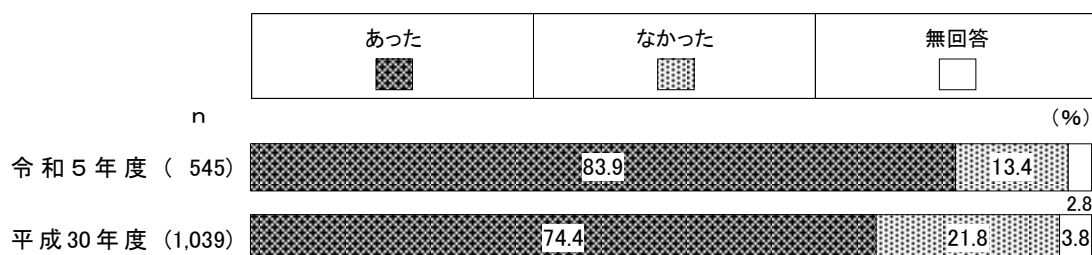
8. 病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無

問24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が83.9%、「なかった」は13.4%となっている。

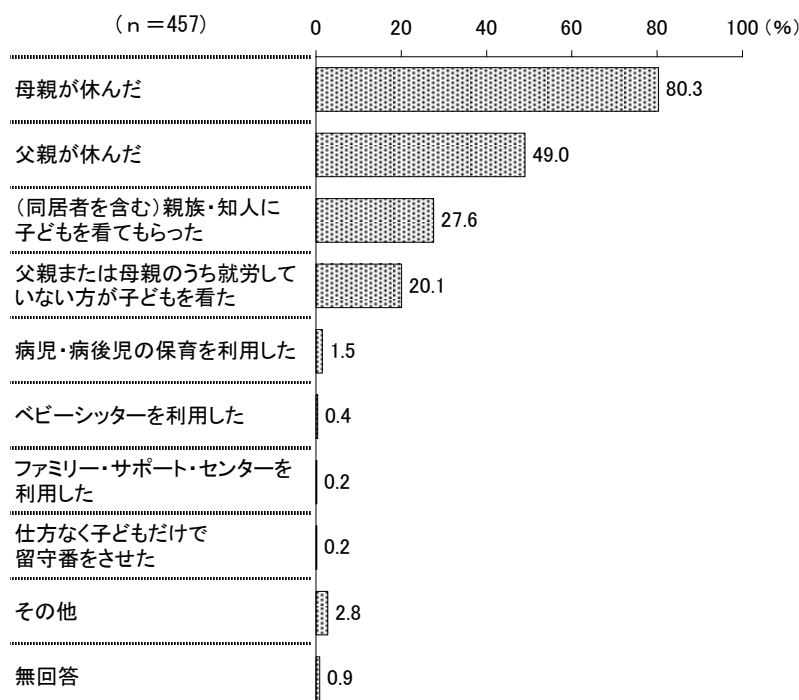
平成30年度調査と比較すると、「あった」は9.5ポイント増加している。



(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

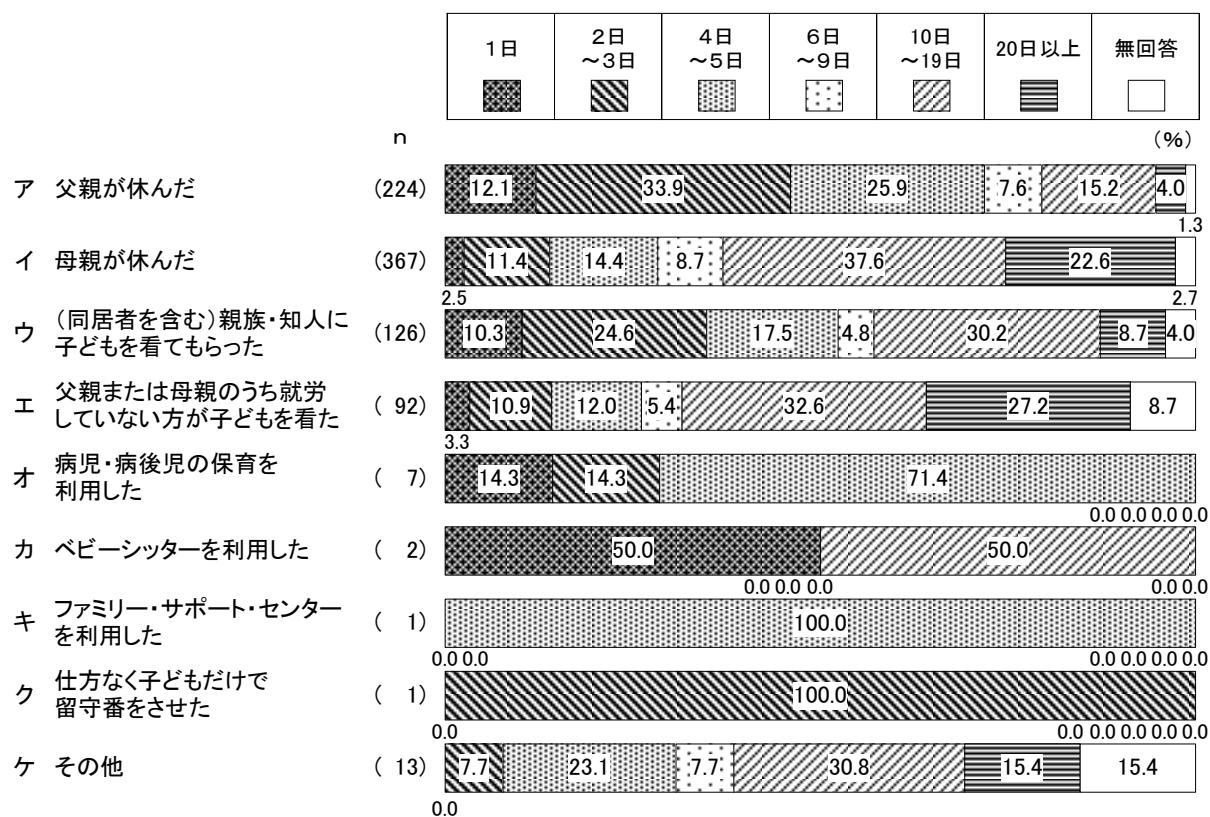
問24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が80.3%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が49.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が27.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が20.1%となっている。



1年間の対処方法別の日数をみると、「2日～3日」は“父親が休んだ”で33.9%と高くなっている。「4日～5日」は“父親が休んだ”で25.9%と高くなっている。「10日～19日」は“母親が休んだ”で37.6%と高くなっている。「20日以上」は“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”で27.2%と高くなっている。

【1年間の対処方法別の日数】



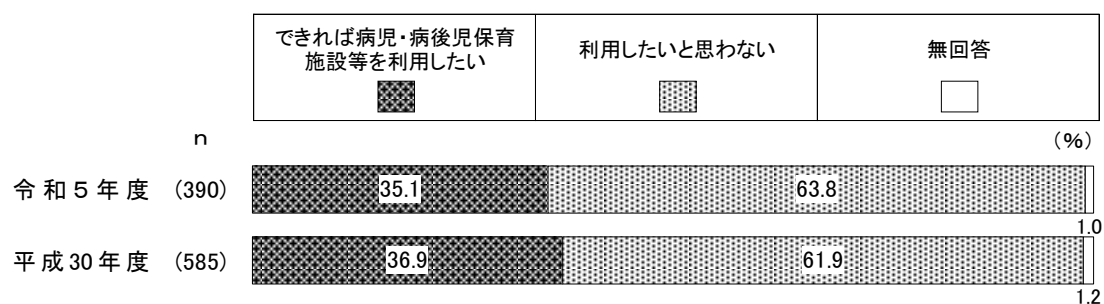
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問24-2 問24-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

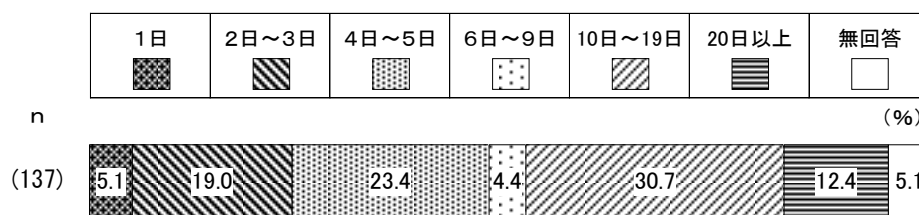
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%、「利用したいと思わない」は63.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「10日～19日」が30.7%で最も高く、次いで「4日～5日」が23.4%、「2日～3日」が19.0%、「20日以上」が12.4%となっている。



【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

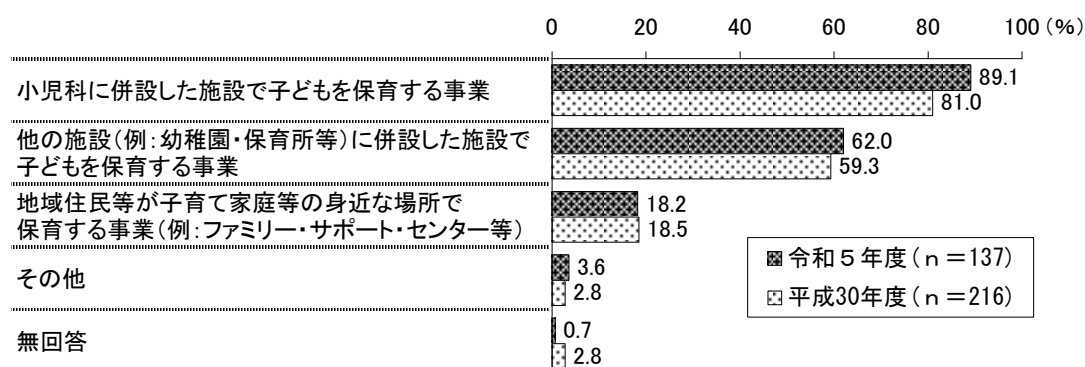


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問24－3 問24－2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が89.1%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が18.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」は8.1ポイント増加している。

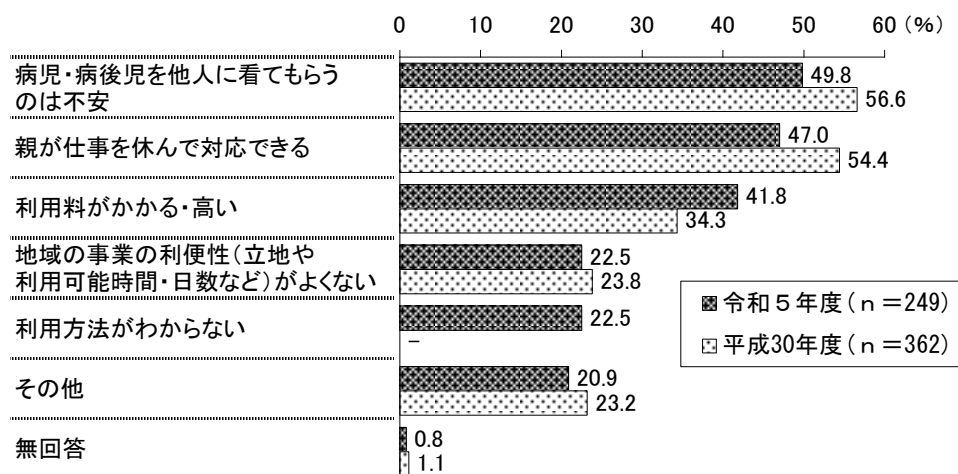


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問24－4 問24－2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.8%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が47.0%、「利用料がかかる・高い」が41.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は7.5ポイント増加している。一方、「親が仕事を休んで対応できる」は7.4ポイント、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」は6.8ポイント、それぞれ減少している。



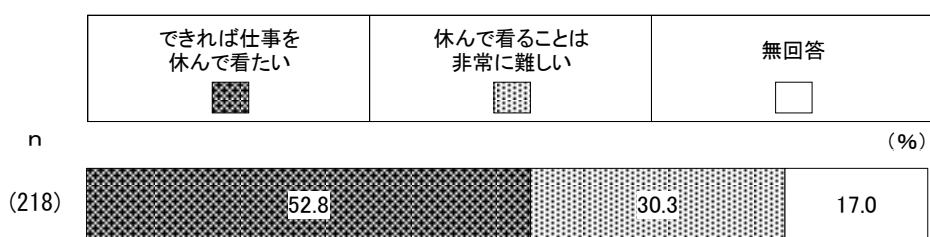
※「利用方法がわからない」は、令和5年度から追加された選択肢

(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか

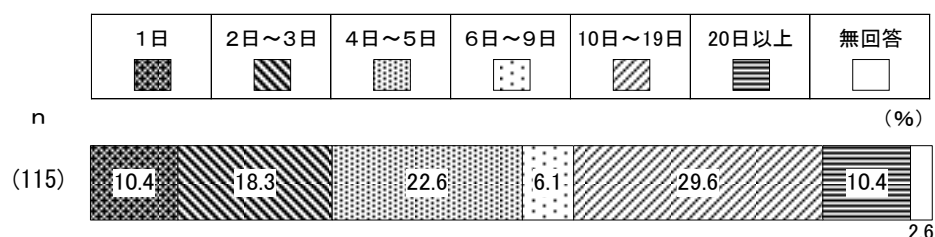
問24-5 問24-1で「父親または母親が休んだ」以外に○をつけた方に伺います。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が52.8%、「休んで看ることは非常に難しい」は30.3%となっている。

仕事を休んで看たいと思った日数は、「10日～19日」が29.6%で最も高く、次いで「4日～5日」が22.6%、「2日～3日」が18.3%、「1日」と「20日以上」がともに10.4%となっている。



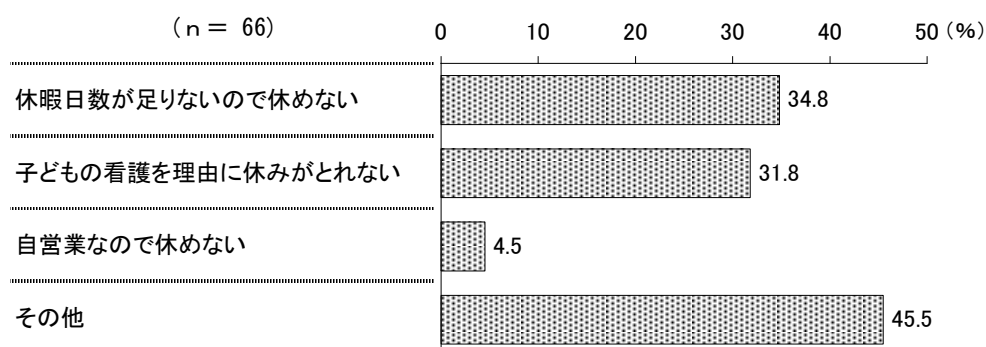
【仕事を休んで看たいと思った日数】



(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問24-6 問24-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を休んで看ることが難しい理由は、「休暇日数が足りないので休めない」が34.8%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.8%となっている。



9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

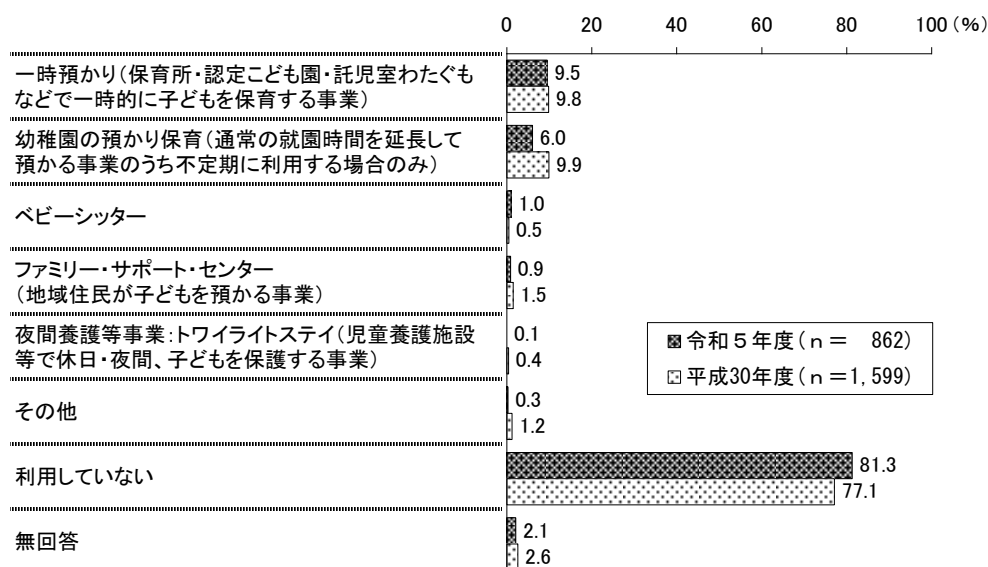
(1) 不定期に利用している預かり事業

問25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

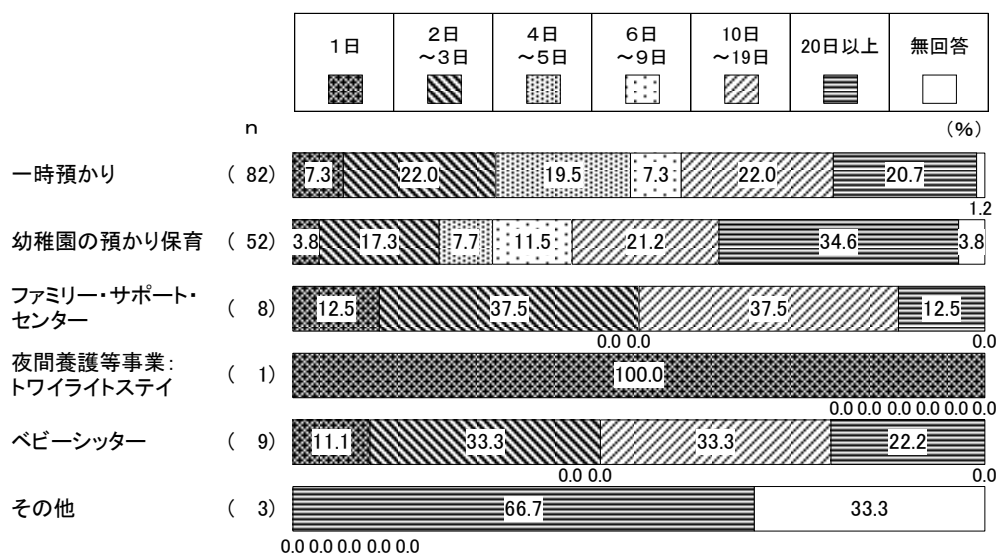
不定期に利用している預かり事業は、利用している中では、「一時預かり」が9.5%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が6.0%となっている。一方、「利用していない」は81.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」は4.2ポイント増加している。一方、「幼稚園の預かり保育」は3.9ポイント減少している。

不定期に利用している預かり事業別の日数をみると、「2日～3日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「10日～19日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「20日以上」は“幼稚園の預かり保育”で34.6%と高くなっている。



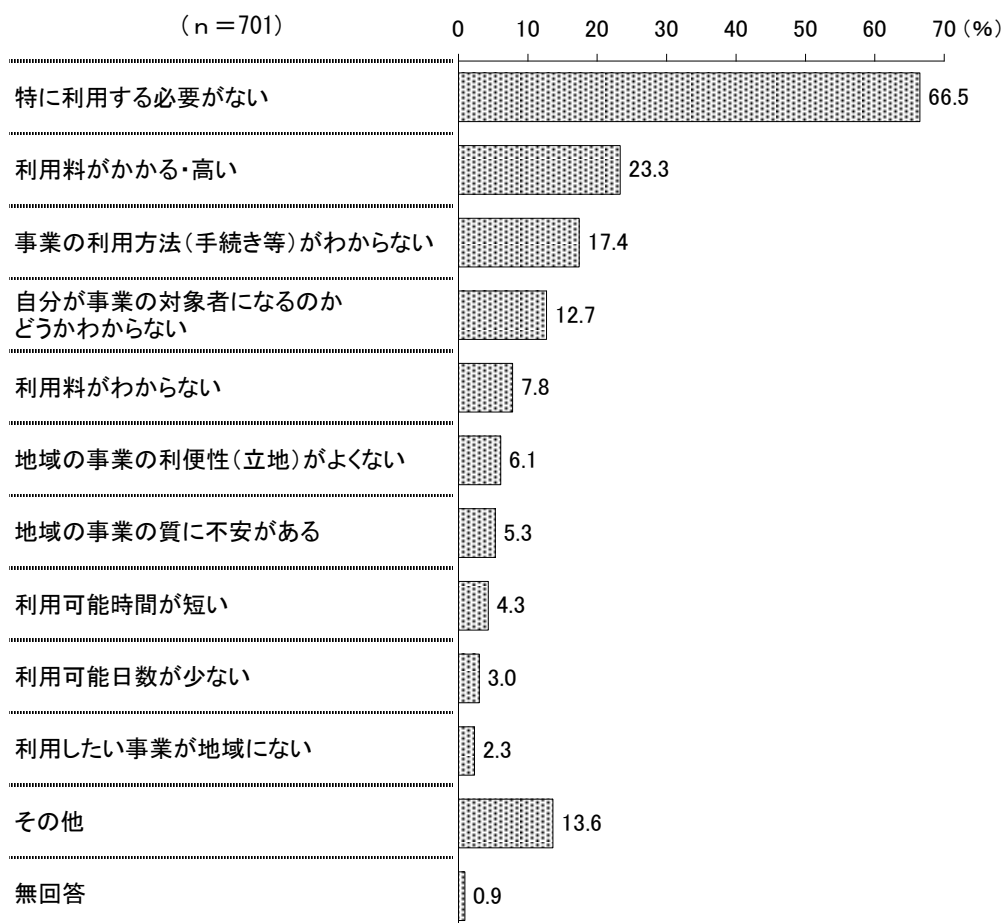
【不定期に利用している預かり事業別の日数】



(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由

問25－1 問25で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期に預かり事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が66.5%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が23.3%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が17.4%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が12.7%となっている。



(3) 不特定の預かり事業の利用希望

問26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

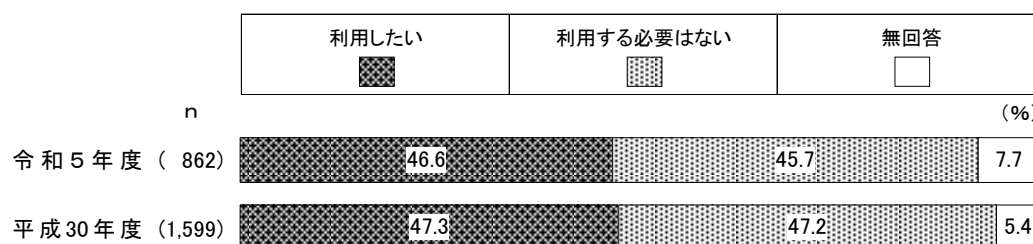
不特定の預かり事業の利用希望は、「利用したい」が46.6%、「利用する必要はない」は45.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

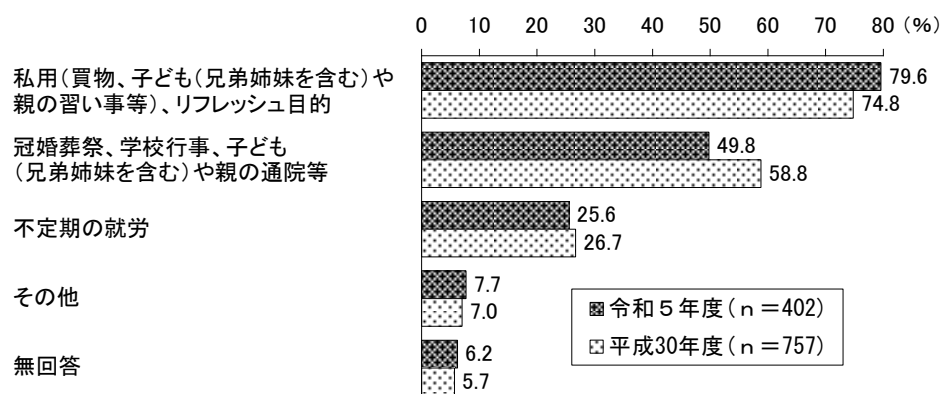
利用したい人の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が79.6%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が49.8%、「不特定の就労」が25.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」は4.8ポイント増加している。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は9.0ポイント減少している。

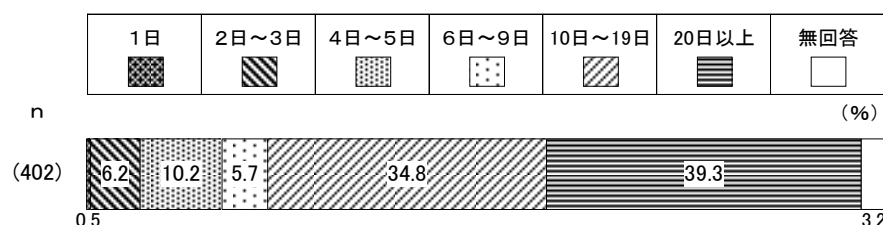
利用したい人の利用希望日数の合計は、「20日以上」が39.3%で最も高く、次いで「10日～19日」が34.8%、「4日～5日」が10.2%となっている。



【利用目的】



【利用希望日数の合計】

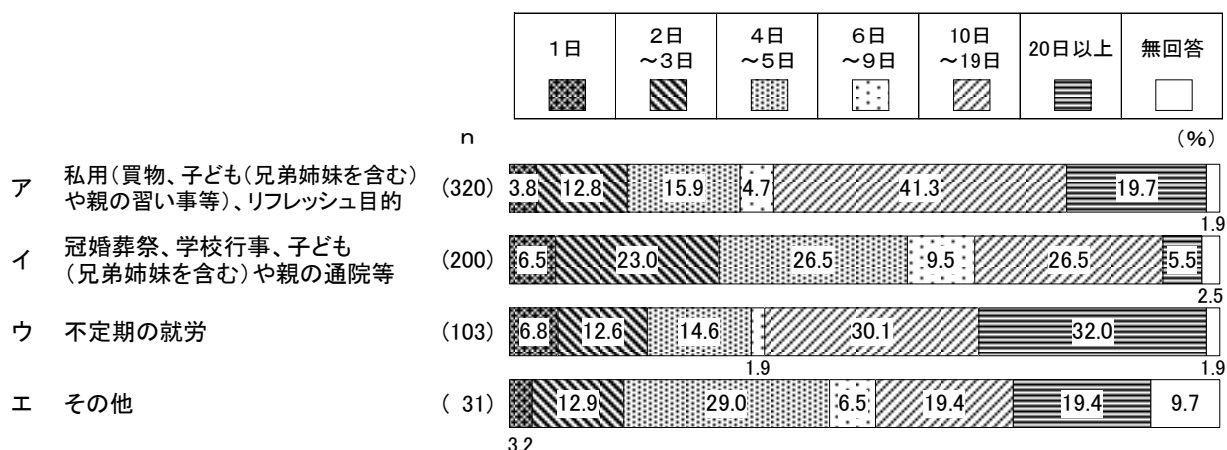


利用したい人の利用目的別の利用希望日数をみると、“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”では、「10日～19日」が41.3%で最も高く、次いで「20日以上」が19.7%、「4日～5日」が15.9%となっている。

“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”では、「4日～5日」と「10日～19日」がともに26.5%で高く、次いで「2日～3日」が23.0%となっている。

“不定期の就労”では、「20日以上」が32.0%で最も高く、次いで「10日～19日」が30.1%、「4日～5日」が14.6%となっている。

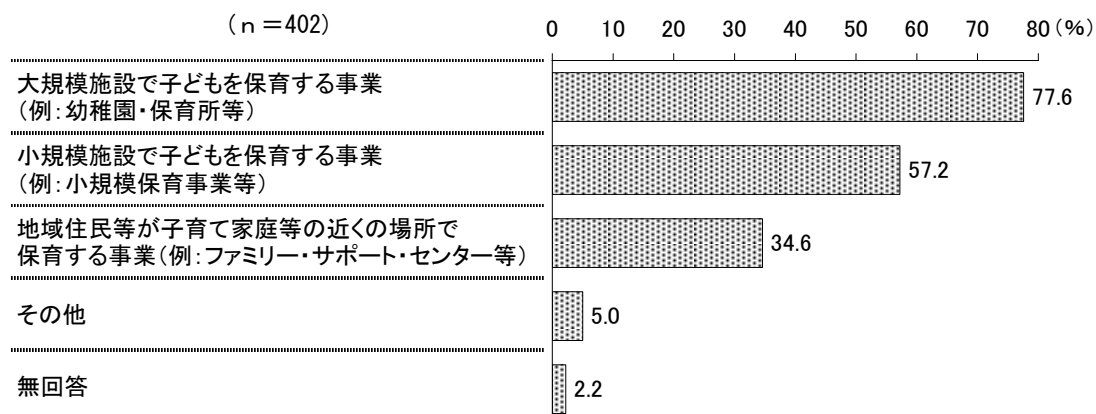
【利用目的別の利用希望日数】



（４）不定期の預かり事業の望ましい事業形態

問26－１ 問26で「利用したい」と回答した方にうかがいます。問26の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の預かり事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が77.6%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が57.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が34.6%となっている。



(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望

問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらう必要が年間何泊くらいあると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望の有無について当てはまる番号、記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。

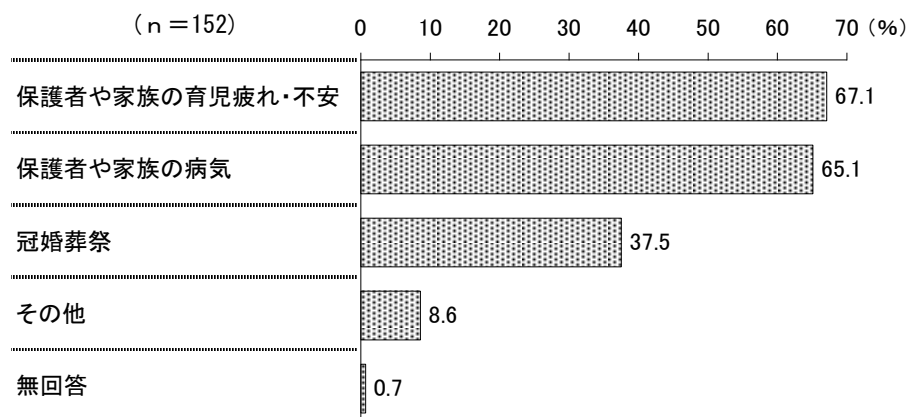
短期入所生活援助事業等の利用希望は、「利用したい」が17.6%、「利用する必要はない」は78.7%となっている。

利用したい人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が67.1%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が65.1%、「冠婚葬祭」が37.5%となっている。

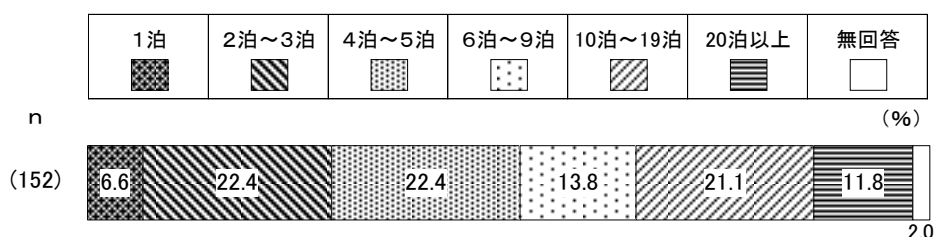
利用したい人の利用希望泊数の合計は、「2泊～3泊」と「4泊～5泊」がともに22.4%で高く、次いで「10泊～19泊」が21.1%、「6泊～9泊」が13.8%となっている。



【利用目的】



【利用希望泊数の合計】

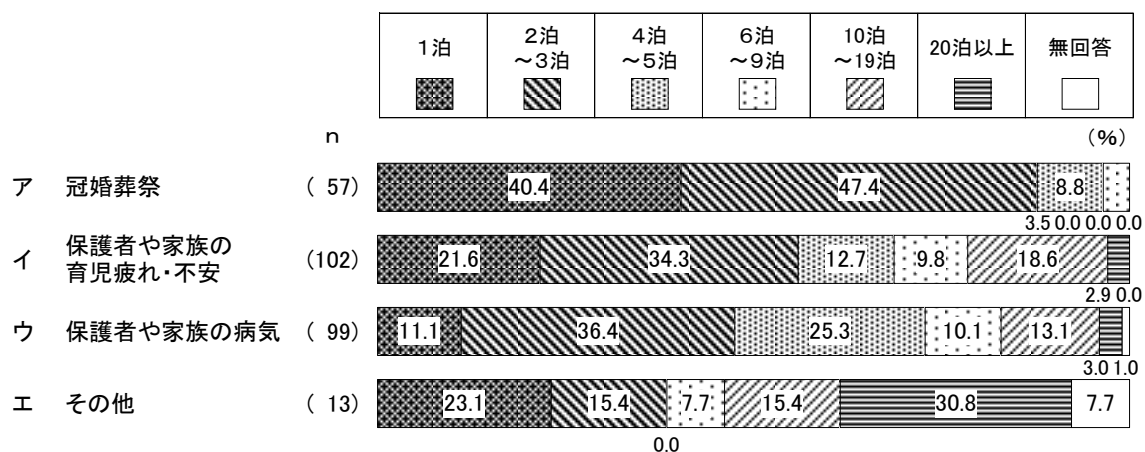


利用したい人の利用目的別の利用希望泊数をみると、“冠婚葬祭”では、「2泊～3泊」が47.4%で最も高く、次いで「1泊」が40.4%、「4泊～5泊」が8.8%となっている。

“保護者や家族の育児疲れ・不安”では、「2泊～3泊」が34.3%で最も高く、次いで「1泊」が21.6%、「10泊～19泊」が18.6%となっている。

“保護者や家族の病気”では、「2泊～3泊」が36.4%で最も高く、次いで「4泊～5泊」が25.3%、「10泊～19泊」が13.1%となっている。

【利用目的別の利用希望泊数】



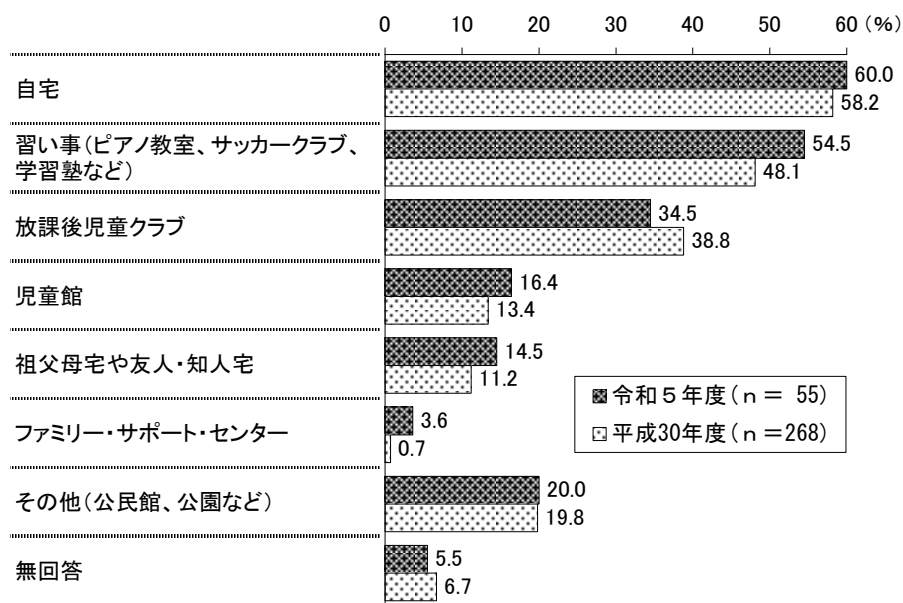
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）は、「自宅」が60.0%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.5%、「放課後児童クラブ」が34.5%、「児童館」が16.4%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は6.4ポイント増加している。一方、「放課後児童クラブ」は4.3ポイント減少している。



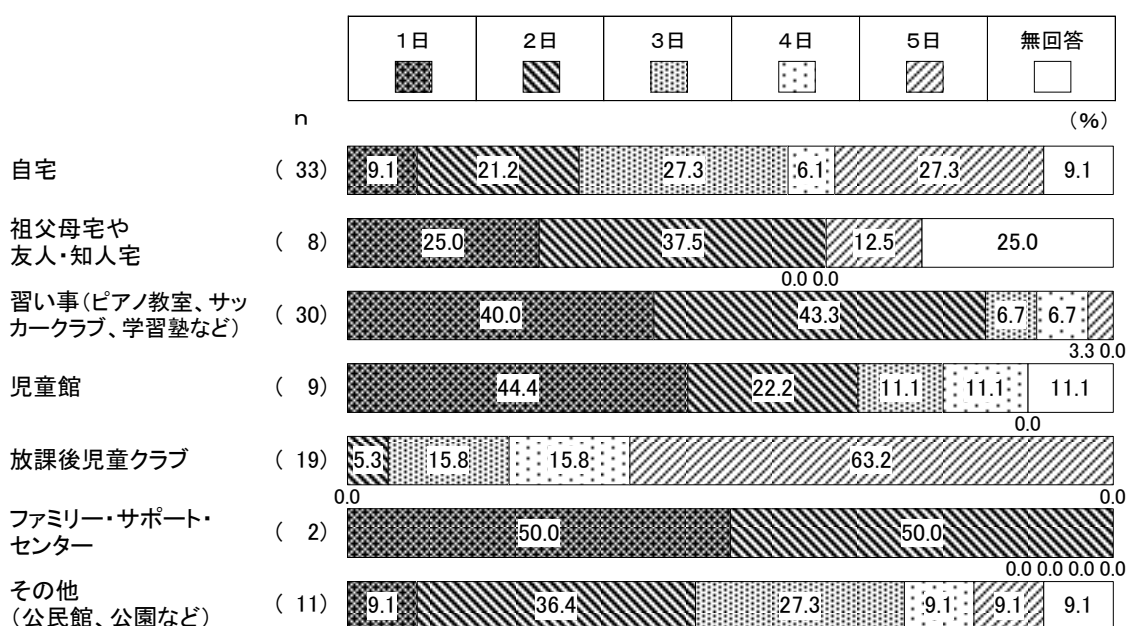
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「3日」と「5日」がともに27.3%で高く、次いで「2日」が21.2%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が43.3%で最も高く、次いで「1日」が40.0%となっている。

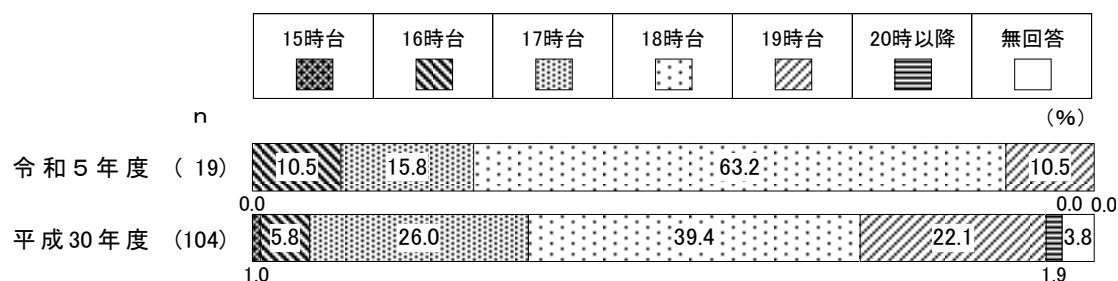
放課後児童クラブの利用終了時刻は、「18時台」が63.2%で最も高く、次いで「17時台」が15.8%、「16時台」と「19時台」がともに10.5%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブの利用終了時刻】

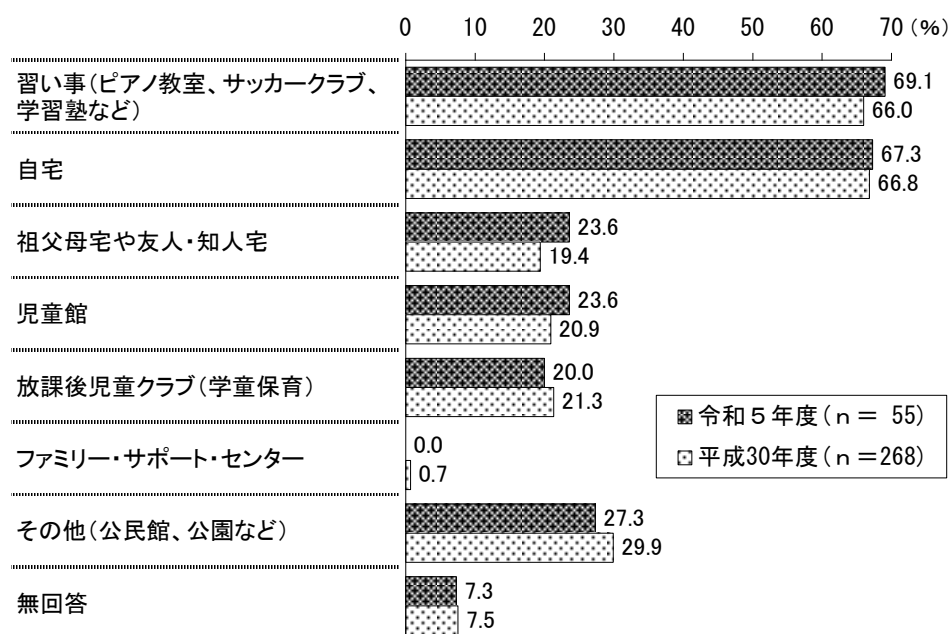


(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が69.1%で最も高く、次いで「自宅」が67.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「児童館」がともに23.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」は4.2ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は3.1ポイント、それぞれ増加している。



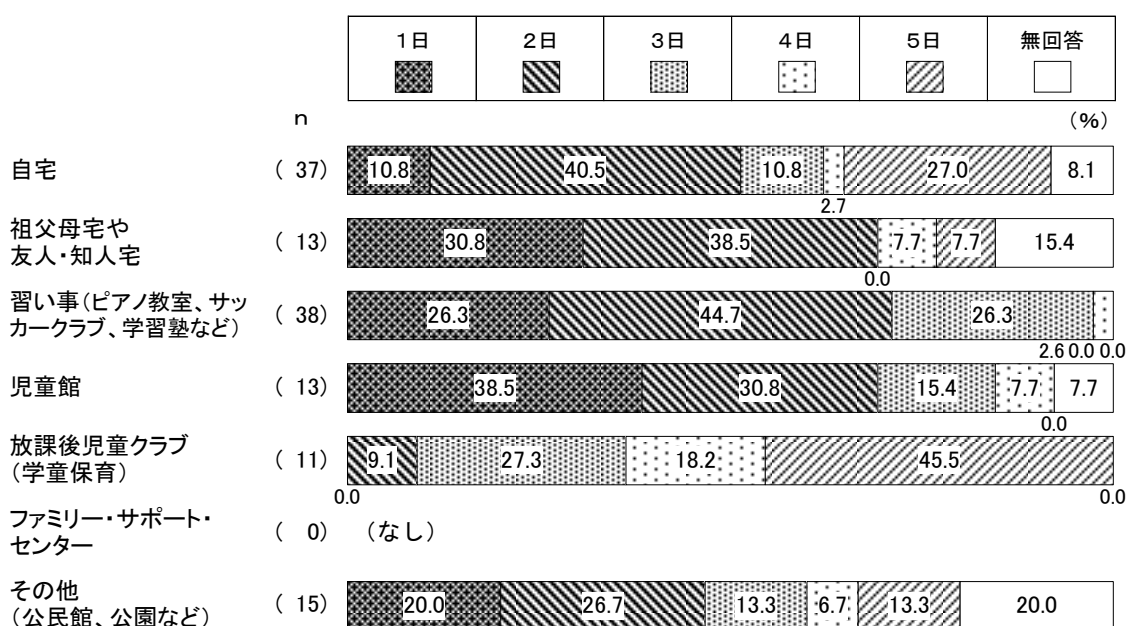
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「2日」が40.5%で最も高く、次いで「5日」が27.0%、「1日」と「3日」がともに10.8%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が44.7%で最も高く、次いで「1日」と「3日」がともに26.3%となっている。

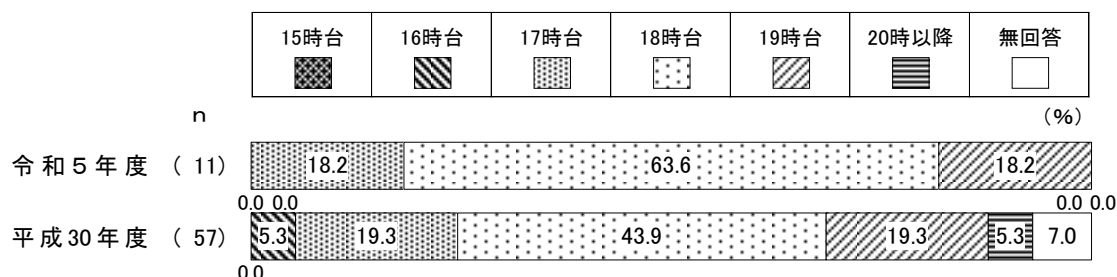
放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時台」が63.6%で最も高く、次いで「17時台」と「19時台」がともに18.2%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻】



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

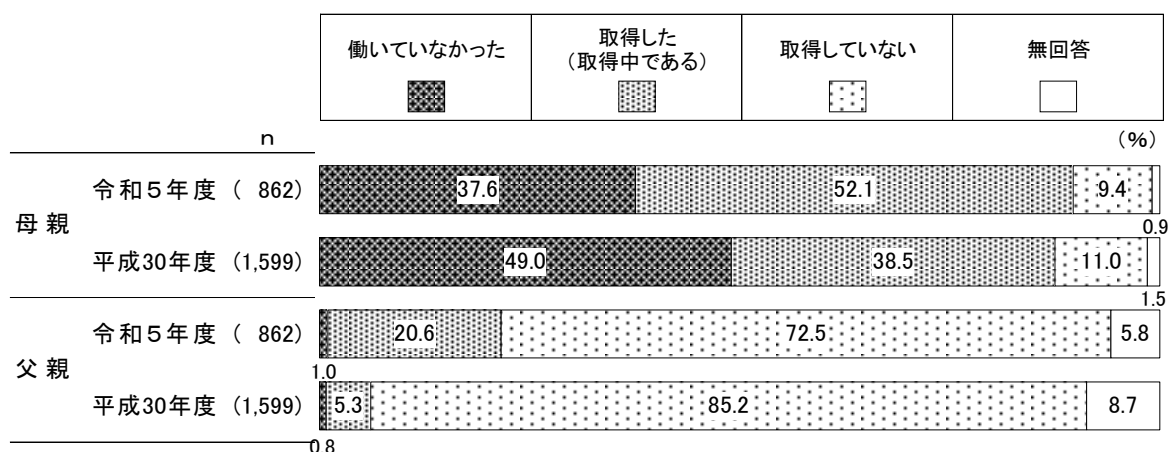
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業の取得状況は、母親では、「取得した（取得中である）」が52.1%、「取得していない」は9.4%となっている。また、「働いていなかった」は37.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」は13.6ポイント増加している。一方、「働いていなかった」は11.4ポイント減少している。

父親では、「取得した（取得中である）」が20.6%、「取得していない」は72.5%となっている。また、「働いていなかった」は1.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」は15.3ポイント増加している。一方、「取得していない」は12.7ポイント減少している。

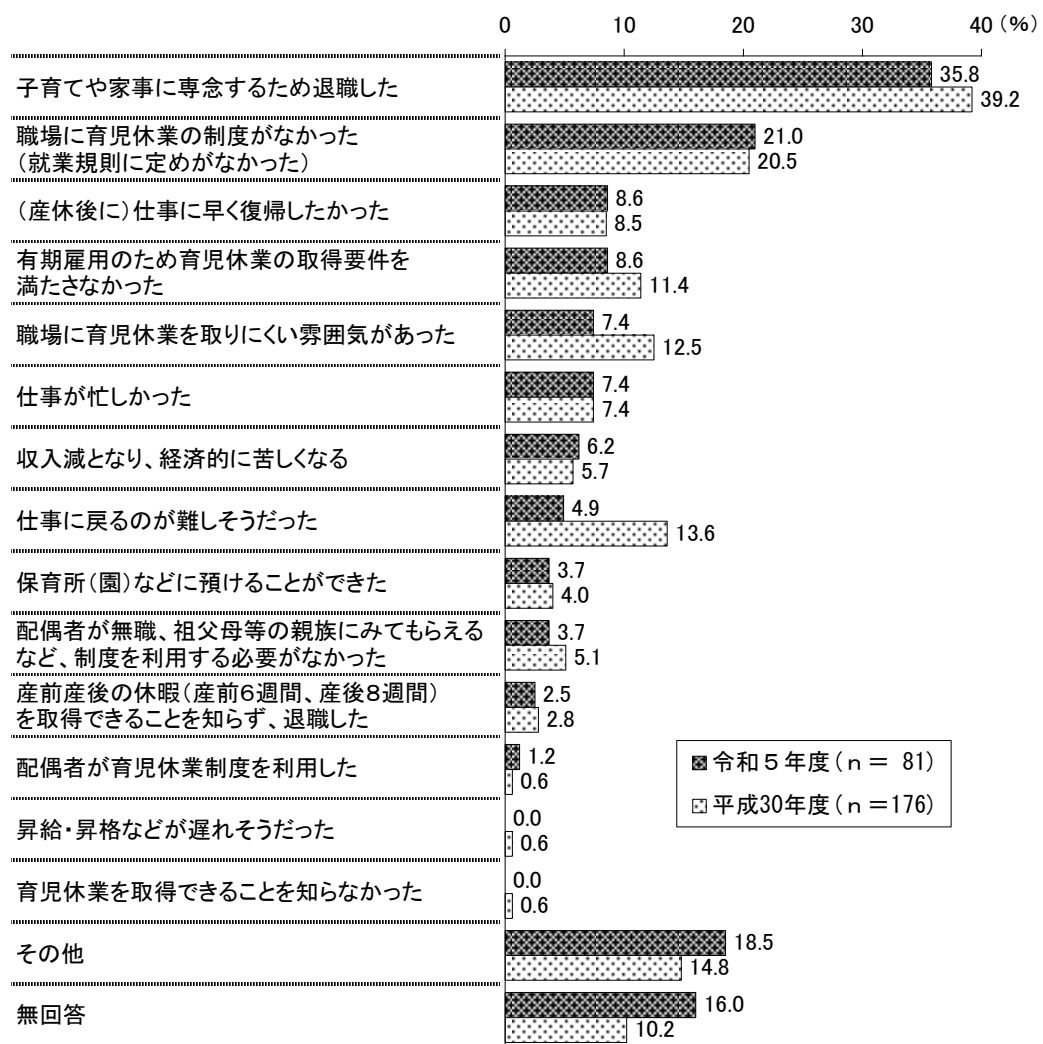


母親の育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.0%、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに8.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「仕事に戻るのが難しそうだった」は8.7ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」は5.1ポイント、それぞれ減少している。

【育児休業を取得していない理由】

（１）母親

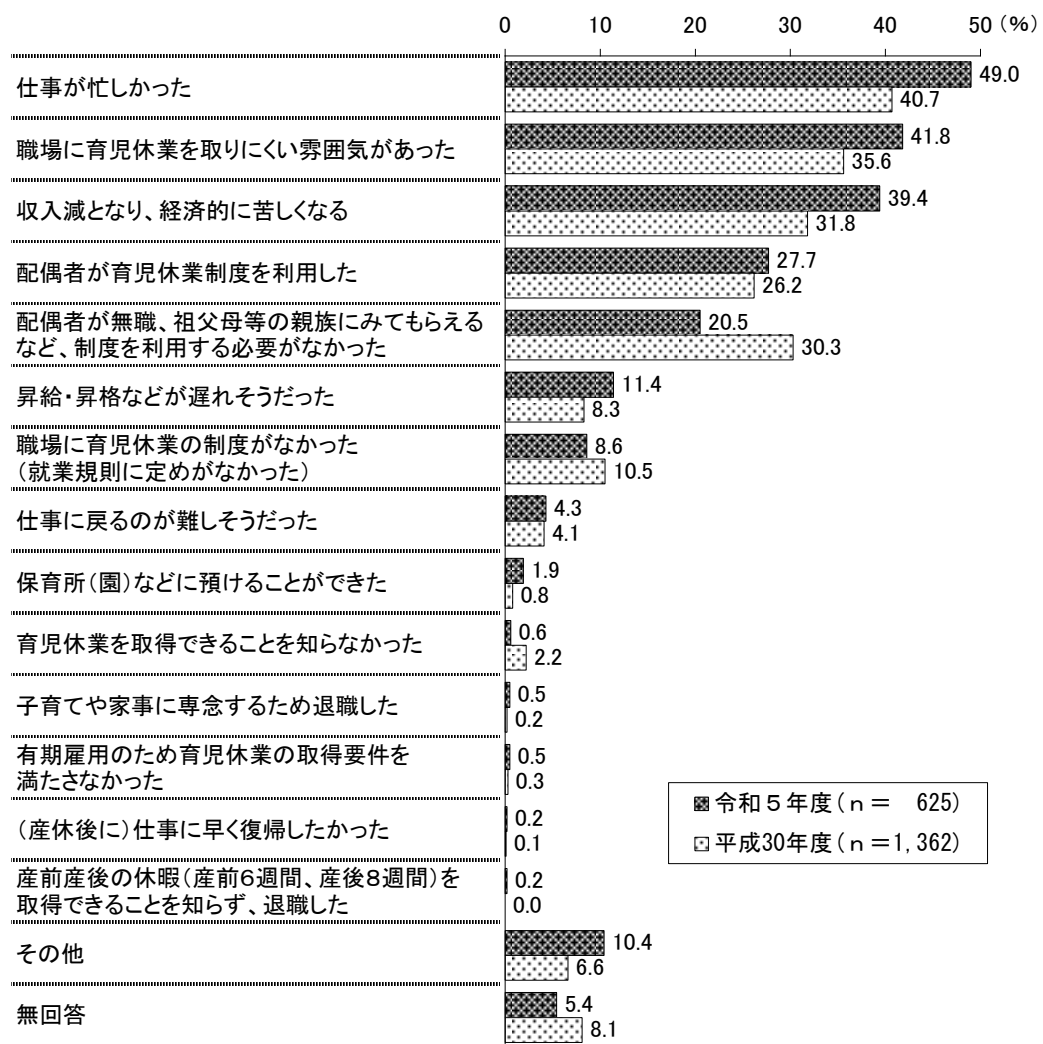


父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が49.0%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が41.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が39.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が27.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」は8.3ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」は7.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」は9.8ポイント減少している。

【育児休業を取得していない理由】

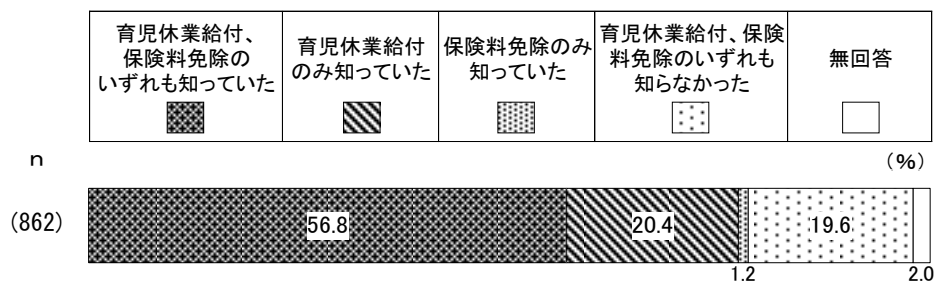
(2) 父親



(2) 育児休業給付、保険料免除についての認知状況

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付、保険料免除についての認知状況は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が56.8%、「育児休業給付のみ知っていた」は20.4%、「保険料免除のみ知っていた」は1.2%となっている。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は19.6%となっている。

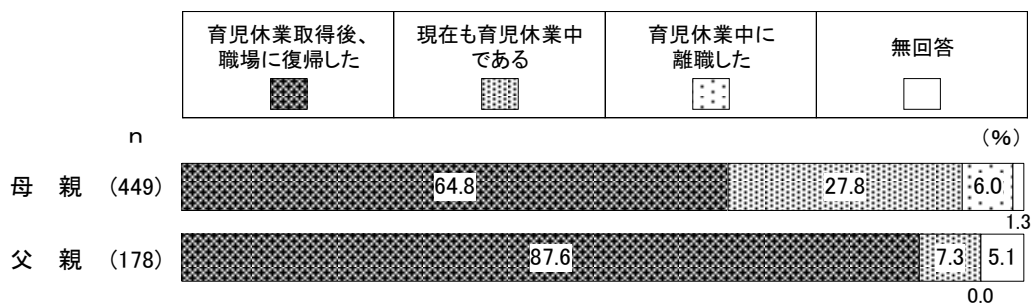


(3) 育児休業取得後の職場復帰の有無

問30-2 問30で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰の有無は、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が64.8%、「現在も育児休業中である」は27.8%となっている。一方、「育児休業中に離職した」は6.0%となっている。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.6%、「現在も育児休業中である」は7.3%となっている。

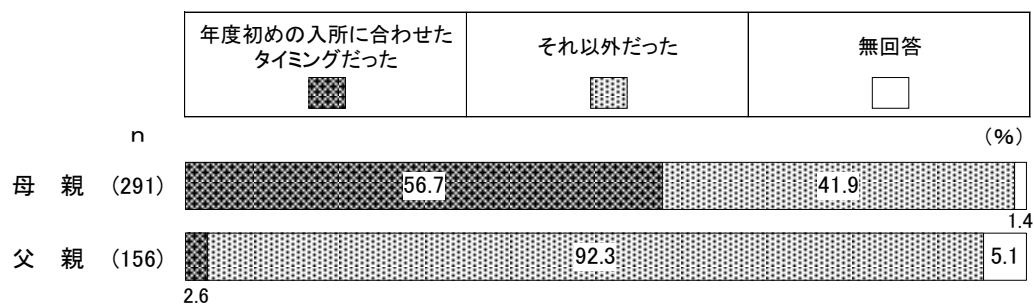


(4) 育児休業取得後の職場復帰の時期

問30－3 問30－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせた
 タイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてく
 ださい。

育児休業取得後の職場復帰の時期は、母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が56.7%、「それ以外だった」は41.9%となっている。

父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が2.6%、「それ以外だった」は92.3%となっている。



(5) 実際に職場復帰した時期と希望の職場復帰の時期

問30-4 問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

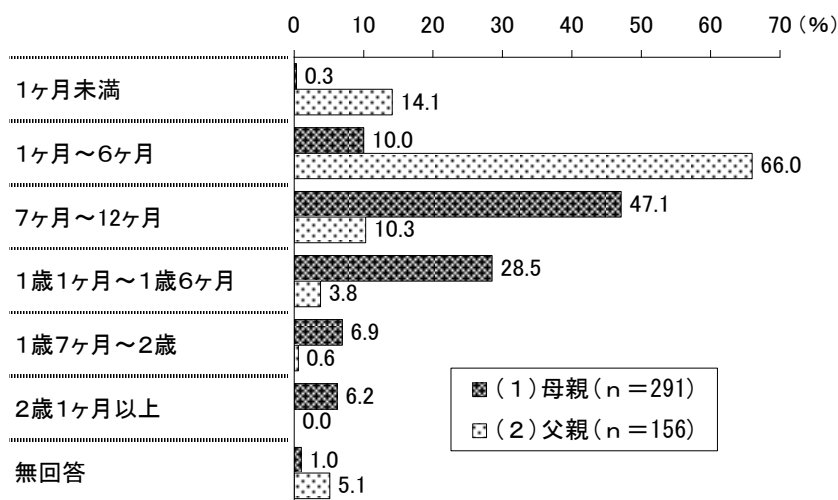
実際に職場復帰した時期は、母親では、「7ヶ月～12ヶ月」が47.1%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が28.5%、「1ヶ月～6ヶ月」が10.0%となっている。

父親では、「1ヶ月～6ヶ月」が66.0%で最も高く、次いで「1ヶ月未満」が14.1%、「7ヶ月～12ヶ月」が10.3%となっている。

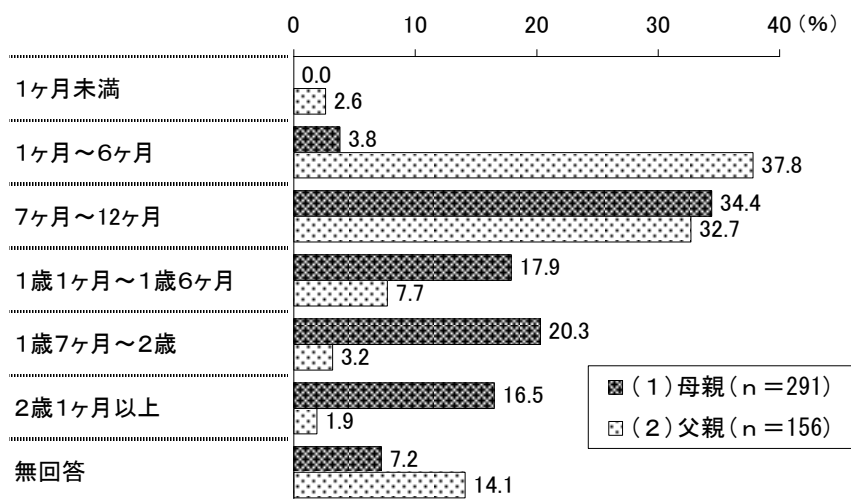
希望の職場復帰の時期は、母親では、「7ヶ月～12ヶ月」が34.4%で最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が20.3%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が17.9%となっている。

父親では、「1ヶ月～6ヶ月」が37.8%で最も高く、次いで「7ヶ月～12ヶ月」が32.7%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が7.7%となっている。

【実際】



【希望】

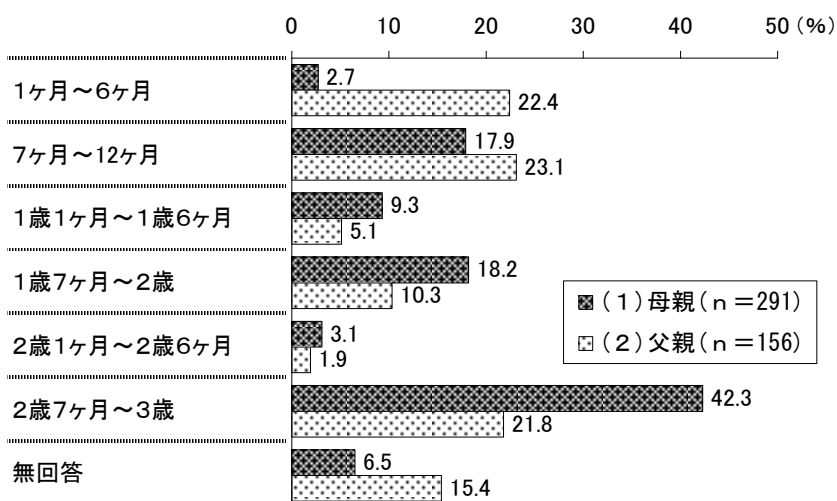


(6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期

問30-5 問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期は、母親では、「2歳7ヶ月～3歳」が42.3%で最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が18.2%、「7ヶ月～12ヶ月」が17.9%となっている。

父親では、「7ヶ月～12ヶ月」が23.1%で最も高く、次いで「1ヶ月～6ヶ月」が22.4%、「2歳7ヶ月～3歳」が21.8%となっている。



(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問30－6 問30－4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

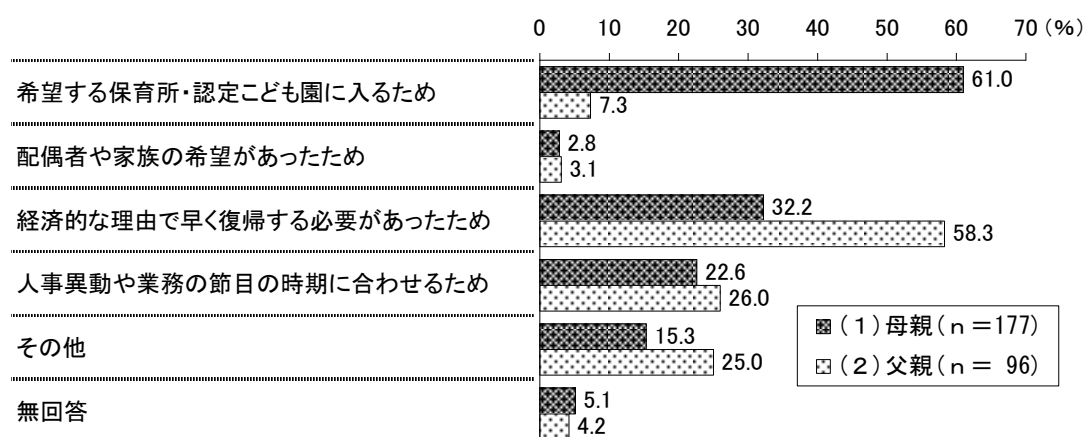
希望より早く復帰した人の希望の時期に職場復帰しなかった理由は、母親では、「希望する保育所・認定こども園に入るため」が61.0%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が32.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.6%となっている。

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が58.3%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.0%、「希望する保育所・認定こども園に入るため」が7.3%となっている。

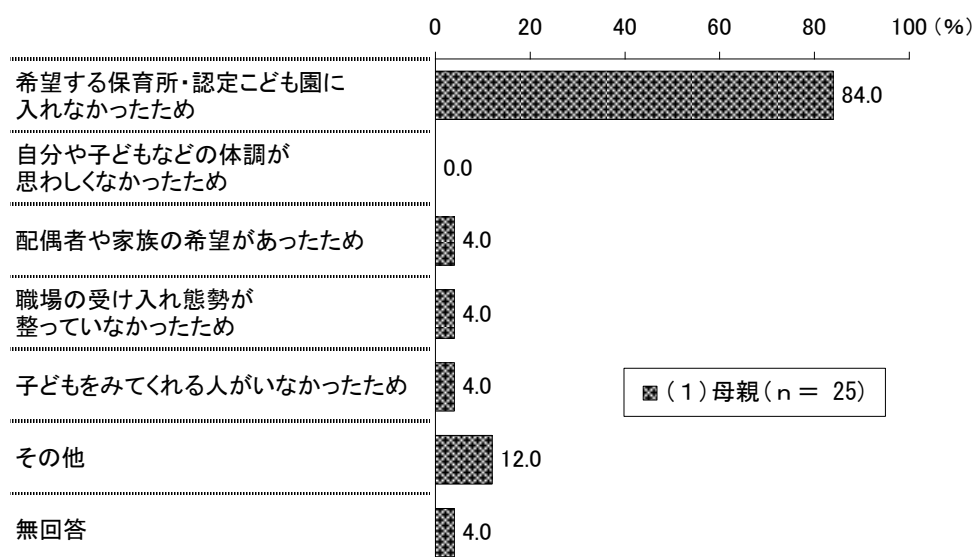
希望より遅く復帰した人の希望の時期に職場復帰しなかった理由は、母親では、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」が84.0%で最も高くなっている。

父親では、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」がそれぞれ1件ずつとなっている。

【希望より早く復帰した人】



【希望より遅く復帰した人】

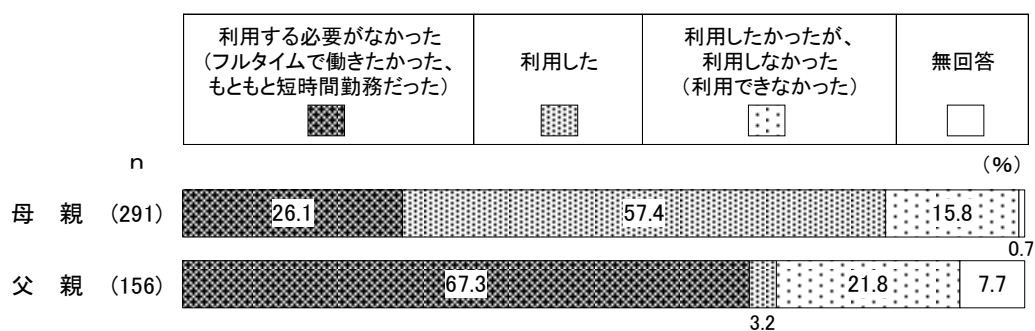


(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問30－7 問30－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では、「利用した」が57.4%、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は15.8%となっている。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」は26.1%となっている。

父親では、「利用した」が3.2%、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は21.8%となっている。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」は67.3%となっている。

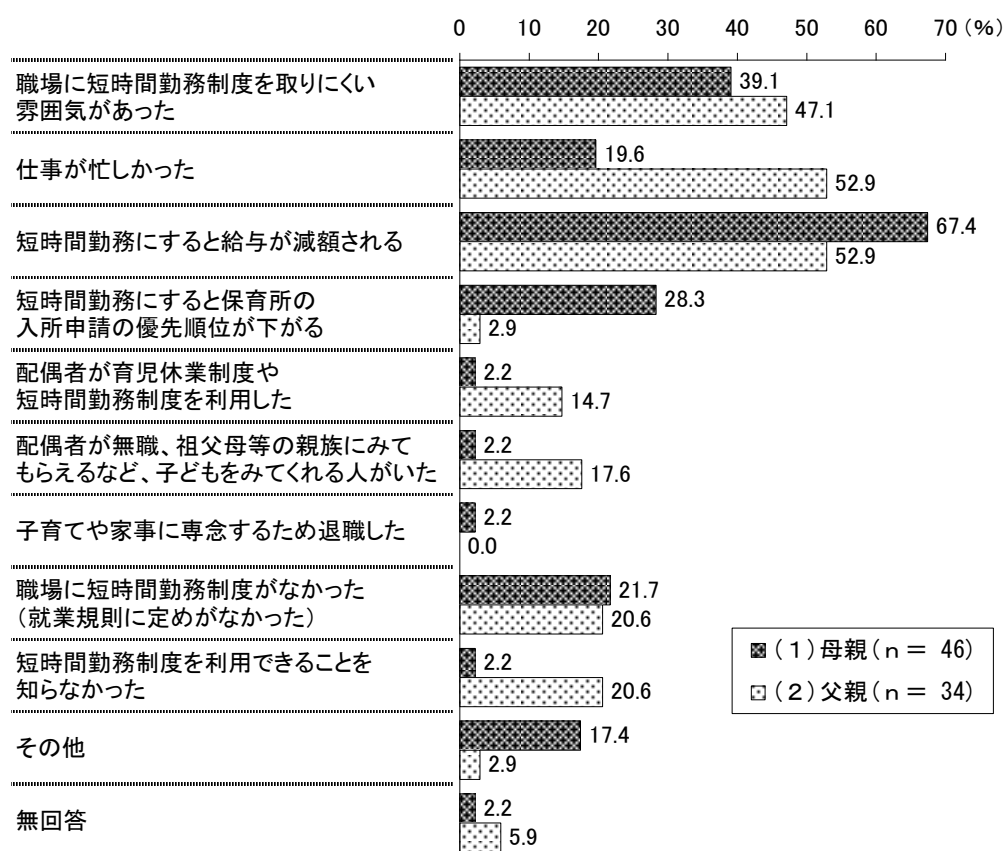


(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問30－8 問30－7で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」が67.4%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が39.1%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が28.3%となっている。

父親では、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに52.9%で高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が47.1%となっている。

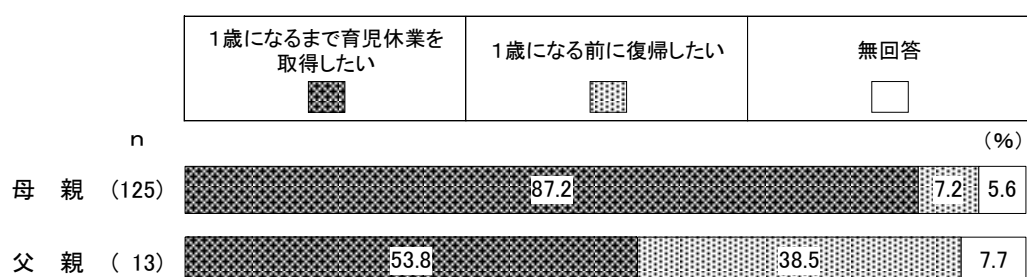


(10) 子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期

問30－9 問30－2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期は、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.2%、「1歳になる前に復帰したい」は7.2%となっている。

父親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が53.8%、「1歳になる前に復帰したい」は38.5%となっている。

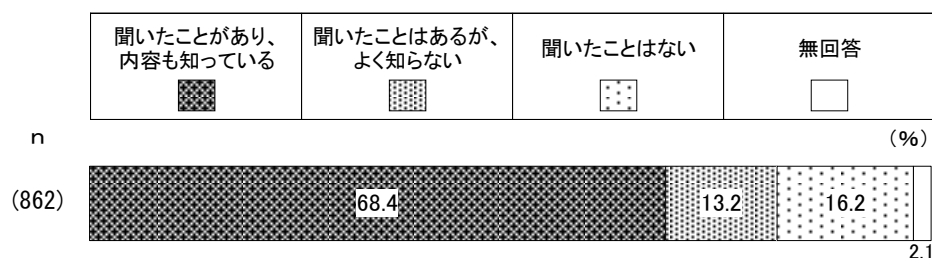


12. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度

問31 ヤングケアラーという言葉をごまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

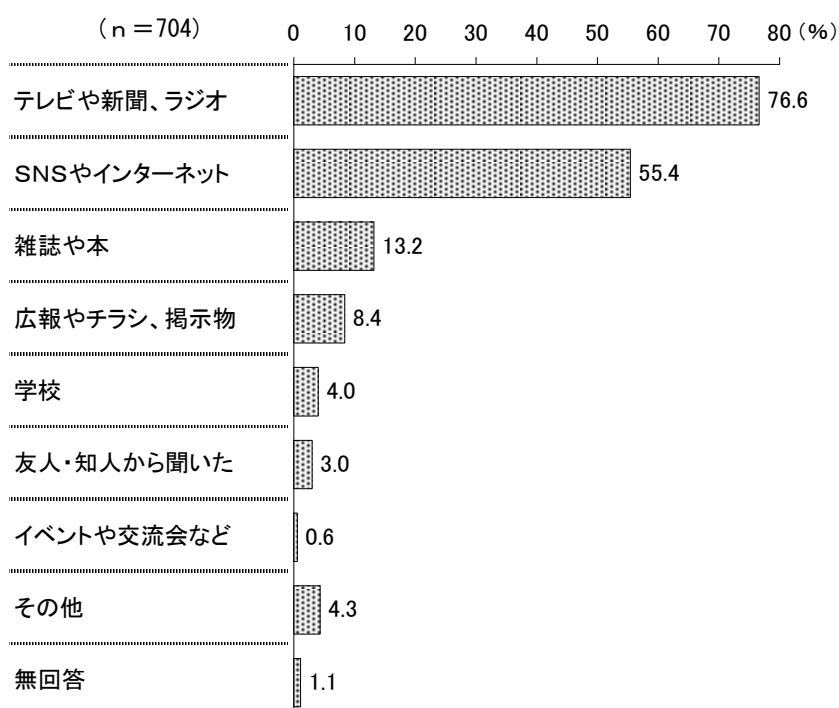
ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が68.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は13.2%となっている。一方、「聞いたことはない」は16.2%となっている。



(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問31-1 問31で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が76.6%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が55.4%、「雑誌や本」が13.2%、「広報やチラシ、掲示物」が8.4%となっている。



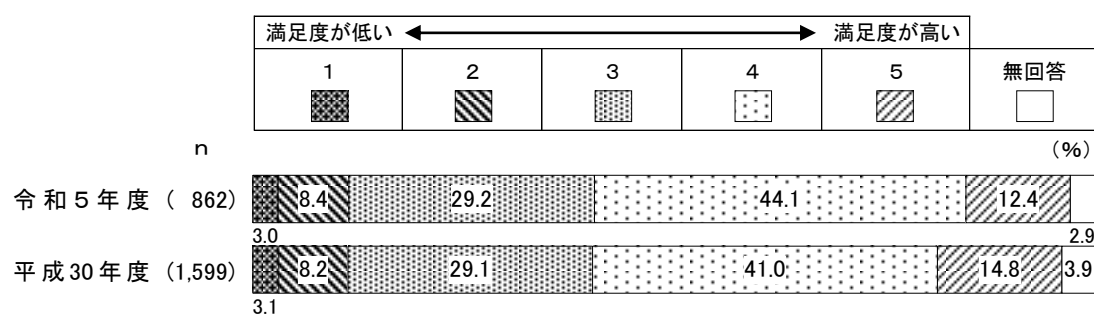
13. 厚木市の子育て環境について

(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階で見ると、「4」が44.1%で最も高く、次いで「3」が29.2%、「5」が12.4%となっている。

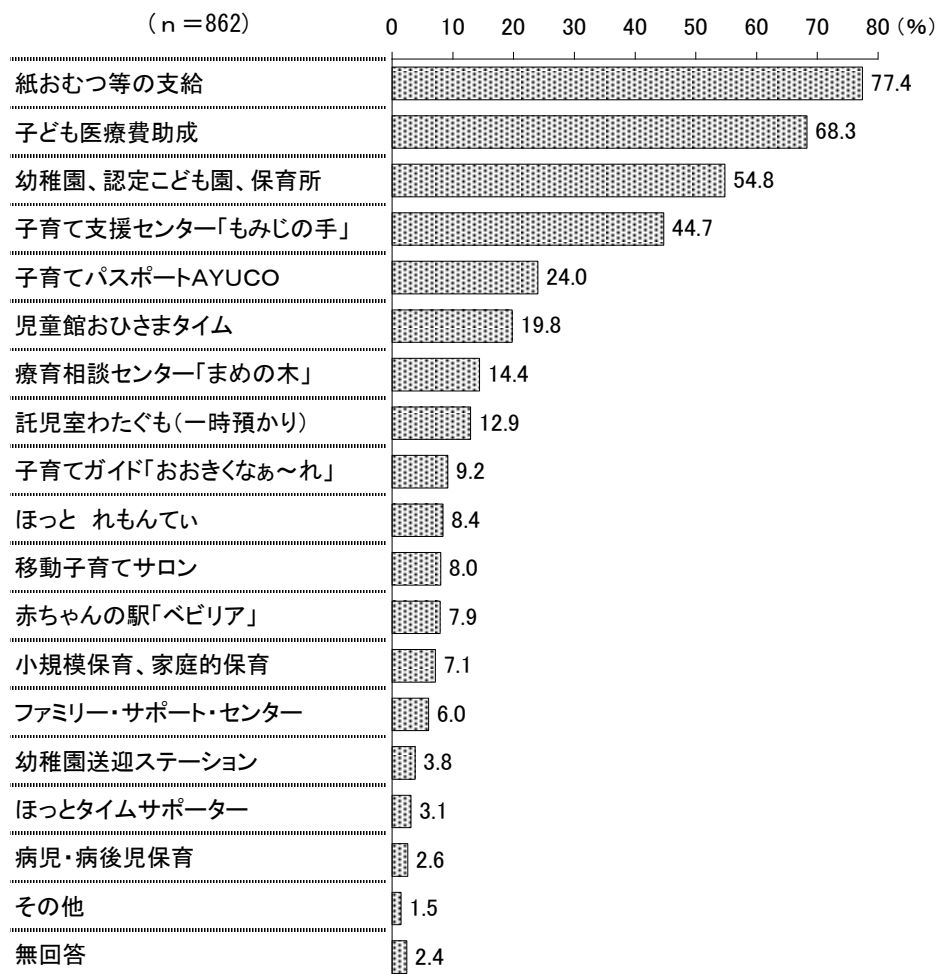
平成30年度調査と比較すると、「4」は3.1ポイント増加している。



(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業

問32-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

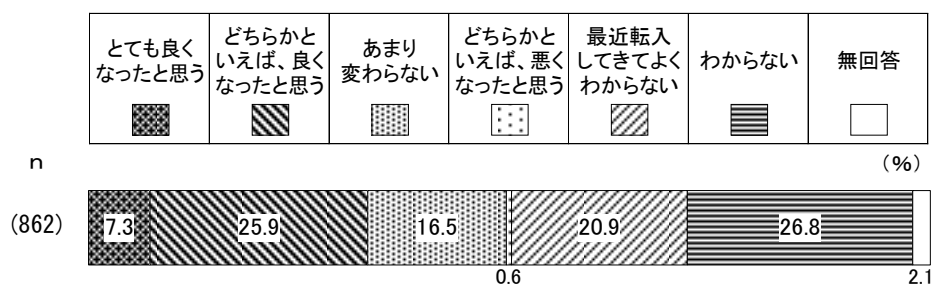
市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業は、「紙おむつ等の支給」が77.4%で最も高く、次いで「子ども医療費助成」が68.3%、「幼稚園、認定こども園、保育所」が54.8%、「子育て支援センター『もみじの手』」が44.7%となっている。



(3) 市の子育て環境の変化

問33 以前（５年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

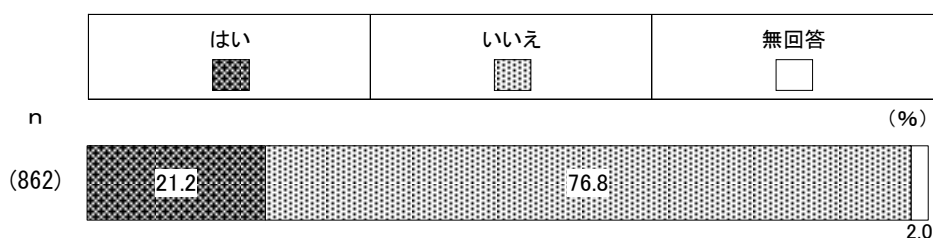
市の子育て環境の変化は、「とても良くなったと思う」が7.3%、「どちらかといえば、良くなったと思う」は25.9%となっている。一方、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が0.6%となっている。また、「あまり変わらない」は16.5%となっている。



(4) 「送迎ステーション事業」の利用意向

問34 本厚木駅近くにある託児室「わたぐも」で朝夕子どもを預かり、利用する幼稚園や保育所等までバスで送迎する「送迎ステーション事業」が利用できる場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。なお、費用は、月4,000円程度とします。

「送迎ステーション事業」の利用意向は、「利用したい（はい）」が21.2%、「利用したくない（いいえ）」は76.8%となっている。



Ⅲ 就学児童調査結果

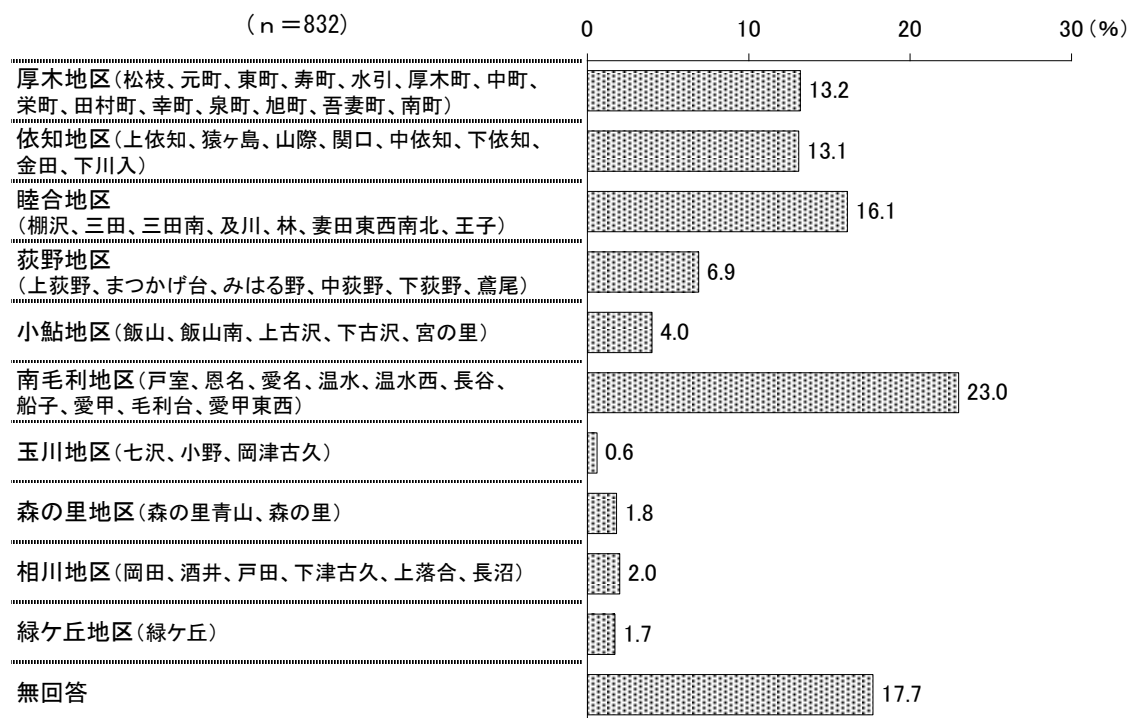
Ⅲ 就学児童調査結果

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「南毛利地区」が23.0%で最も高く、次いで「睦合地区」が16.1%、「厚木地区」が13.2%、「依知地区」が13.1%となっている。

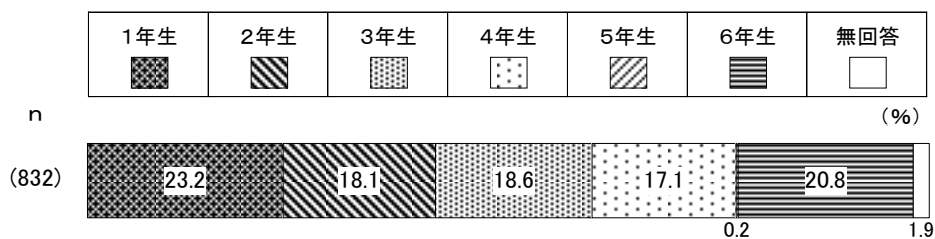


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの学年

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

宛名の子どもの学年は、「1年生」が23.2%で最も高く、次いで「6年生」が20.8%、「3年生」が18.6%、「2年生」が18.1%となっている。



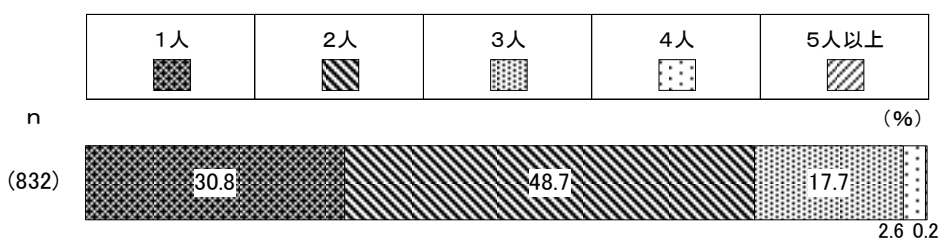
(2) 宛名の子どものきょうだい数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

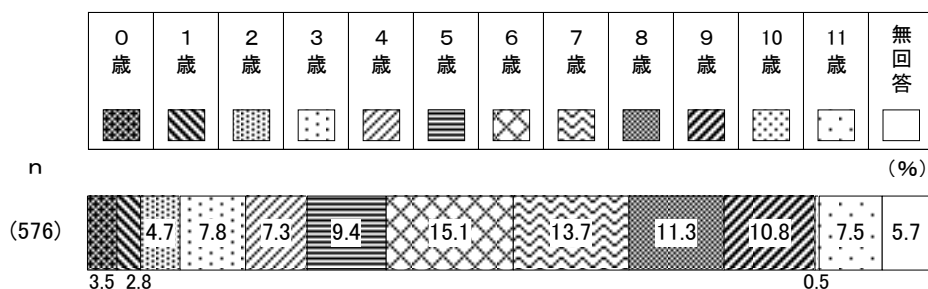
宛名の子どものきょうだい数は、「2人」が48.7%で最も高く、次いで「1人」が30.8%、「3人」が17.7%となっている。

末子の年齢は、「6歳」が15.1%で最も高く、次いで「7歳」が13.7%、「8歳」が11.3%、「9歳」が10.8%となっている。

【きょうだい数】



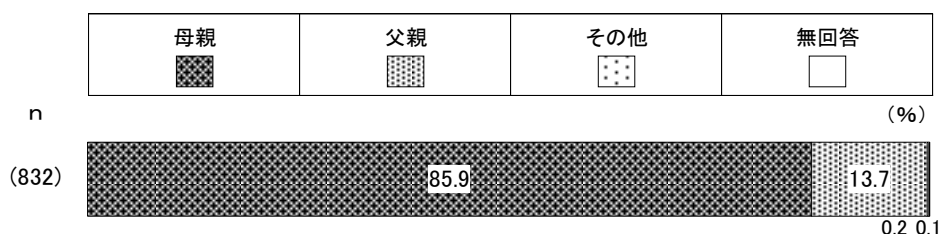
【末子の年齢】



(3) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

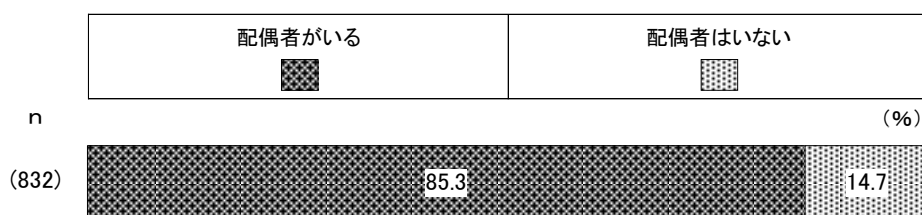
調査票の記入者は、「母親」が85.9%、「父親」は13.7%となっている。



(4) 記入者の配偶者有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の記入者の配偶者有無は、「配偶者がいる」が85.3%、「配偶者はいない」は14.7%となっている。

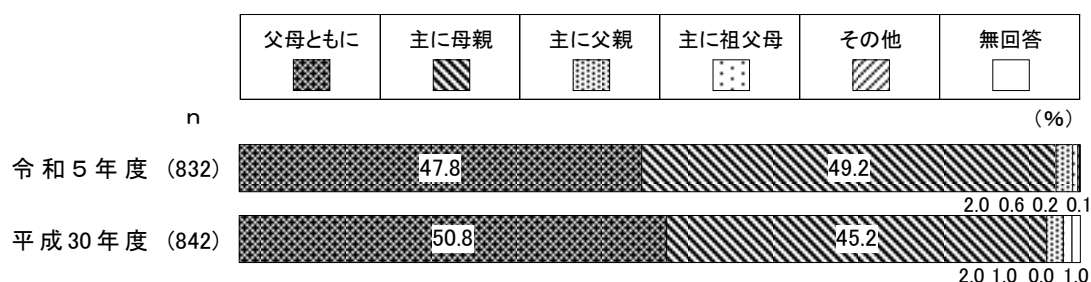


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「主に母親」が49.2%で最も高く、次いで「父母ともに」が47.8%となっている。

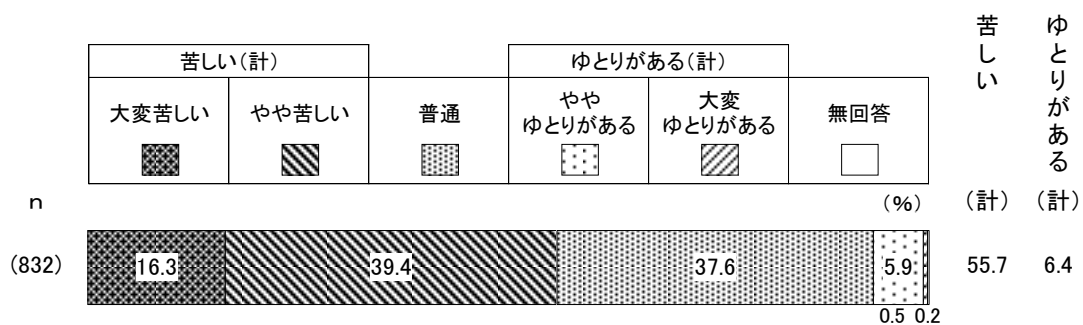
平成30年度調査と比較すると、「主に母親」は4.0ポイント増加している。一方、「父母ともに」は3.0ポイント減少している。



(6) 現在の暮らしの状況

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

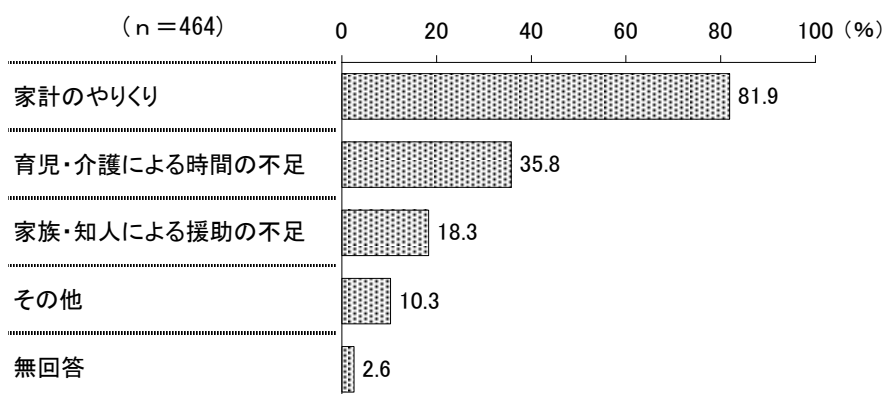
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」（16.3%）と「やや苦しい」（39.4%）を合わせた『苦しい（計）』は55.7%となっている。一方、「ややゆとりがある」（5.9%）と「大変ゆとりがある」（0.5%）を合わせた『ゆとりがある（計）』は6.4%となっている。また、「普通」は37.6%となっている。



(7) 暮らしの状況が苦しい理由

問8 問7で「大変苦しい」または「やや苦しい」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

暮らしの状況が苦しい理由は、「家計のやりくり」が81.9%で最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」が35.8%、「家族・知人による援助の不足」が18.3%となっている。



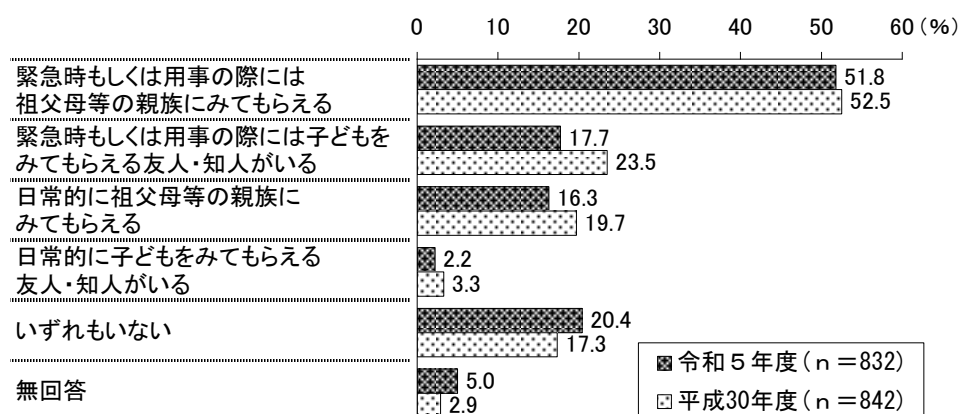
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.8%で最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が17.7%となっている。

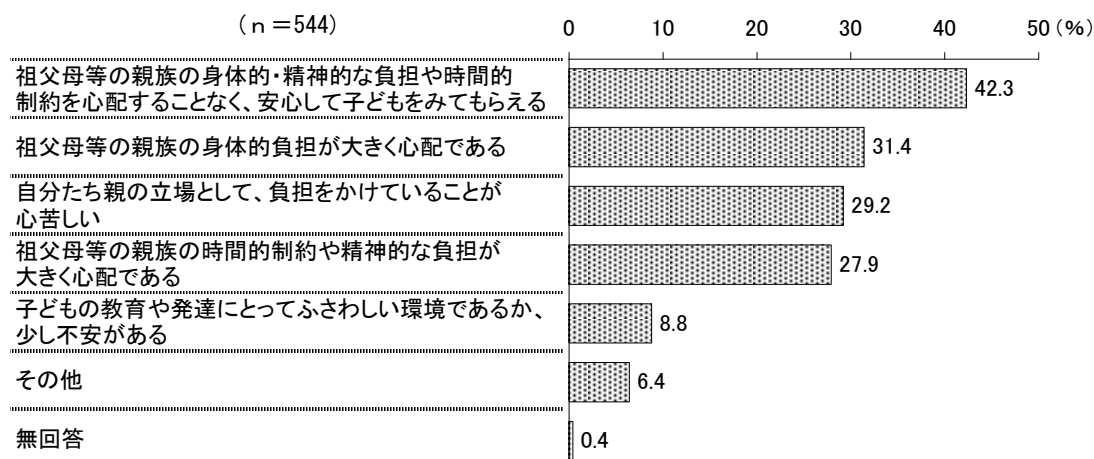
平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は5.8ポイント減少している。



(2) 親族に子どもをみてもらっている状況

問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

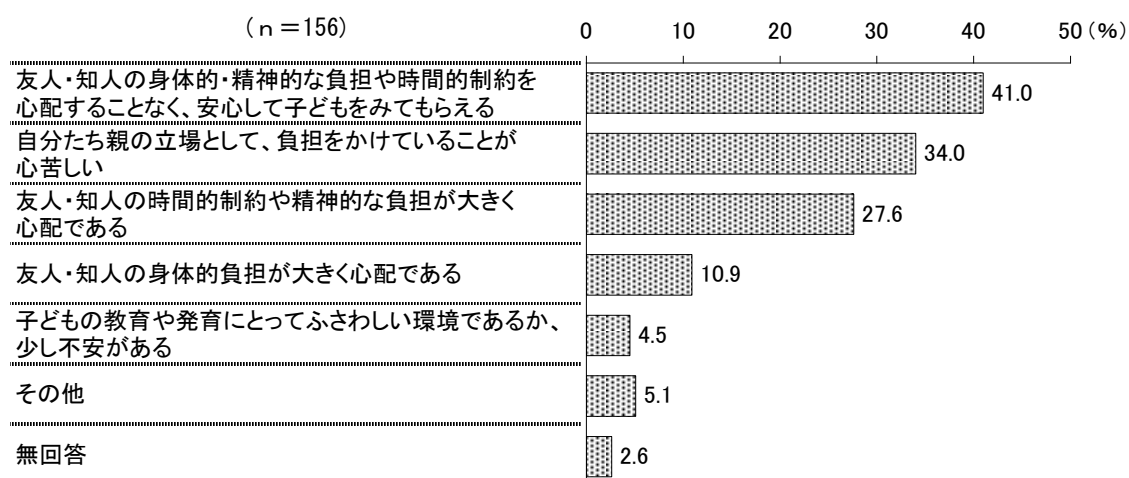
親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.3%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が31.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.2%となっている。



(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が41.0%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が34.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が27.6%となっている。

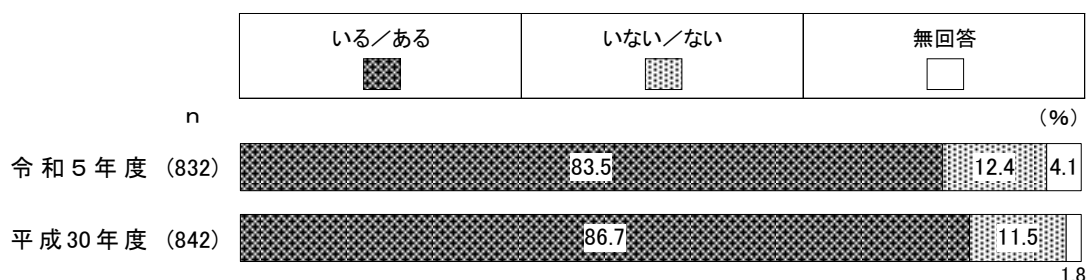


(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる／ある」が83.5%、「いない／ない」は12.4%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」は3.2ポイント減少している。

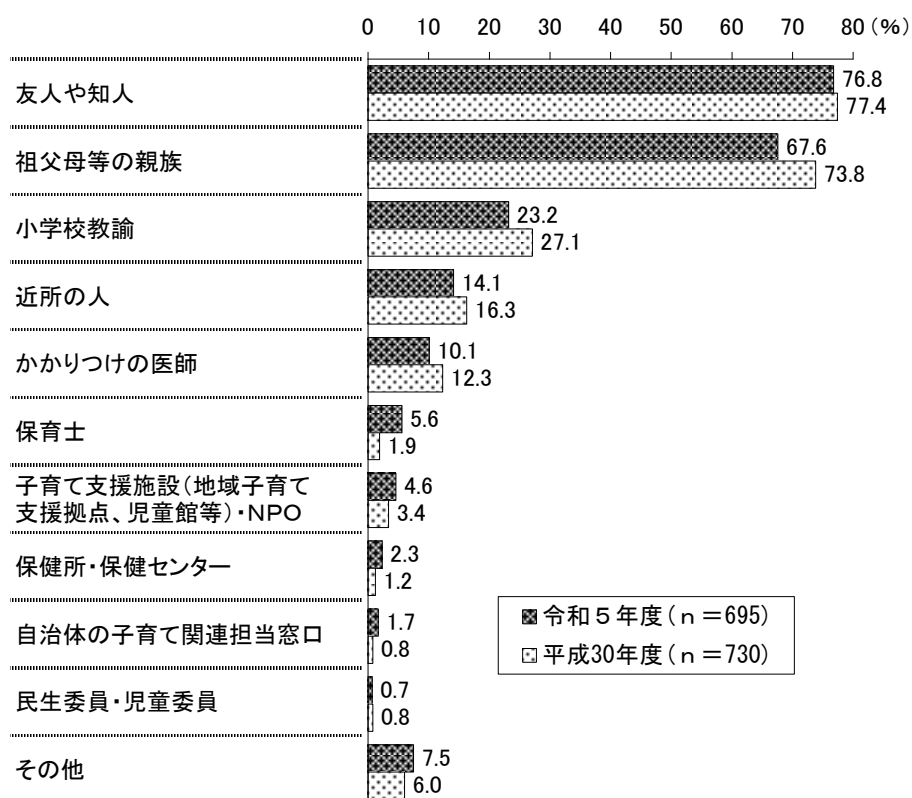


(5) 子育てに関しての相談先

問10ー1 問10で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関しての相談先は、「友人や知人」が76.8%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が67.6%、「小学校教諭」が23.2%、「近所の人」が14.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育士」は3.7ポイント増加している。一方、「祖父母等の親族」は6.2ポイント、「小学校教諭」は3.9ポイント、それぞれ減少している。



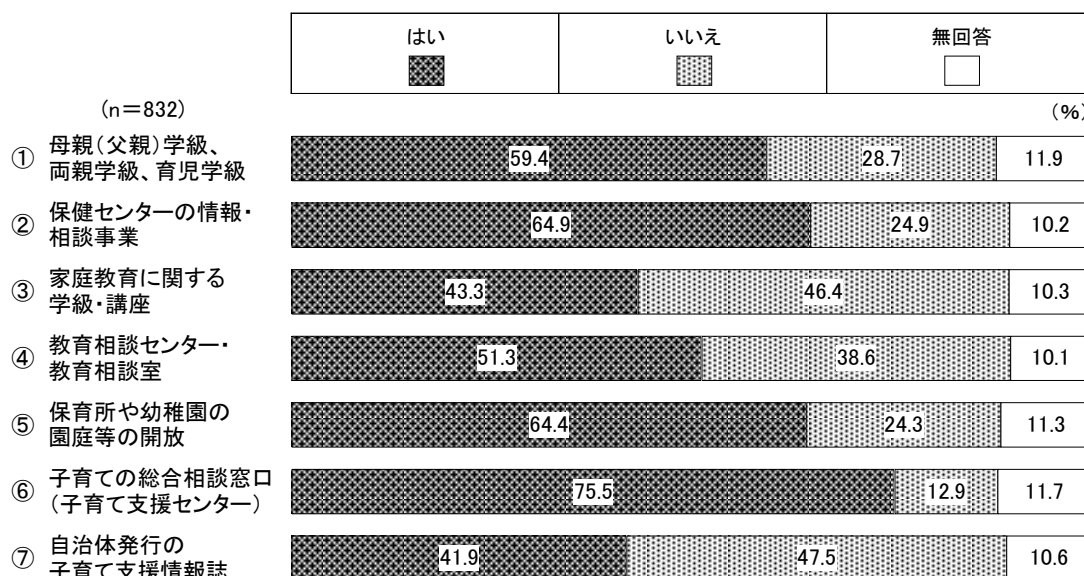
(6) 子育て支援事業の利用状況

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

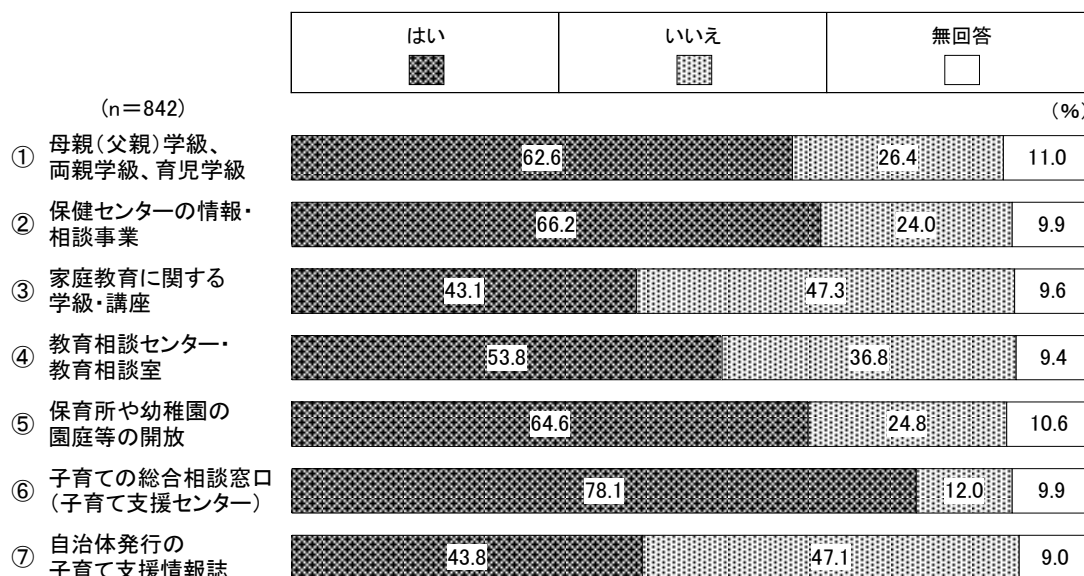
子育て支援事業の認知度について、「知っている（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で75.5%と最も高くなっている。一方、「知らない（いいえ）」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で47.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「知っている」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で3.2ポイント減少している。

【A 認知度（知っている）】



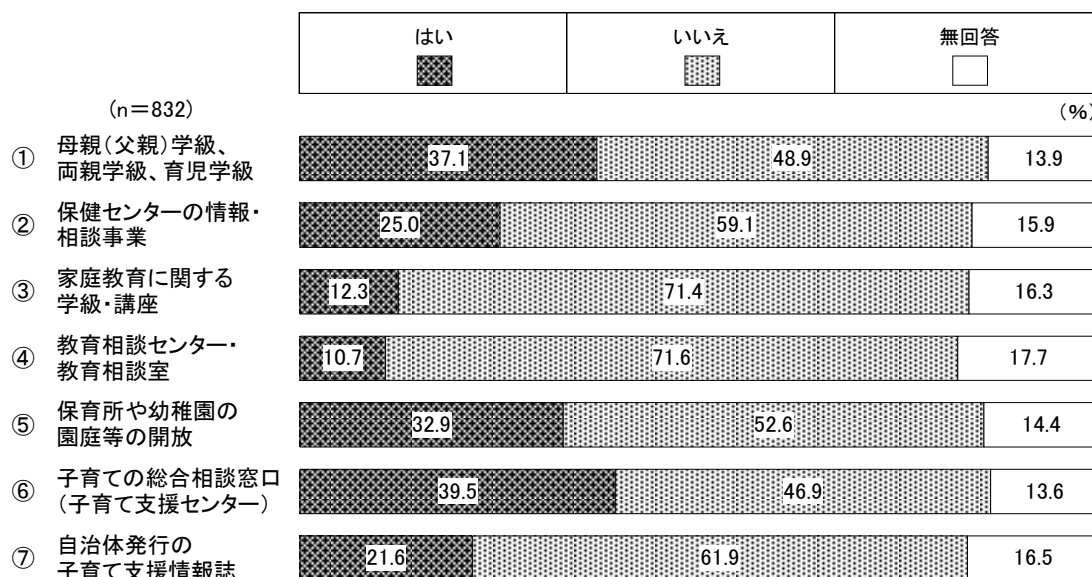
<平成30年度調査>



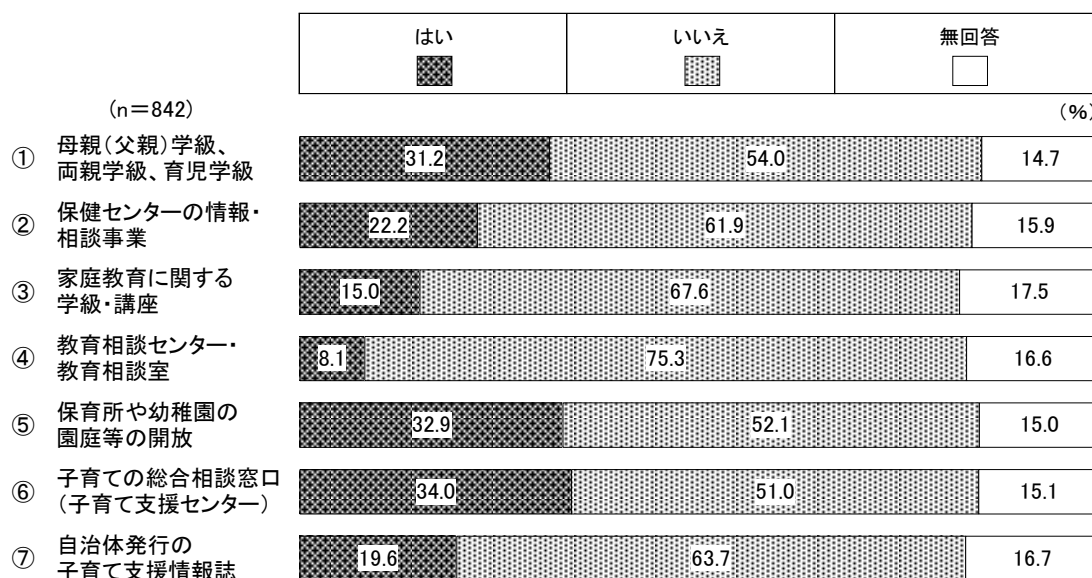
子育て支援事業の利用状況について、「これまでに利用したことがある（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で39.5%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（いいえ）」は“教育相談センター・教育相談室”で71.6%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「これまでに利用したことがある」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で5.9ポイント、“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で5.5ポイント、それぞれ増加している。

【B 利用状況（これまでに利用したことがある）】



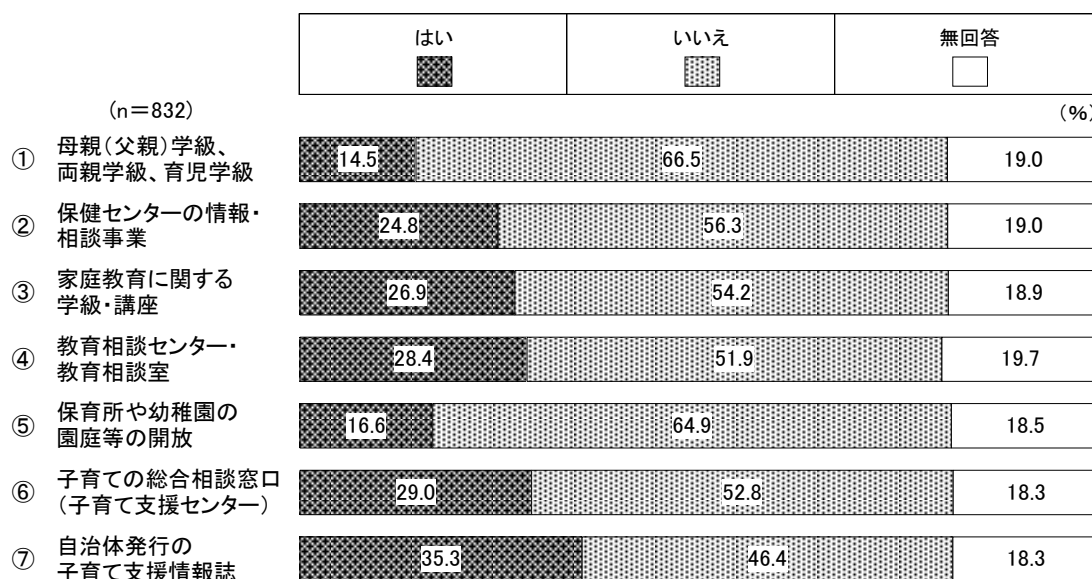
<平成30年度調査>



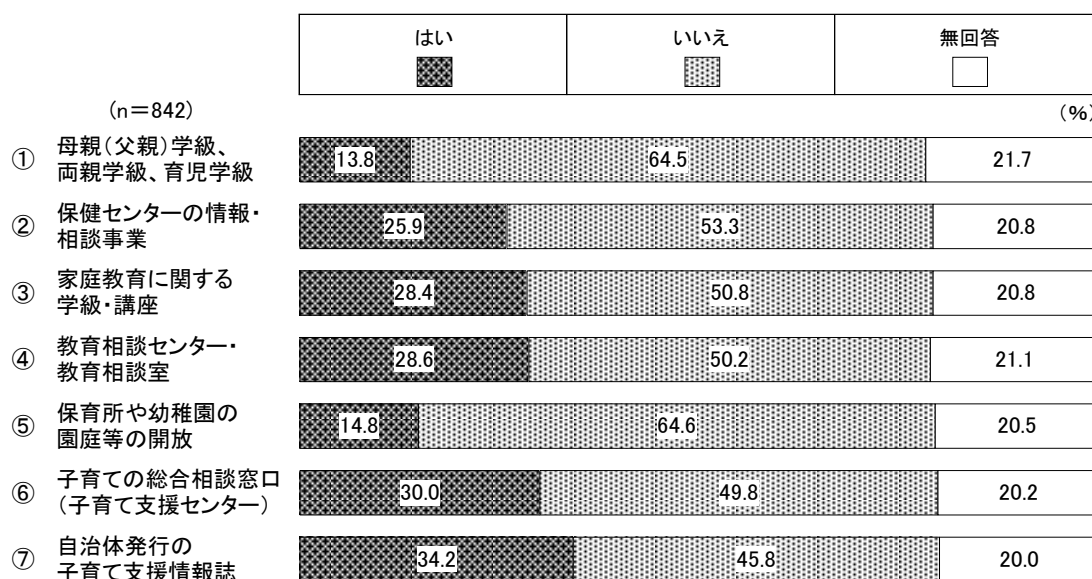
子育て支援事業の利用意向について、「今後利用したい（はい）」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で35.3%と最も高くなっている。一方、「利用したくない（いいえ）」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で66.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」は“家庭教育に関する学級・講座”で3.4ポイント、“保健センターの情報・相談事業”で3.0ポイント、それぞれ増加している。

【C 利用意向（今後利用したい）】



＜平成30年度調査＞

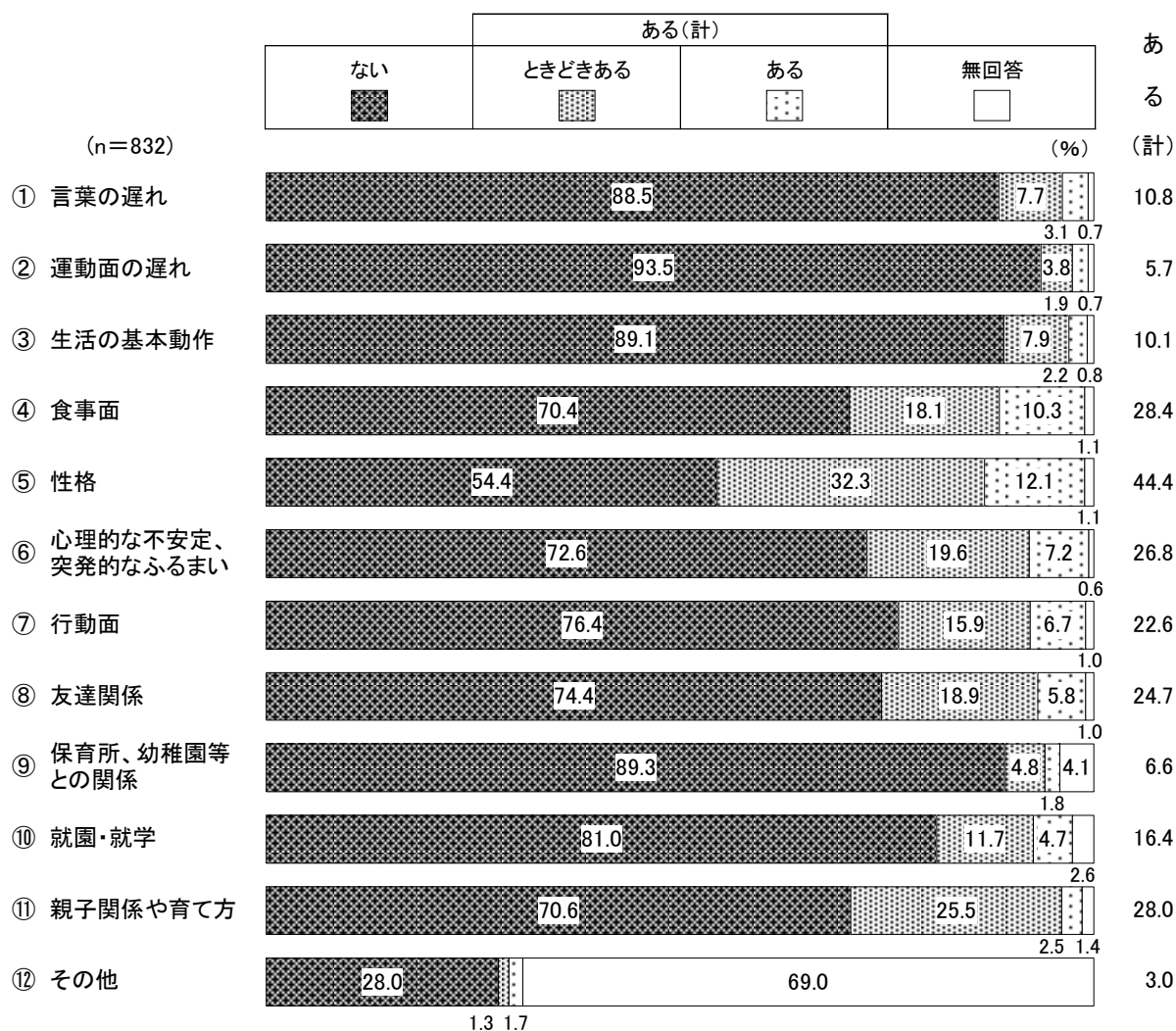


(7) 子どもの発達や育ちについて気になること

問12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

子どもの発達や育ちについて気になることが、「ない」は“運動面の遅れ”で93.5%と最も高く、次いで“保育所、幼稚園等との関係”で89.3%、“生活の基本動作”で89.1%となっている。

一方、「ときどきある」と「ある」を合わせた『ある(計)』は“性格”で44.4%と最も高く、次いで“食事面”で28.4%、“親子関係や育て方”で28.0%となっている。



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

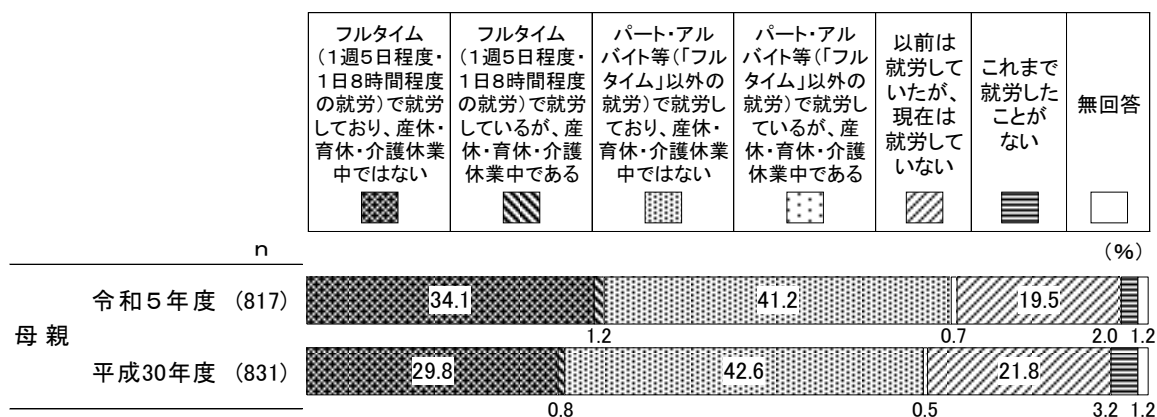
保護者の現在の就労状況は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が41.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4.3ポイント増加している。

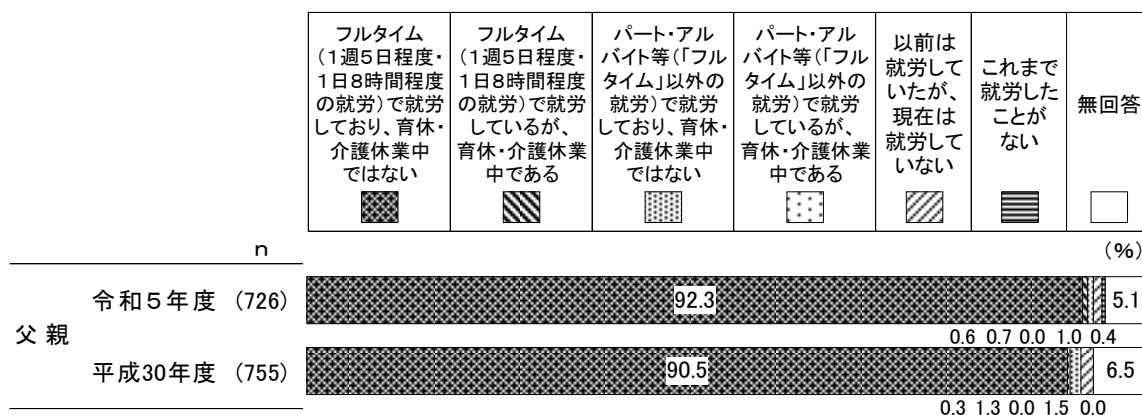
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が92.3%で最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(1) 母親



(2) 父親



(2) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間

問13-1 問13で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数は、母親では、「5日」が50.5%で最も高く、次いで「4日」が21.2%、「3日」が14.4%となっている。

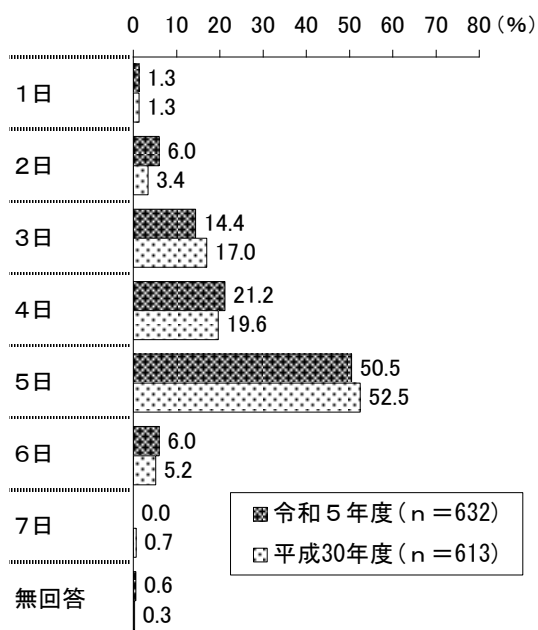
平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

父親では、「5日」が77.8%で最も高く、次いで「6日」が17.2%、「3日」が1.5%となっている。

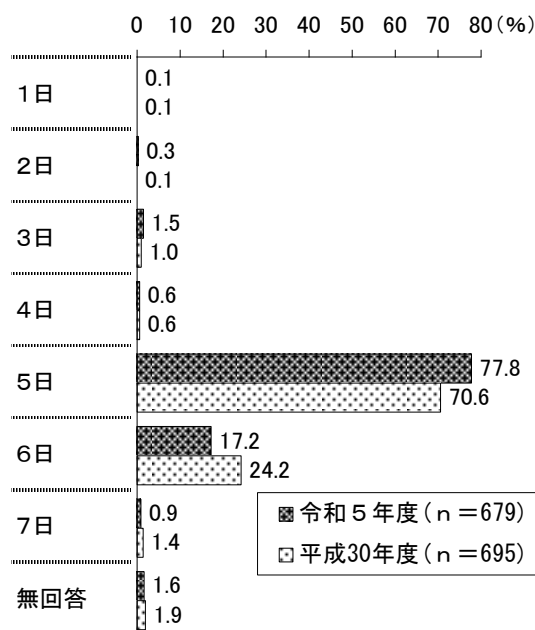
平成30年度調査と比較すると、「5日」は7.2ポイント増加している。一方、「6日」は7.0ポイント減少している。

【1週当たりの就労日数】

(1) 母親



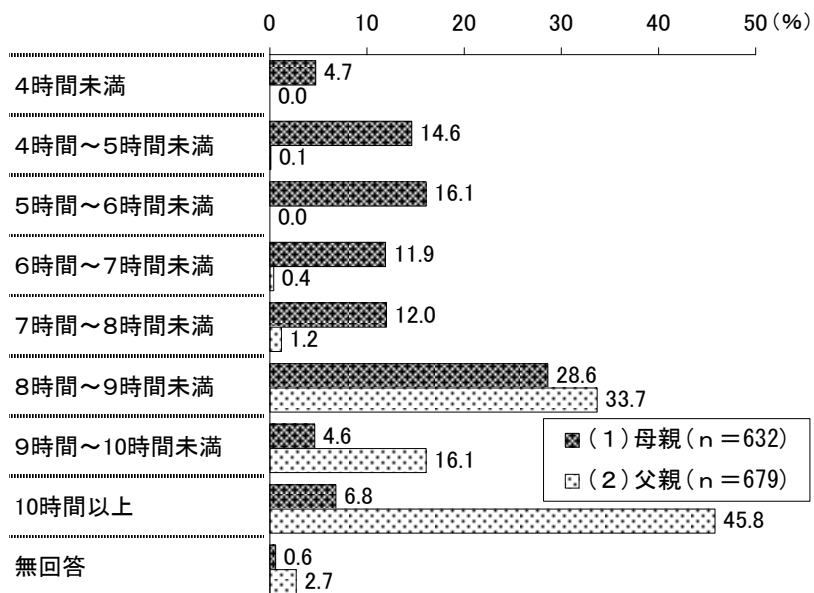
(2) 父親



1日当たりの就労時間は、母親では、「8時間～9時間未満」が28.6%で最も高く、次いで「5時間～6時間未満」が16.1%、「4時間～5時間未満」が14.6%となっている。

父親では、「10時間以上」が45.8%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が33.7%、「9時間～10時間未満」が16.1%となっている。

【1日当たりの就労時間】



(3) 家を出る時刻と帰宅時刻

問13-2 問13で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

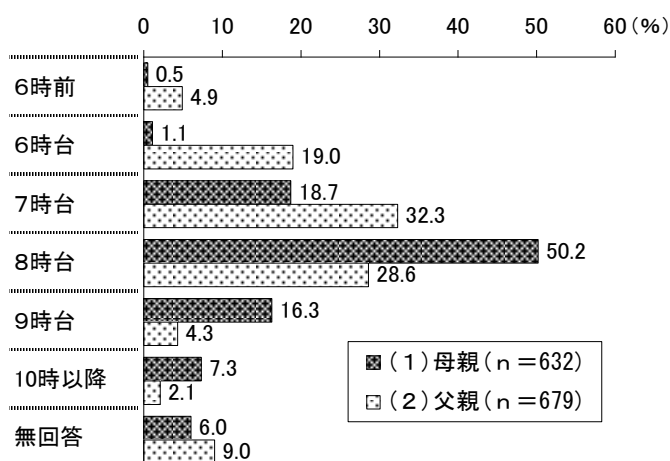
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が50.2%で最も高く、次いで「7時台」が18.7%、「9時台」が16.3%となっている。

父親では、「7時台」が32.3%で最も高く、次いで「8時台」が28.6%、「6時台」が19.0%となっている。

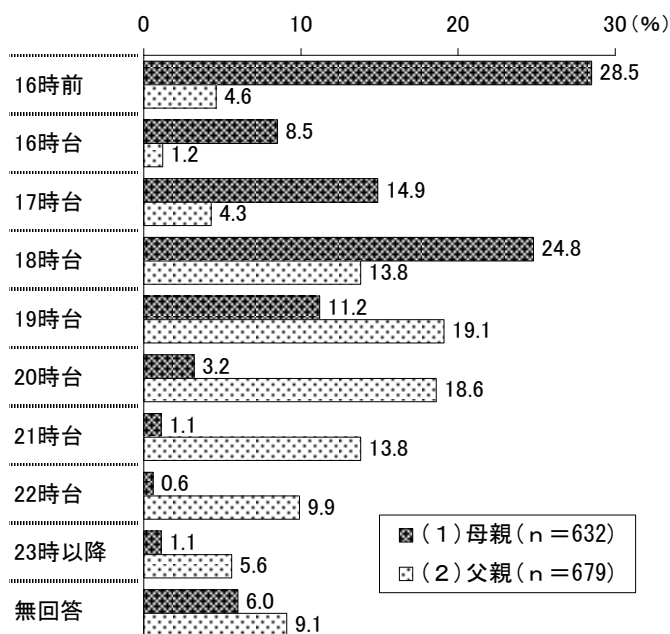
帰宅時刻は、母親では、「16時前」が28.5%で最も高く、次いで「18時台」が24.8%、「17時台」が14.9%となっている。

父親では、「19時台」が19.1%で最も高く、次いで「20時台」が18.6%、「18時台」と「21時台」がともに13.8%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

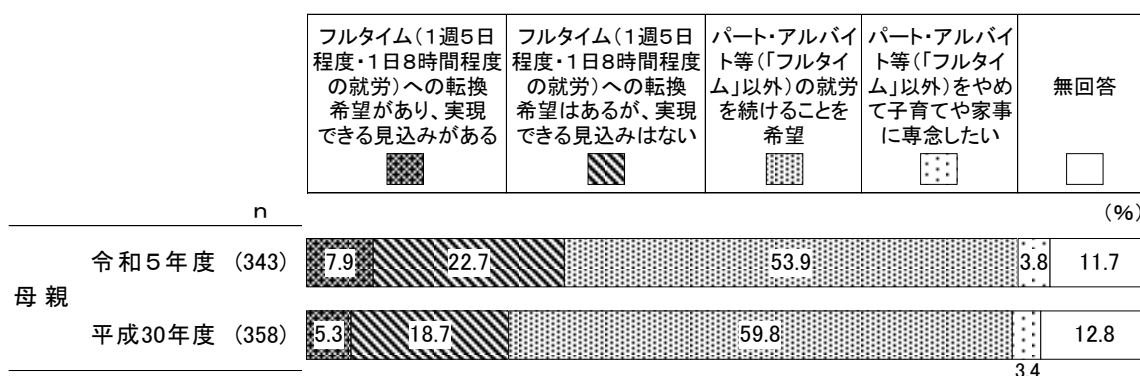
問14 問13で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が53.9%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は4.0ポイント増加している。一方、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」は5.9ポイント減少している。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ1件ずつ、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が3件となっている。

(1) 母親



(5) 未就労者の今後の就労意向

問15 問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

未就労者の今後の就労意向は、母親では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が32.6%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに28.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は10.0ポイント増加している。一方、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は6.5ポイント減少している。

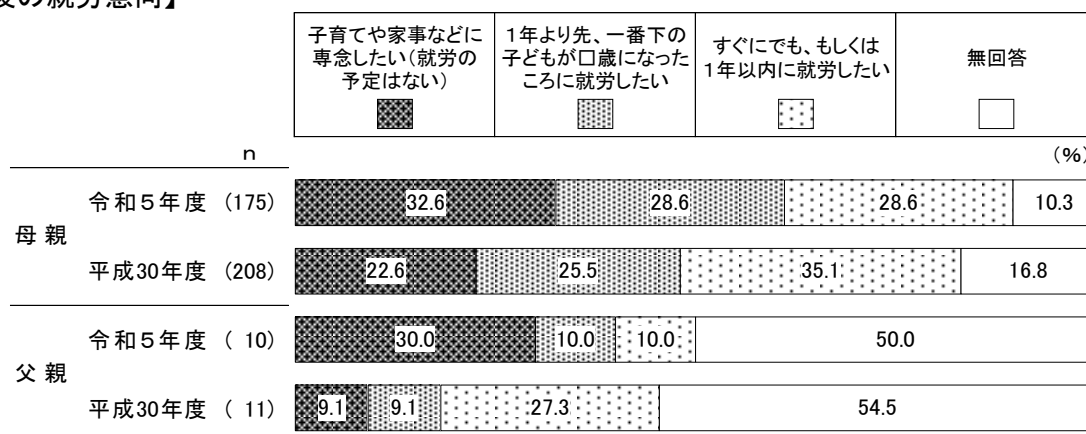
父親では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が30.0%で最も高くなっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

就労を希望するときの末子の年齢は、母親では、「6歳～7歳」が32.0%で最も高く、次いで「12歳～13歳」が16.0%、「4歳～5歳」が12.0%となっている。

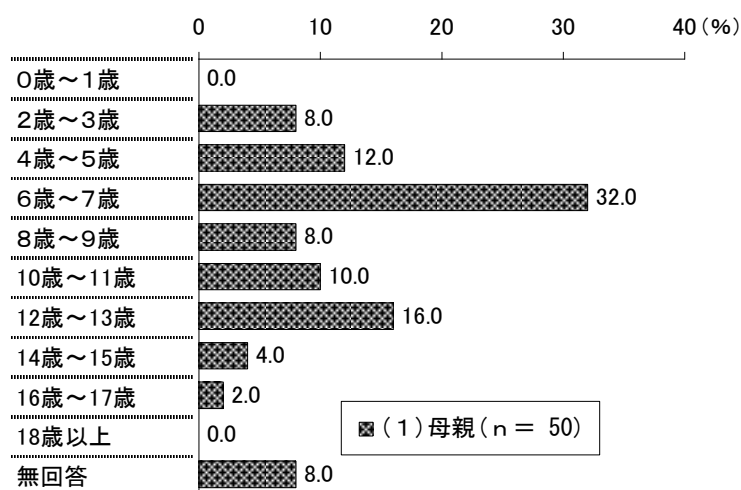
父親では、「12歳～13歳」が1件となっている。

【今後の就労意向】



【就労を希望するときの末子の年齢】

(1) 母親



希望する就労形態は、母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が10.0%、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」は90.0%となっている。

父親では、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」が1件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数は、母親では、「3日」が57.8%で最も高く、次いで「4日」が22.2%、「2日」が15.6%となっている。

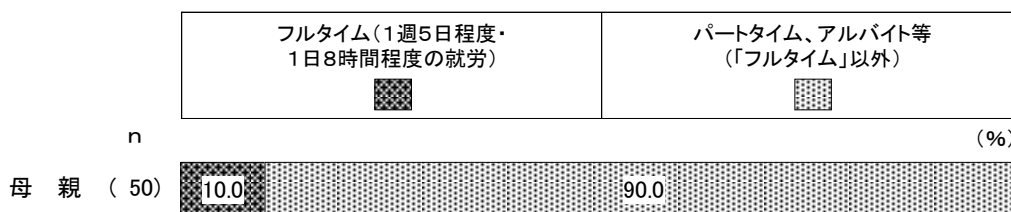
父親では、「5日」が1件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間は、母親では、「5時間～6時間未満」が42.2%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が37.8%、「6時間～7時間未満」が15.6%となっている。

父親では、「4時間～5時間未満」が1件となっている。

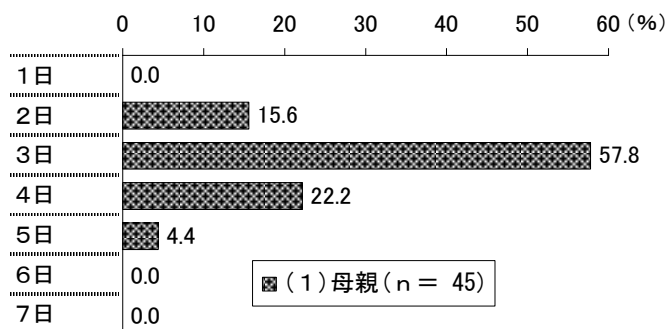
【希望する就労形態】

（1）母親



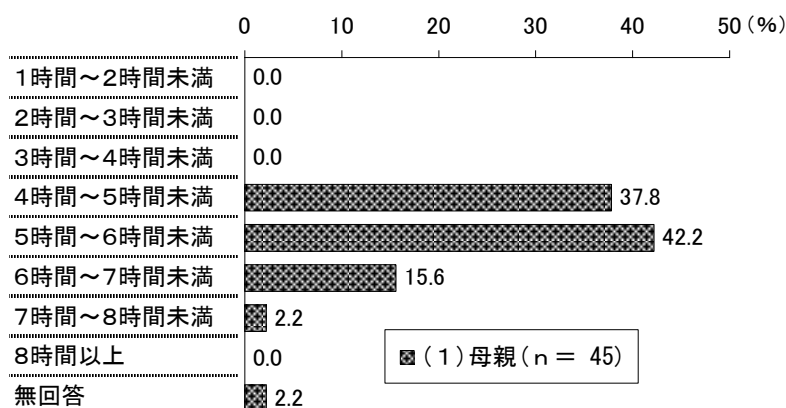
【パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数】

（1）母親



【パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間】

（1）母親

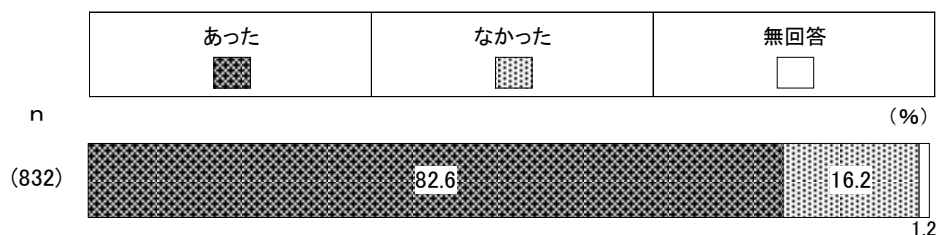


5. 病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無

問16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。

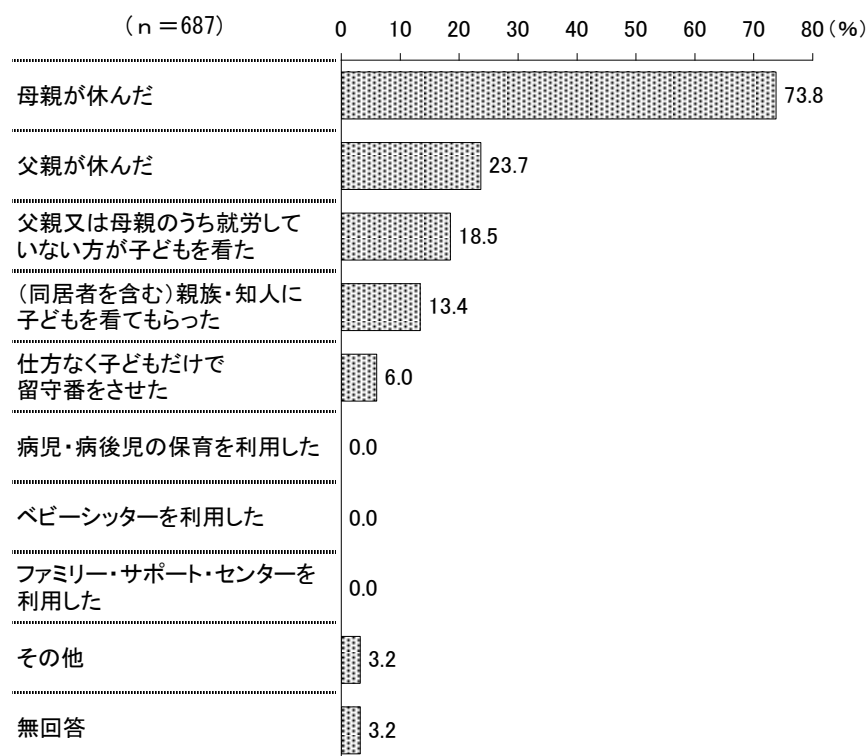
この1年間に子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無は、「あった」が82.6%、「なかった」は16.2%となっている。



(2) 小学校を休んだ場合の対処方法

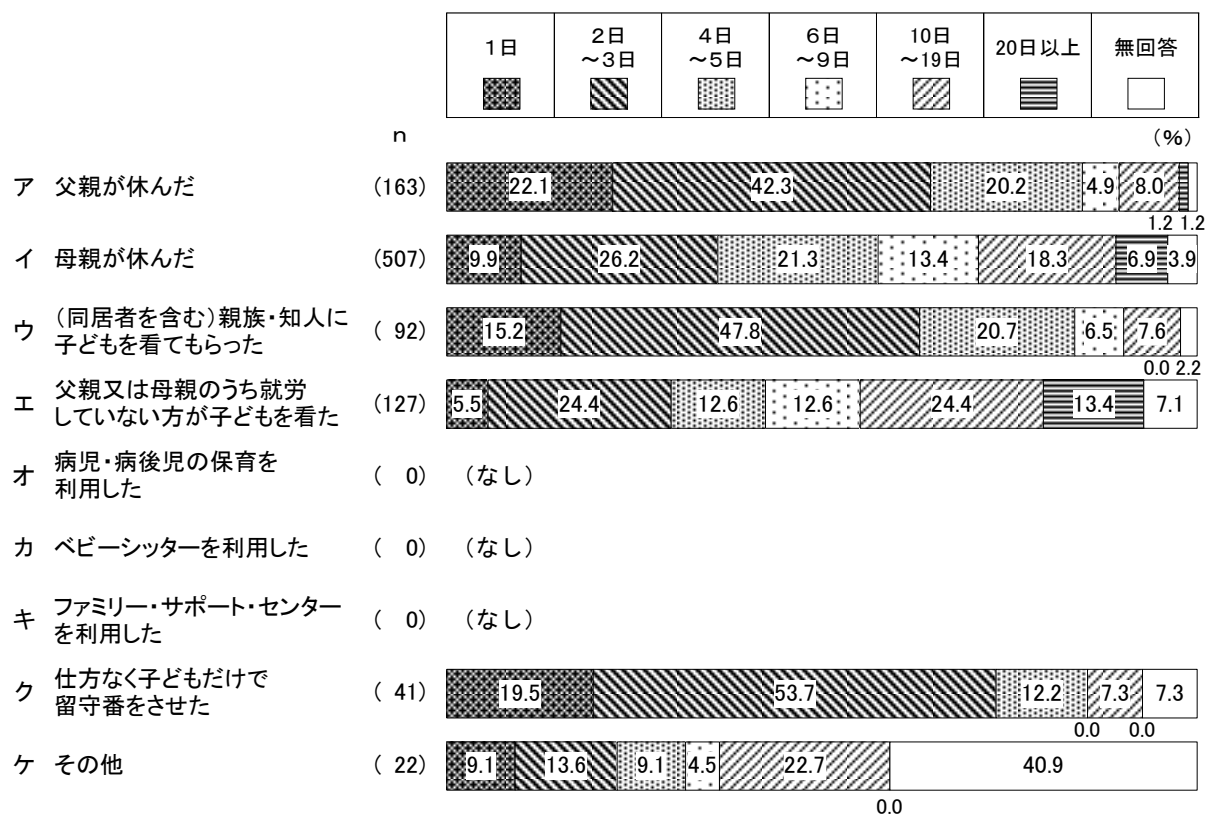
問16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

小学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が休んだ」が73.8%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が23.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が18.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が13.4%となっている。



1年間の対処方法別の日数をみると、「1日」は“父親が休んだ”で22.1%と高くなっている。「2日～3日」は“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”で53.7%と高くなっている。「10日～19日」は“父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た”で24.4%と高くなっている。

【1年間の対処方法別の日数】



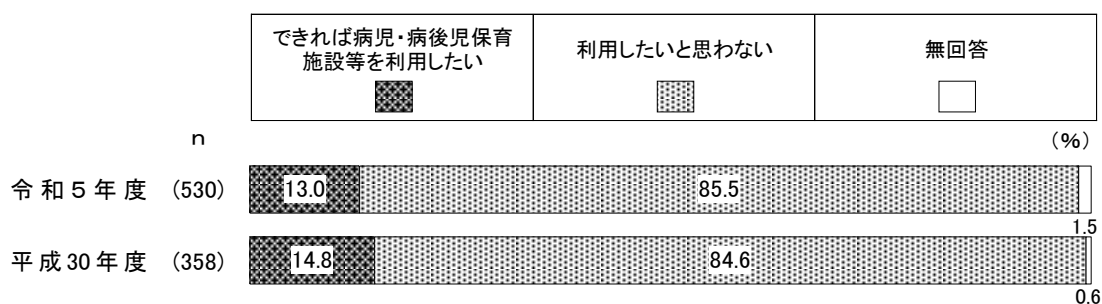
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問16-2 問16-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

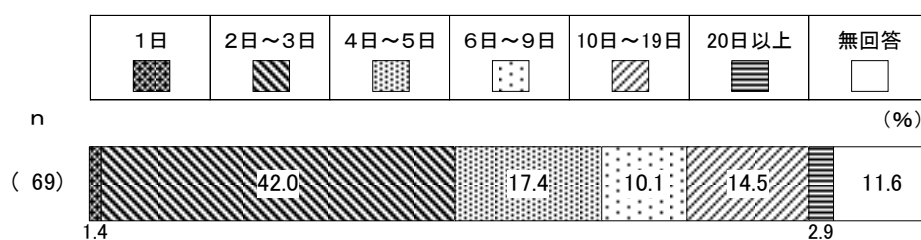
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が13.0%、「利用したいと思わない」は85.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「2日～3日」が42.0%で最も高く、次いで「4日～5日」が17.4%、「10日～19日」が14.5%、「6日～9日」が10.1%となっている。



【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

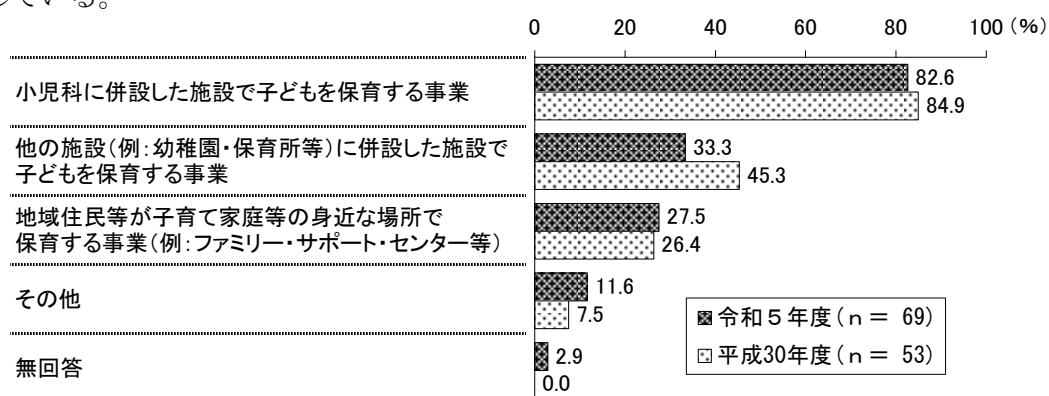


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問16－3 問16－2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方います。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が82.6%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が33.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が27.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」は12.0ポイント減少している。

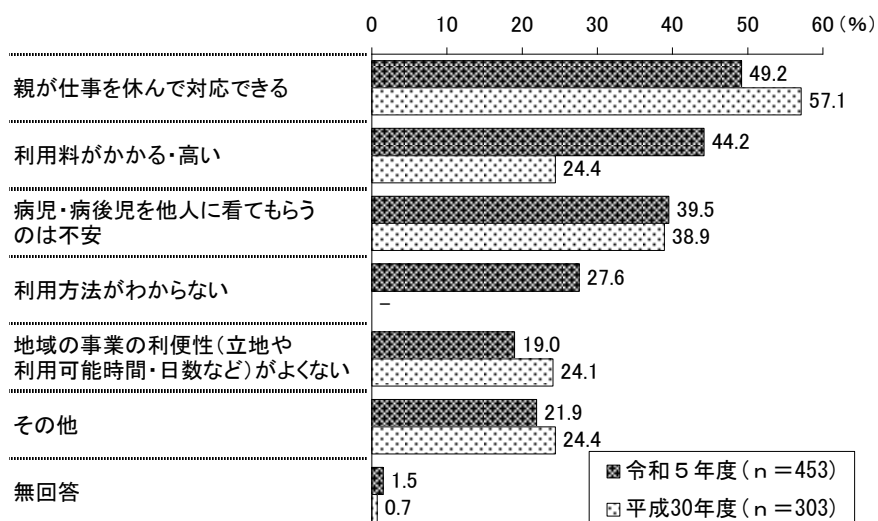


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問16－4 問16－2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応できる」が49.2%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が44.2%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は19.8ポイント増加している。一方、「親が仕事を休んで対応できる」は7.9ポイント、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」は5.1ポイント、それぞれ減少している。



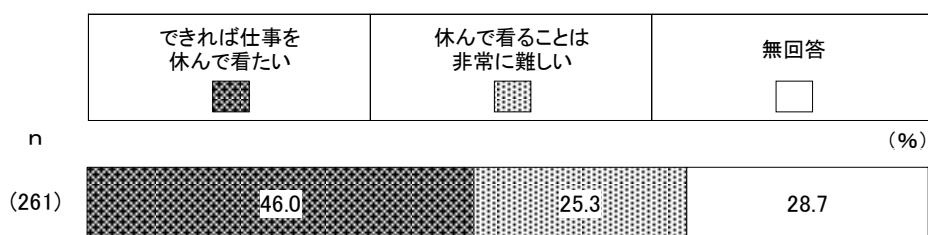
※「利用方法がわからない」は、令和5年度から追加された選択肢

(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか

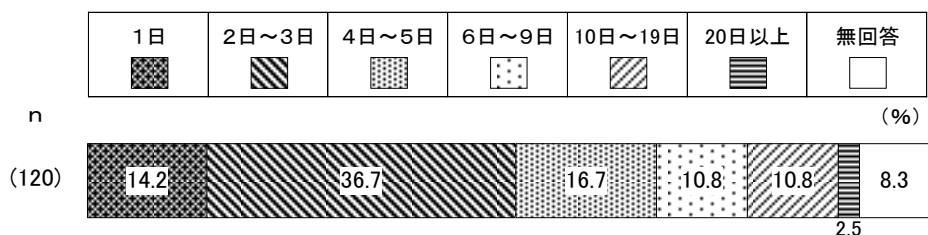
問16-5 問16-1で「父親または母親が休んだ」以外に○をつけた方に伺います。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が46.0%、「休んで看することは非常に難しい」は25.3%となっている。

仕事を休んで看たいと思った日数は、「2日～3日」が36.7%で最も高く、次いで「4日～5日」が16.7%、「1日」が14.2%となっている。



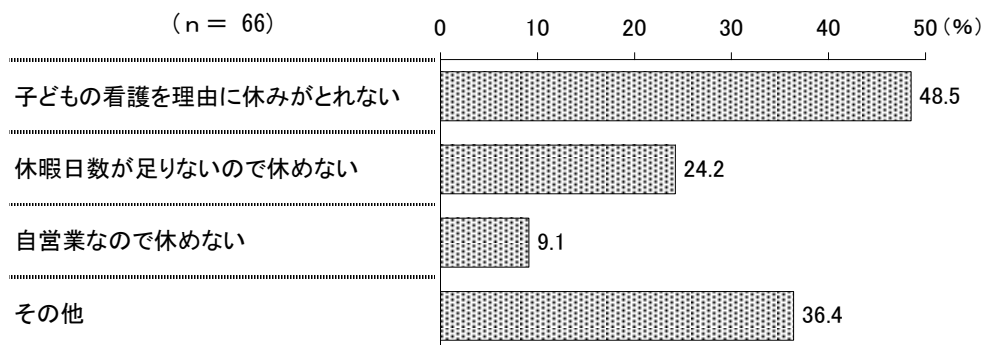
【仕事を休んで看たいと思った日数】



(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問16-6 問16-5で「休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を休んで看ることが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が48.5%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が24.2%となっている。



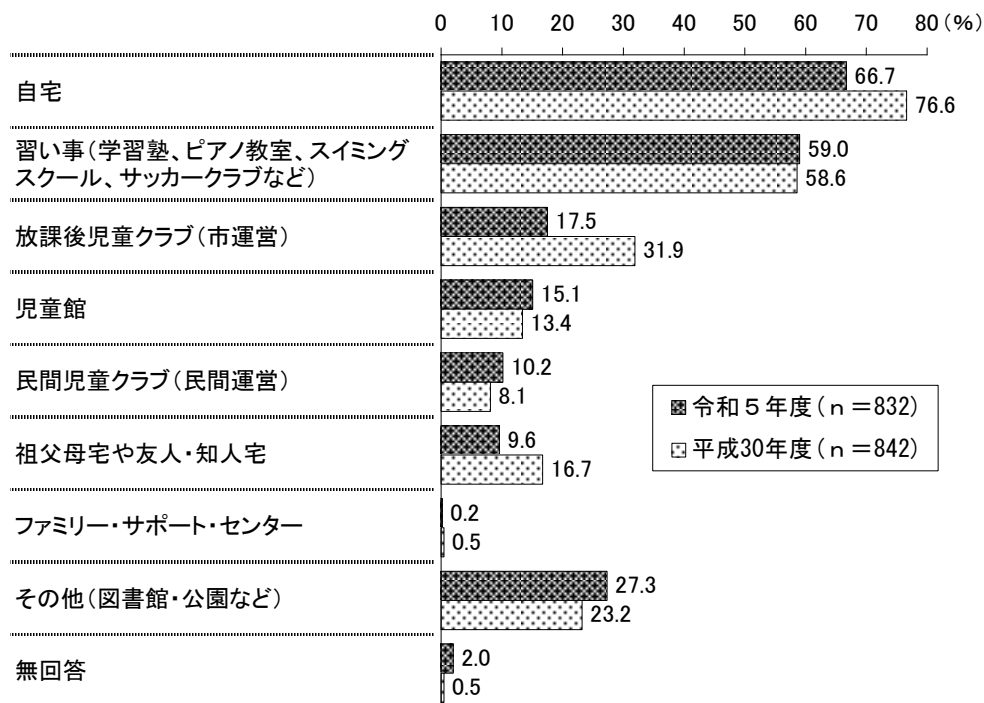
6. 子どもの放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が66.7%で最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」が59.0%、「放課後児童クラブ（市運営）」が17.5%、「児童館」が15.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（市運営）」は14.4ポイント、「自宅」は9.9ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」は7.1ポイント、それぞれ減少している。

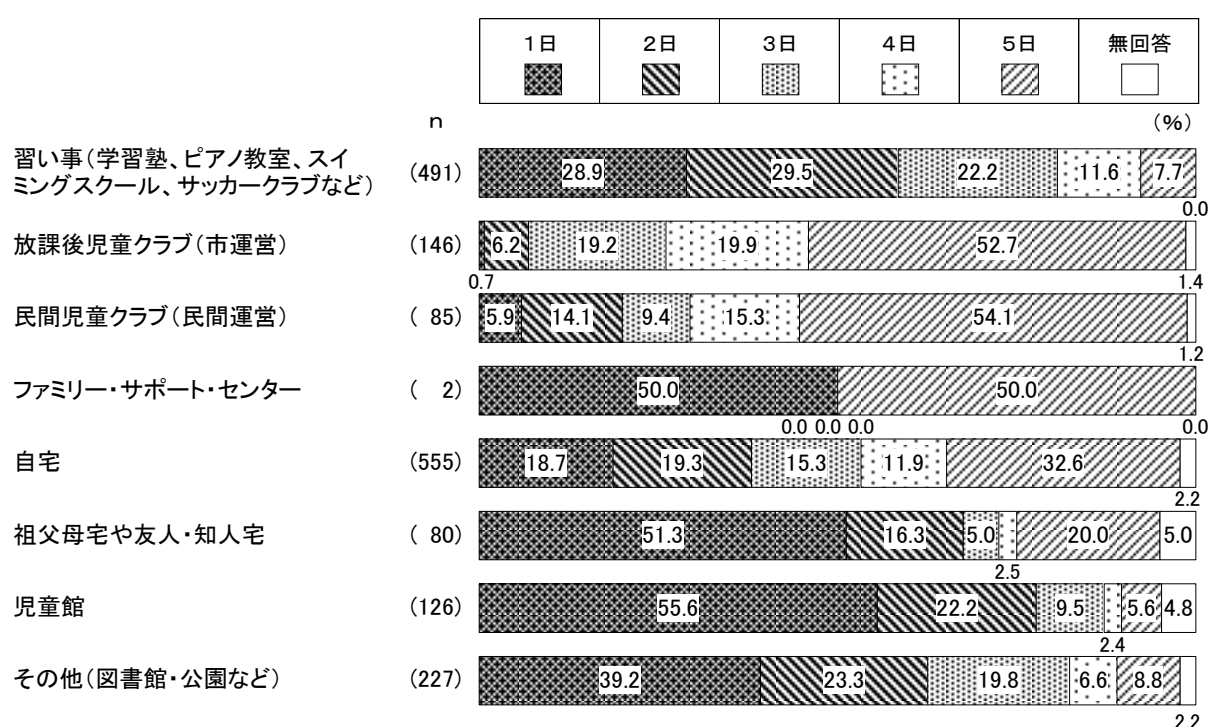


現在の放課後の過ごし方別の1週当たりの日数をみると、「1日」は“児童館”で55.6%と高くなっている。「2日」は“習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）”で29.5%と高くなっている。「5日」は“民間児童クラブ（民間運営）”で54.1%と高くなっている。

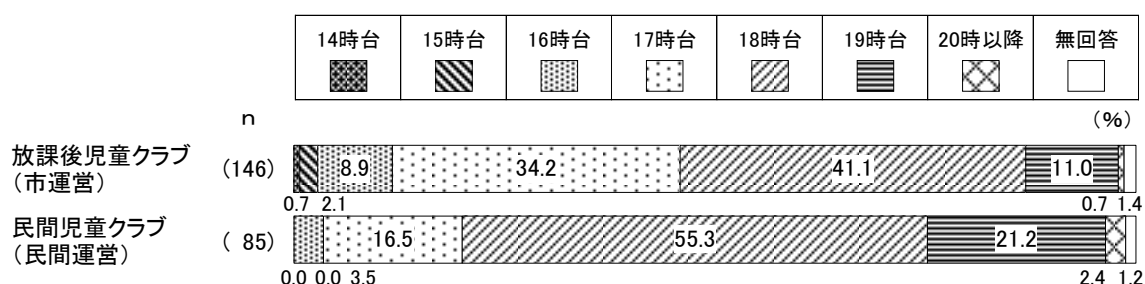
放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻は、放課後児童クラブでは、「18時台」が41.1%で最も高く、次いで「17時台」が34.2%、「19時台」が11.0%となっている。

民間児童クラブでは、「18時台」が55.3%で最も高く、次いで「19時台」が21.2%、「17時台」が16.5%となっている。

【現在の放課後の過ごし方別の1週当たりの日数】



【放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻】

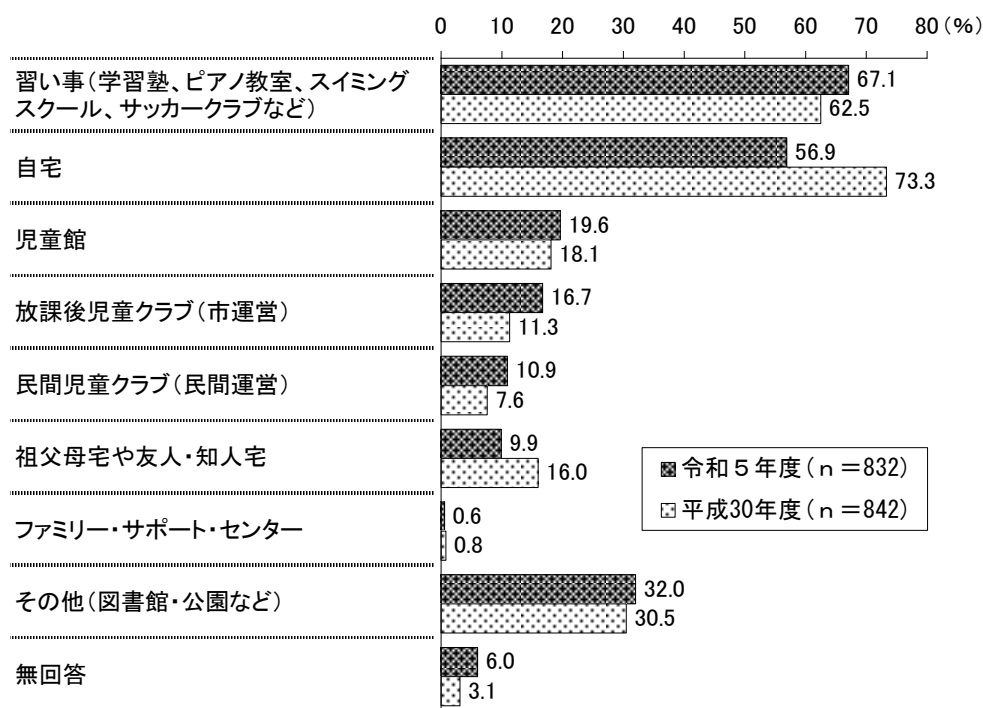


(2) 希望する放課後の過ごし方

問18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

希望する放課後の過ごし方は、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」が67.1%で最も高く、次いで「自宅」が56.9%、「児童館」が19.6%、「放課後児童クラブ（市運営）」が16.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（市運営）」は5.4ポイント、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」は4.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「自宅」は16.4ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」は6.1ポイント、それぞれ減少している。

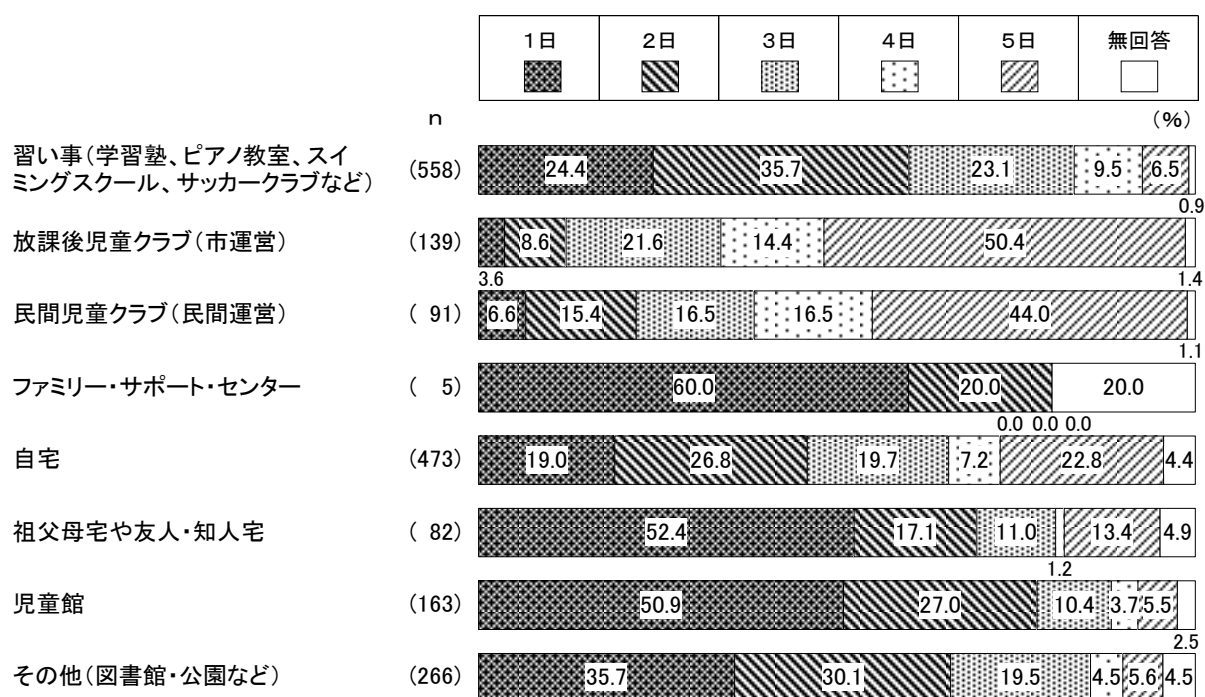


希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、「1日」は“祖父母宅や友人・知人宅”で52.4%と高くなっている。「2日」は“習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）”で35.7%と高くなっている。「5日」は“放課後児童クラブ（市運営）”で50.4%と高くなっている。

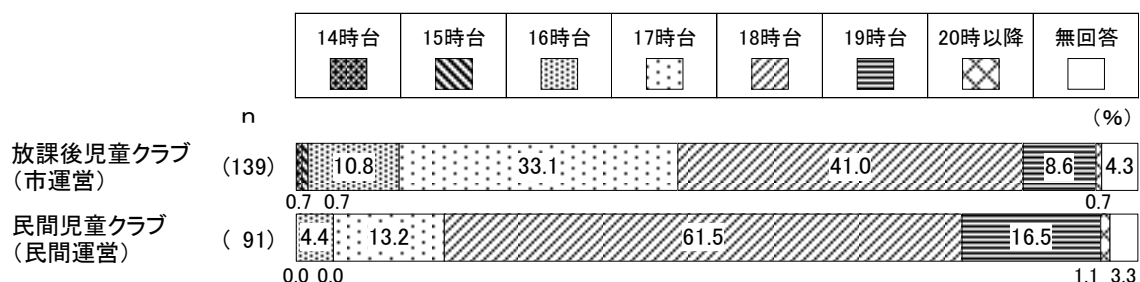
放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻は、放課後児童クラブでは、「18時台」が41.0%で最も高く、次いで「17時台」が33.1%、「16時台」が10.8%となっている。

民間児童クラブでは、「18時台」が61.5%で最も高く、次いで「19時台」が16.5%、「17時台」が13.2%となっている。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻】

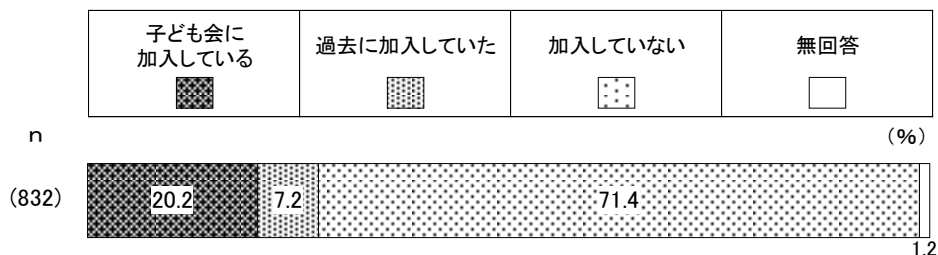


7. 子ども会について

(1) 子ども会への参加状況

問19 宛名のお子さんについて、子ども会への参加状況について当てはまる番号1つに○をつけてください。

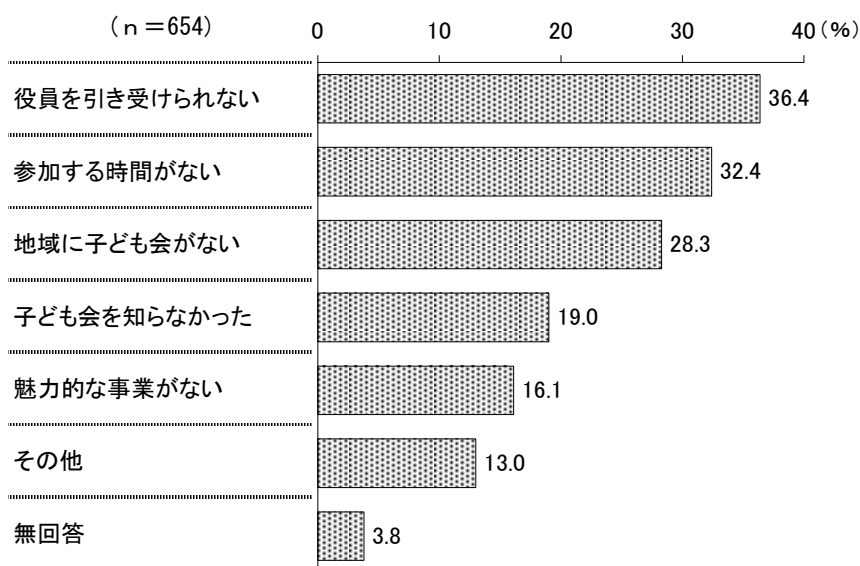
子ども会への参加状況は、「子ども会に加入している」が20.2%となっている。一方、「過去に加入していた」は7.2%、「加入していない」は71.4%となっている。



(2) 子ども会に加入していない理由

問19-1 問19で「過去に加入していた」「加入していない」に○をつけた方に伺います。当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

子ども会に加入していない理由は、「役員を引き受けられない」が36.4%で最も高く、次いで「参加する時間がない」が32.4%、「地域に子ども会がない」が28.3%、「子ども会を知らなかった」が19.0%となっている。

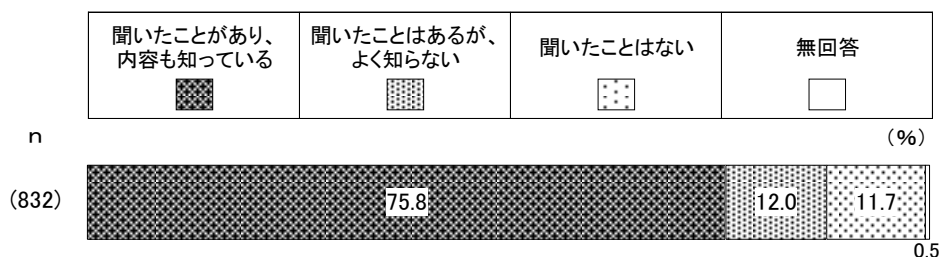


8. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度

問20 ヤングケアラーという言葉をごこれまでに聞いたことはあります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

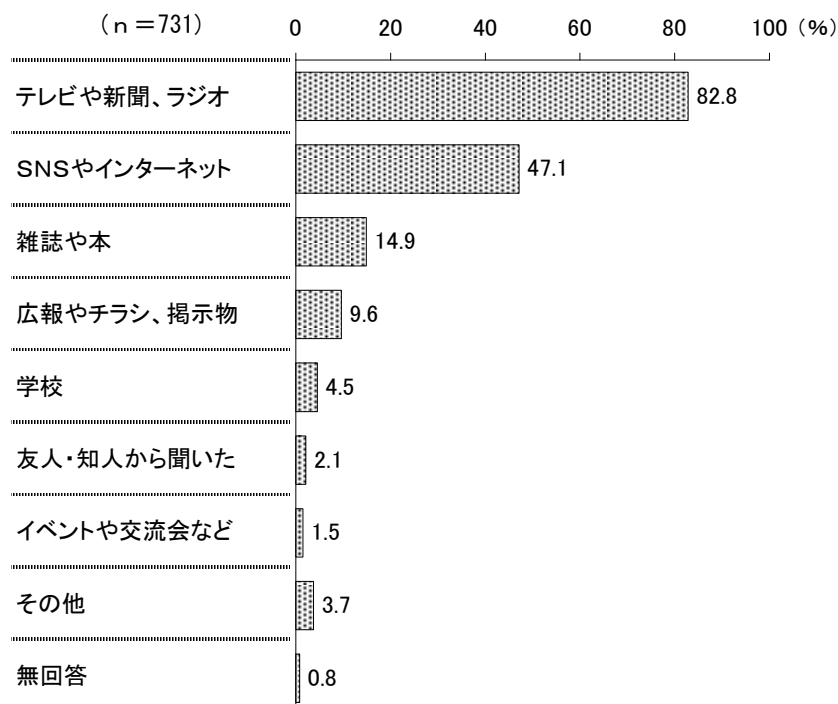
ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が75.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は12.0%となっている。一方、「聞いたことはない」は11.7%となっている。



(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問20-1 問20で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が82.8%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が47.1%、「雑誌や本」が14.9%、「広報やチラシ、掲示物」が9.6%となっている。



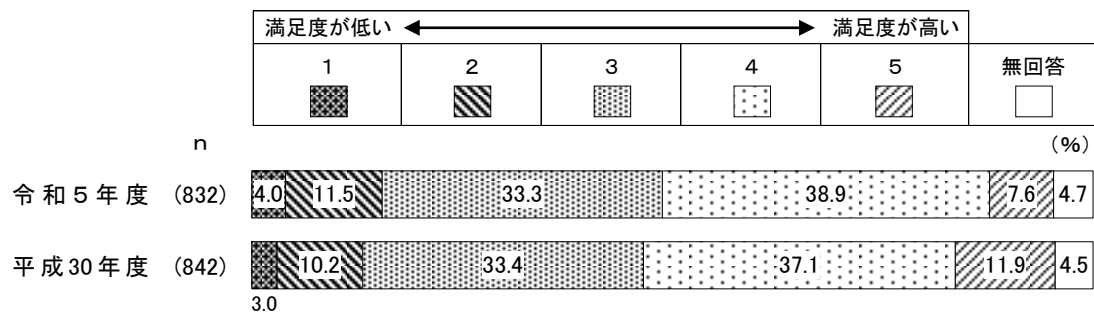
9. 厚木市の子育て環境について

(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階で見ると、「4」が38.9%で最も高く、次いで「3」が33.3%、「2」が11.5%となっている。

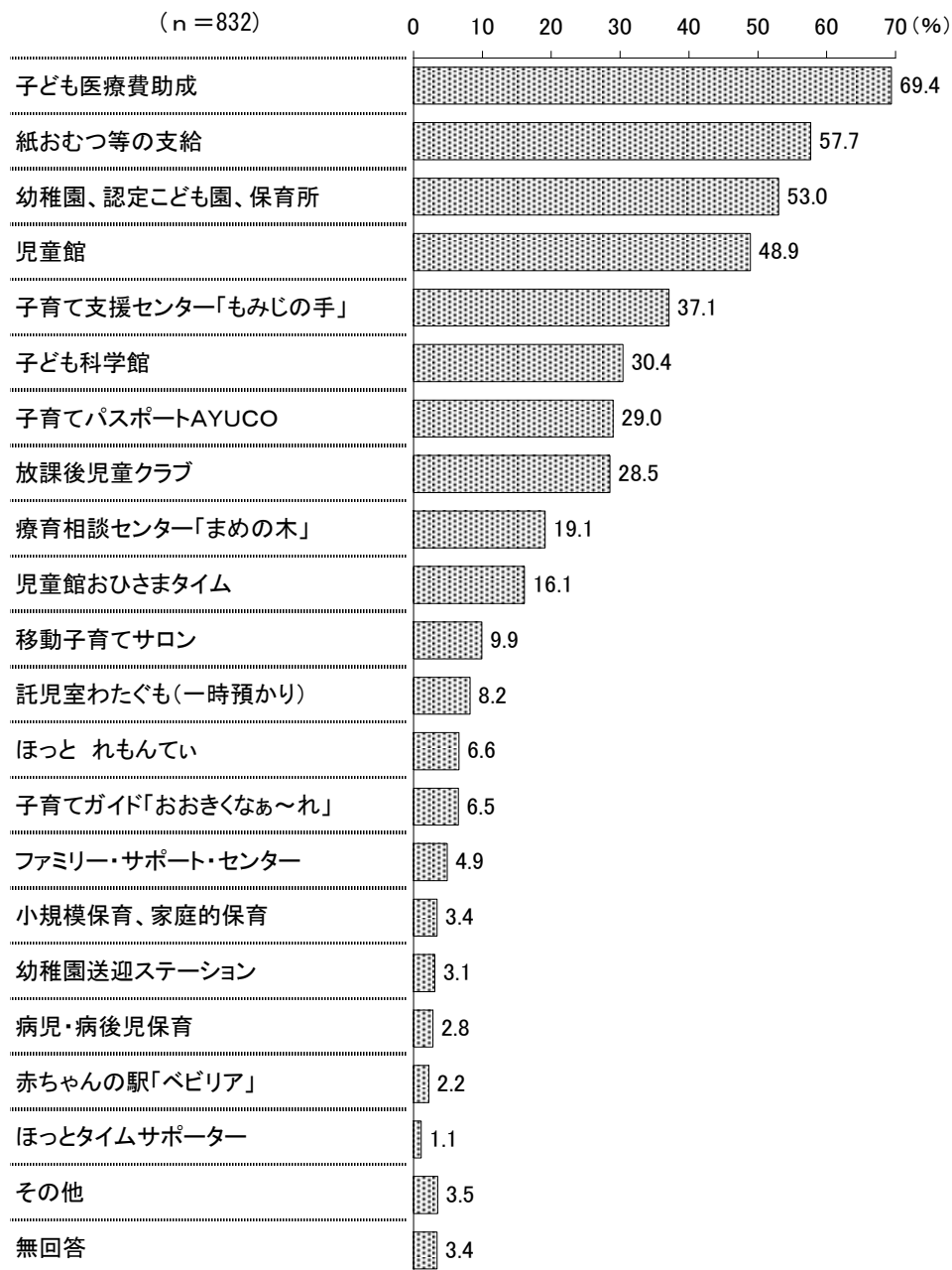
平成30年度調査と比較すると、「5」は4.3ポイント減少している。



(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業

問21-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

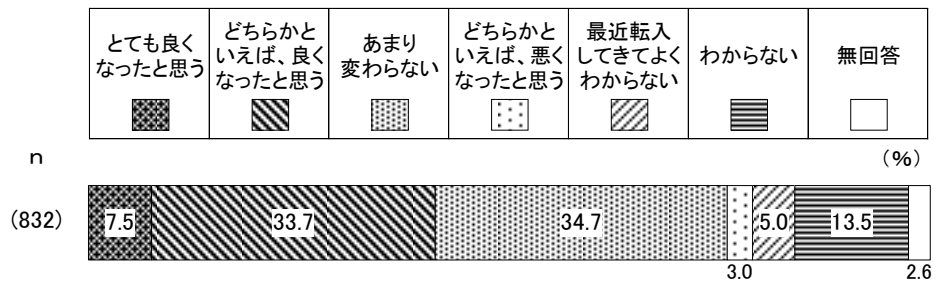
市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業は、「子ども医療費助成」が69.4%で最も高く、次いで「紙おむつ等の支給」が57.7%、「幼稚園、認定こども園、保育所」が53.0%、「児童館」が48.9%となっている。



(3) 市の子育て環境の変化

問22 以前（５年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

市の子育て環境の変化は、「とても良くなったと思う」が7.5%、「どちらかといえば、良くなったと思う」は33.7%となっている。一方、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が3.0%となっている。また、「あまり変わらない」は34.7%となっている。



IV 小学 5 年児童・中学 2 年生徒調査結果

Ⅳ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

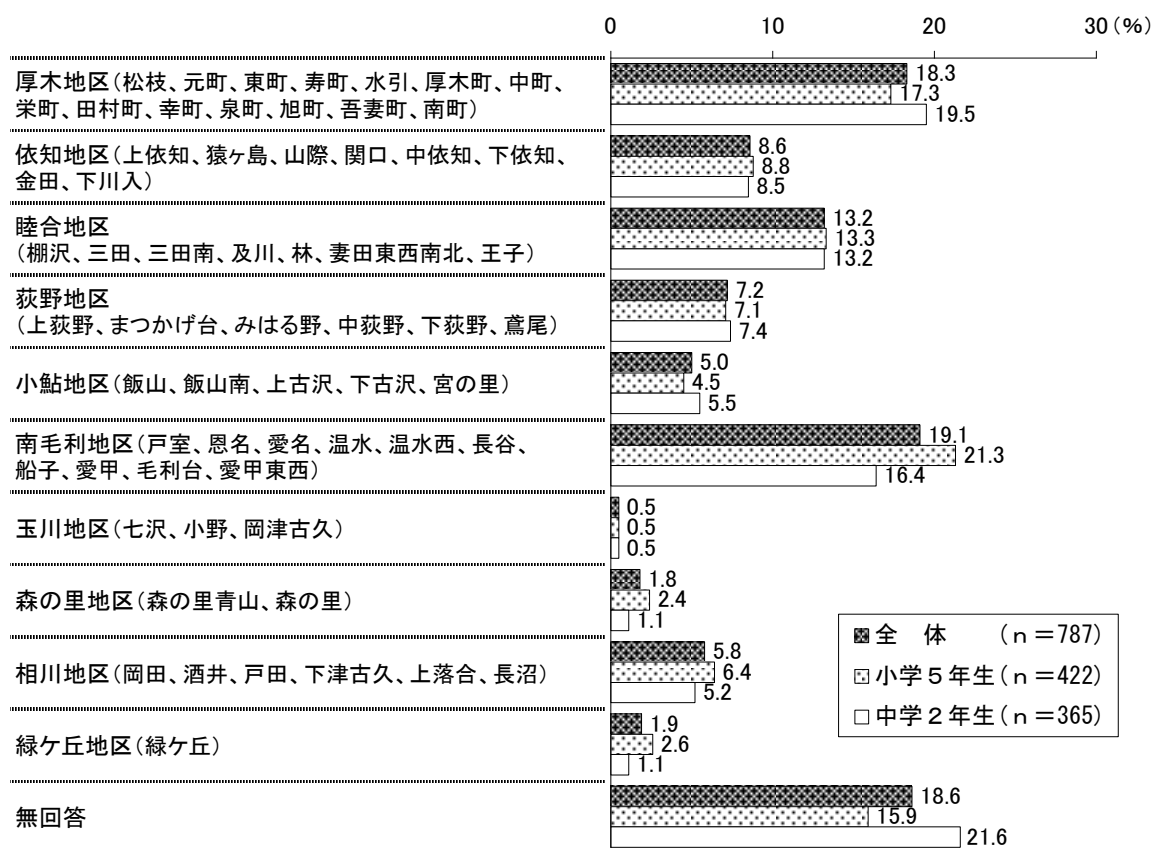
1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、全体では「南毛利地区」が19.1%で最も高く、次いで「厚木地区」が18.3%、「睦合地区」が13.2%、「依知地区」が8.6%となっている。

小学5年生では「南毛利地区」が21.3%で最も高く、中学2年生では「厚木地区」が19.5%で最も高くなっている。

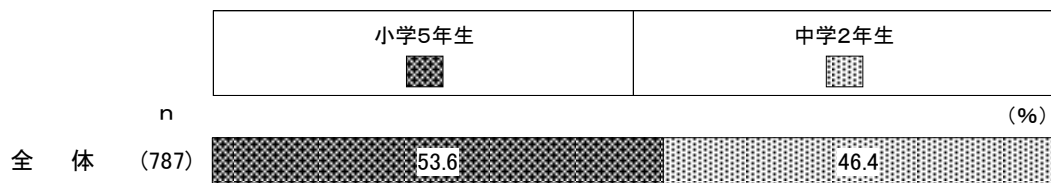


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 学年

問2 あなたの学年を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

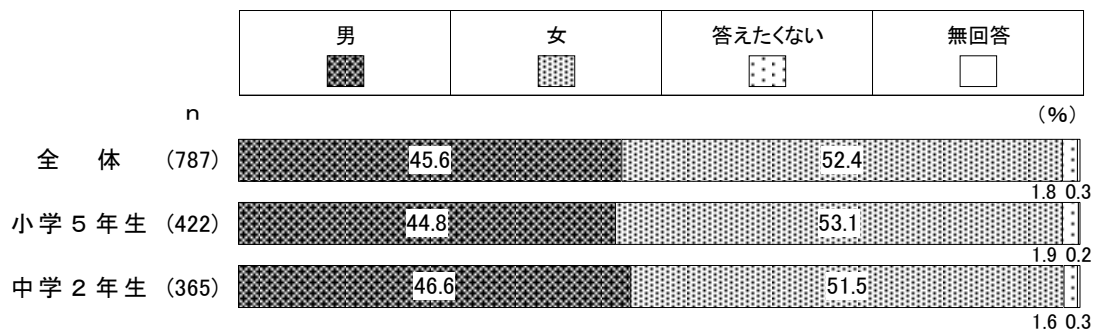
学年は、「小学5年生」が53.6%、「中学2年生」は46.4%となっている。



(2) 性別

問3 性別についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

性別は、全体では「男」が45.6%、「女」は52.4%となっている。



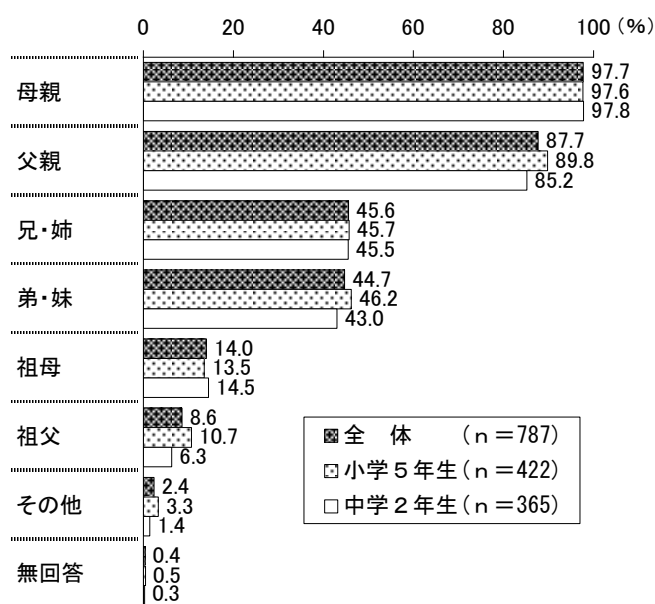
(3) 同居家族

問4 一緒に住んでいる人についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

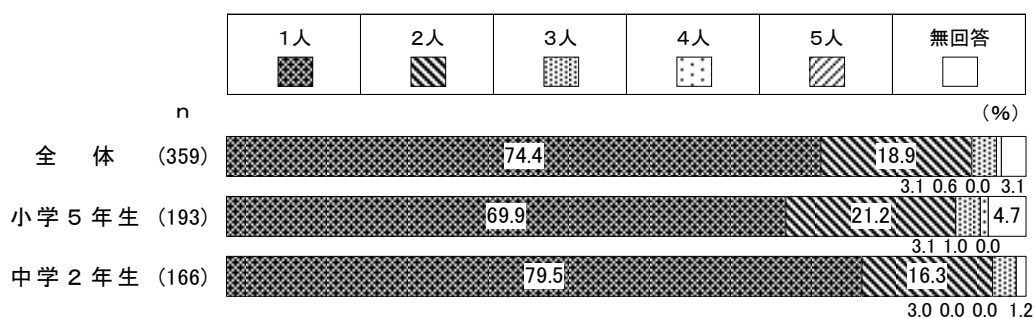
同居家族は、全体では「母親」が97.7%で最も高く、次いで「父親」が87.7%、「兄・姉」が45.6%、「弟・妹」が44.7%となっている。

きょうだい数（兄・姉）は、全体では「1人」が74.4%で最も高く、次いで「2人」が18.9%となっている。

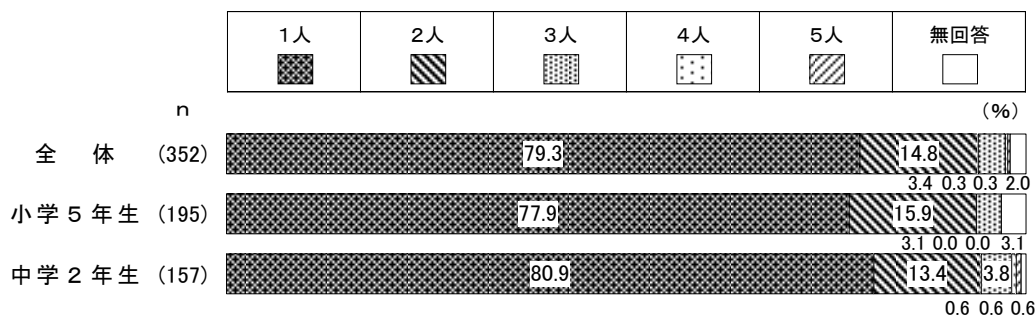
きょうだい数（弟・妹）は、全体では「1人」が79.3%で最も高く、次いで「2人」が14.8%となっている。



【きょうだい数（兄・姉）】



【きょうだい数（弟・妹）】

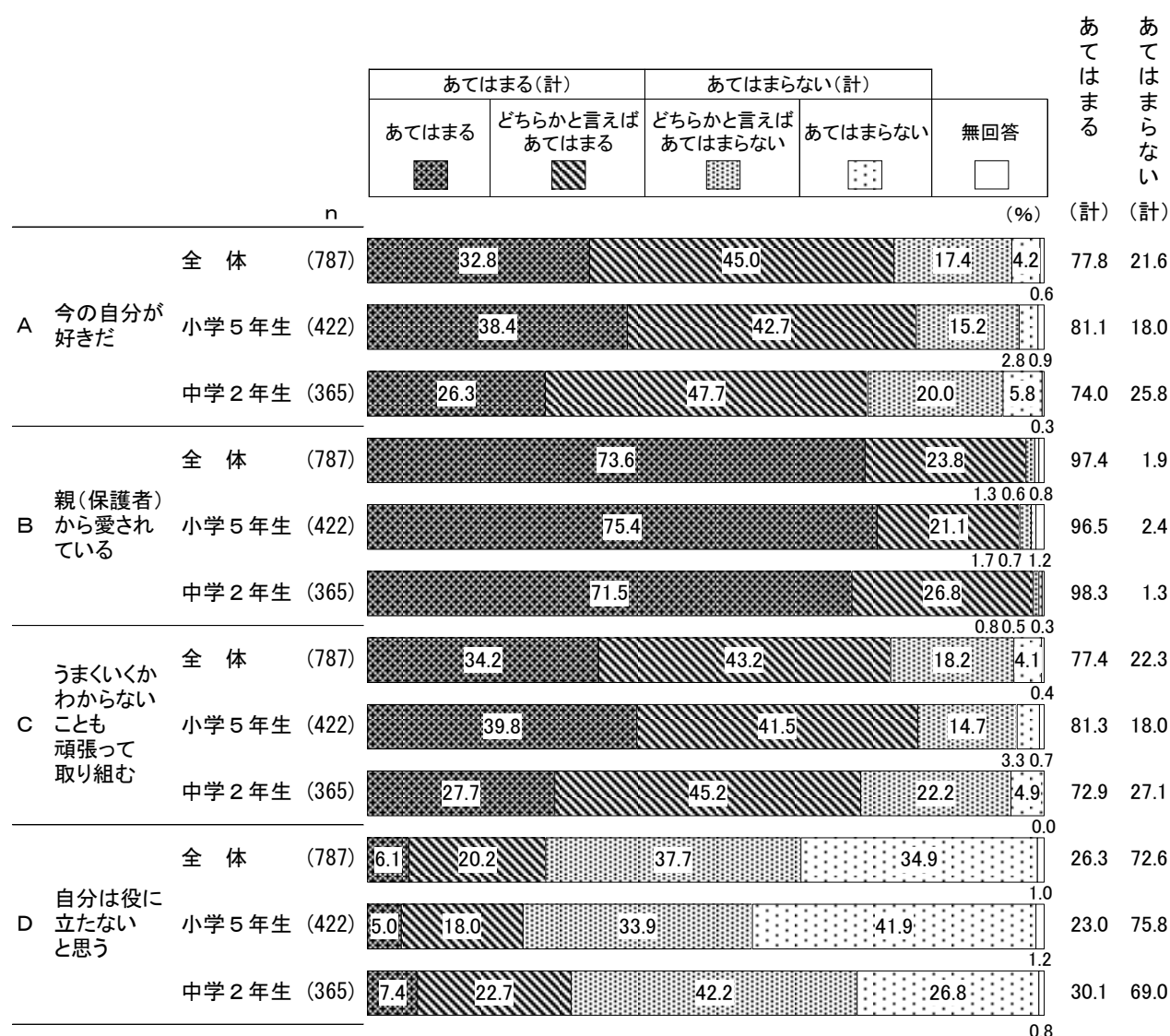


(4) 自分自身について

問5 あなたについて、あてはまるものを選んでください。(A～Dそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

自分自身について、「あてはまる」と「どちらかと言えばあてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“親(保護者)から愛されている”で97.4%と最も高く、次いで“今の自分が好きだ”で77.8%となっている。

一方、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない(計)』は、全体では“自分は役に立たないと思う”で72.6%と最も高く、次いで“うまくいくかわからないことも頑張って取り組む”で22.3%となっている。



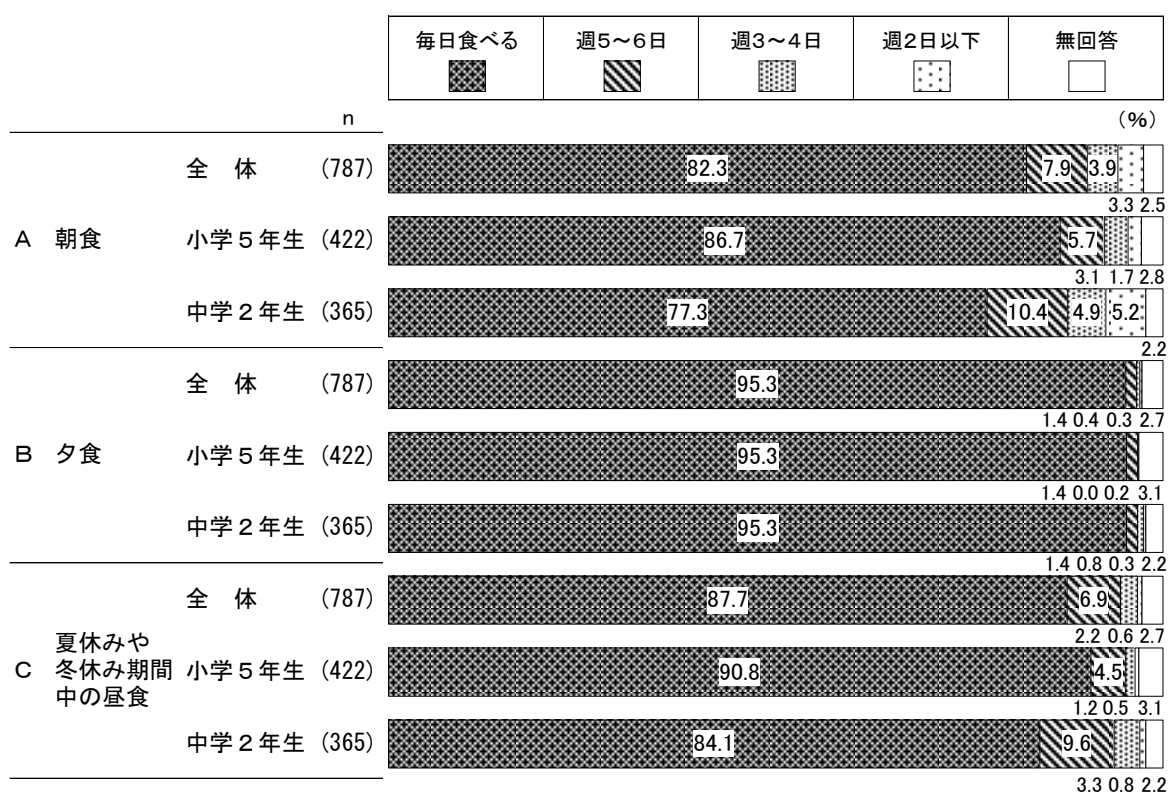
(5) 食事の頻度

問6 あなたは週にどれくらい食事をしていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

朝食の頻度は、全体では「毎日食べる」が82.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が7.9%となっている。

夕食の頻度は、全体では「毎日食べる」が95.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が1.4%となっている。

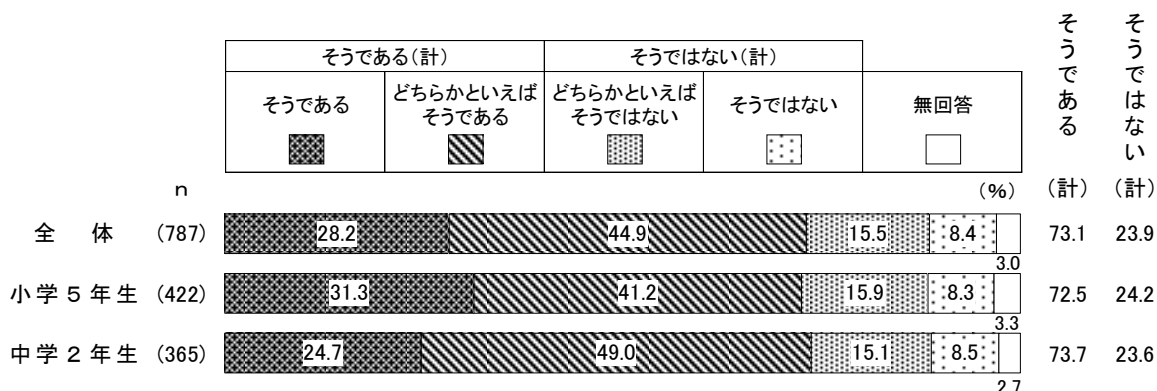
夏休みや冬休み期間中の昼食の頻度は、全体では「毎日食べる」が87.7%で最も高く、次いで「週5～6日」が6.9%となっている。



(6) ふだんの就寝時間

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかは、全体では「そうである」（28.2%）と「どちらかといえばそうである」（44.9%）を合わせた『そうである（計）』は73.1%となっている。一方、「どちらかといえばそうではない」（15.5%）と「そうではない」（8.4%）を合わせた『そうではない（計）』は23.9%となっている。

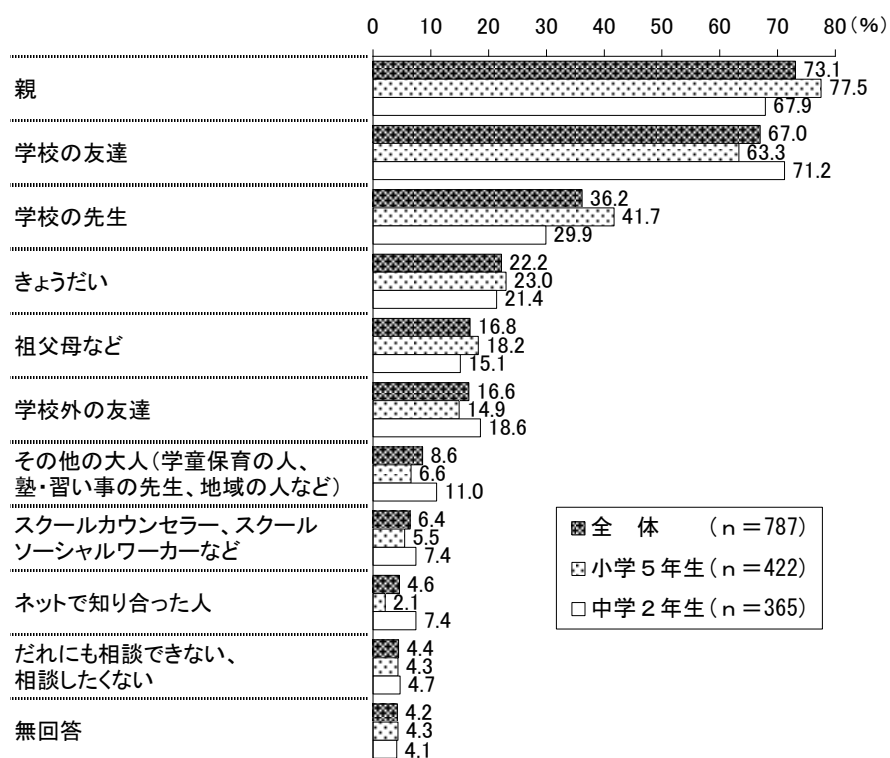


(7) 困っていることや悩みごとがあるときの相談相手

問8 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（1～9については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手は、全体では「親」が73.1%で最も高く、次いで「学校の友達」が67.0%、「学校の先生」が36.2%、「きょうだい」が22.2%となっている。

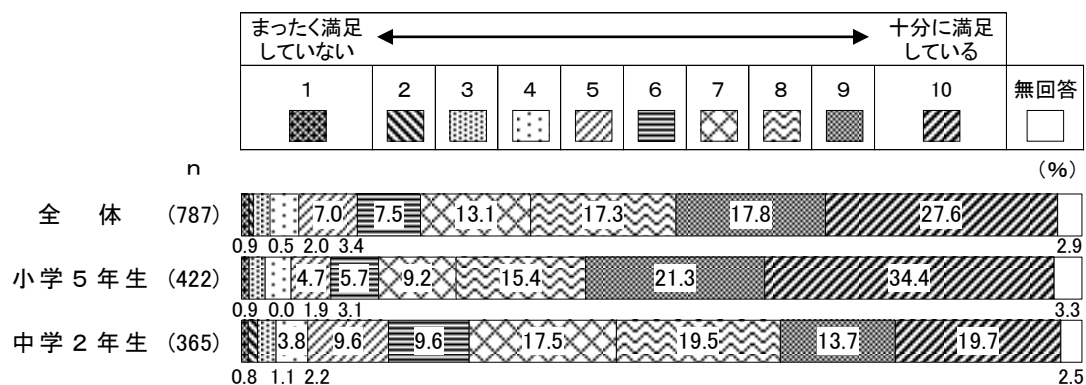
小学5年生では「親」が77.5%で最も高く、中学2年生では「学校の友達」が71.2%で最も高くなっている。



(8) 生活の満足度

問9 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。1つに○をつけてください。

生活の満足度を10段階でみると、全体では「10」が27.6%で最も高く、次いで「9」が17.8%、「8」が17.3%、「7」が13.1%となっている。

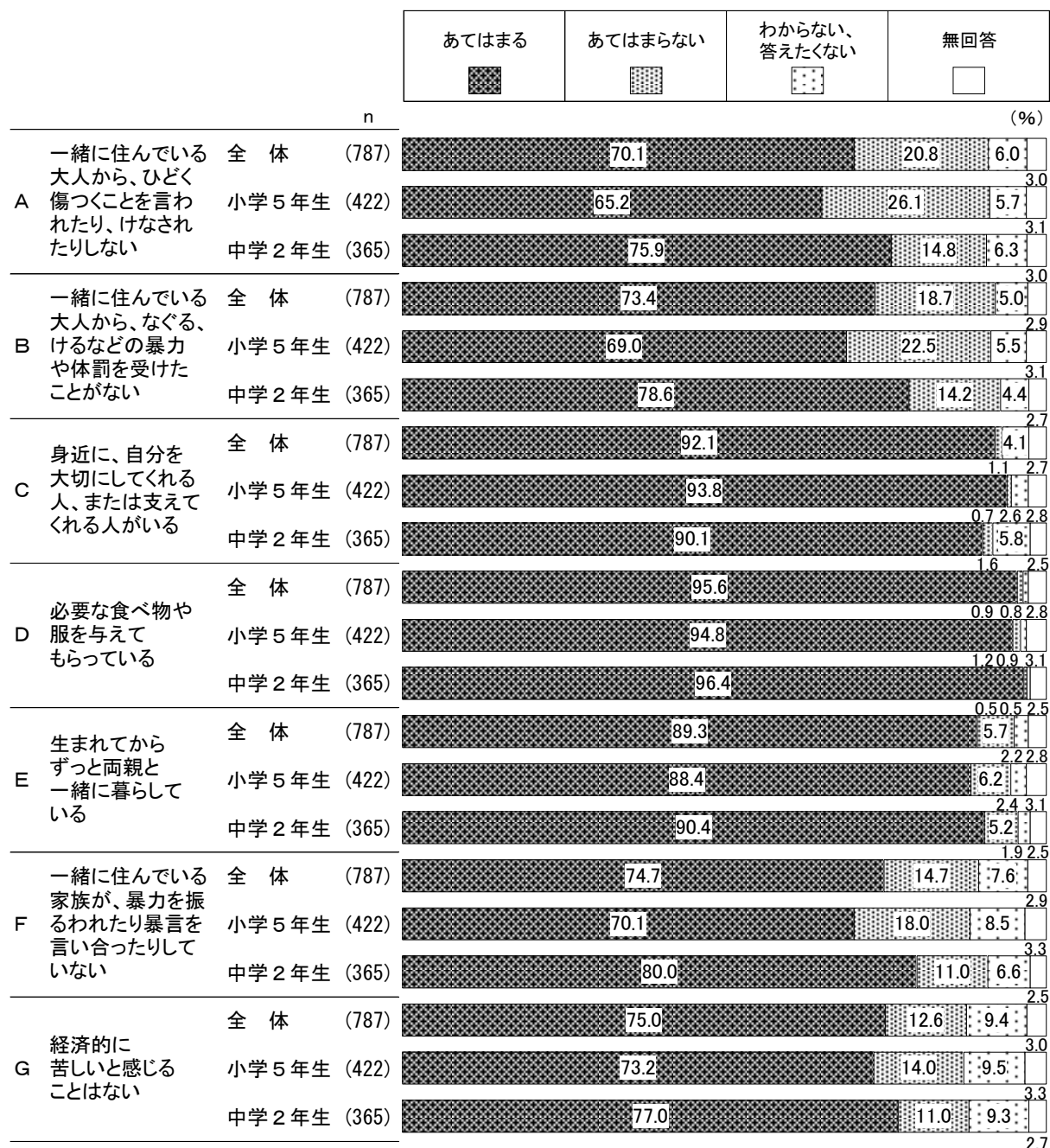


(9) 家庭生活について

問10 以下のそれぞれの質問について、「あてはまる」「あてはまらない」「わからない、答えたくない」のどれかから回答してください。A～Gそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

家庭生活について、「あてはまる」は、全体では“必要な食べ物や服を与えてもらっている”で95.6%と最も高く、次いで“身近に、自分を大切にしてくれる人、または支えてくれる人がいる”で92.1%、 “生まれてからずっと両親と一緒に暮らしている”で89.3%となっている。

一方、「あてはまらない」は、全体では“一緒に住んでいる大人から、ひどく傷つくことを言われたり、けなされたりしない”で20.8%と最も高く、次いで“一緒に住んでいる大人から、なぐる、けるなどの暴力や体罰を受けたことがない”で18.7%、“一緒に住んでいる家族が、暴力を振るわれたり暴言を言い合ったりしていない”で14.7%となっている。

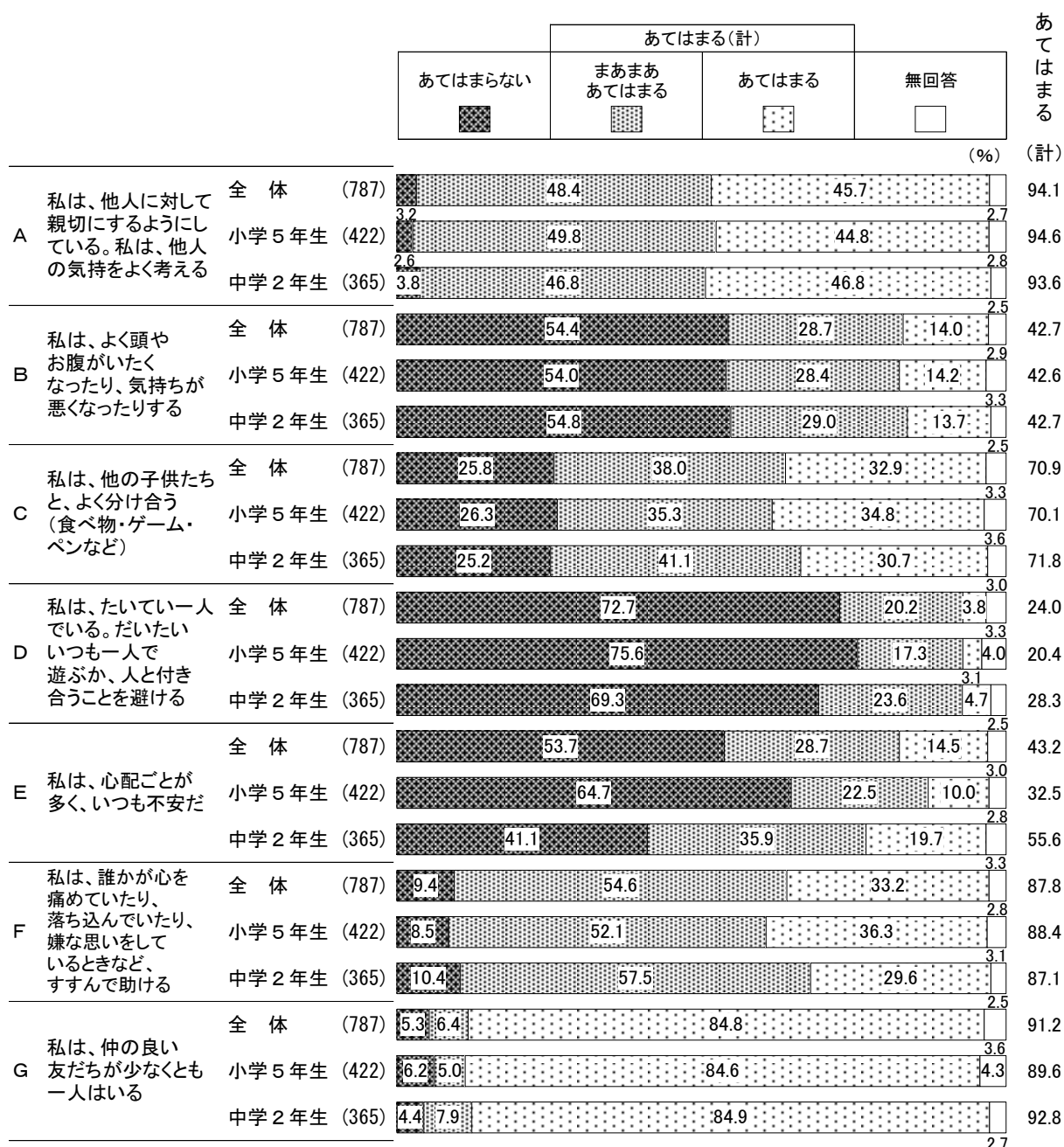


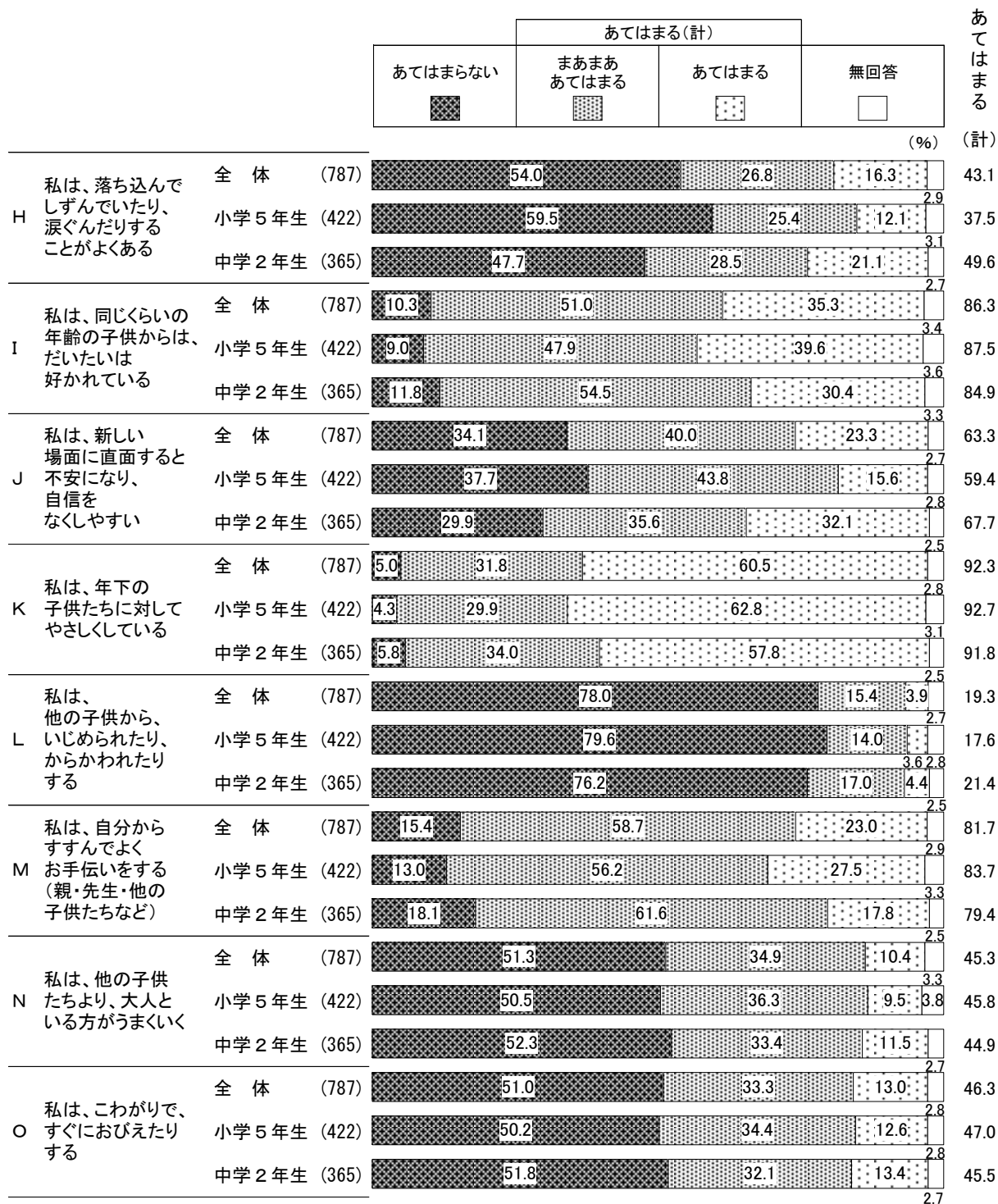
(10) 日常生活について

問11 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まあまああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。A～Oそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

日常生活について、「あてはまらない」は、全体では“私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする”で78.0%と最も高く、次いで“私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける”で72.7%となっている。

一方、「まあまああてはまる」と「あてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える”で94.1%と最も高く、次いで“私は、年下の子供たちに対してやさしくしている”で92.3%となっている。



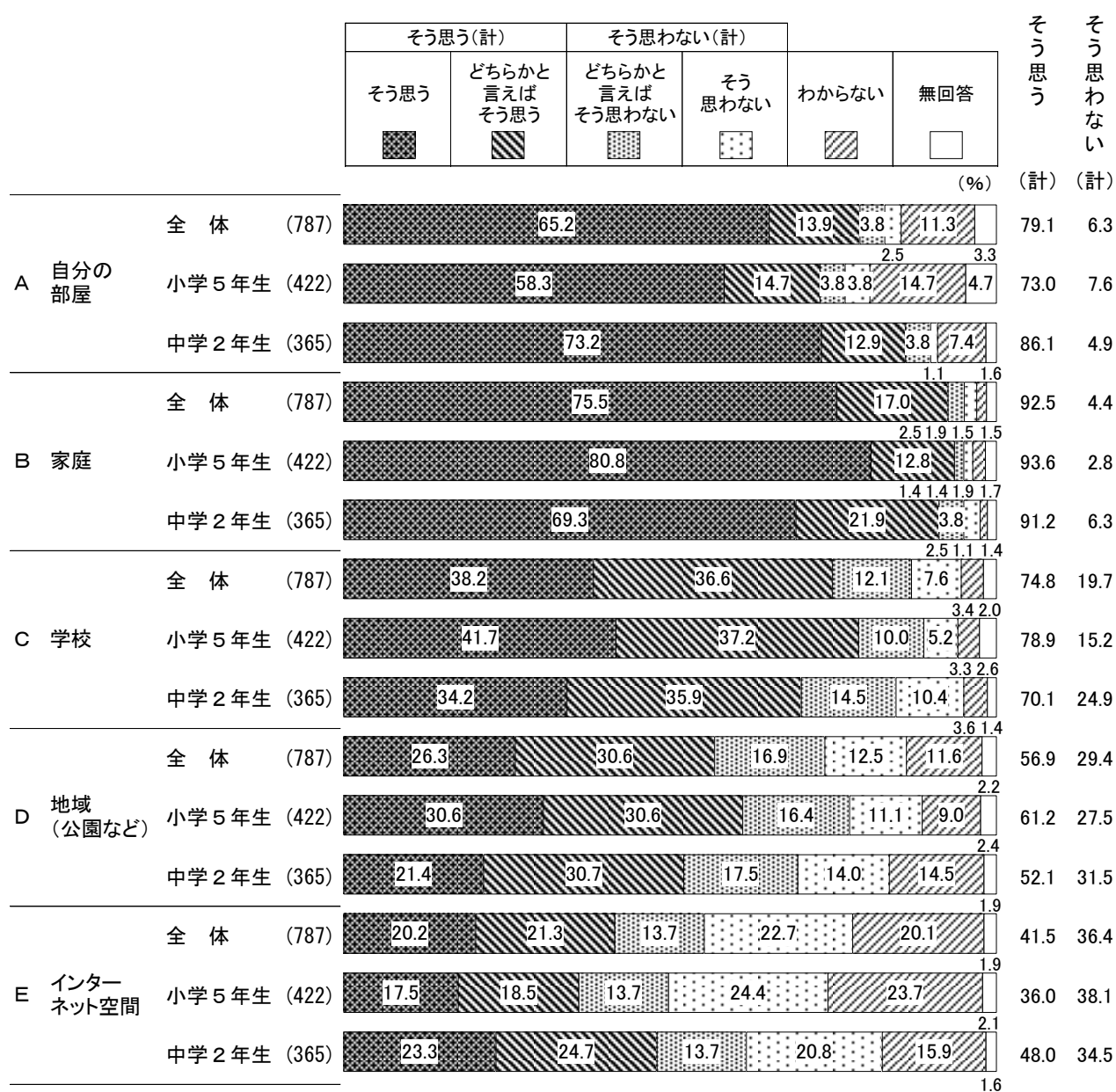


(11) 安心できる居場所

問12 次の場所は、あなたの居場所（安心できる場所）になっていますか。（A～Eそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

安心できる居場所について、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、全体では“家庭”で92.5%と最も高く、次いで“自分の部屋”で79.1%となっている。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、全体では“インターネット空間”で36.4%と最も高く、次いで“地域（公園など）”で29.4%となっている。

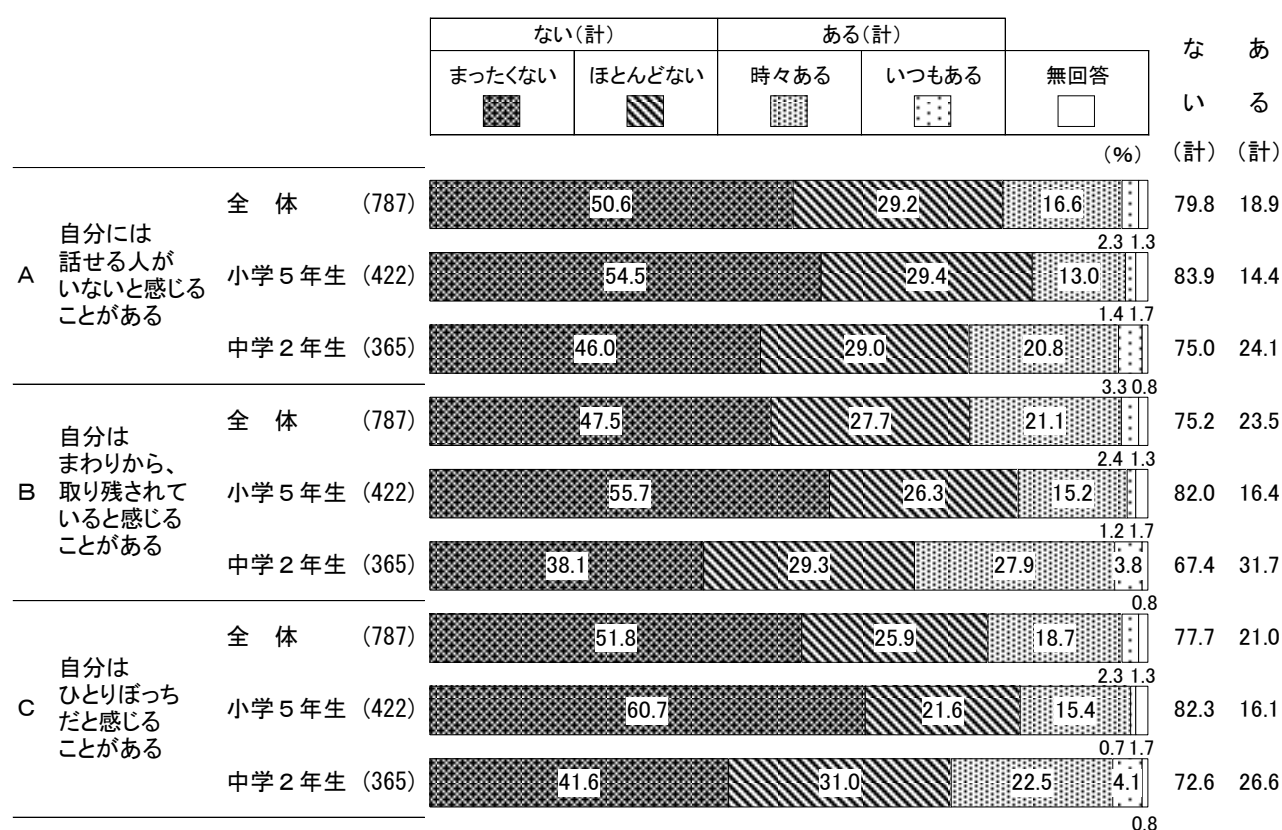


(12) 孤独感について

問13 あなたが次の内容について、どれくらい感じていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

孤独感について、「まったくない」と「ほとんどない」を合わせた『ない(計)』は、全体では“自分には話せる人がいないと感じることがある”で79.8%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることがある”で77.7%となっている。

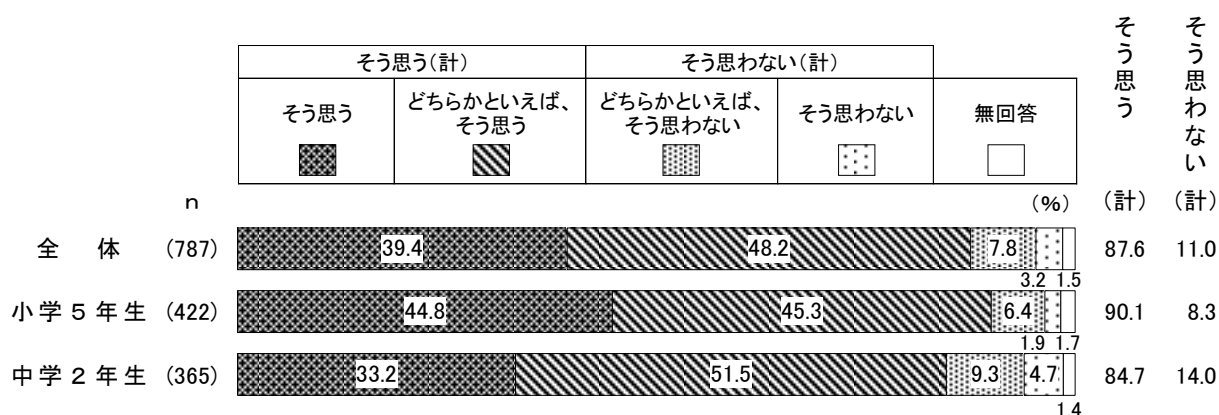
一方、「時々ある」と「いつもある」を合わせた『ある(計)』は、全体では“自分はまわりから、取り残されていると感じることがある”で23.5%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることがある”で21.0%となっている。



(13) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか

問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

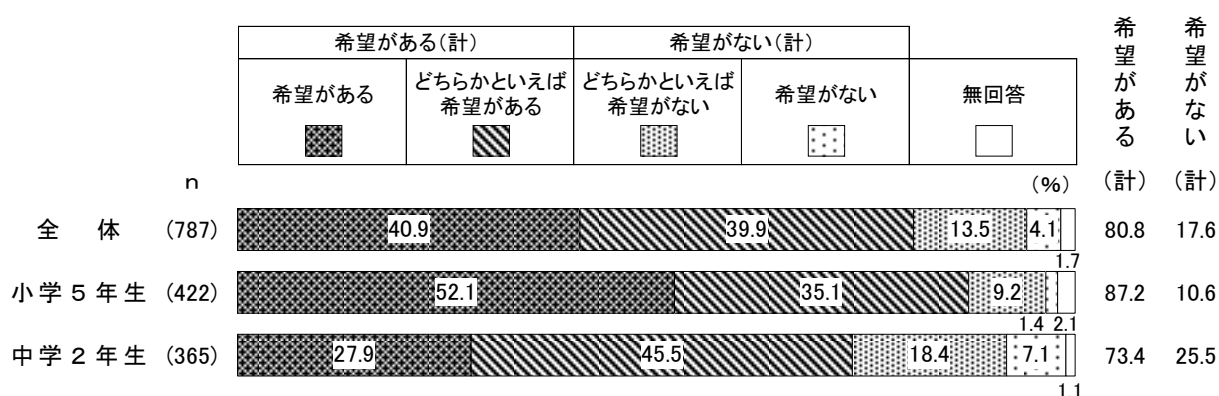
「社会のために役立つことをしたい」と思うかは、全体では「そう思う」(39.4%)と「どちらかといえば、そう思う」(48.2%)を合わせた『そう思う(計)』は87.6%となっている。一方、「どちらかといえば、そう思わない」(7.8%)と「そう思わない」(3.2%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.0%となっている。



(14) 将来について明るい希望の有無

問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(40.9%)と「どちらかといえば希望がある」(39.9%)を合わせた『希望がある(計)』は80.8%となっている。一方、「どちらかといえば希望がない」(13.5%)と「希望がない」(4.1%)を合わせた『希望がない(計)』は17.6%となっている。

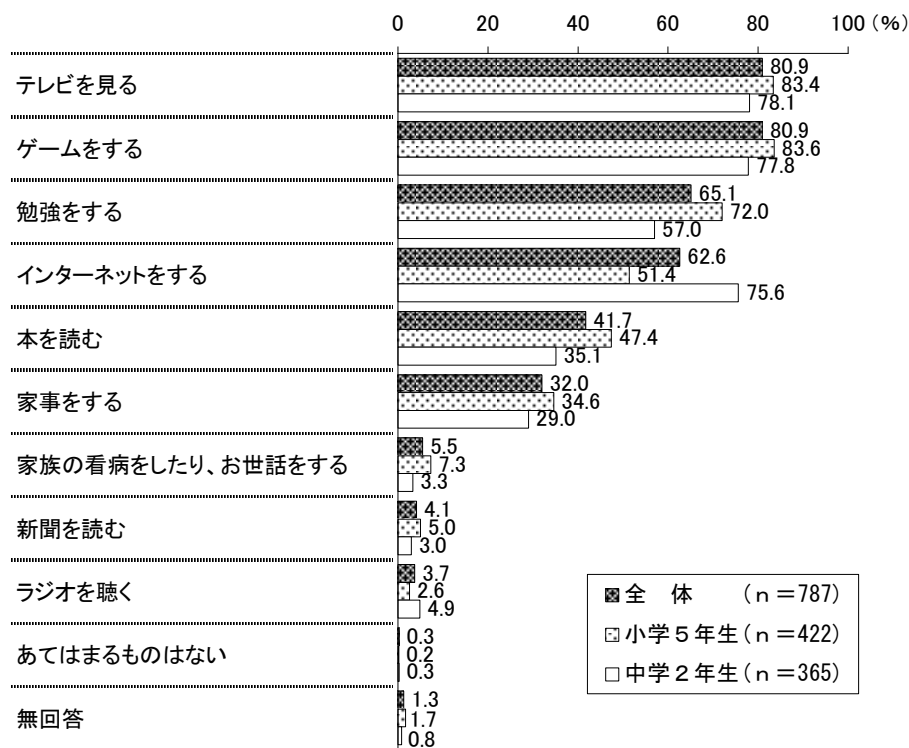


(15) 家での時間の使い方

問16 家にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

家での時間の使い方は、全体では「テレビを見る」と「ゲームをする」がともに80.9%で高く、次いで「勉強をする」が65.1%、「インターネットをする」が62.6%となっている。

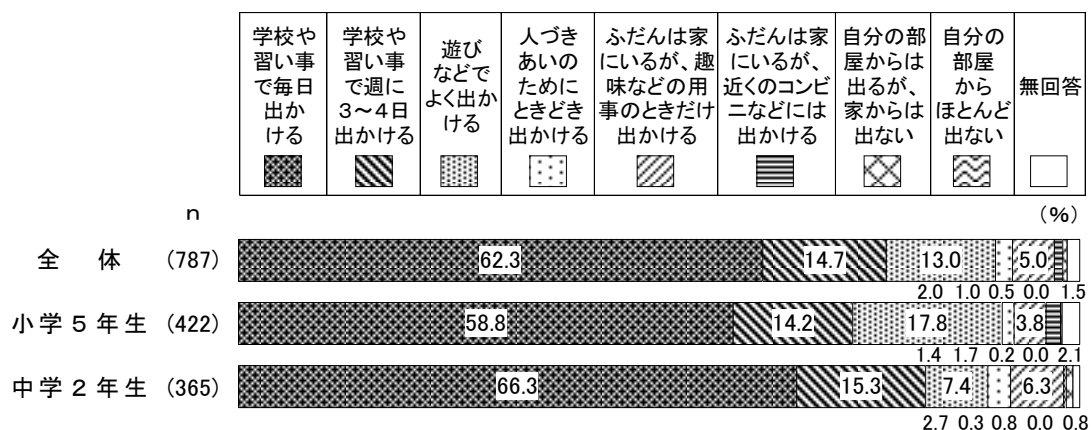
小学5年生では「ゲームをする」が83.6%で最も高く、中学2年生では「テレビを見る」が78.1%で最も高くなっている。



(16) 外出の頻度

問17 あなたは、ふだんどのくらい外に出ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

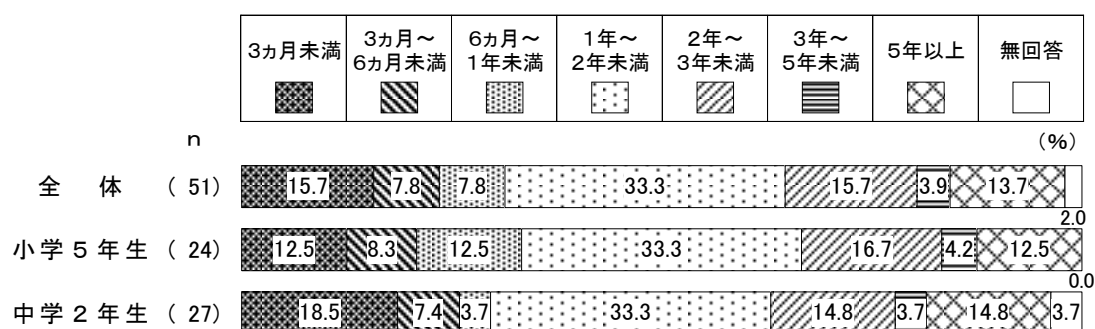
外出の頻度は、全体では「学校や習い事で毎日出かける」が62.3%で最も高く、次いで「学校や習い事で週に3～4日出かける」が14.7%、「遊びなどでよく出かける」が13.0%となっている。



(17) 現在の外出状況になってからの期間

問18 【問17で「ふだんは家にいるが、趣味などの用事の時だけ出かける」「ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください】

あなたの外出状況が今ようになってから、どれくらいたちますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



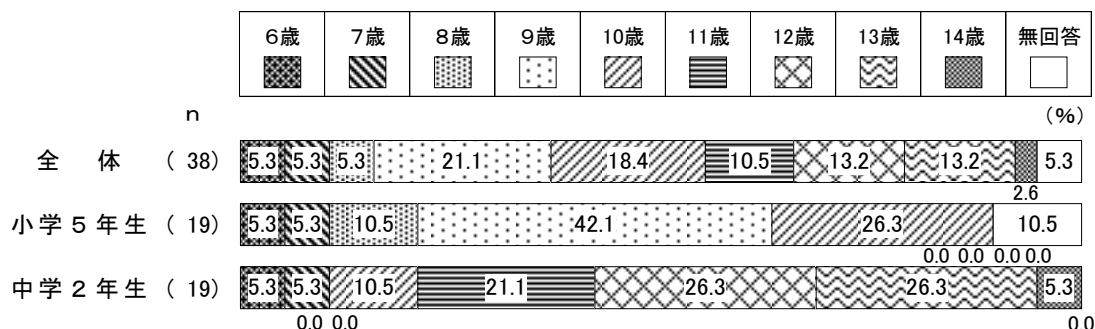
(18) 現在の外出状況になった年齢

問19 【問18で「6ヵ月以上」を選んだ方のみ、お答えください】

あなたの外出状況が今ようになったのは、いくつの頃ですか。

現在の外出状況になった年齢は、全体では「9歳」が21.1%で最も高く、次いで「10歳」が18.4%、「12歳」と「13歳」がともに13.2%となっている。

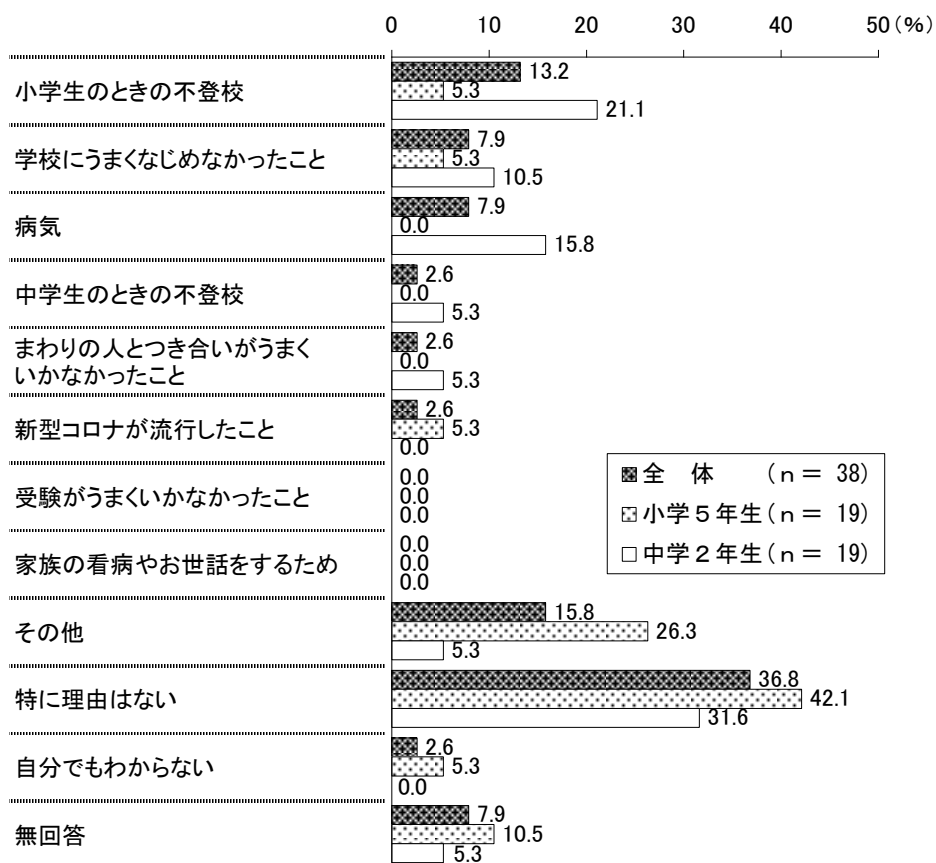
小学5年生では「9歳」が42.1%で最も高く、中学2年生では「12歳」と「13歳」がともに26.3%で高くなっている。



(19) 現在の外出状況になった理由

問20 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

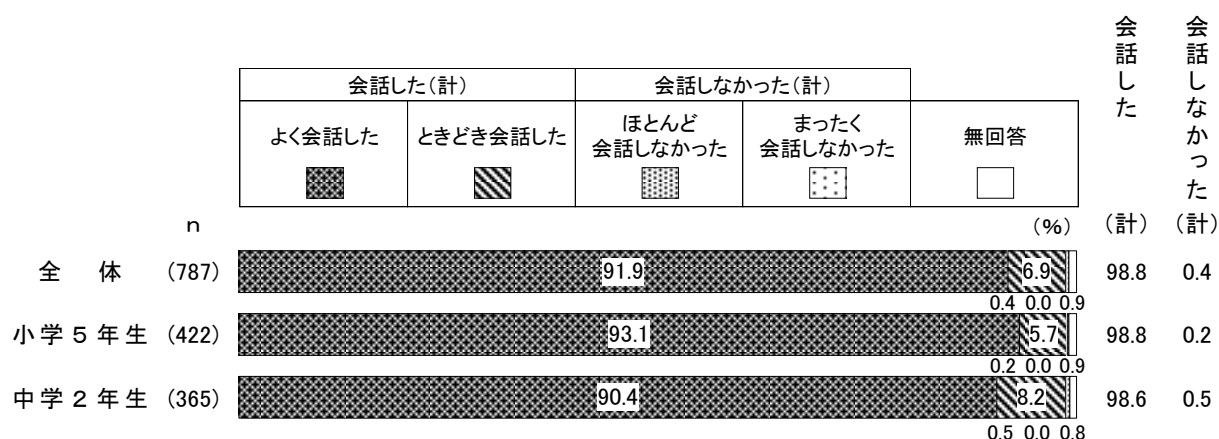
現在の外出状況になった理由は、全体では「特に理由はない」が36.8%で最も高く、次いで「小学生のときの不登校」が13.2%、「学校にうまくなじめなかったこと」と「病気」がともに7.9%となっている。



(20) 最近 6 ヶ月間の家族以外の人との会話

問21 最近 6 ヶ月間に、家族以外の人と会話しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

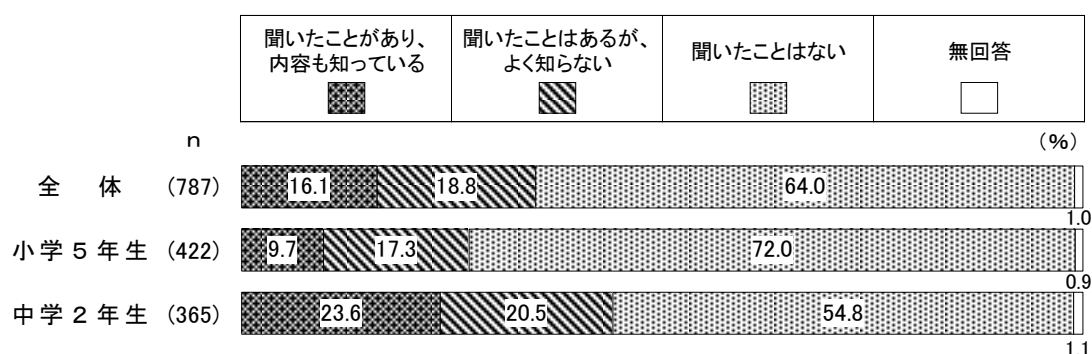
最近 6 ヶ月間の家族以外の人との会話は、全体では「よく会話した」(91.9%)と「ときどき会話した」(6.9%)を合わせた『会話した(計)』は98.8%となっている。一方、「ほとんど会話しなかった」(0.4%)と「まったく会話しなかった」(0.0%)を合わせた『会話しなかった(計)』は0.4%となっている。



(21) ヤングケアラーの認知度

問22 ヤングケアラーという言葉をご存知ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

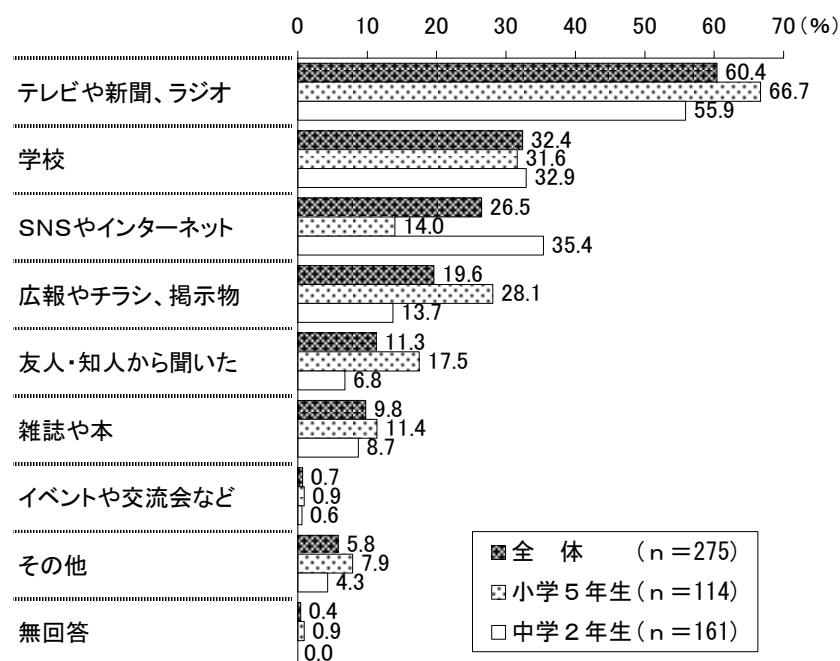
ヤングケアラーの認知度は、全体では「聞いたことがあり、内容も知っている」が16.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は18.8%となっている。一方、「聞いたことはない」は64.0%となっている。



(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問22-1 問22で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きます。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、全体では「テレビや新聞、ラジオ」が60.4%で最も高く、次いで「学校」が32.4%、「SNSやインターネット」が26.5%、「広報やチラシ、掲示物」が19.6%となっている。

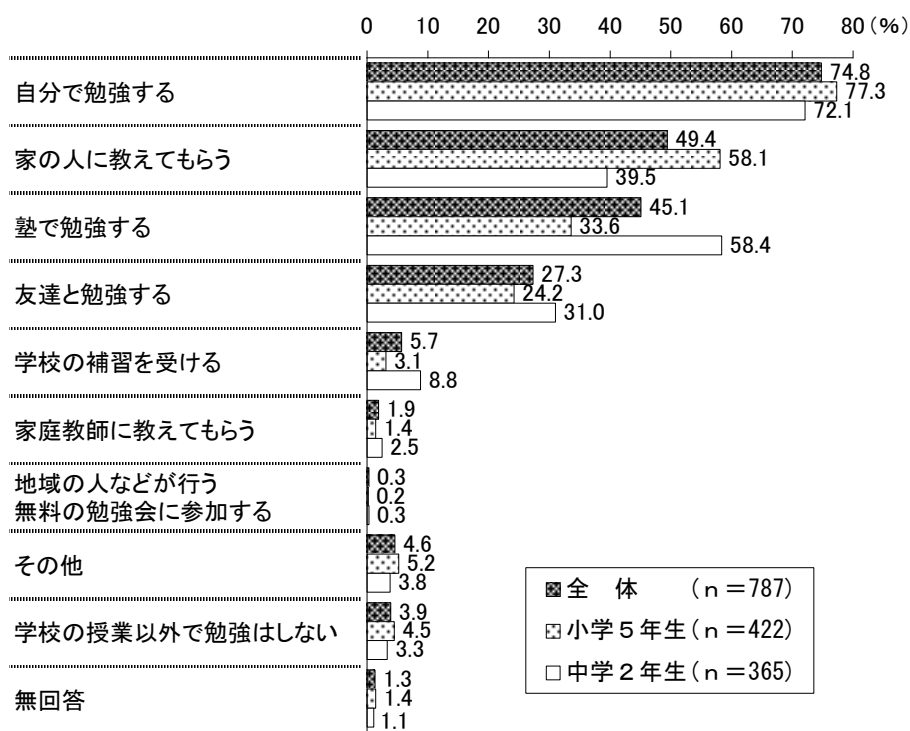


3. 学校での生活状況

(1) 学校の授業以外での学習状況

問23 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

学校の授業以外での学習状況は、全体では「自分で勉強する」が74.8%で最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が49.4%、「塾で勉強する」が45.1%、「友達と勉強する」が27.3%となっている。

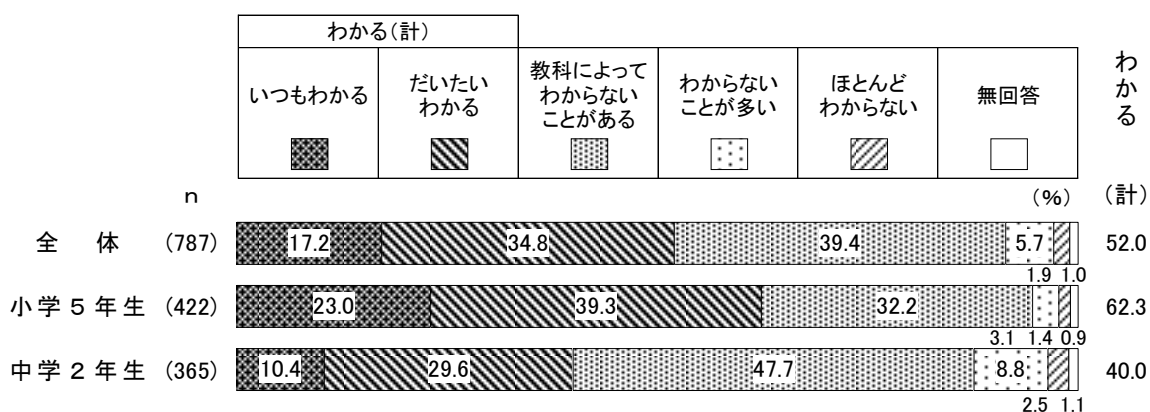


(2) 学校の授業でのわからないことの有無

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。1つに○をつけてください。

学校の授業でのわからないことの有無は、全体では「いつもわかる」(17.2%)と「だいたいわかる」(34.8%)を合わせた『わかる(計)』は52.0%となっている。一方、「教科によってわからないことがある」が39.4%、「わからないことが多い」は5.7%、「ほとんどわからない」は1.9%となっている。

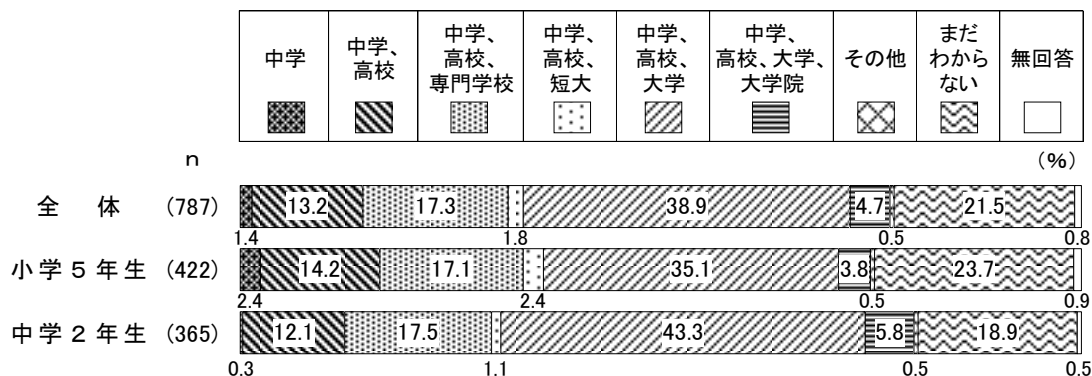
小学5年生では「だいたいわかる」が39.3%で最も高く、中学2年生では「教科によってわからないことがある」が47.7%で最も高くなっている。



(3) 希望する進学先

問25 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。1つに○をつけてください。

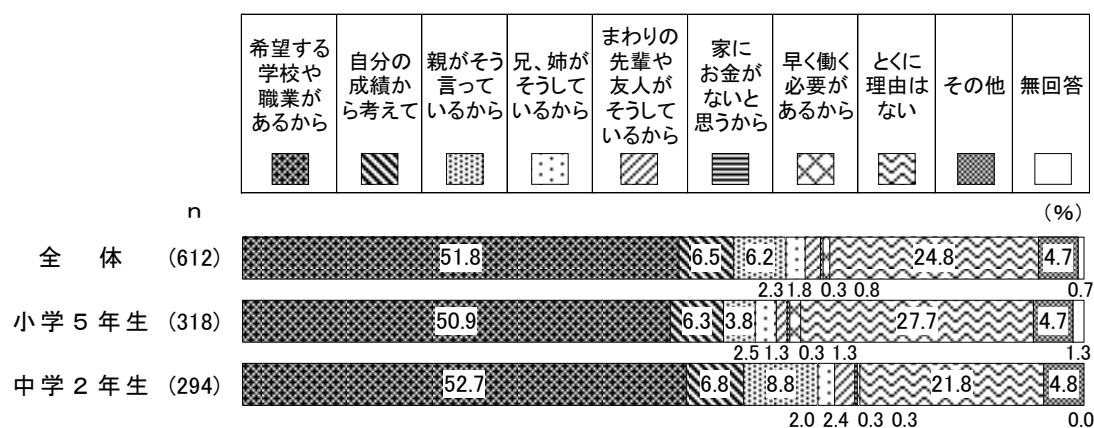
希望する進学先は、全体では「中学、高校、大学」が38.9%で最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が17.3%、「中学、高校」が13.2%となっている。一方、「まだわからない」は21.5%となっている。



(4) 進学先の希望理由

問26 問25で「まだわからない」以外を選んだ場合、その理由は何ですか。1つに○をつけてください。

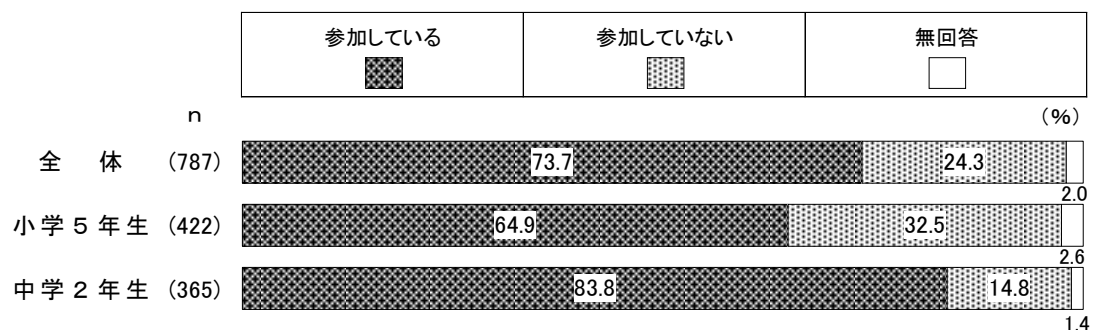
進学先の希望理由は、全体では「希望する学校や職業があるから」が51.8%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が6.5%、「親がそう言っているから」が6.2%となっている。一方、「とくに理由はない」は24.8%となっている。



(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況

問27 あなたは学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブなどに参加していますか。1つに○をつけてください。

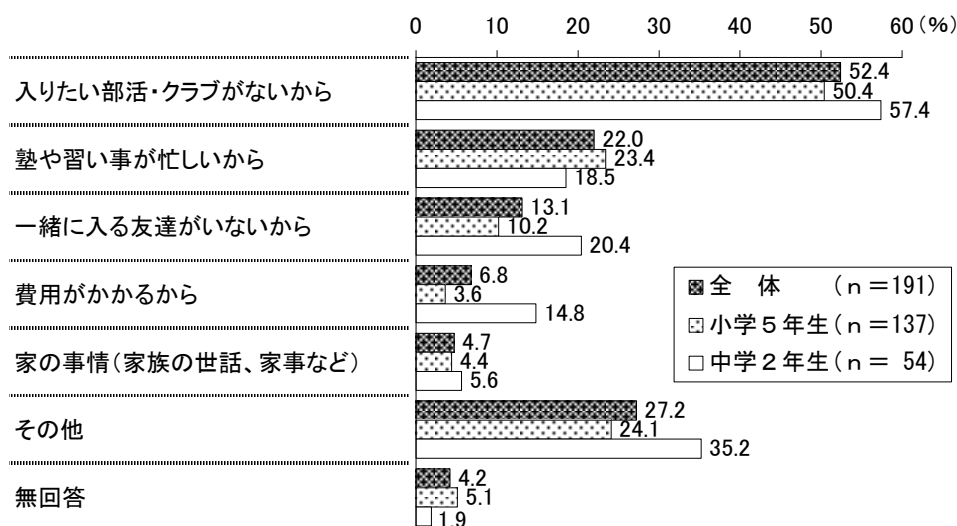
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況は、全体では「参加している」が73.7%、「参加していない」は24.3%となっている。



(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由

問28 問27で「参加していない」を選んだ人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

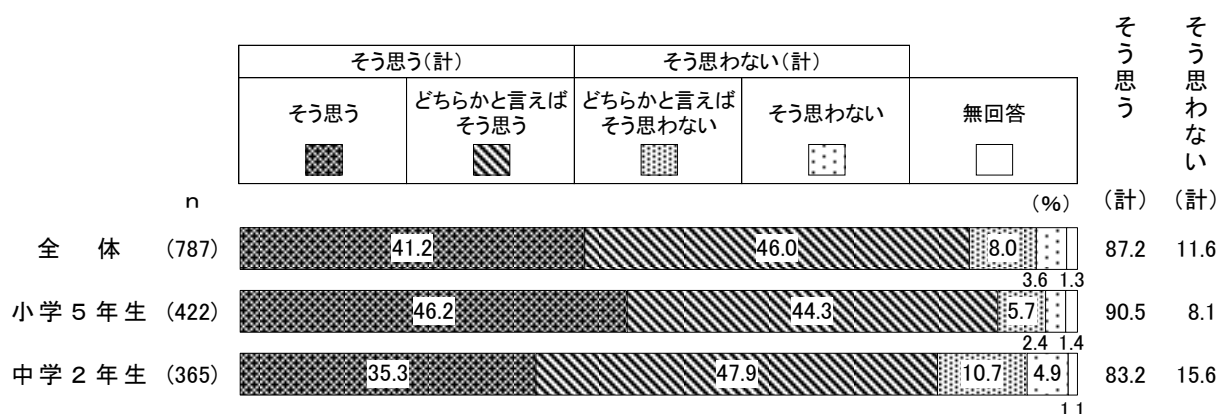
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由は、全体では「入りたい部活・クラブがないから」が52.4%で最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が22.0%、「一緒にいる友達がいないから」が13.1%、「費用がかかるから」が6.8%となっている。



(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか

問29 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。1つに○をつけてください。

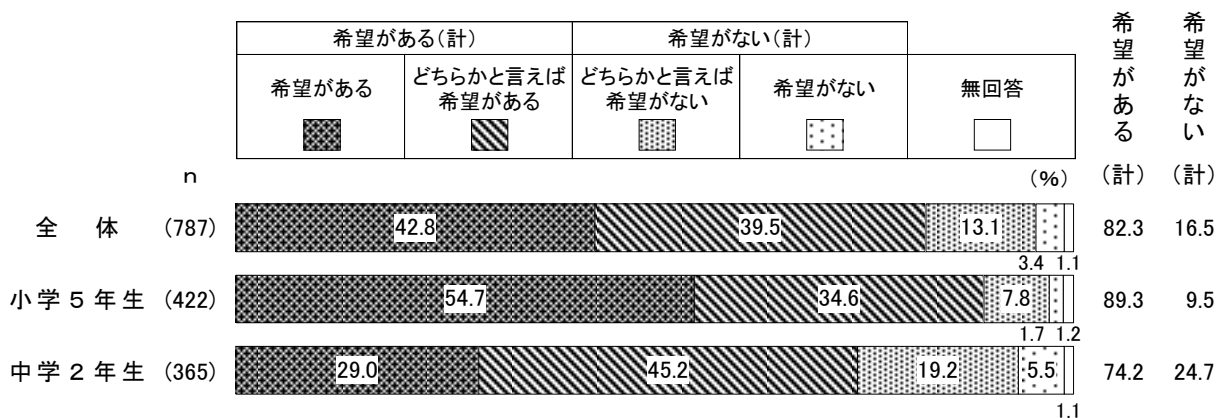
社会のために役立つことをしたいと思うかは、全体では「そう思う」(41.2%)と「どちらかと言えばそう思う」(46.0%)を合わせた『そう思う(計)』は87.2%となっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(3.6%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.6%となっている。



(8) 将来について明るい希望の有無

問30 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。1つに○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(42.8%)と「どちらかと言えば希望がある」(39.5%)を合わせた『希望がある(計)』は82.3%となっている。一方、「どちらかと言えば希望がない」(13.1%)と「希望がない」(3.4%)を合わせた『希望がない(計)』は16.5%となっている。



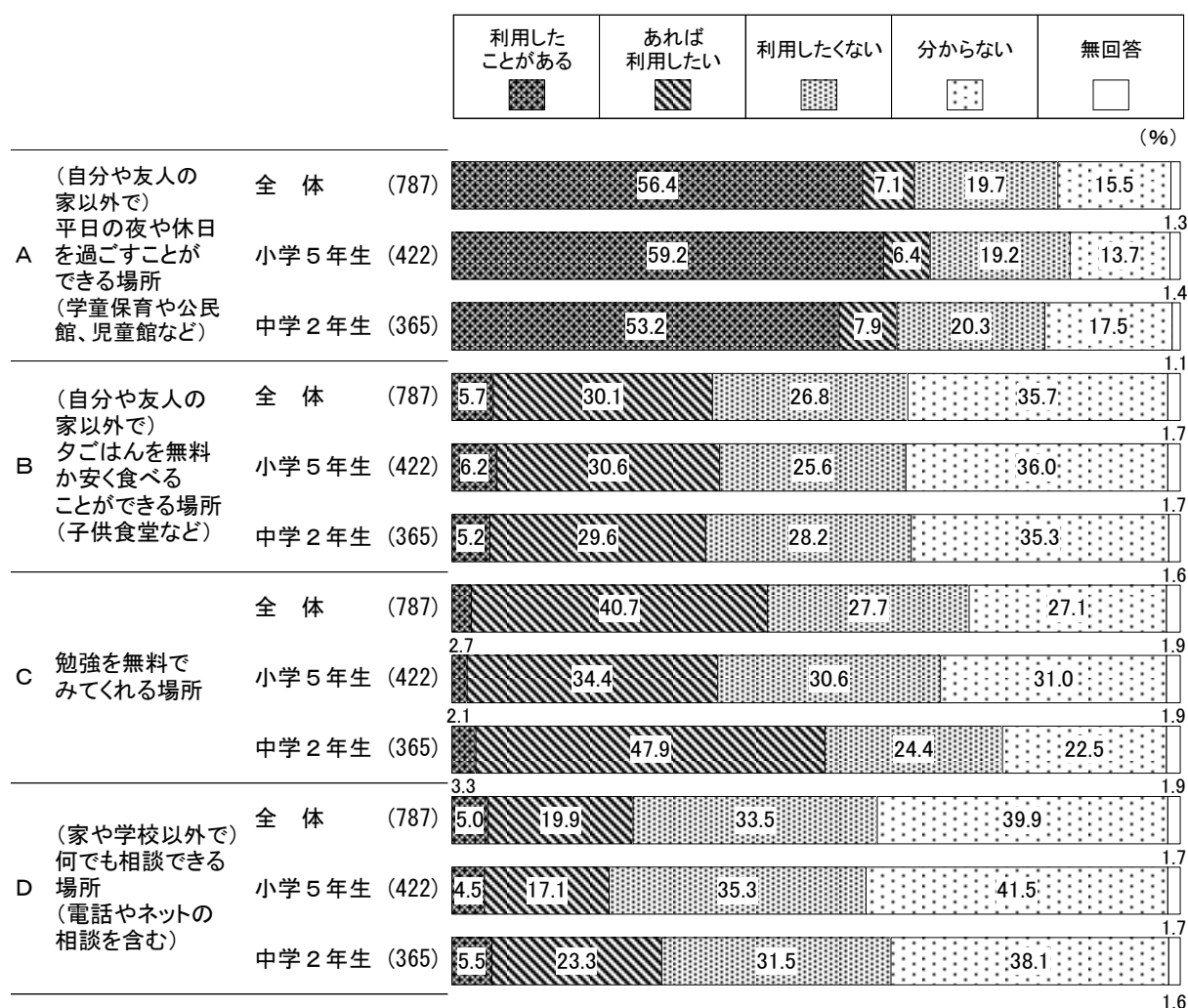
(9) 施設等の利用状況

問31 あなたは、次のA～Dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。A～Dそれぞれについて、1つに○をつけてください。

施設等の利用状況について、「利用したことがある」は、全体では“(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育や公民館、児童館など)”で56.4%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で5.7%となっている。

また、「あれば利用したい」は、全体では“勉強を無料でみてくれる場所”で40.7%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で30.1%となっている。

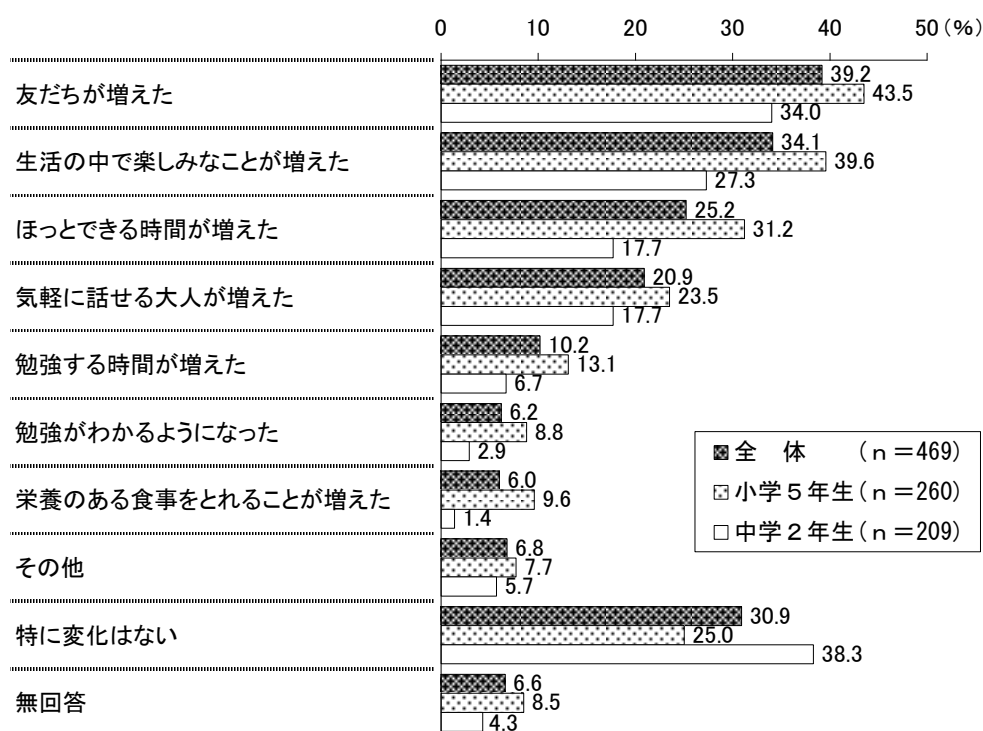
一方、「利用したくない」は、全体では“(家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)”で33.5%と最も高く、次いで“勉強を無料でみてくれる場所”で27.7%となっている。



(10) 施設等を利用したことによる変化

問32 問31で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設等を利用したことによる変化は、全体では「友だちが増えた」が39.2%で最も高く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が34.1%、「ほっとできる時間が増えた」が25.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が20.9%となっている。一方、「特に変化はない」は30.9%となっている。



V 調査票

1. 未就学児調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

20 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 20 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問8 問7 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家計のやりくり | 2. 家族・知人による援助の不足 |
| 3. 育児・介護による時間の不足 | 4. その他（ ） |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ ） | | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問11-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問11-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒問12へ |

問11-1 問11 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問11-2 問11 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみ
てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して
子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相
談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問12-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問13 へ |
|--------------------|-------------------|

問12-1 問12 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含
む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつ
けてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 祖父母等の親族3. 近所の人5. 保健所・保健センター7. 幼稚園教諭9. かかりつけの医師11. その他（【例】ベビーシッター | <ol style="list-style-type: none">2. 友人や知人4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、
児童館等）・NPO6. 保育士8. 民生委員・児童委員10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
|--|--|

問13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③生活の基本動作 例)「食事」「衣類の着脱」「トイレ」等	1	2	3
④食事面 例)「アレルギーがある」「偏食がある」等	1	2	3
⑤性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
⑥心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑦行動面 例)「落ち着きがない」「集団行動がとれない」等	1	2	3
⑧友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑨保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑩就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑪親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑫その他 ()	1	2	3

※子どもの育ちについての悩みごとや心配なことがありましたら、子育て支援センター（☎046-225-2922）や療育相談センター「まめの木」（☎046-225-2252）にご相談ください。

問13-1 子育て（教育を含む）をする上で、支援の窓口として子育て支援センター等がありますが、その他に周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | } | ⇒（１）-1へ |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; display: inline-block;">⇒（２）へ</div> | | |

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり 日 １日当たり 時間

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | } | ⇒（２）-1へ |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; display: inline-block;">⇒ 問15へ</div> | | |

- (2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

- (2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問15 問14の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事等に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事等に専念したい

問 16 問 14 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、間17-1 に示した事業が含まれます。

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問17-1 へ	2. 利用していない ⇒問17-5 へ
--------------------	---------------------

2. 利用していない ⇒問17-5へ

問17-1 問17-1～問17-4 は、問17 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()

問17-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問17-5 問17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問17-6 問17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。こども誰でも通園制度が始まったら、保育所等を利用したいですか。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. 利用する

2. 利用しない

※ 「こども誰でも通園制度」・・・定員に空きがある保育所等において、地域の保育所等に
通園していない未就学児に対して、継続して週1～2日
程度の定期的な預かりを実施する制度

問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()	

※幼稚園や保育所等の利用施設選びでお悩みの際は、保育コンシェルジュ（こども育成課 ☎046-225-2262・保育課 ☎046-225-2231）にご相談ください。

問18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問18-2 問18で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.～11.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターもみじの手」、「ほっと れもんてい」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

→1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、 育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支 援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つ に○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | |

問22-1 問22 の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

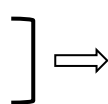
- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため |) |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. リフレッシュ | |
| 5. その他（ | |

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

問 23-1 問 23 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4. リフレッシュ

5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問17 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらない方は、問25 にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問24-1 へ

2. なかった ⇒ 問25 へ

問24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□ □ 日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ()	□ □ 日

⇒ 問24-2 へ

⇒ 問24-5 へ

問24-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、日数についても□内に **数字でご記入** ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問24-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問24-4 へ

問24-3 問24-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問24-4 問24-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。 そう思われる理由について当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 利用料がかかる・高い
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用方法がわからない
5. 親が仕事を休んで対応できる
6. その他（ ）

問24-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても **数字でご記入** ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問25 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問24-6 へ

問24-6 問24-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに
○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

⇒問26へ

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地）がよいくない |
| 5. 利用可能時間が短い | 6. 利用可能日数が少ない |
| 7. 利用料がかかる・高い | 8. 利用料がわからない |
| 9. 自分が事業の対象者になるのか
どうかかわからない | 10. 事業の利用方法（手続き等）がわから
ない |
| 11. その他（ | ） |

1. 利用したい	計 □ □ 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の 習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む） や親の通院 等	□ □ 日
ウ. 不定期の就労	□ □ 日
エ. その他（ ）	□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問27へ	

問26-1 問26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 149 -

問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらう必要が年間何泊くらいあると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望の有無について当てはまる番号、記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

		日 数
1. 利用したい		合 計 泊
	ア. 冠婚葬祭	泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	泊
	ウ. 保護者や家族の病気	泊
	エ. その他（ ）	泊
2. 利用する必要はない		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※「放課後児童クラブ」…保護者の就労などにより、放課後家庭において適切な保育を受けることができない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ	週 日くらい →下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日くらい →下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） 	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31 へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所・認定こども園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所・認定こども園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

復帰時の子どもの年齢	
実際	希望
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

復帰時の子どもの年齢	
実際	希望
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

（2）父親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（1）「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|--|---|

②父親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|--|---|

（2）「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

②父親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

問30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

ヤングケアラーについてうかがいます。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

問31 ヤングケアラーという言葉のをこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあります、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問31-1 問31で「1. 聞いたことがあります、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ | ） |

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い
1	2	3	4 5

問32-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 幼稚園、認定こども園、保育所 | 2. 小規模保育、家庭的保育 |
| 3. 病児・病後児保育 | 4. 幼稚園送迎ステーション |
| 5. 子ども医療費助成 | 6. 紙おむつ等の支給 |
| 7. 子育て支援センター「もみじの手」 | 8. ほっと れもんてい |
| 9. 託児室わたくも（一時預かり） | 10. ファミリー・サポート・センター |
| 11. ほっとタイムサポーター | 12. 移動子育てサロン |
| 13. 児童館おひさまタイム | 14. 療育相談センター「まめの木」 |
| 15. 赤ちゃんの駅「ベビリア」 | 16. 子育てパスポートAYUCO |
| 17. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」 | 18. その他（ |
| | ） |

問32-2 問32-1の子育て支援事業以外で、今後厚木市で実施してほしい、子育て支援事業があればご記入ください。

--

問33 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. とても良くなったと思う | 2. どちらかといえば、良くなったと思う |
| 3. あまり変わらない | 4. どちらかといえば、悪くなったと思う |
| 5. 最近転入してきてよくわからない | 6. わからない |

問34 本厚木駅近くにある託児室「わたぐも」で朝夕子どもを預かり、利用する幼稚園や保育所等までバスで送迎する「送迎ステーション事業」が利用できる場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。なお、費用は、月4,000円程度とします。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

2. 就学児童調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 20 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家計のやりくり
2. 家族・知人による援助の不足
3. 育児・介護による時間の不足
4. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

ください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問10へ
- ⇒問9-1 へ
⇒問9-2 へ

てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

らっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問10-1 へ

2. いない／ない ⇒ 問11 へ

問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 小学校教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（ | ） |

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、**A～Cのそれぞれ**について、「はい」「いいえ」の**いずれかに**○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

問12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③生活の基本動作 例)「食事」「衣類の着脱」「トイレ」等	1	2	3
④食事面 例)「アレルギーがある」「偏食がある」等	1	2	3
⑤性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
⑥心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑦行動面 例)「落ち着きがない」「集団行動がとれない」等	1	2	3
⑧友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑨保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑩就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑪親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑫その他()	1	2	3

問12-1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (1) -1 へ

} ⇒ (2) へ |
|--|---|

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり 日 １日当たり 時間

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (2) -1 へ

} ⇒ 問14へ |
|--|--|

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問14 問13の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

1. あった ⇒ 問16-1 へ 2. なかった ⇒ 問17 へ

問16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他 ()	日

⇒ 問16-2 へ

⇒ 問16-5 へ

問16-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当
てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に
一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前
にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問16-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問16-4 へ

問16-3 問16-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問16-4 問16-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 利用料がかかる・高い
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用法がわからない
5. 親が仕事を休んで対応できる
6. その他（ ）

問16-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問17 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問16-6 へ

問16-6 問16-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないのので休めない 4. その他（ ）

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

※参考 厚木市における放課後児童対策事業の概要

事業名称	事業内容	利用料（月額）	時間
放課後児童クラブ （市運営）	保護者の就労などにより、放課後家庭において適切な保育を受けることができない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供するもの。	4,000 円（18 時まで） 4,800 円（19 時まで） その他クラブ費 3,500 円 （おやつ代、教材費等）	平日：放課後～19 時 土曜日、夏休み等の長期 休業日等：7 時 30 分～ 19 時
民間児童クラブ （民間運営）		10,000 円～ 50,000 円程度 ※施設により相違	放課後～20 時 ※施設により相違
児 童 館	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置している。	無料	13 時～17 時

問 17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。当てはまる番号にすべてに〇をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

また、2・3を選んだ方は、利用している時間帯を口内に（例）18 時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 日くらい
2. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
3. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
4. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
5. 自宅	週 日くらい
6. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
7. 児童館	週 日くらい
8. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

問 18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

また、2・3を選んだ方は、利用したい時間帯を口内に（例）18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 日くらい
2. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
3. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
4. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
5. 自宅	週 日くらい
6. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
7. 児童館	週 日くらい
8. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

子ども会についてうかがいます。

子ども会は、地域を基盤とした異年齢の集団による、“遊び”を中心とした様々な“豊かな体験”活動を通して、子どもたちの健やかな成長発達を促すとともに、「子どもの夢」と「生きる力」を育む活動集団です。

活動の幅は広く、地域の自然、歴史、文化や様々な地域の人々とのふれあいの中で社会性を身につけ、特に異年齢の仲間集団の中で楽しさや喜びをわかちあうことなどにより豊かな人格を築くとともに、各種の体験活動を企画するなど、自主性を育むことができます。

問 19 宛名のお子さんについて、子ども会への参加状況について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. 子ども会に加入している | 2. 過去に加入していた | 3. 加入していない |
|----------------|--------------|------------|

問 19-1 問 19 で「2. 過去に加入していた 3. 加入していない」に○をつけた方に伺います。当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------|
| 1. 地域に子ども会がない | 2. 子ども会を知らなかった。 | 3. 役員を引き受けられない |
| 4. 魅力的な事業がない | 5. 参加する時間がない | |
| 6. その他（ | | ） |

ヤングケアラーについてうかがいます。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

問20 ヤングケアラーという言葉のをこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

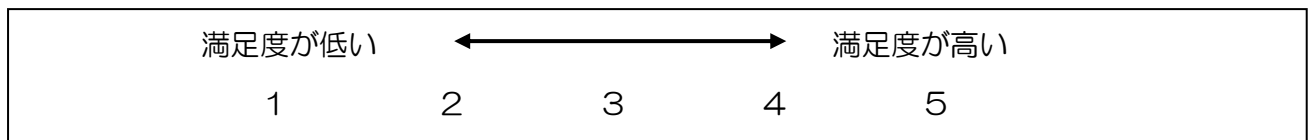
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問20-1 問20で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ | ） |

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



問21-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 放課後児童クラブ | 2. 児童館 |
| 3. 子ども科学館 | 4. 幼稚園、認定こども園、保育所 |
| 5. 小規模保育、家庭的保育 | 6. 病児・病後児保育 |
| 7. 幼稚園送迎ステーション | 8. 子ども医療費助成 |
| 9. 紙おむつ等の支給 | 10. 子育て支援センター「もみじの手」 |
| 11. ほっと れもんてい | 12. 託児室わたぐも（一時預かり） |
| 13. ファミリー・サポート・センター | 14. ほっとタイムサポーター |
| 15. 移動子育てサロン | 16. 児童館おひさまタイム |
| 17. 療育相談センター「まめの木」 | 18. 赤ちゃんの駅「ベビリア」 |
| 19. 子育てパスポートAYUCO | 20. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」 |
| 21. その他（ | ） |

問21-2 問21-1の子育て支援事業以外で、今後厚木市で実施してほしい、子育て支援事業があればご記入ください。

--

問22 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. とても良くなったと思う | 2. どちらかといえば、良くなったと思う |
| 3. あまり変わらない | 4. どちらかといえば、悪くなったと思う |
| 5. 最近転入してきてよくわからない | 6. わからない |

問23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

3. 小学5年児童・中学2年生徒調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

家庭での生活状況についてうかがいます。

問2 あなたの学年を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小学5年生
2. 中学2年生

問3 性別についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男
2. 女
3. 答えたくない

問4 一緒に住んでいる人についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親
2. 父親
3. 兄・姉 → () 人
4. 弟・妹 → () 人
5. 祖母
6. 祖父
7. その他 ()

問5 あなたについて、あてはまるものを選んでください。（A～Dそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない
A 今の自分が好きだ	1	2	3	4
B 親（保護者）から愛されている	1	2	3	4
C うまくいくかわからないことも頑張って取り組む	1	2	3	4
D 自分は役に立たないと思う	1	2	3	4

問6 あなたは週にどれくらい食事をしていますか。（A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	毎日食べる	週5～6日	週3～4日	週2日以下
A 朝食	1	2	3	4
B 夕食	1	2	3	4
C 夏休みや冬休み期間中の昼食	1	2	3	4

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そうである | 2. どちらかといえばそうである |
| 3. どちらかといえばそうではない | 4. そうではない |

問8 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（1～9については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------|----------|----------|
| 1. 親 | 2. きょうだい | 3. 祖父母など | 4. 学校の先生 |
| 5. 学校の友達 | 6. 学校外の友達 | | |
| 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | | | |
| 8. その他の大人（学童保育の人、塾・習い事の先生、地域の人 など） | | | |
| 9. ネットで知り合った人 | 10. だれにも相談できない、相談したくない | | |

問9 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。1つに○をつけてください。

1 まったく満足していない ←————→ 10 十分に満足している									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問10 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまる」「2 あてはまらない」「3 わからない、答えたくない」のどれかから回答してください。A～G それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	あてはまる	あてはまらない	わからない、答えたくない
A 一緒に住んでいる大人から、ひどく傷つくことを言われたり、けなされたりしない。	1	2	3
B 一緒に住んでいる大人から、なぐる、けるなどの暴力や体罰を受けたことがない。	1	2	3
C 身近に、自分を大切にしてくれる人、または支えてくれる人がいる。	1	2	3
D 必要な食べ物や服を与えてもらっている。	1	2	3
E 生まれてからずっと両親と一緒に暮らしている。	1	2	3
F 一緒に住んでいる家族が、暴力を振るわれたり暴言を言い合ったりしていない。	1	2	3
G 経済的に苦しいと感じることはない。	1	2	3

※ 家庭のことなど、なやんでいる場合は、子ども専用ダイヤル（電話：046-223-6693）に話してみてください。

問 1 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まあまああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。 A～O それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

	あてはまらない	まあまああてはまる	あてはまる
A 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
B 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
C 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
D 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
E 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
F 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思っているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
G 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
H 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
I 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。	1	2	3
J 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
K 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
L 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
M 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たち など）。	1	2	3
N 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
O 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問12 次の場所は、あなたの居場所（安心できる場所）になっていますか。（A～Eそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない
A 自分の部屋	1	2	3	4	5
B 家庭	1	2	3	4	5
C 学校	1	2	3	4	5
D 地域（公園など）	1	2	3	4	5
E インターネット空間	1	2	3	4	5

問13 あなたが次の内容について、どれくらい感じていますか。（A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	まったくない	ほとんどない	時々ある	いつもある
A 自分には話せる人がいないと感じることがある	1	2	3	4
B 自分はまわりから、取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
C 自分はひとりぼっちだと感じることがある	1	2	3	4

問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |

問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかといえば希望がある |
| 3. どちらかといえば希望がない | 4. 希望がない |

問16 家にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------|---------------|----------|----------|
| 1. テレビを見る | 2. ラジオを聴く | 3. 本を読む | 4. 新聞を読む |
| 5. ゲームをする | 6. 勉強をする | 7. 家事をする | |
| 8. 家族の看病をしたり、お世話をする | 9. インターネットをする | | |
| 10. あてはまるものはない | | | |

問21 最近6ヵ月間に、家族以外の人と会話しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. よく会話をした | 2. ときどき会話をした |
| 3. ほとんど会話をしなかった | 4. まったく会話をしなかった |

問22 ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問22-1 問22で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ | ） |

学校での生活状況についてうかがいます。

問23 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。 ※勉強には学校の宿題もふくみます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------------|--------------|
| 1. 自分で勉強する | 2. 塾で勉強する | 3. 学校の補習を受ける |
| 4. 家庭教師に教えてもらう | 5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する | |
| 6. 家の人に教えてもらう | 7. 友達と勉強する | |
| 8. その他（ | ） | |
| 9. 学校の授業以外で勉強はしない | | |

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる | 3. 教科によってわからないことがある |
| 4. わからないことが多い | 5. ほとんどわからない | |

問25 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|----------|---------------|
| 1. 中学 | 2. 中学、高校 | 3. 中学、高校、専門学校 |
| 4. 中学、高校、短大 | | 5. 中学、高校、大学 |
| 6. 中学、高校、大学、大学院 | | 7. その他（ |
| 8. まだわからない ⇒ 問27 へ | | ） |

問26 前の質問で1～7を選んだ場合、その理由は何ですか。1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 希望する学校や職業があるから | 2. 自分の成績から考えて |
| 3. 親がそう言っているから | 4. 兄、姉がそうしているから |
| 5. まわりの先輩や友人がそうしているから | 6. 家にお金がないと思うから |
| 7. 早く働く必要があるから | 8. とくに理由はない |
| 9. その他（ | ） |

問27 あなたは学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブなどに参加していますか。
1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 参加している ⇒ 問29へ | 2. 参加していない |
|------------------|------------|

問28 前の質問で参加していないを選んだ人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 入りたい部活・クラブがないから | 2. 塾や習い事が忙しいから |
| 3. 費用がかかるから | 4. 家の事情（家族の世話、家事など） |
| 5. 一緒に入る友達がいないから | |
| 6. その他（ | ） |

問29 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |

問30 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかと言えば希望がある |
| 3. どちらかと言えば希望がない | 4. 希望がない |

※次ページに続きます。

問3 1 あなたは、次のA～Dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない 場合、今後利用したいと思いますか。A～Dそれぞれについて、1つに○をつけてください。

	利用した ことが ある	利用したことはない		
		あれば利 用したい	利用した くない	分から ない
A (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童保育や公民館、児童館など)	1	2	3	4
B (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か 安く食べることができる場所(子供食堂 など)	1	2	3	4
C 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
D (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問3 2 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友だちが増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	
8. その他 ()	
9. 特に変化はない	

厚木市子ども・子育て支援事業ニーズ調査 報告書

令和 6 年 3 月

発 行 厚木市

企画・編集 厚木市 こども未来部 こども育成課
〒243-8511 厚木市中町三丁目 17 番 17 号
電話 046 (225) 2262

調 査 協 力 株式会社エスピー研

厚 木 市
子ども・子育て支援事業二一ズ調査
報 告 書

令和6年3月
厚 木 市

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査対象	3
3. 抽出方法	3
4. 調査期間	3
5. 調査方法	3
6. 回収状況	3
7. 報告書の見方	4

II 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について	7
(1) 居住地区	7
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	8
(1) 宛名の子どもの年齢	8
(2) 宛名の子どものきょうだい数	8
(3) 記入者	9
(4) 記入者の配偶者有無	9
(5) 子育てを主に行っている人	9
(6) 現在の暮らしの状況	10
(7) 暮らしの状況が苦しい理由	10
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	11
(1) 子育てに日常的に関わっている人	11
(2) 子育てに最も影響すると思う環境	11
(3) 子どもをみてもらえる親族・知人	12
(4) 親族に子どもをみてもらっている状況	12
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	13
(6) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	13
(7) 子育てに関しての相談先	14
(8) 子どもの発達や育ちについて気になること	15
4. 保護者の就労状況について	16
(1) 保護者の就労状況	16
(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	17
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻	19
(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	20
(5) 未就労者の今後の就労意向	21
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	23
(2) 定期的に利用している教育・保育事業	23
(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度	24

目 次

(4) 利用している教育・保育事業の実施場所	26
(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由	26
(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由	27
(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望	28
(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向	28
(9) 教育・保育事業を利用したい場所	29
(10) 幼稚園の利用希望	29
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	30
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	30
(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	31
(3) 子育て支援事業の利用状況	33
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	36
(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望	36
(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由	37
(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望	37
(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由	38
8. 病気の際の対応について	39
(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無	39
(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法	39
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	41
(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態	42
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	42
(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか	43
(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由	43
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	44
(1) 不定期に利用している預かり事業	44
(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由	45
(3) 不定期の預かり事業の利用希望	46
(4) 不定期の預かり事業の望ましい事業形態	47
(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望	48
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	50
(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）	50
(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）	52
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
(1) 育児休業の取得状況	54
(2) 育児休業給付、保険料免除についての認知状況	57
(3) 育児休業取得後の職場復帰の有無	57
(4) 育児休業取得後の職場復帰の時期	58
(5) 実際に職場復帰した時期と希望の職場復帰の時期	59

(6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する 職場復帰の時期	60
(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	61
(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	62
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	63
(10) 子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期 ..	64
12. ヤングケアラーについて	65
(1) ヤングケアラーの認知度	65
(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ	65
13. 厚木市の子育て環境について	66
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度	66
(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業	67
(3) 市の子育て環境の変化	68
(4) 「送迎ステーション事業」の利用意向	68

Ⅲ 就学児童調査結果

1. お住まいの地域について	71
(1) 居住地区	71
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	72
(1) 宛名の子どもの学年	72
(2) 宛名の子どものきょうだい数	72
(3) 記入者	73
(4) 記入者の配偶者有無	73
(5) 子育てを主に行っている人	73
(6) 現在の暮らしの状況	74
(7) 暮らしの状況が苦しい理由	74
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	75
(1) 子どもをみてもらえる親族・知人	75
(2) 親族に子どもをみてもらっている状況	75
(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	76
(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	76
(5) 子育てに関しての相談先	77
(6) 子育て支援事業の利用状況	78
(7) 子どもの発達や育ちについて気になること	81
4. 保護者の就労状況について	82
(1) 保護者の就労状況	82
(2) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間	83
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻	85
(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	86
(5) 未就労者の今後の就労意向	87

目 次

5. 病気の際の対応について	89
（1）子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無	89
（2）小学校を休んだ場合の対処方法	89
（3）病児・病後児保育施設等の利用希望	91
（4）病児・病後児保育の望ましい事業形態	92
（5）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	92
（6）子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか	93
（7）仕事を休んで看ることが難しい理由	93
6. 子どもの放課後の過ごし方について	94
（1）現在の放課後の過ごし方	94
（2）希望する放課後の過ごし方	96
7. 子ども会について	98
（1）子ども会への参加状況	98
（2）子ども会に加入していない理由	98
8. ヤングケアラーについて	99
（1）ヤングケアラーの認知度	99
（2）ヤングケアラーを知ったきっかけ	99
9. 厚木市の子育て環境について	100
（1）地域における子育ての環境や支援への満足度	100
（2）市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業	101
（3）市の子育て環境の変化	102

Ⅳ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

1. お住まいの地域について	105
（1）居住地区	105
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	106
（1）学年	106
（2）性別	106
（3）同居家族	107
（4）自分自身について	108
（5）食事の頻度	109
（6）ふだんの就寝時間	110
（7）困っていることや悩みごとがあるときの相談相手	110
（8）生活の満足度	111
（9）家庭生活について	112
（10）日常生活について	113
（11）安心できる居場所	115
（12）孤独感について	116
（13）「社会のために役立つことをしたい」と思うか	117

(14) 将来について明るい希望の有無	117
(15) 家での時間の使い方	118
(16) 外出の頻度	118
(17) 現在の外出状況になってからの期間	119
(18) 現在の外出状況になった年齢	119
(19) 現在の外出状況になった理由	120
(20) 最近6ヵ月間の家族以外の人との会話	121
(21) ヤングケアラーの認知度	121
(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ	122
3. 学校での生活状況	123
(1) 学校の授業以外での学習状況	123
(2) 学校の授業でのわからないことの有無	124
(3) 希望する進学先	124
(4) 進学先の希望理由	125
(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況	125
(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由	126
(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか	126
(8) 将来について明るい希望の有無	127
(9) 施設等の利用状況	128
(10) 施設等を利用したことによる変化	129

V 調査票

1. 未就学児調査	133
2. 就学児童調査	160
3. 小学5年児童・中学2年生徒調査	173

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき 2025 年度から 2029 年度までの 5 年間を計画期間とした「第 4 期厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出等に活用するため、ニーズの現状を把握し、分析を行う。また、「自治体こども計画」策定に向け、こどもの貧困等の実態調査を目的とする。

2. 調査対象

- (1) 未就学児調査 市内在住の小学校入学前の子どもがいる保護者 2,000 人
- (2) 就学児童調査 市内在住の小学生の子どもがいる保護者 2,000 人
- (3) 小学 5 年児童・中学 2 年生徒調査 市内在住の小学 5 年生及び中学 2 年生 2,000 人

3. 抽出方法

年齢別、地域別の分析が可能となるように、令和 5 年 11 月 1 日時点で住民基本台帳から未就学児・就学児童の保護者及び小学 5 年生・中学 2 年生を無作為に抽出した。

4. 調査期間

令和 5 年 12 月 1 日（金）～12 月 28 日（木）

5. 調査方法

アンケート調査票の郵送による配付・回収

6. 回収状況

調査区分	母集団数	標本数	有効回収数	有効回収率
未就学児	8,499	2,000	862	43.1%
就学児童	12,500	2,000	832	41.6%
小学 5 年児童・中学 2 年生徒	3,836	2,000	787	39.4%

7. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 設問の回答数(基数)は、(n)で表示している。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (4) 回答数(n)が30未満のものは、基数が少なく誤差が大きくなるため、一部を除き本文では触れていない。
- (5) 未就学児のクロス集計の年齢区分は以下の通りとなっている。

年齢	生年月日	年齢	生年月日
0歳	2022年4月以降	3歳	2019年4月～2020年3月
1歳	2021年4月～2022年3月	4歳	2018年4月～2019年3月
2歳	2020年4月～2021年3月	5歳	2017年4月～2018年3月

Ⅱ 未就学児調査結果

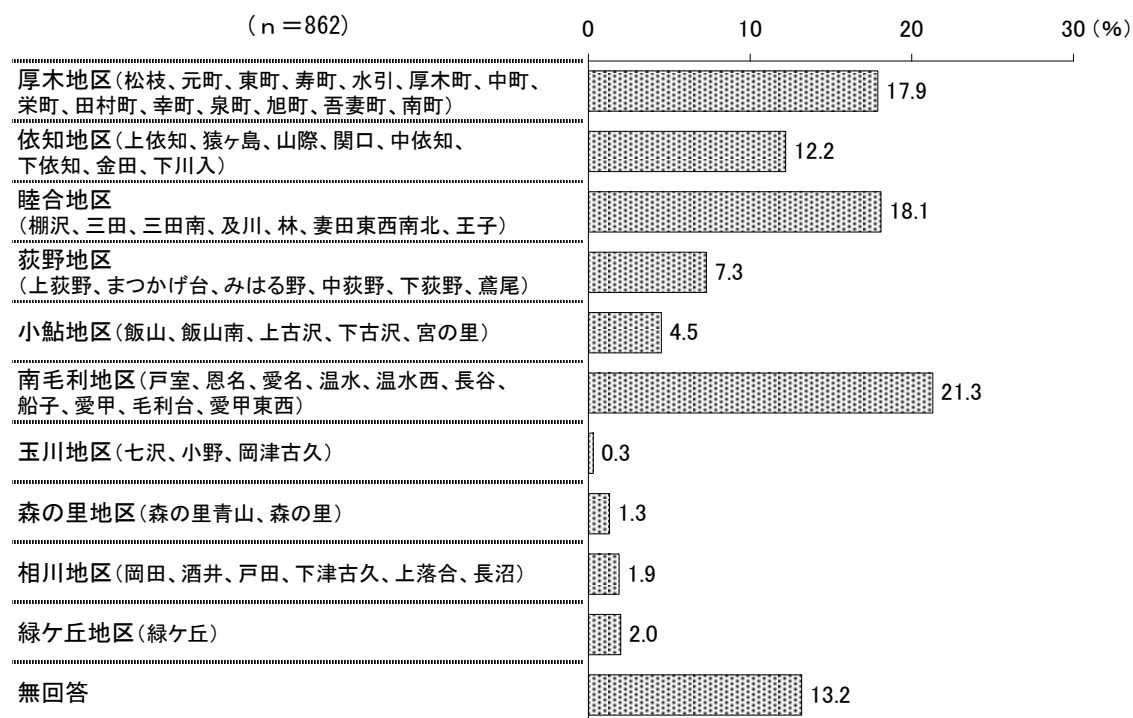
Ⅱ 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「南毛利地区」が21.3%で最も高く、次いで「睦合地区」が18.1%、「厚木地区」が17.9%、「依知地区」が12.2%となっている。

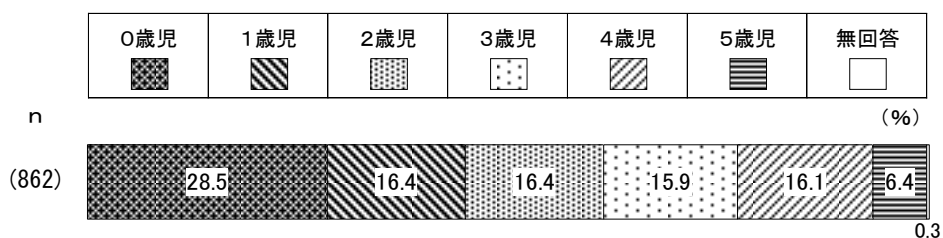


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

宛名の子どもの年齢は、「0歳児」が28.5%で最も高く、次いで「1歳児」と「2歳児」がともに16.4%、「4歳児」が16.1%となっている。



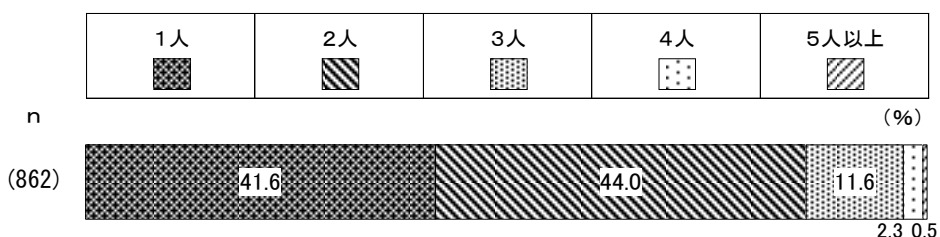
(2) 宛名の子どものきょうだい数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の生年月をご記入ください。

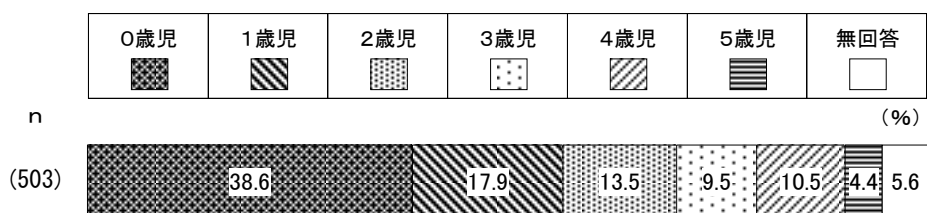
宛名の子どものきょうだい数は、「2人」が44.0%で最も高く、次いで「1人」が41.6%、「3人」が11.6%、「4人」が2.3%となっている。

末子の年齢は、「0歳児」が38.6%で最も高く、次いで「1歳児」が17.9%、「2歳児」が13.5%、「4歳児」が9.5%となっている。

【きょうだい数】



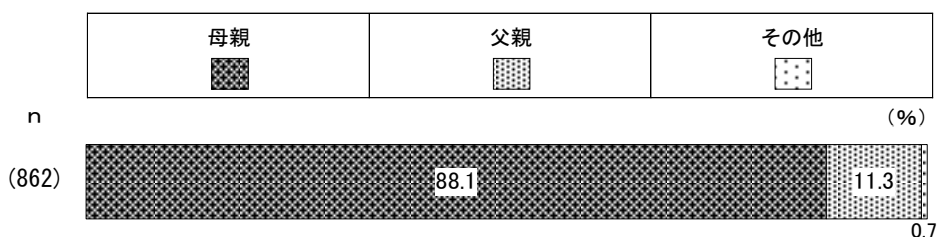
【末子の年齢】



(3) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

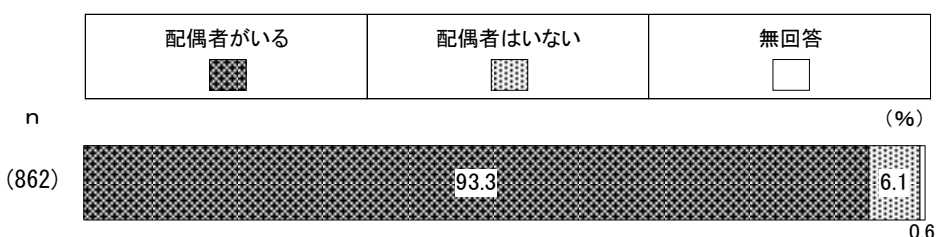
調査票の記入者は、「母親」が88.1%、「父親」は11.3%となっている。



(4) 記入者の配偶者有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の記入者の配偶者有無は、「配偶者がいる」が93.3%、「配偶者はいない」は6.1%となっている。

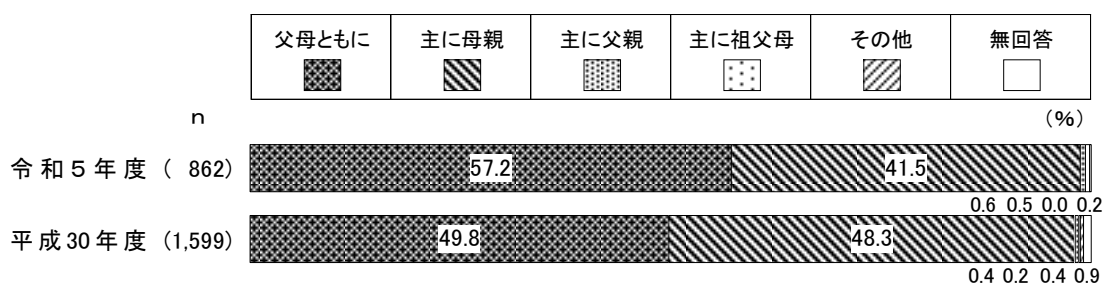


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が57.2%で最も高く、次いで「主に母親」が41.5%となっている。

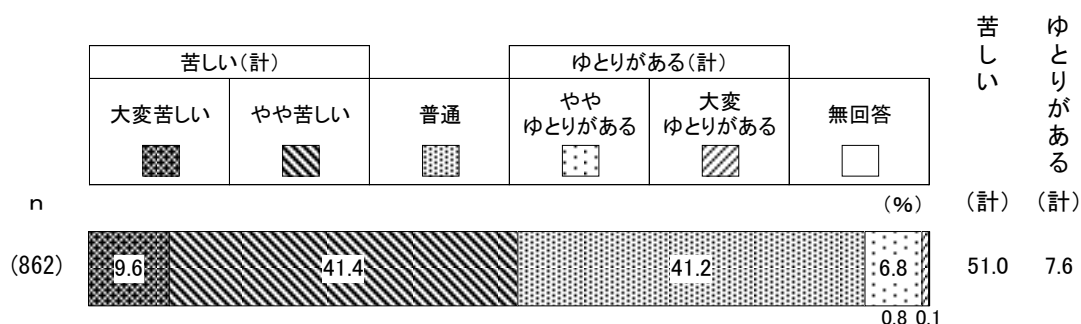
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」は7.4ポイント増加している。一方、「主に母親」は6.8ポイント減少している。



(6) 現在の暮らしの状況

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

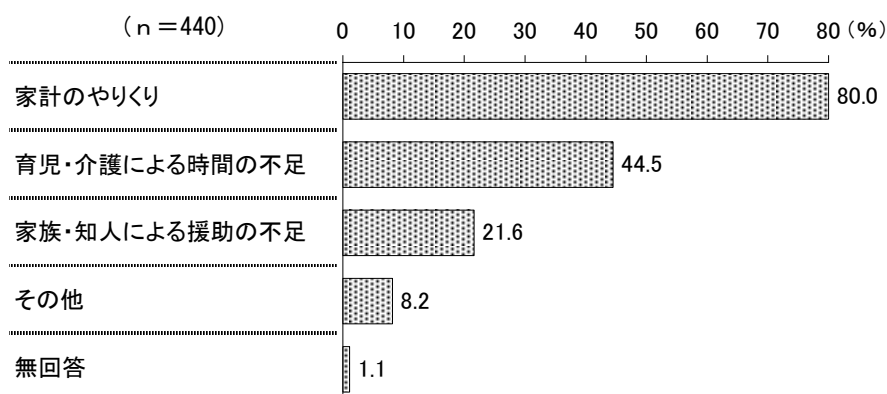
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」(9.6%)と「やや苦しい」(41.4%)を合わせた『苦しい(計)』は51.0%となっている。一方、「ややゆとりがある」(6.8%)と「大変ゆとりがある」(0.8%)を合わせた『ゆとりがある(計)』は7.6%となっている。また、「普通」は41.2%となっている。



(7) 暮らしの状況が苦しい理由

問8 問7で「大変苦しい」または「やや苦しい」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

暮らしの状況が苦しい理由は、「家計のやりくり」が80.0%で最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」が44.5%、「家族・知人による援助の不足」が21.6%となっている。



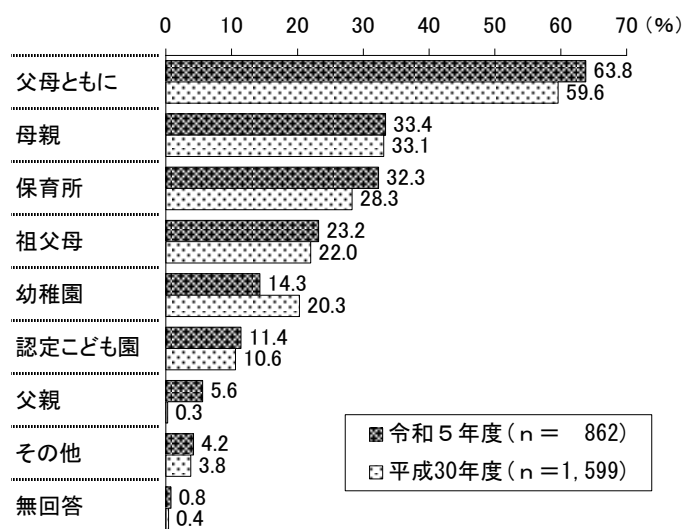
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」が63.8%で最も高く、次いで「母親」が33.4%、「保育所」が32.3%、「祖父母」が23.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「父親」は5.3ポイント、「父母ともに」は4.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は6.0ポイント減少している。

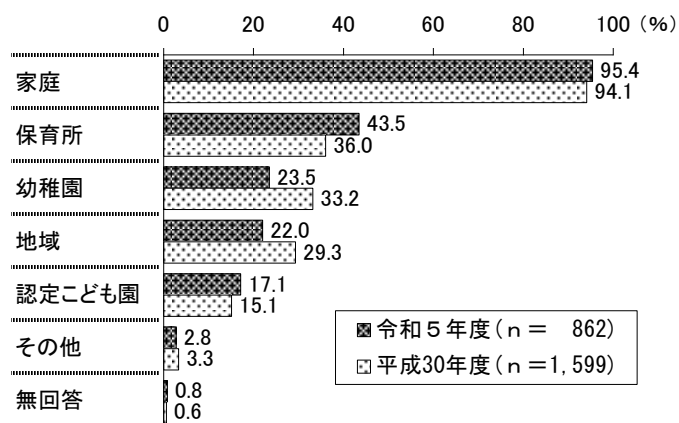


(2) 子育てに最も影響すると思う環境

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに最も影響すると思う環境は、「家庭」が95.4%で最も高く、次いで「保育所」が43.5%、「幼稚園」が23.5%、「地域」が22.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育所」は7.5ポイント増加している。一方、「幼稚園」は9.7ポイント、「地域」は7.3ポイント、それぞれ減少している。

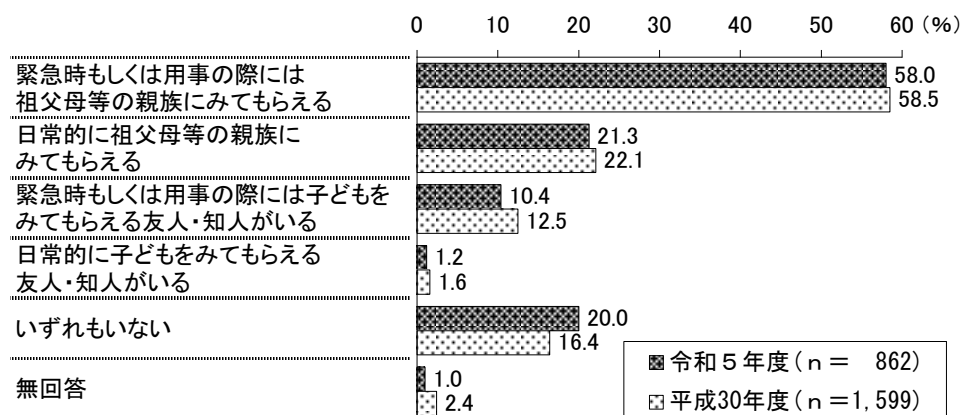


(3) 子どもをみてもらえる親族・知人

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.0%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.3%となっている。一方、「いずれもない」は20.0%となっている。

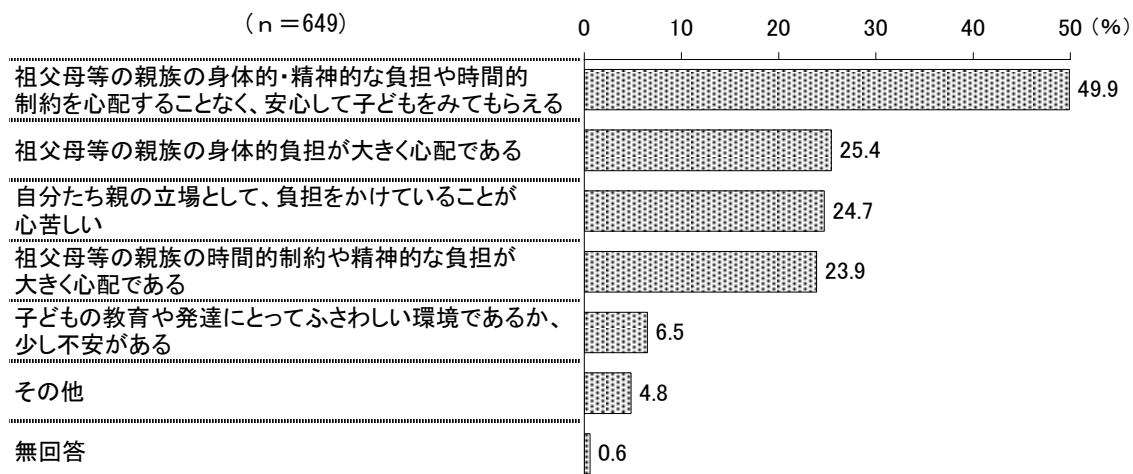
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」は3.6ポイント増加している。



(4) 親族に子どもをみてもらっている状況

問11-1 問11で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

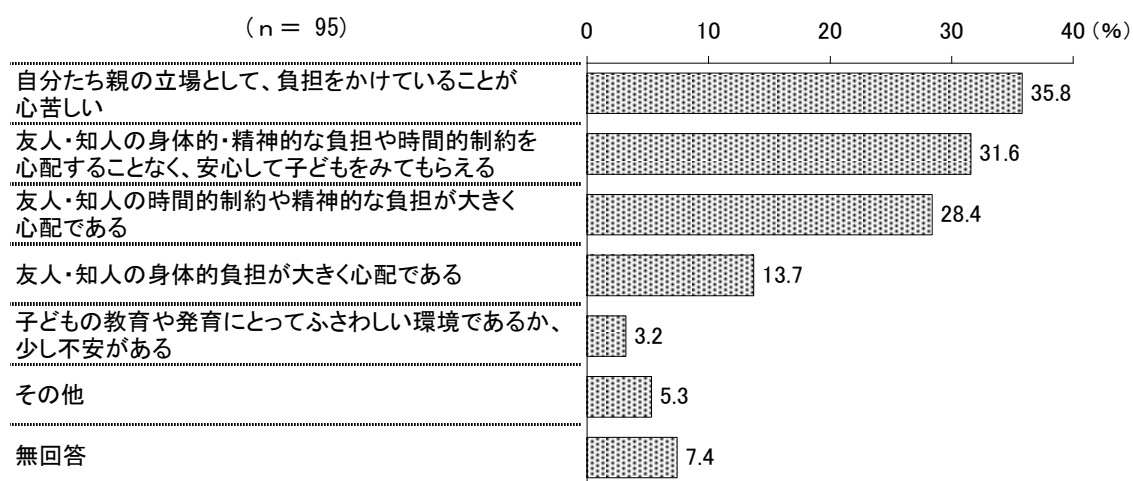
親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が49.9%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が25.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.9%となっている。



(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問11-2 問11で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が35.8%で最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が31.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が28.4%となっている。

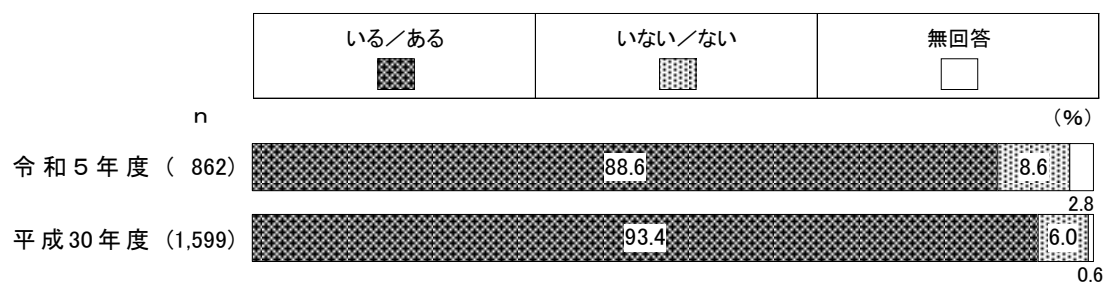


(6) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる／ある」が88.6%、「いない／ない」は8.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」は4.8ポイント減少している。

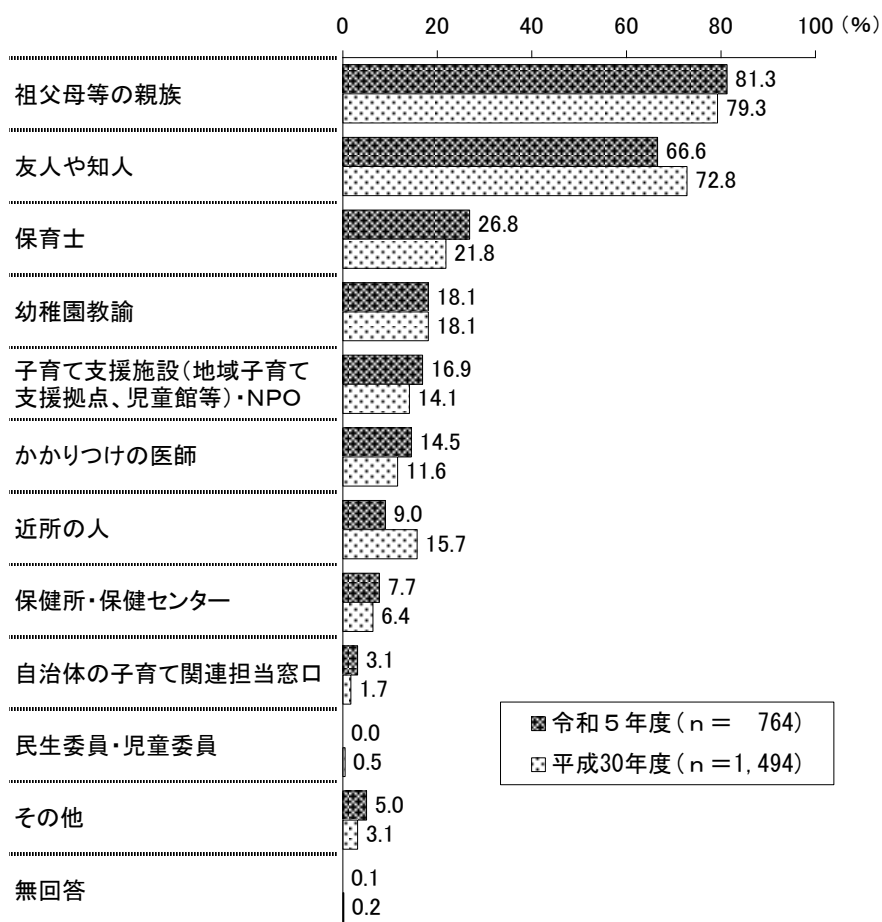


(7) 子育てに関しての相談先

問12-1 問12で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関しての相談先は、「祖父母等の親族」が81.3%で最も高く、次いで「友人や知人」が66.6%、「保育士」が26.8%、「幼稚園教諭」が18.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育士」は5.0ポイント増加している。一方、「近所の人」は6.7ポイント、「友人や知人」は6.2ポイント、それぞれ減少している。

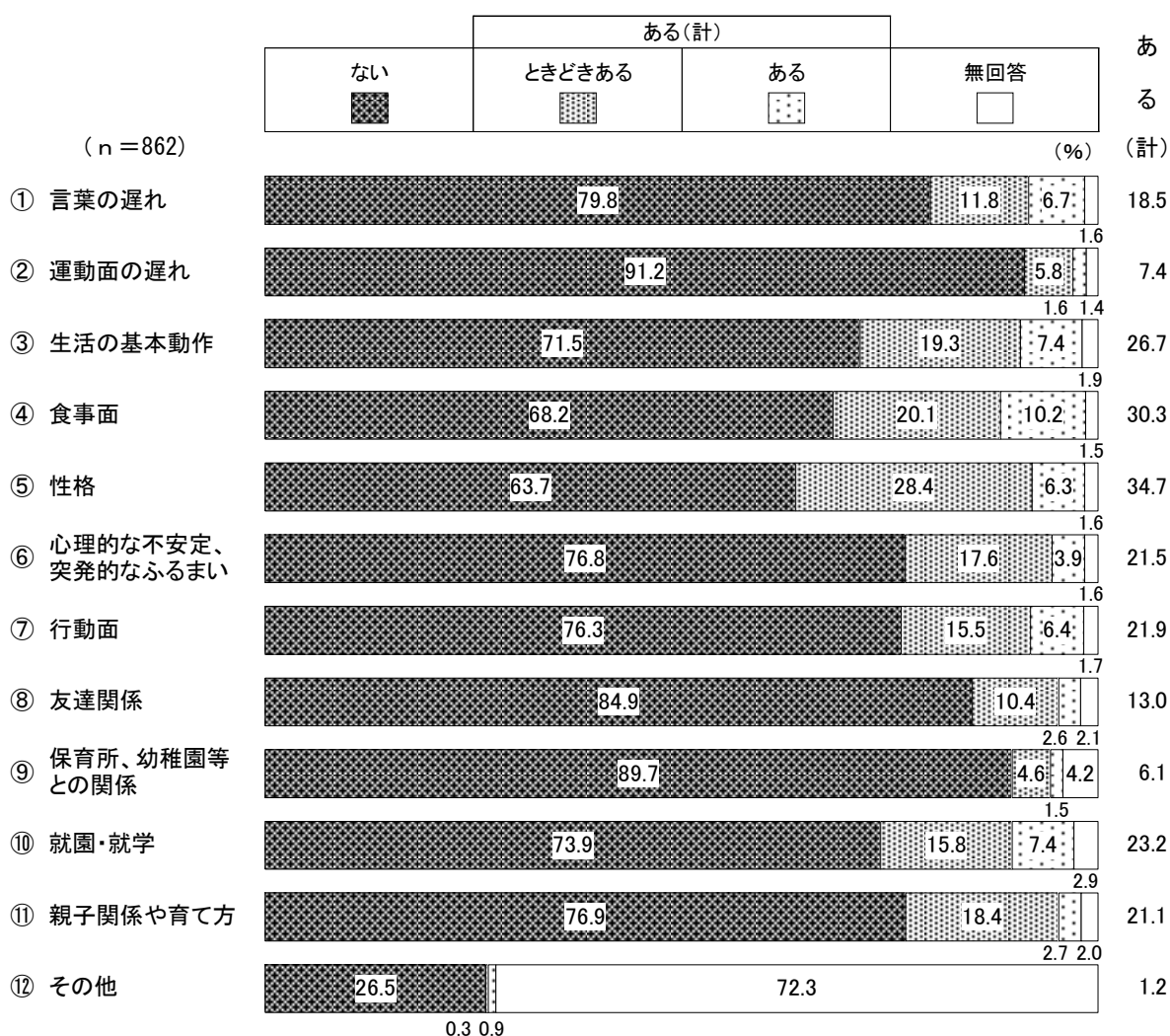


(8) 子どもの発達や育ちについて気になること

問13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

子どもの発達や育ちについて気になることが、「ない」は“運動面の遅れ”で91.2%と最も高く、次いで“保育所、幼稚園等との関係”で89.7%、“友達関係”で84.9%になっている。

一方、「ときどきある」と「ある」を合わせた『ある(計)』は“性格”で34.7%と最も高く、次いで“食事面”で30.3%、“生活の基本動作”で26.7%になっている。



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

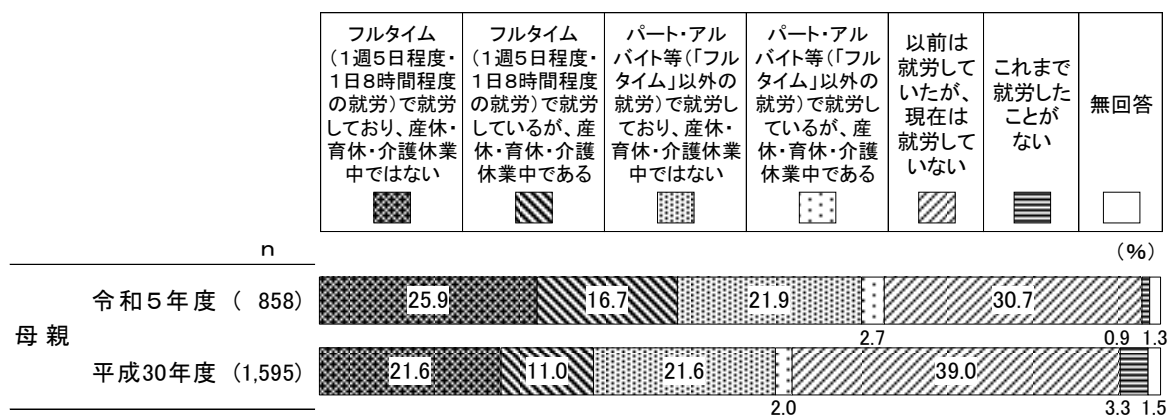
保護者の現在の就労状況は、母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.7%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.9%、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は5.7ポイント、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は8.3ポイント減少している。

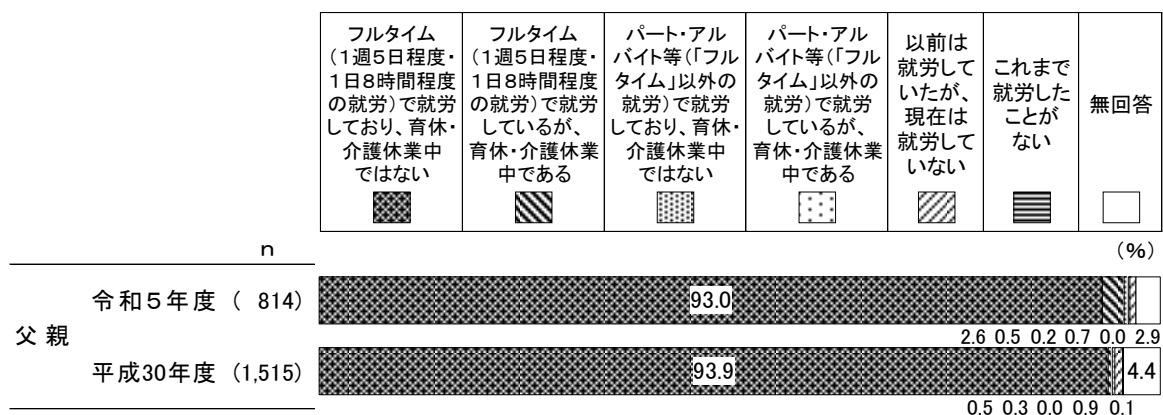
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.0%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」が2.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(1) 母親



(2) 父親



(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

問14-1 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数は、母親では、「5日」が70.1%で最も高く、次いで「4日」が16.1%、「3日」が5.9%となっている。

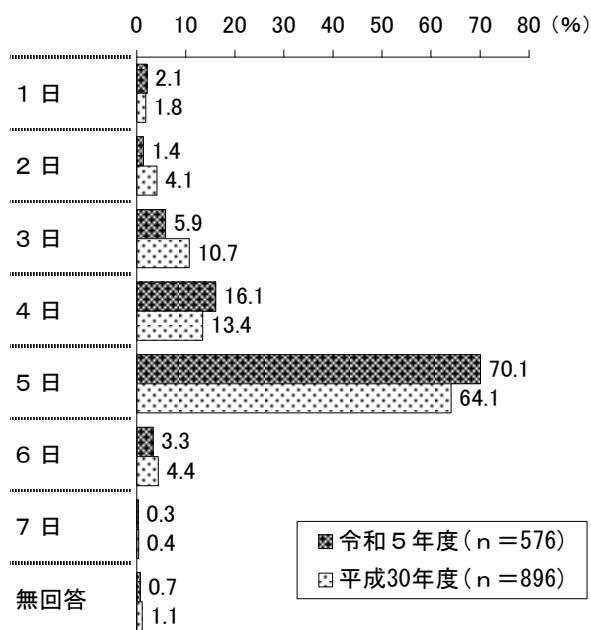
平成30年度調査と比較すると、「5日」は6.0ポイント増加している。一方、「3日」は4.8ポイント減少している。

父親では、「5日」が74.9%で最も高く、次いで「6日」が18.8%、「3日」が1.9%となっている。

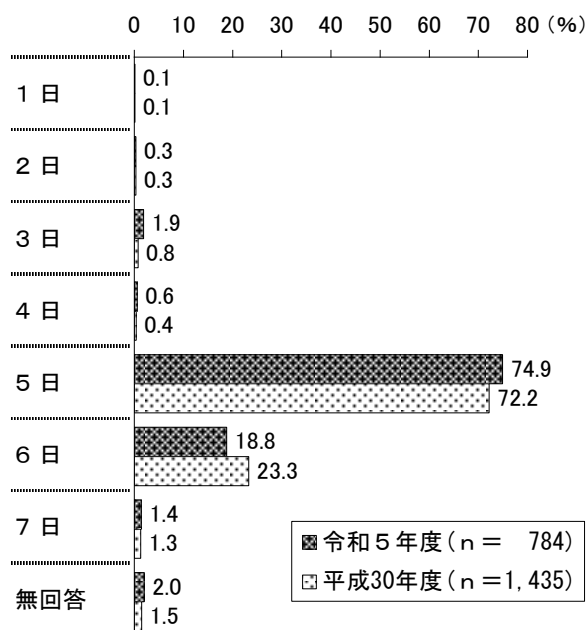
平成30年度調査と比較すると、「6日」は4.5ポイント減少している。

【1週当たりの就労日数】

(1) 母親



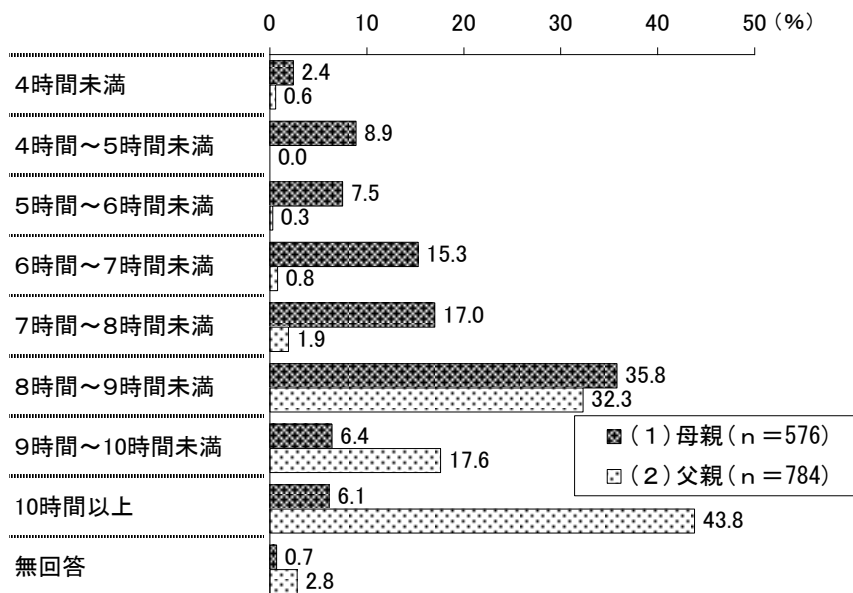
(2) 父親



1日当たりの就労時間は、母親では、「8時間～9時間未満」が35.8%で最も高く、次いで「7時間～8時間未満」が17.0%、「6時間～7時間未満」が15.3%となっている。

父親では、「10時間以上」が43.8%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が32.3%、「9時間～10時間未満」が17.6%となっている。

【1日当たりの就労時間】



(3) 家を出る時刻と帰宅時刻

問14-2 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

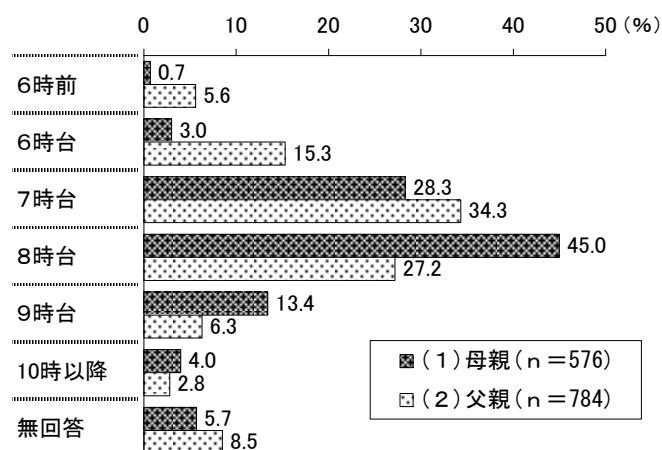
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が45.0%で最も高く、次いで「7時台」が28.3%、「9時台」が13.4%となっている。

父親では、「7時台」が34.3%で最も高く、次いで「8時台」が27.2%、「6時台」が15.3%となっている。

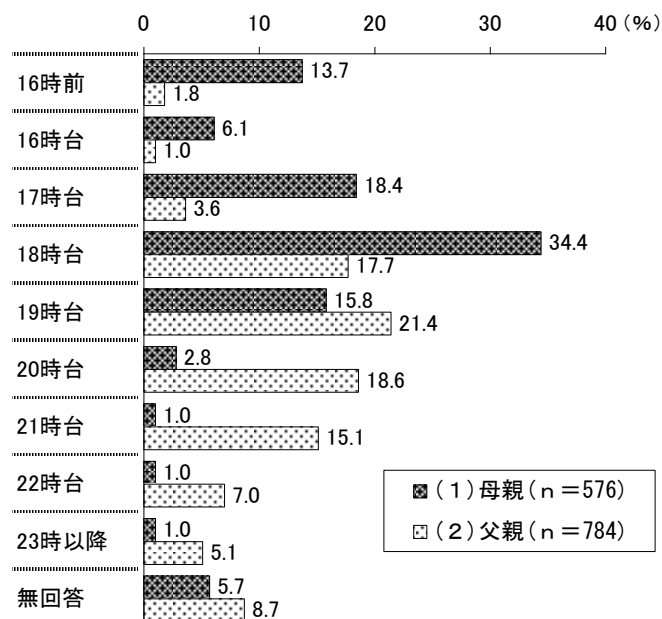
帰宅時刻は、母親では、「18時台」が34.4%で最も高く、次いで「17時台」が18.4%、「19時台」が15.8%となっている。

父親では、「19時台」が21.4%で最も高く、次いで「20時台」が18.6%、「18時台」が17.7%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

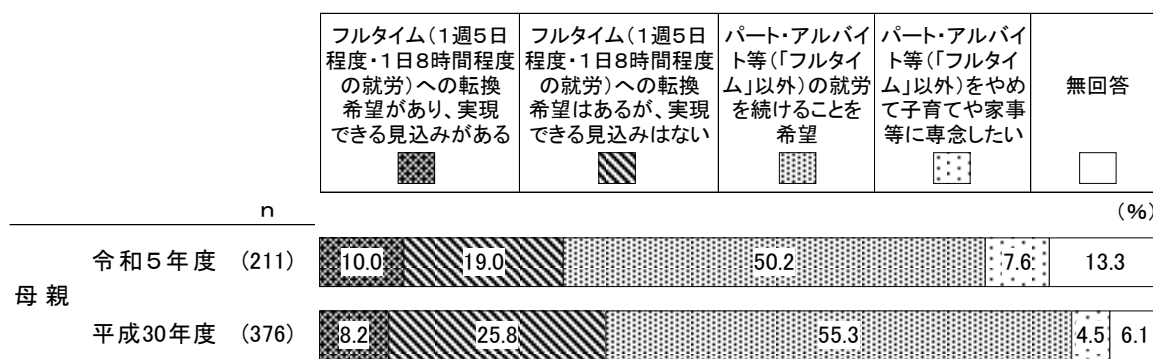
問15 問14で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が50.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が19.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）をやめて子育てや家事等に専念したい」は3.1ポイント増加している。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は6.8ポイント、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」は5.1ポイント、それぞれ減少している。

父親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が3件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「無回答」がそれぞれ1件ずつとなっている。

(1) 母親



(5) 未就労者の今後の就労意向

問16 問14で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

未就労者の今後の就労意向は、母親では、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が49.1%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

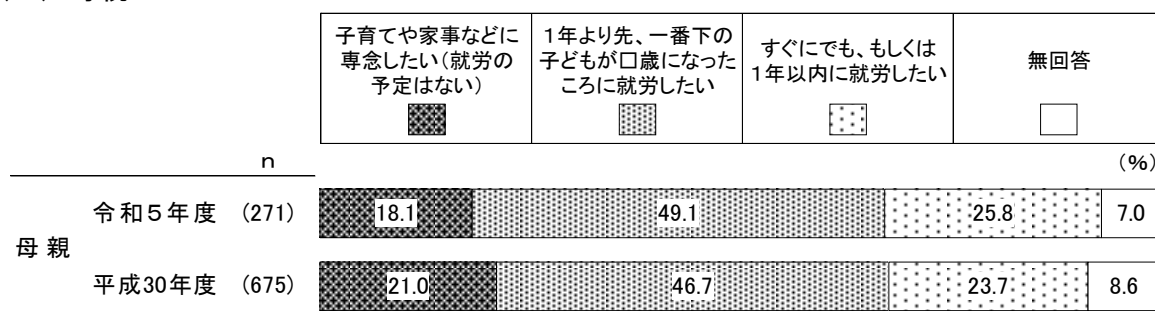
父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件、「無回答」が3件となっている。

就労を希望するときの末子の年齢は、母親では、「2歳～3歳」が41.4%で最も高く、次いで「6歳～7歳」が24.8%、「4歳～5歳」が12.8%となっている。

父親は回答対象者がいない。

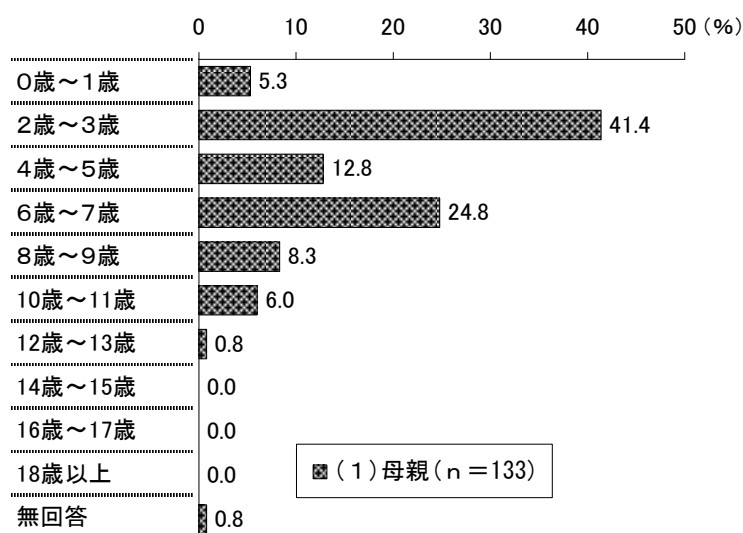
【今後の就労意向】

(1) 母親



【就労を希望するときの末子の年齢】

(1) 母親



希望する就労形態は、母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が25.7%、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」は74.3%となっている。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数は、母親では、「3日」が50.0%で最も高く、次いで「4日」が30.8%、「5日」が13.5%となっている。

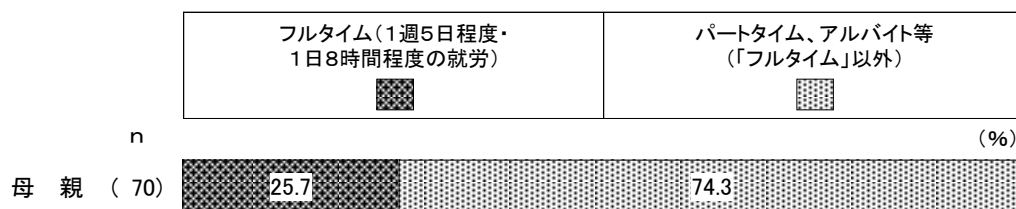
父親は回答対象者がいない。

パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間は、母親では、「5時間～6時間未満」が55.8%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が26.9%、「6時間～7時間未満」が9.6%となっている。

父親は回答対象者がいない。

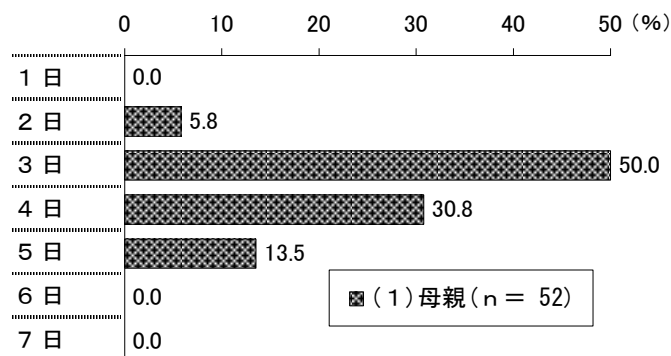
【希望する就労形態】

（1）母親



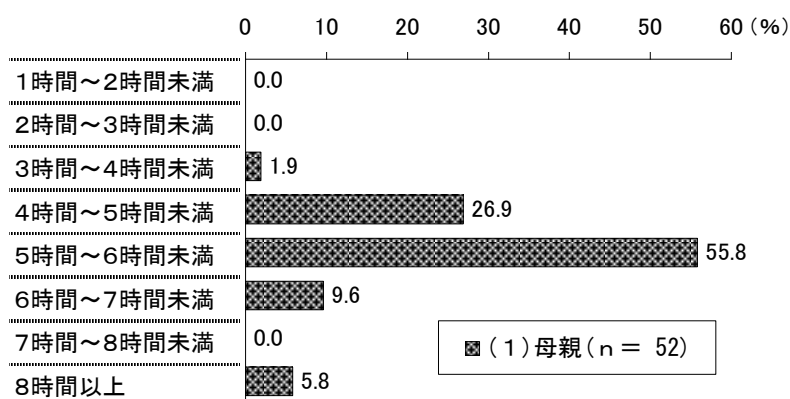
【パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数】

（1）母親



【パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間】

（1）母親



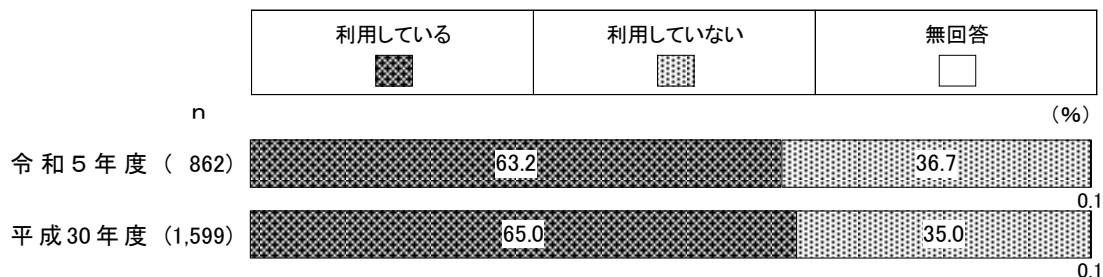
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が63.2%、「利用していない」は36.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

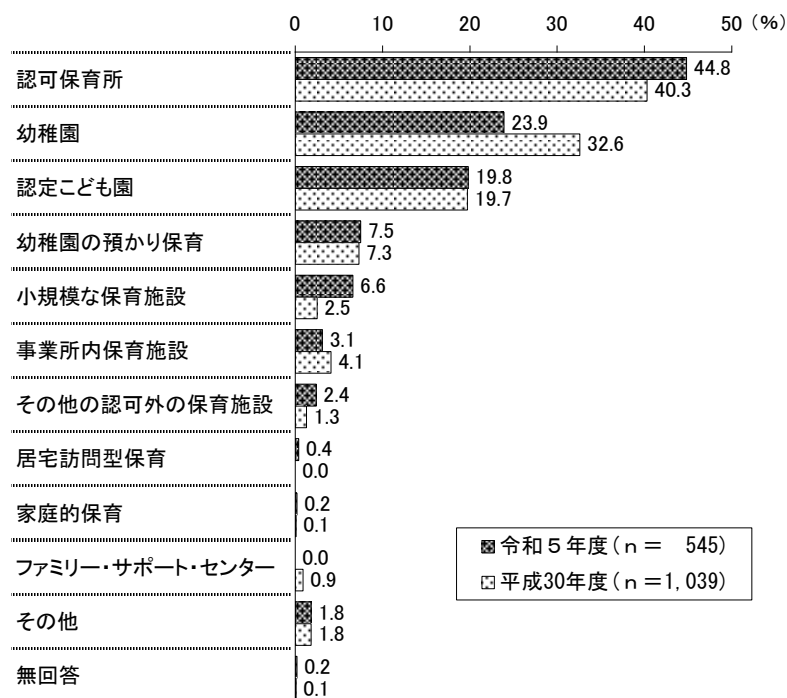


(2) 定期的にご利用している教育・保育事業

問17-1 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が44.8%で最も高く、次いで「幼稚園」が23.9%、「認定こども園」が19.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」は4.5ポイント、「小規模な保育施設」は4.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.7ポイント減少している。



(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度

問17ー2 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

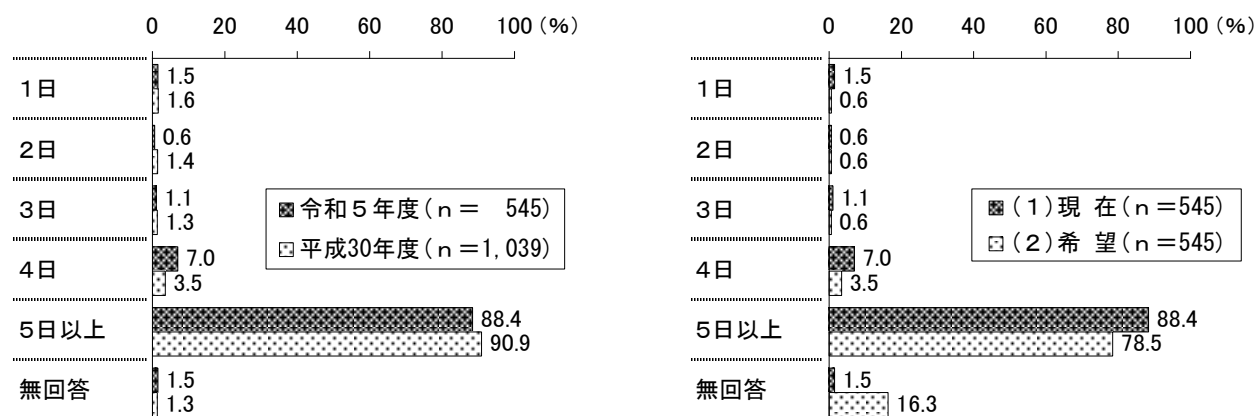
定期的に利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「5日以上」が88.4%で最も高く、次いで「4日」が7.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「4日」は3.5ポイント増加している。

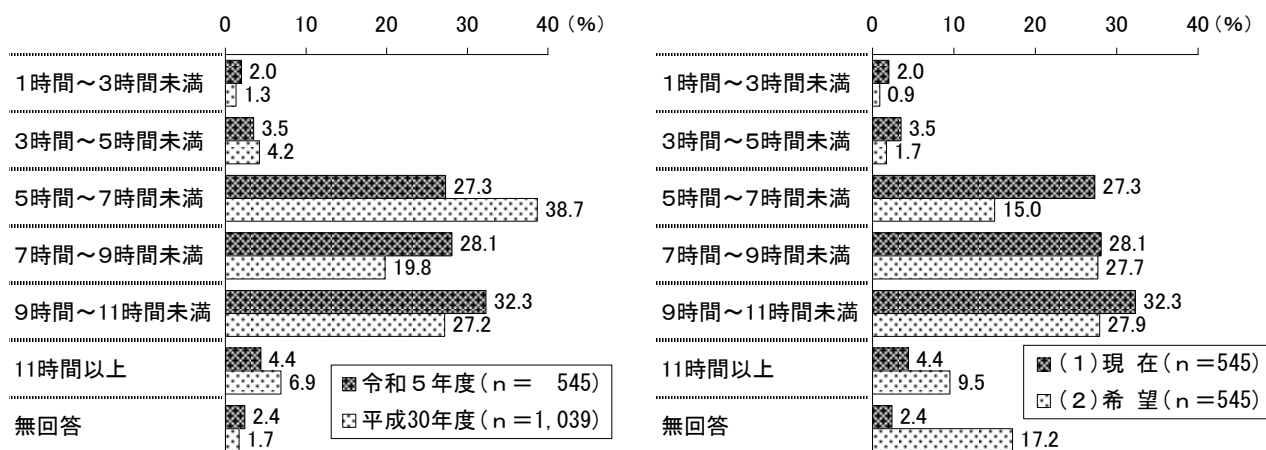
1日当たりの利用時間は、「9時間～11時間未満」が32.3%で最も高く、次いで「7時間～9時間未満」が28.1%、「5時間～7時間未満」が27.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～9時間未満」は8.3ポイント、「9時間～11時間未満」は5.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「5時間～7時間未満」は11.4ポイント減少している。

【1週当たりの利用日数】



【1日当たりの利用時間】



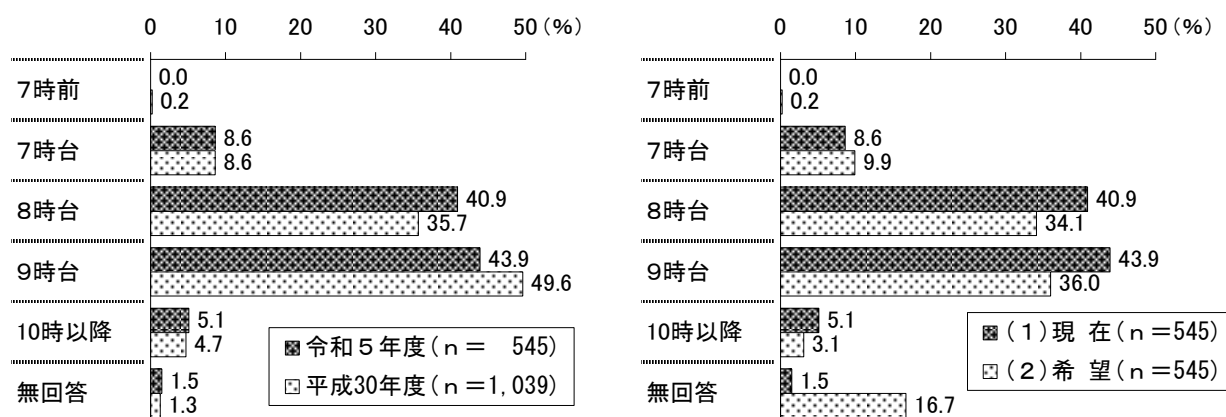
利用開始時刻は、「9時台」が43.9%で最も高く、次いで「8時台」が40.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」は5.2ポイント増加している。一方、「9時台」は5.7ポイント減少している。

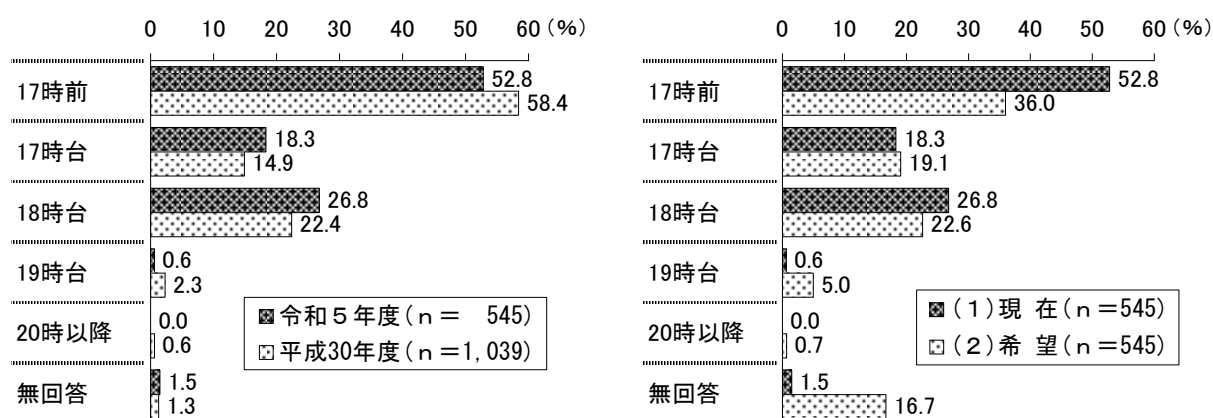
利用終了時刻は、「17時前」が52.8%で最も高く、次いで「18時台」が26.8%、「17時台」が18.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」は4.4ポイント、「17時台」は3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「17時前」は5.6ポイント減少している。

【利用開始時刻】



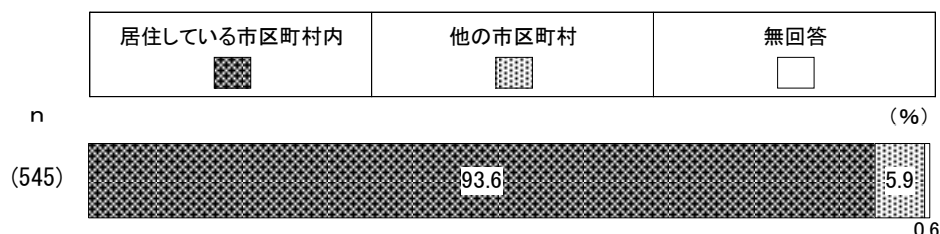
【利用終了時刻】



(4) 利用している教育・保育事業の実施場所

問17-3 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

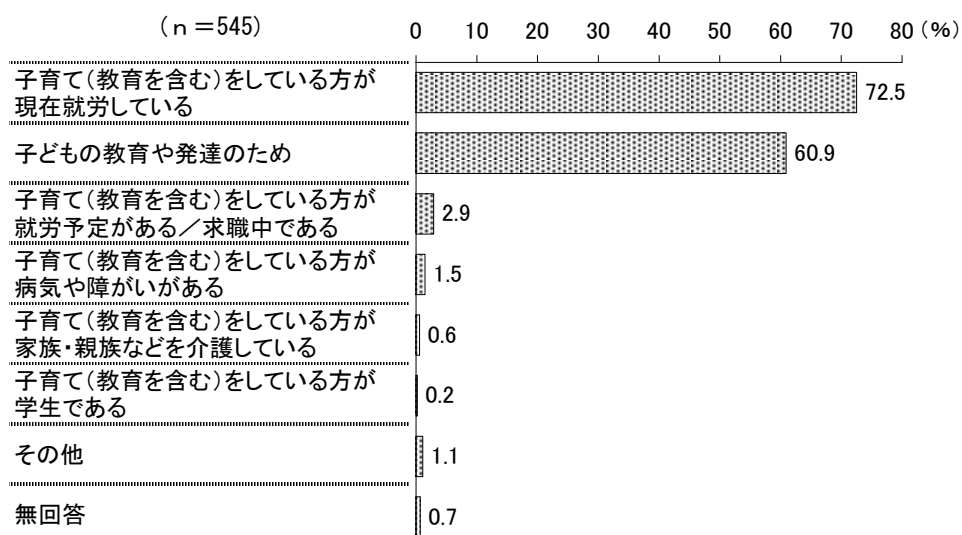
利用している教育・保育事業の実施場所は、「居住している市区町村内」が93.6%、「他の市区町村」は5.9%となっている。



(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

問17-4 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が72.5%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が60.9%となっている。



(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

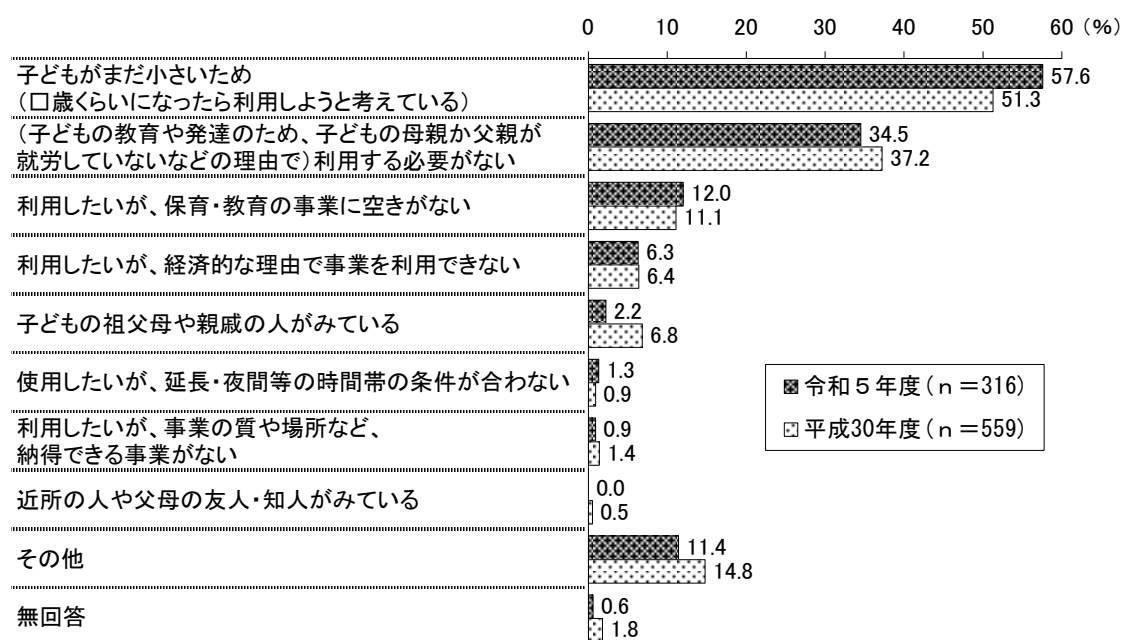
問17ー5 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が57.6%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が34.5%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が12.0%となっている。

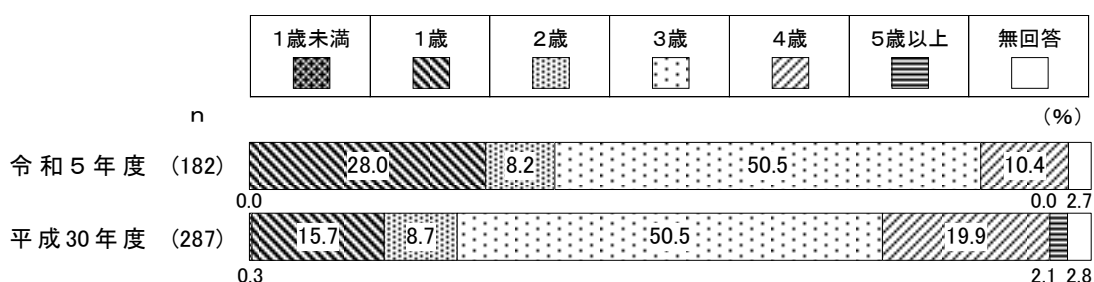
平成30年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」は6.3ポイント増加している。一方、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」は4.6ポイント減少している。

「子どもがまだ小さいため」と答えた方の、利用したい年齢は、「3歳」が50.5%で最も高く、次いで「1歳」が28.0%、「4歳」が10.4%、「2歳」が8.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」は12.3ポイント増加している。一方、「4歳」は9.5ポイント減少している。



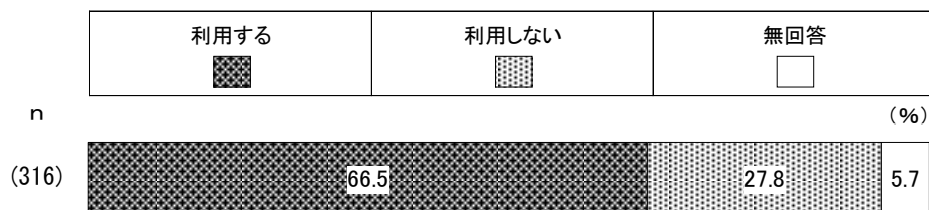
【利用したい年齢】



(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望

問17ー6 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。こども誰でも通園制度が始まったら、保育所等を利用したいですか。いずれかに○をつけてください。

「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望は、「利用する」が66.5%、「利用しない」は27.8%となっている。

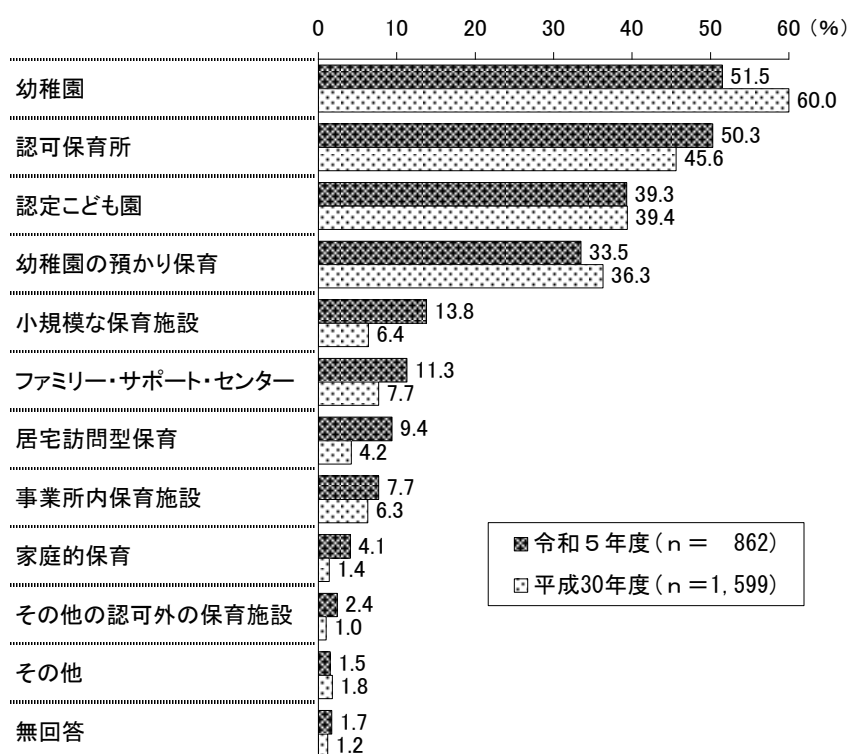


(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向

問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

平日の教育・保育事業の今後の利用意向は、「幼稚園」が51.5%で最も高く、次いで「認可保育所」が50.3%、「認定こども園」が39.3%、「幼稚園の預かり保育」が33.5%となっている。

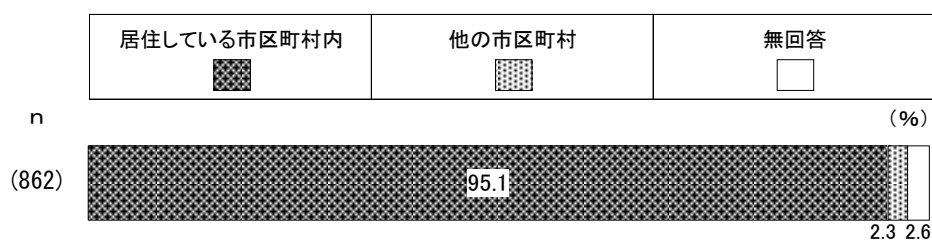
平成30年度調査と比較すると、「小規模な保育施設」は7.4ポイント、「居宅訪問型保育」は5.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.5ポイント減少している。



(9) 教育・保育事業を利用したい場所

問18－1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

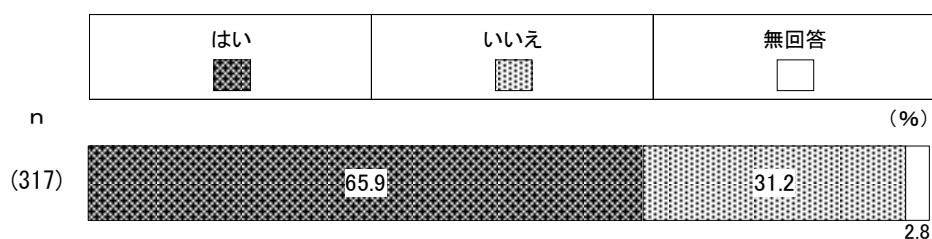
教育・保育事業を利用したい場所は、「居住している市区町村内」が95.1%、「他の市区町村」は2.3%となっている。



(10) 幼稚園の利用希望

問18－2 問18で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」「認定こども園」「小規模な保育施設」「家庭的保育」「事業所内保育施設」「その他の認可外の保育施設」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」「その他」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

幼稚園の利用希望は、「希望する（はい）」が65.9%、「希望しない（いいえ）」は31.2%となっている。



6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

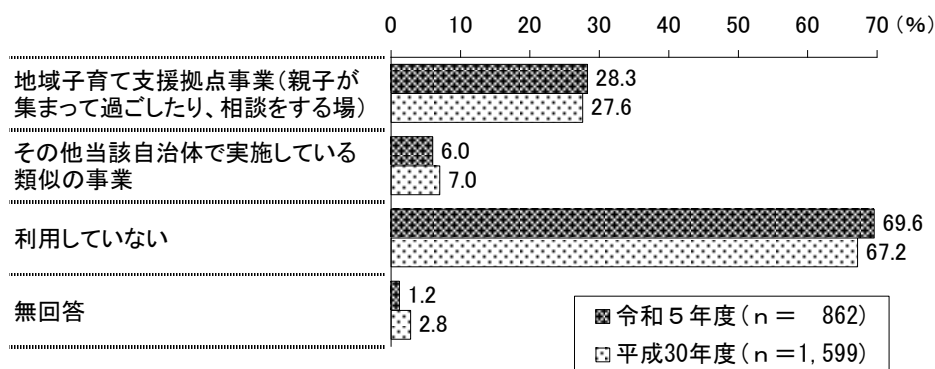
問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターもみじの手」、「ほっとれもんてい」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が28.3%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」は6.0%となっている。一方、「利用していない」は69.6%となっている。

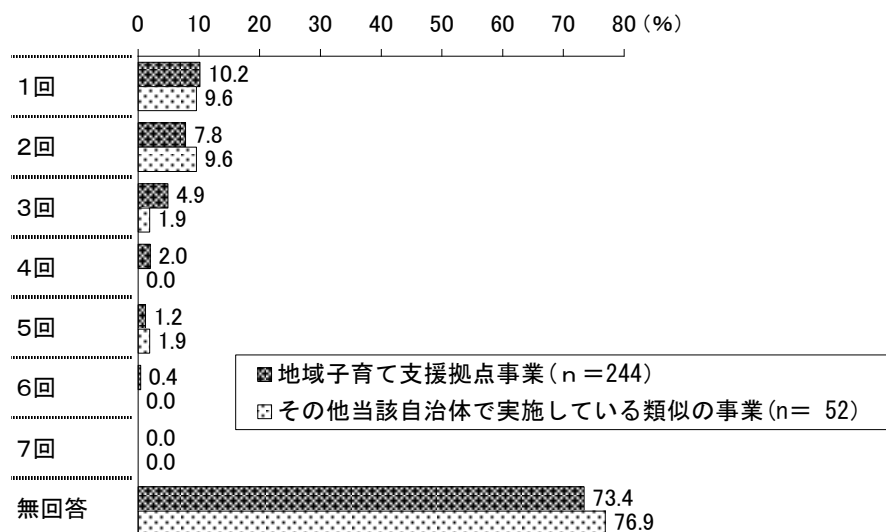
平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

1週当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が10.2%で最も高く、次いで「2回」が7.8%、「3回」が4.9%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」と「2回」がともに9.6%で高くなっている。



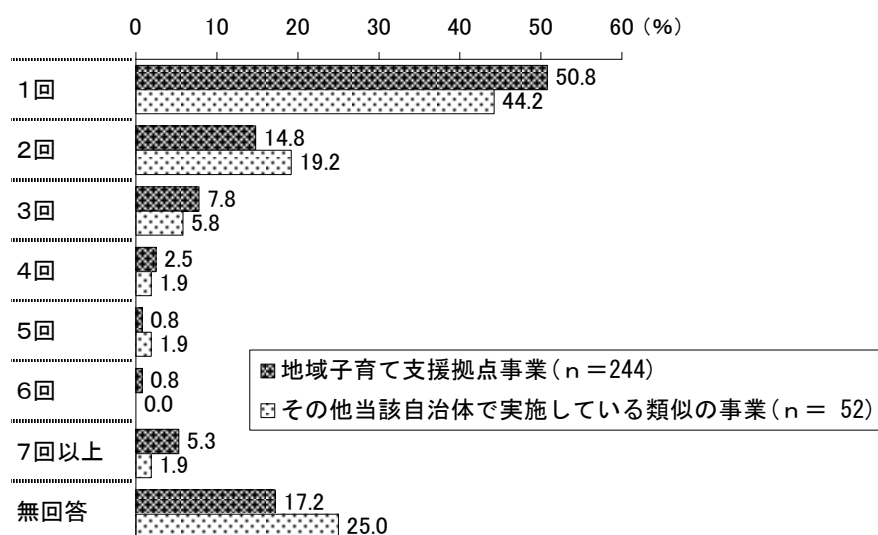
【1週当たりの利用回数】



1ヶ月当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が50.8%で最も高く、次いで「2回」が14.8%、「3回」が7.8%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」が44.2%で最も高く、次いで「2回」が19.2%、「3回」が5.8%となっている。

【1ヶ月当たりの利用回数】

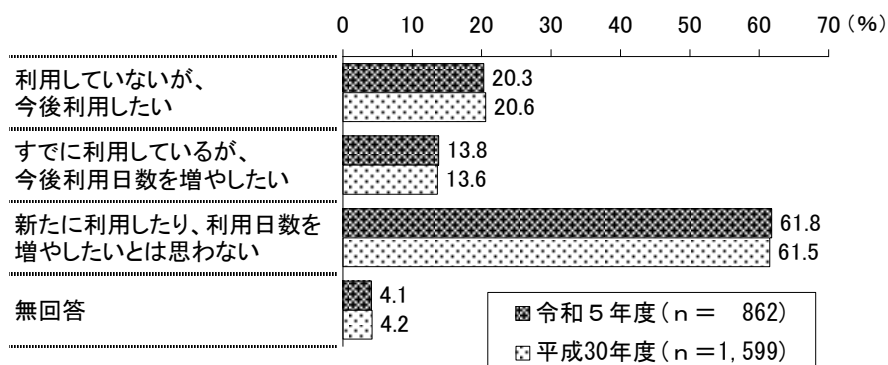


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が20.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は13.8%となっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は61.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。



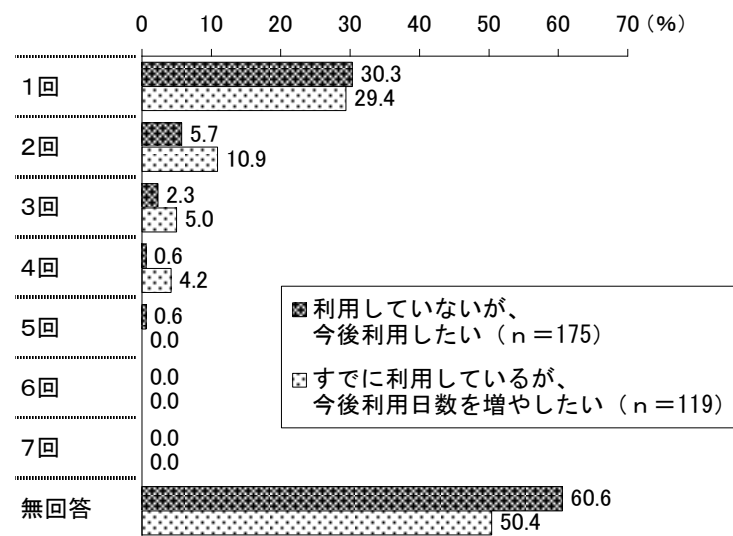
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が30.3%で最も高く、次いで「2回」が5.7%、「3回」が2.3%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が29.4%で最も高く、次いで「2回」が10.9%、「3回」が5.0%となっている。

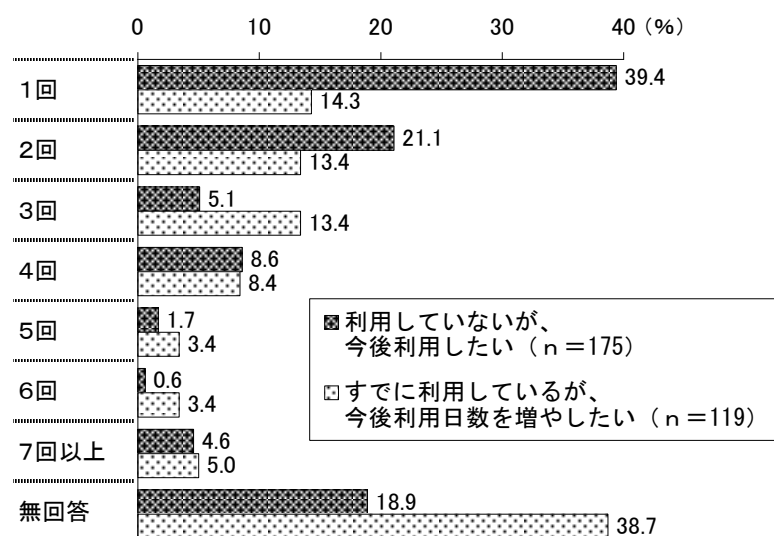
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が39.4%で最も高く、次いで「2回」が21.1%、「4回」が8.6%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が14.3%で最も高く、次いで「2回」と「3回」がともに13.4%となっている。

【1週当たりの利用希望回数】



【1ヶ月当たりの利用希望回数】



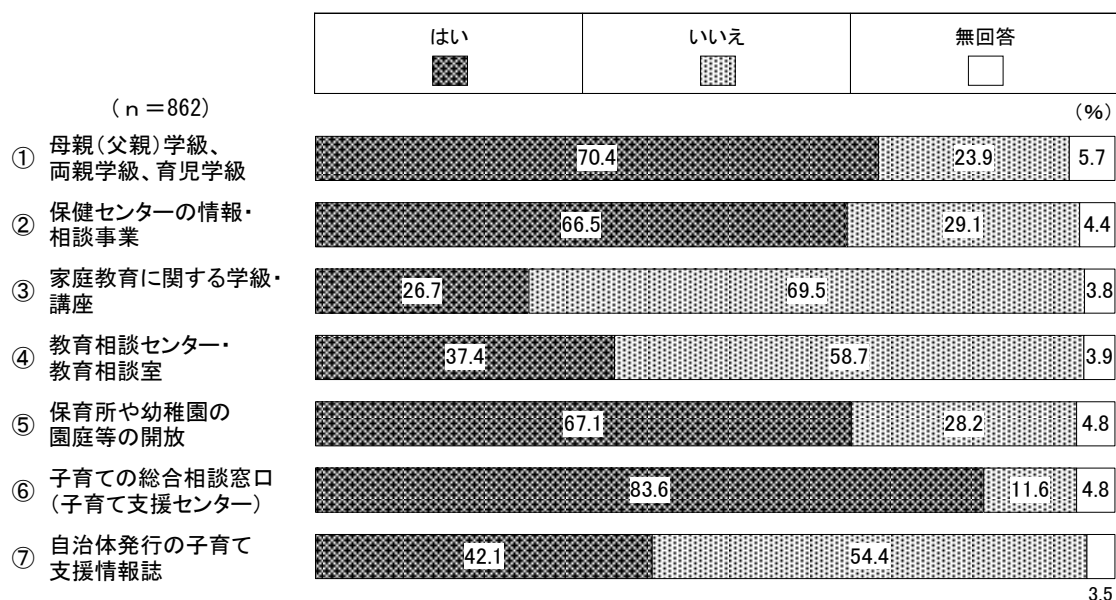
(3) 子育て支援事業の利用状況

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

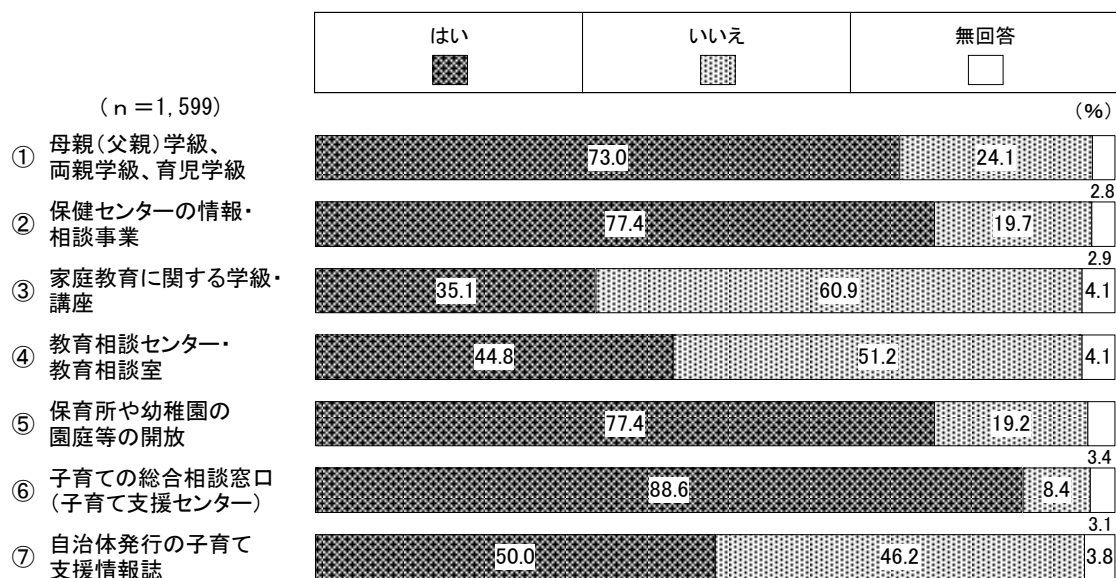
子育て支援事業の認知度について、「知っている（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で83.6%と最も高くなっている。一方、「知らない（いいえ）」は“家庭教育に関する学級・講座”で69.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「知らない」は“保健センターの情報・相談事業”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.6ポイント、それぞれ増加している。

【A 認知度（知っている）】



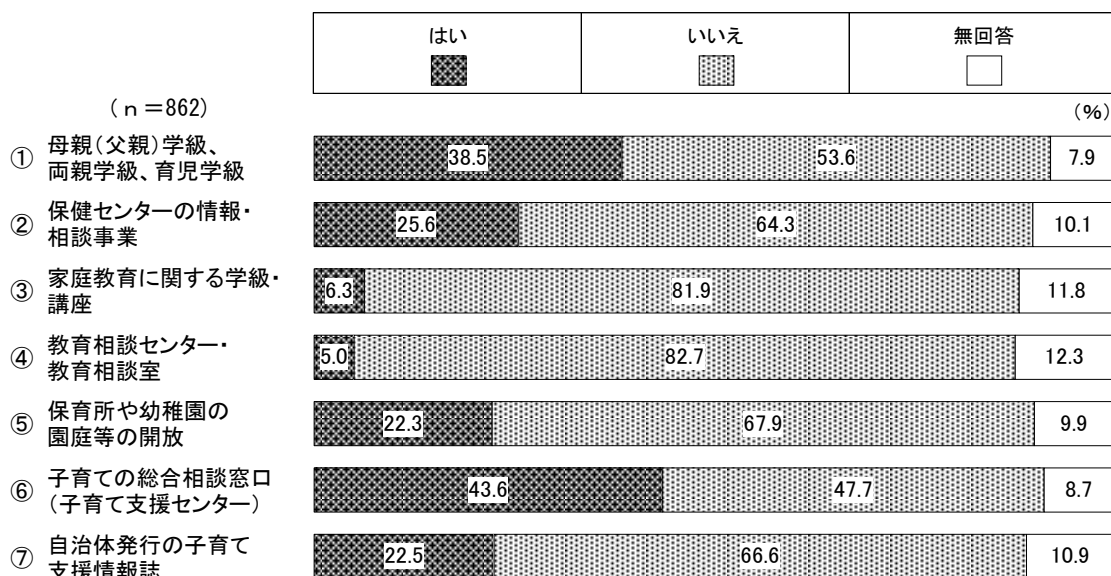
<平成30年度調査>



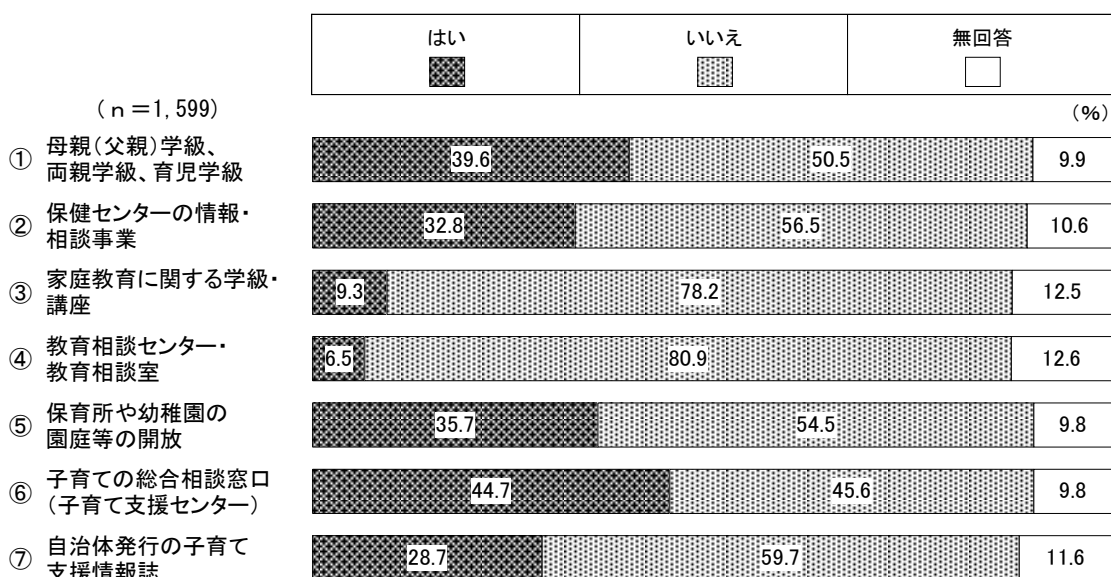
子育て支援事業の利用状況について、「これまでに利用したことがある（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で43.6%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（いいえ）」は“教育相談センター・教育相談室”で82.7%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したことはない」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で13.4ポイント、“保健センターの情報・相談事業”で7.8ポイント、それぞれ増加している。

【B 利用状況（これまでに利用したことがある）】



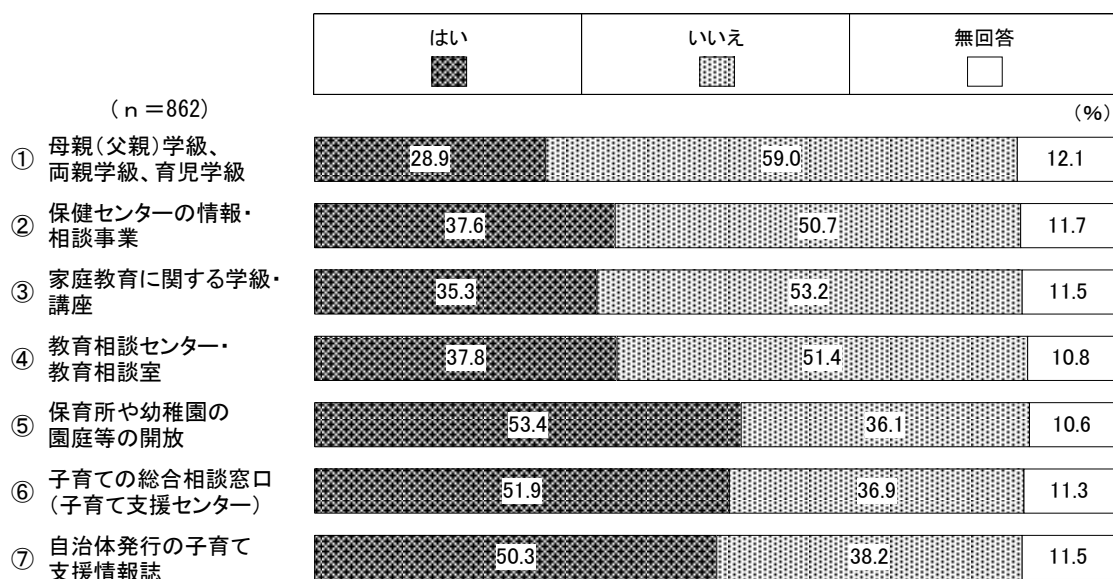
<平成30年度調査>



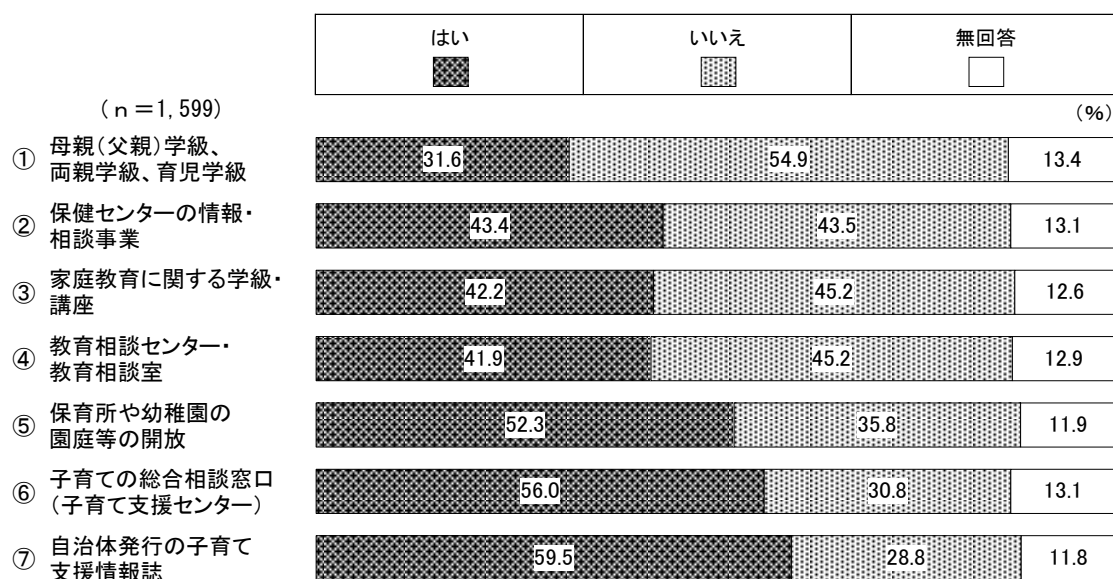
子育て支援事業の利用意向について、「今後利用したい（はい）」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で53.4%と最も高くなっている。一方、「利用したくない（いいえ）」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で59.0%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.0ポイント、それぞれ増加している。

【C 利用意向（今後利用したい）】



<平成30年度調査>



7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望

問22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が65.3%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は7.4%、「月に1～2回は利用したい」は26.6%となっている。

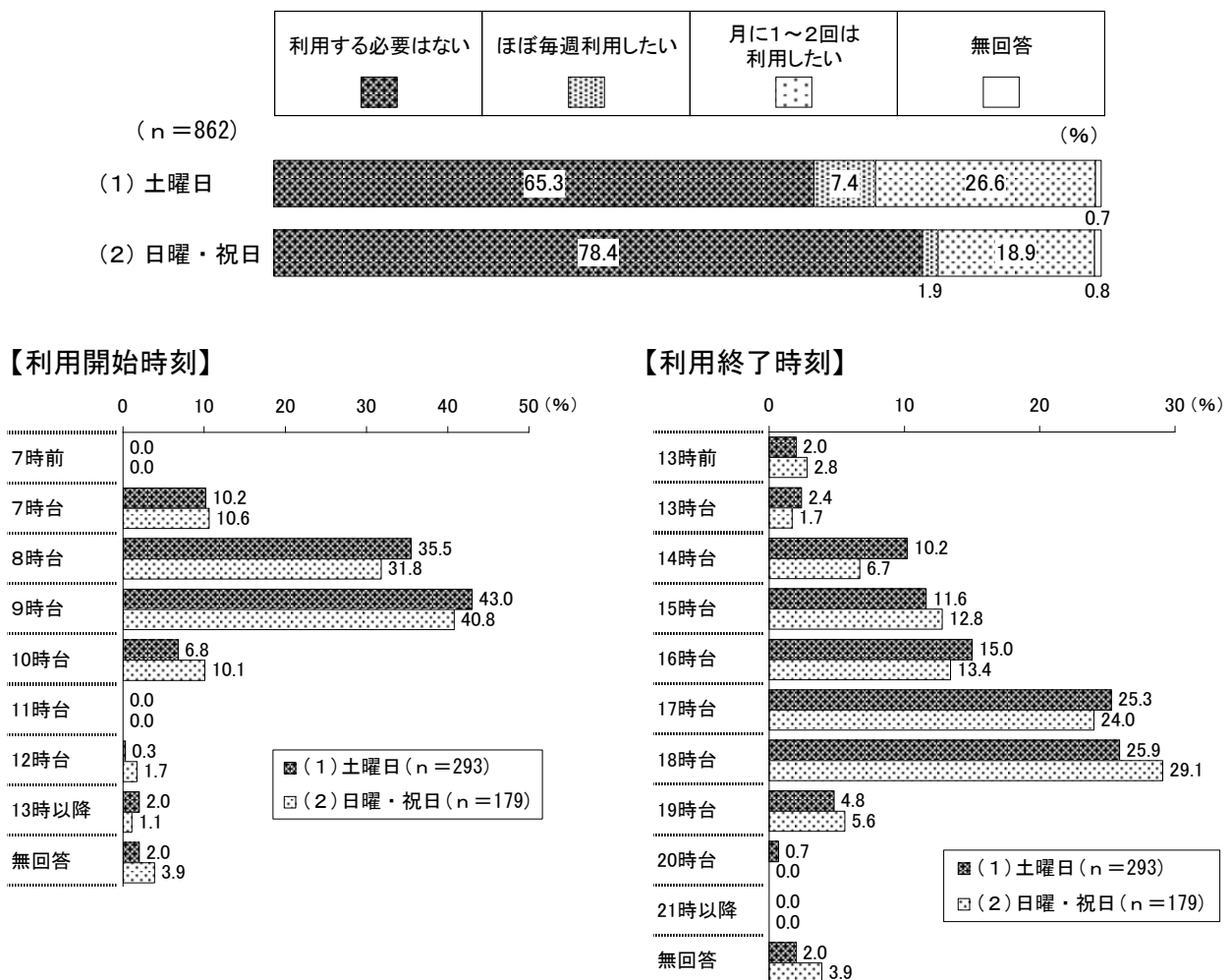
日曜・祝日では、「利用する必要はない」が78.4%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は1.9%、「月に1～2回は利用したい」は18.9%となっている。

利用開始時刻は、土曜日では、「9時台」が43.0%で最も高く、次いで「8時台」が35.5%となっている。

日曜・祝日では、「9時台」が40.8%で最も高く、次いで「8時台」が31.8%となっている。

利用終了時刻は、土曜日では、「18時台」が25.9%で最も高く、次いで「17時台」が25.3%となっている。

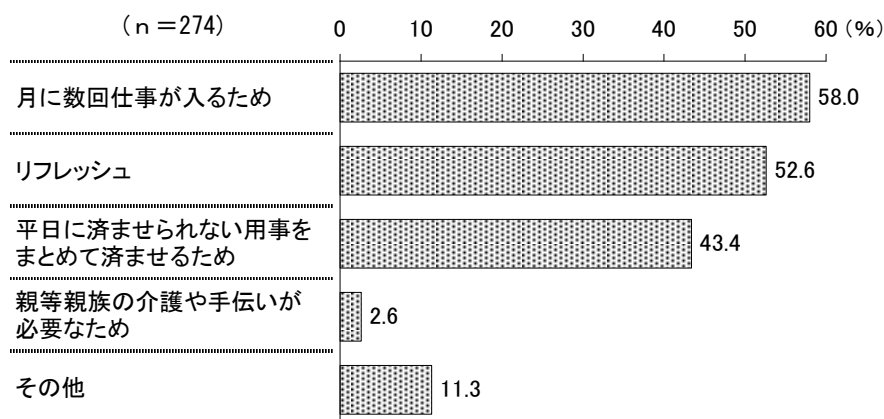
日曜・祝日では、「18時台」が29.1%で最も高く、次いで「17時台」が24.0%となっている。



(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由

問22-1 問22で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

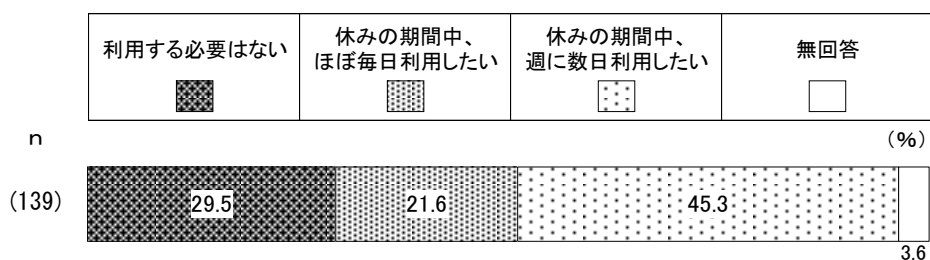
教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が58.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が52.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が43.4%となっている。



(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

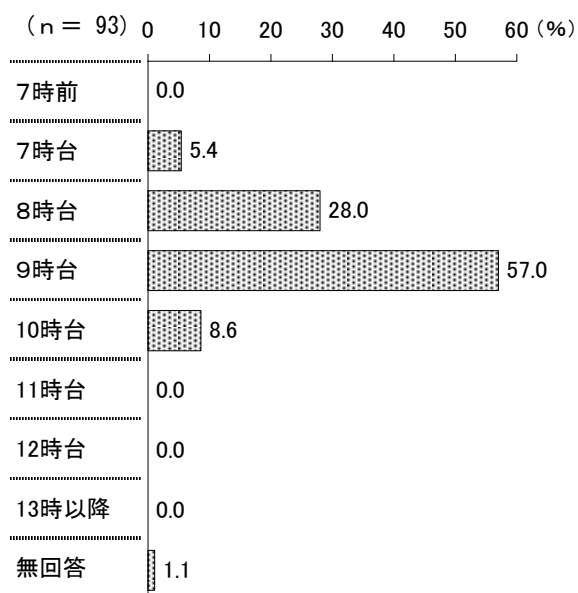
幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が29.5%となっている。一方、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は21.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」は45.3%となっている。



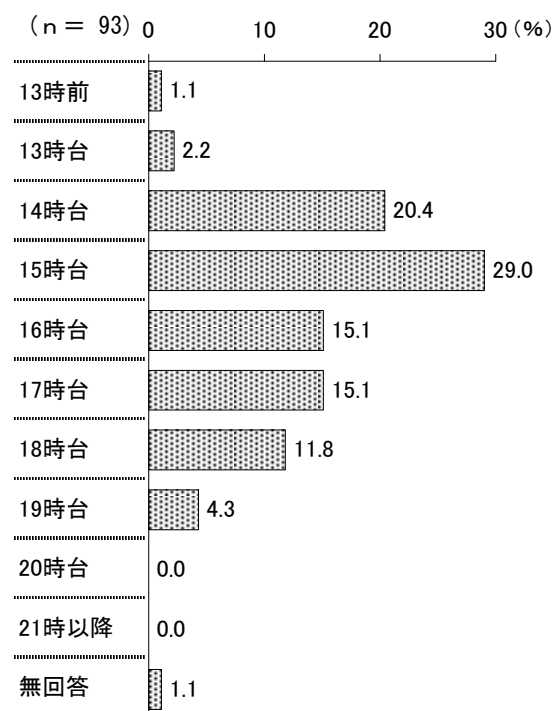
利用開始時刻は、「9時台」が57.0%で最も高く、次いで「8時台」が28.0%となっている。

利用終了時刻は、「15時台」が29.0%で最も高く、次いで「14時台」が20.4%、「16時台」と「17時台」がともに15.1%となっている。

【利用開始時刻】



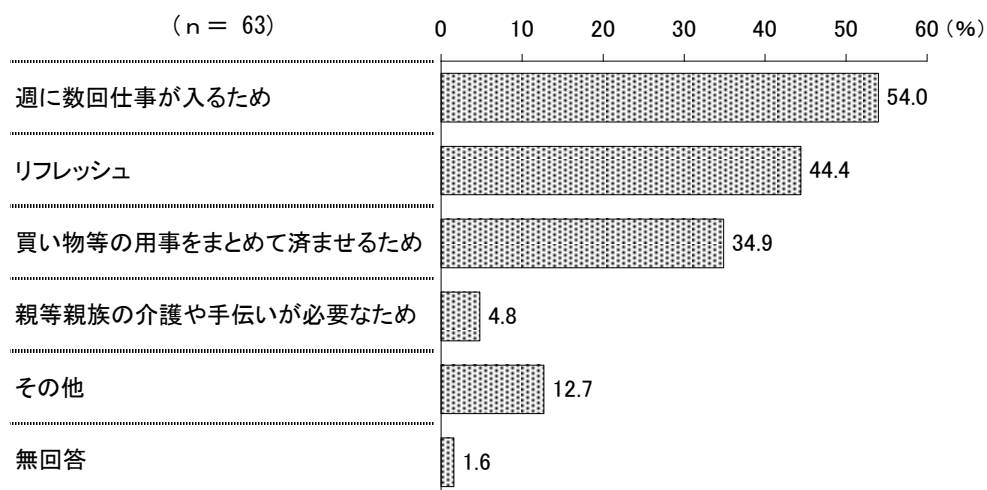
【利用終了時刻】



(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

問23－1 問23で「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が54.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が44.4%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が34.9%となっている。



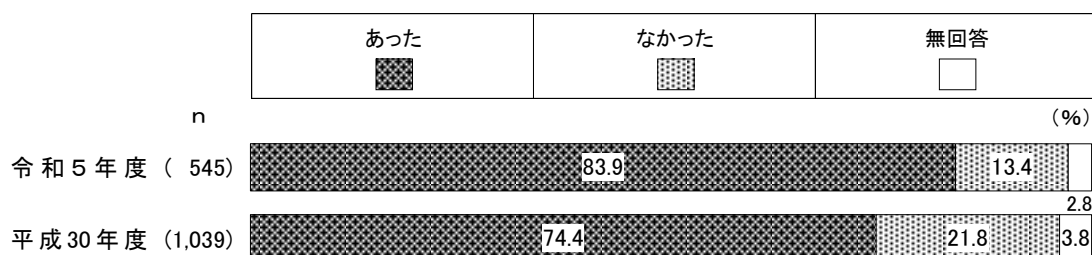
8. 病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無

問24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が83.9%、「なかった」は13.4%となっている。

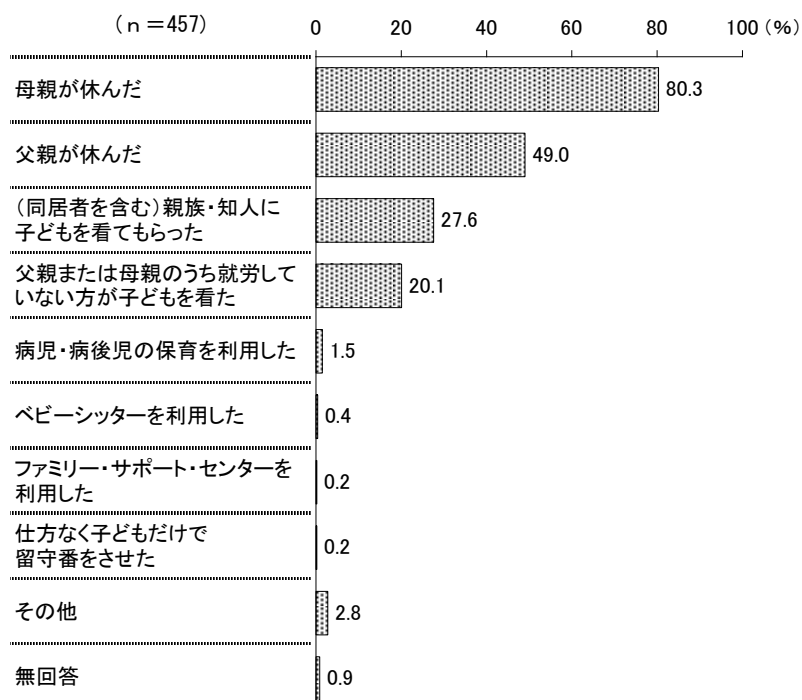
平成30年度調査と比較すると、「あった」は9.5ポイント増加している。



(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

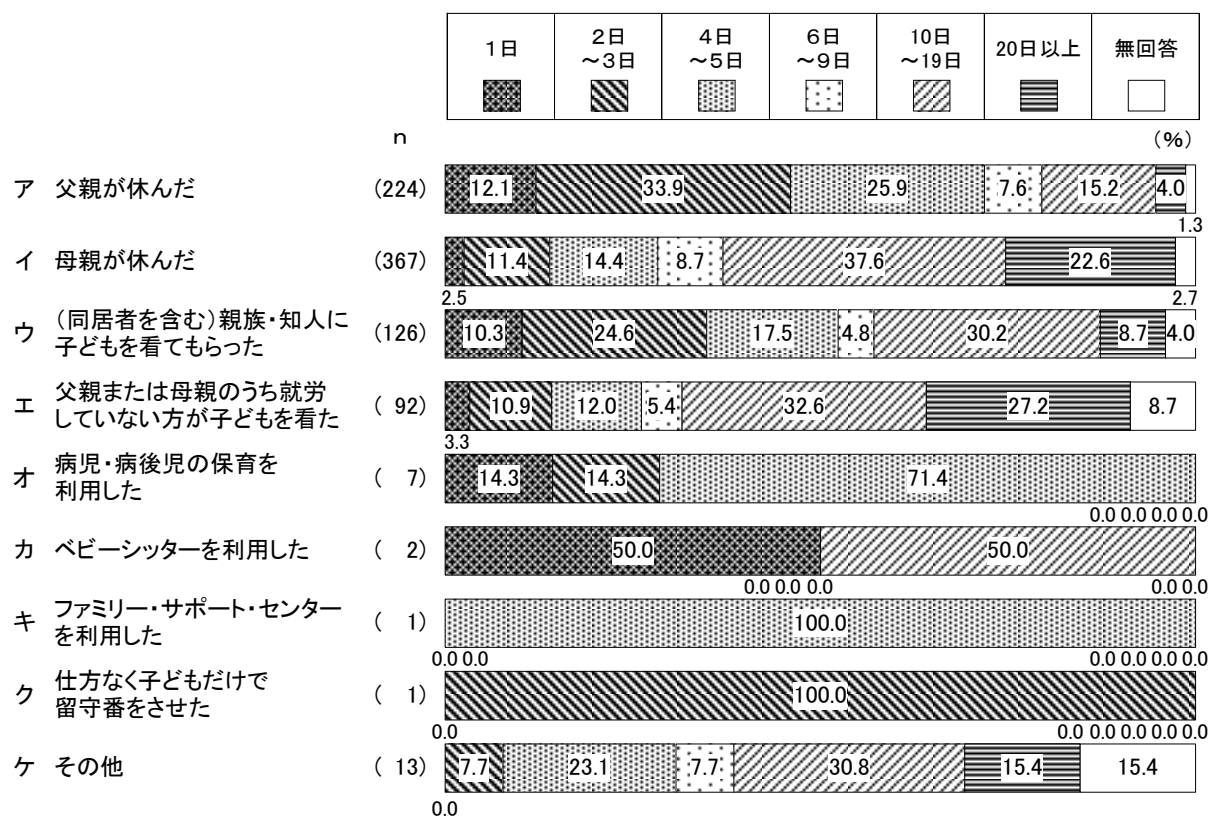
問24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が80.3%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が49.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が27.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が20.1%となっている。



1年間の対処方法別の日数をみると、「2日～3日」は“父親が休んだ”で33.9%と高くなっている。「4日～5日」は“父親が休んだ”で25.9%と高くなっている。「10日～19日」は“母親が休んだ”で37.6%と高くなっている。「20日以上」は“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”で27.2%と高くなっている。

【1年間の対処方法別の日数】



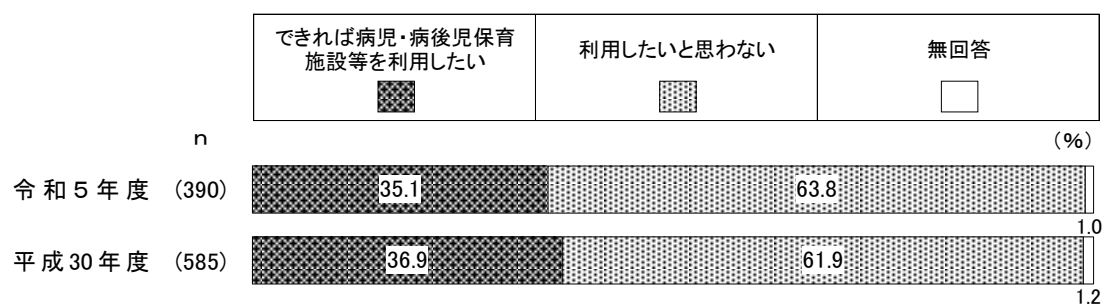
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問24－2 問24－1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

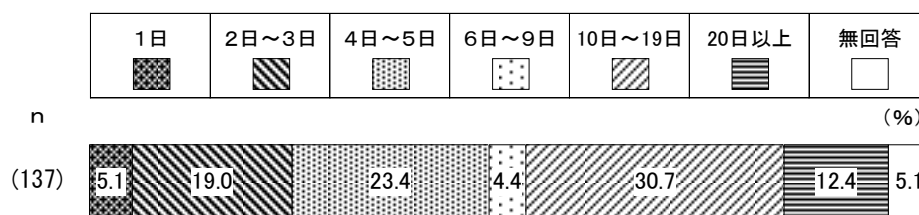
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%、「利用したいと思わない」は63.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「10日～19日」が30.7%で最も高く、次いで「4日～5日」が23.4%、「2日～3日」が19.0%、「20日以上」が12.4%となっている。



【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

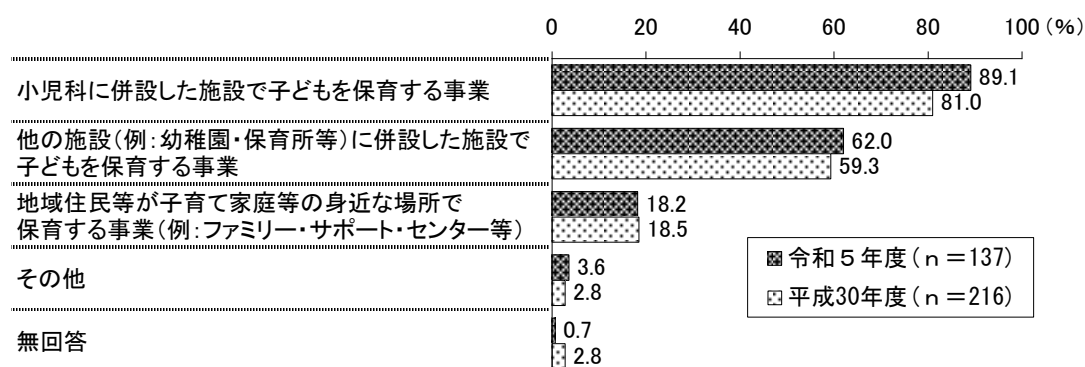


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問24－3 問24－2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が89.1%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が18.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」は8.1ポイント増加している。

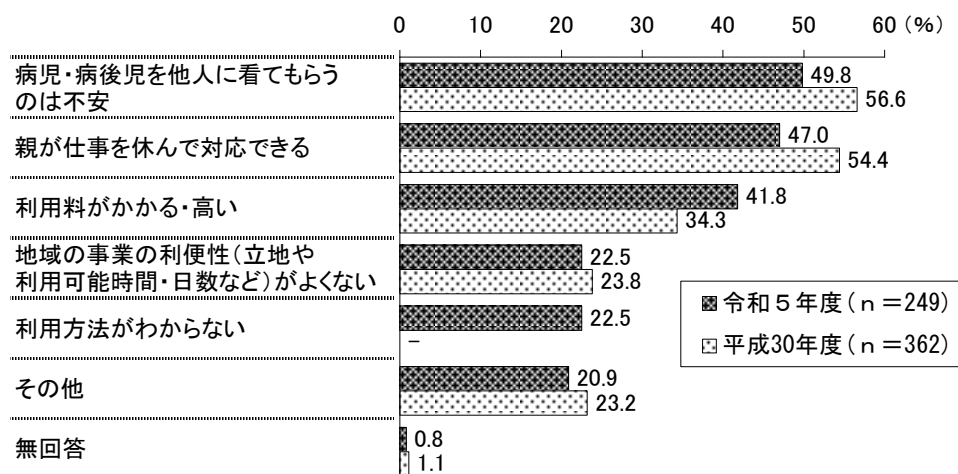


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問24－4 問24－2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.8%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が47.0%、「利用料がかかる・高い」が41.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は7.5ポイント増加している。一方、「親が仕事を休んで対応できる」は7.4ポイント、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」は6.8ポイント、それぞれ減少している。



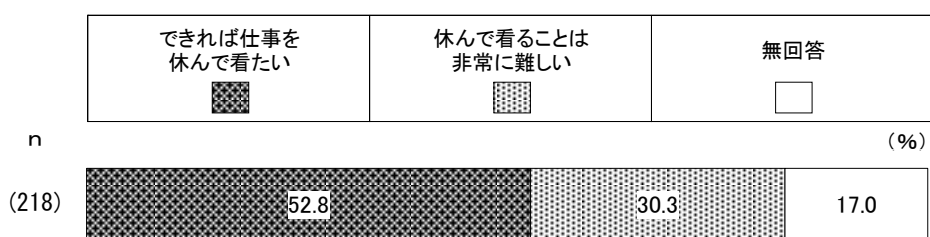
※「利用方法がわからない」は、令和5年度から追加された選択肢

(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか

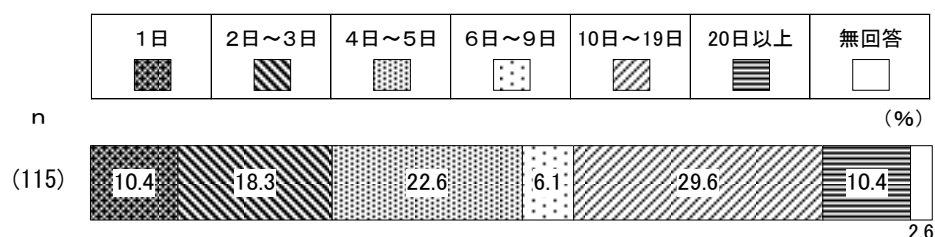
問24-5 問24-1で「父親または母親が休んだ」以外に○をつけた方に伺います。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が52.8%、「休んで看ることは非常に難しい」は30.3%となっている。

仕事を休んで看たいと思った日数は、「10日～19日」が29.6%で最も高く、次いで「4日～5日」が22.6%、「2日～3日」が18.3%、「1日」と「20日以上」がともに10.4%となっている。



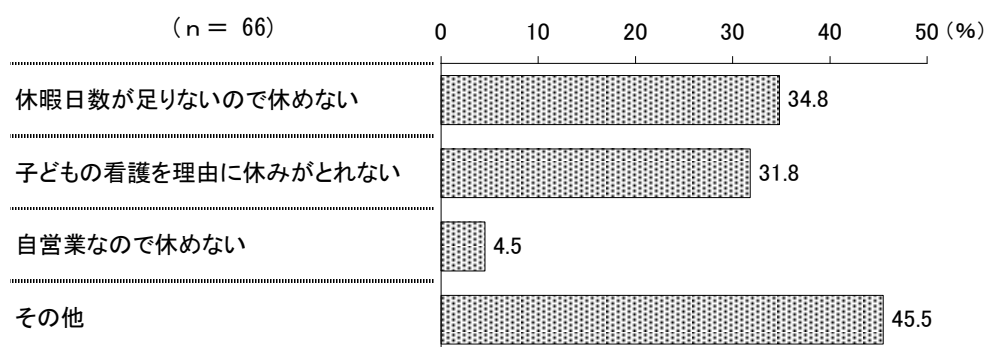
【仕事を休んで看たいと思った日数】



(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問24-6 問24-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を休んで看ることが難しい理由は、「休暇日数が足りないので休めない」が34.8%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.8%となっている。



9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

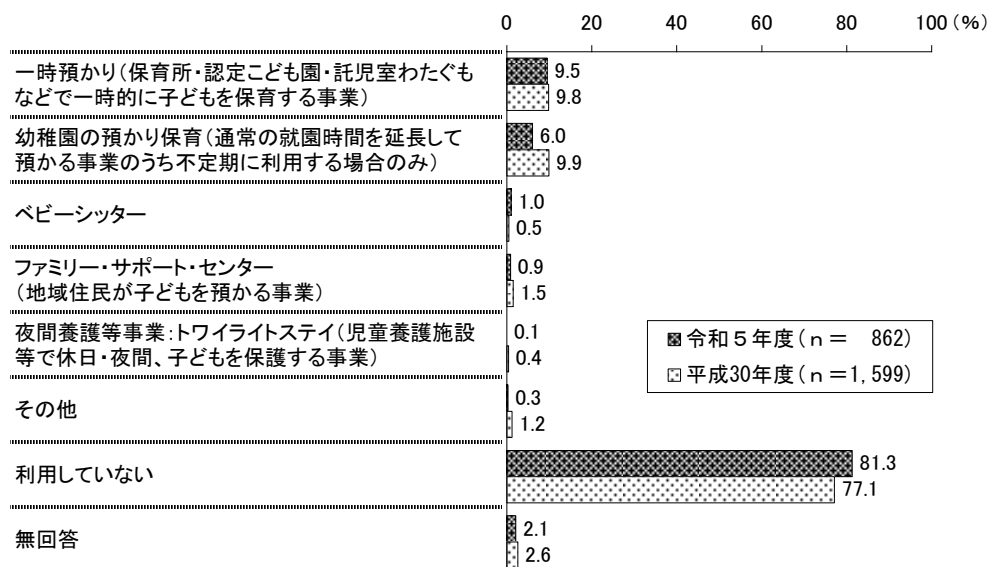
(1) 不定期に利用している預かり事業

問25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

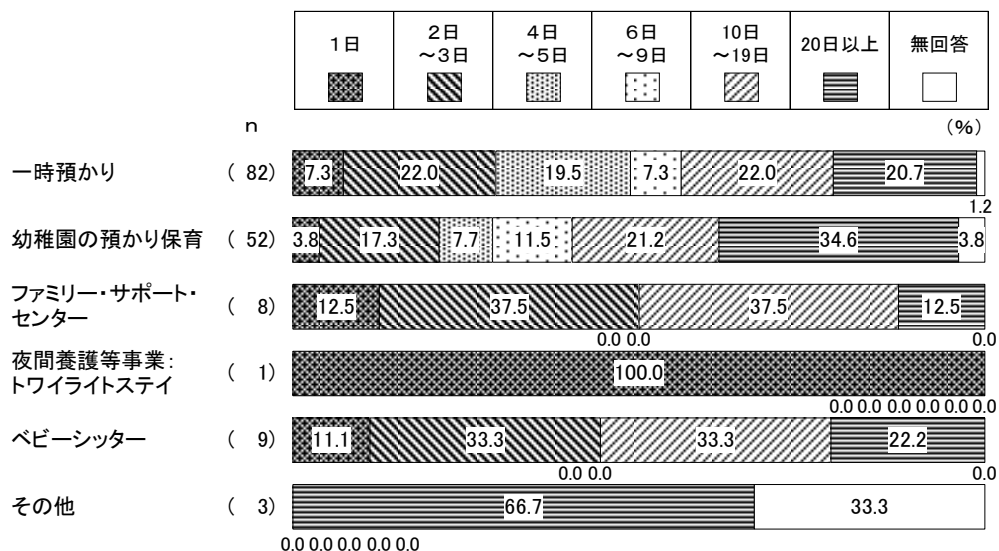
不定期に利用している預かり事業は、利用している中では、「一時預かり」が9.5%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が6.0%となっている。一方、「利用していない」は81.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」は4.2ポイント増加している。一方、「幼稚園の預かり保育」は3.9ポイント減少している。

不定期に利用している預かり事業別の日数をみると、「2日～3日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「10日～19日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「20日以上」は“幼稚園の預かり保育”で34.6%と高くなっている。



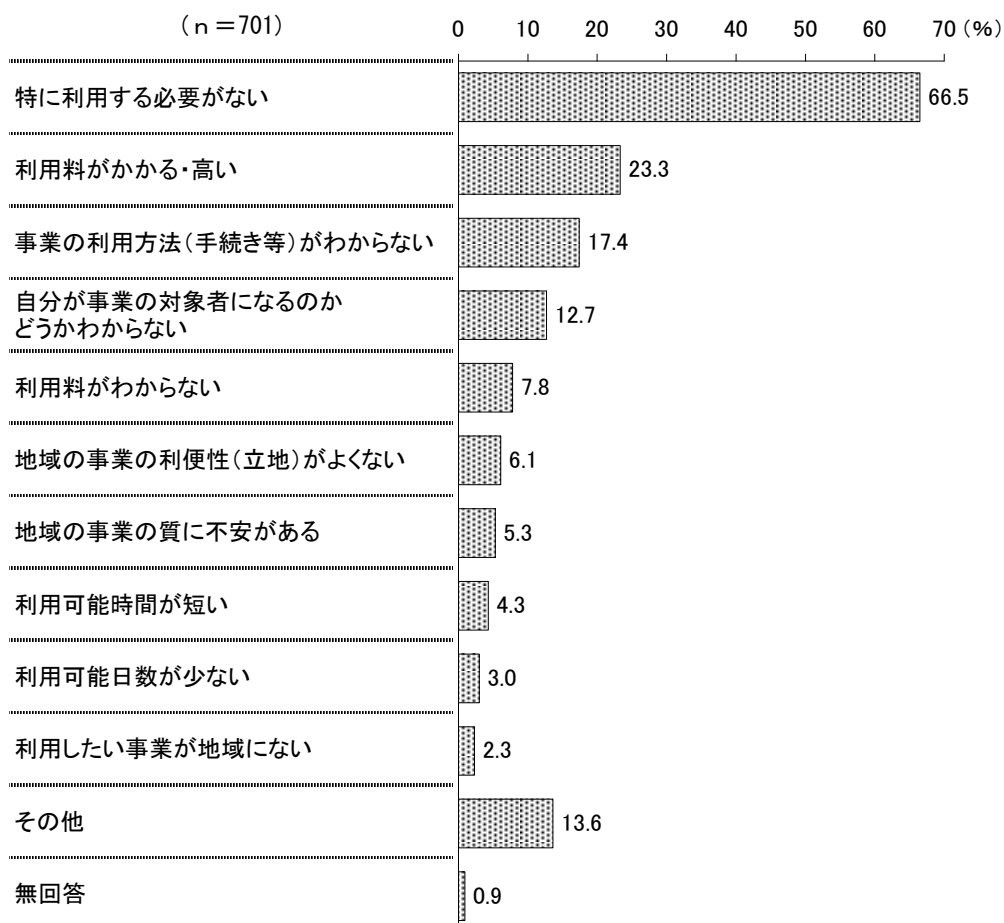
【不定期に利用している預かり事業別の日数】



(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由

問25－1 問25で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期に預かり事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が66.5%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が23.3%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が17.4%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が12.7%となっている。



(3) 不特定の預かり事業の利用希望

問26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

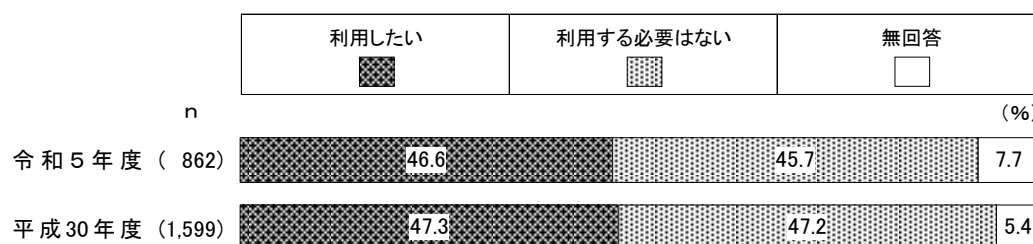
不特定の預かり事業の利用希望は、「利用したい」が46.6%、「利用する必要はない」は45.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

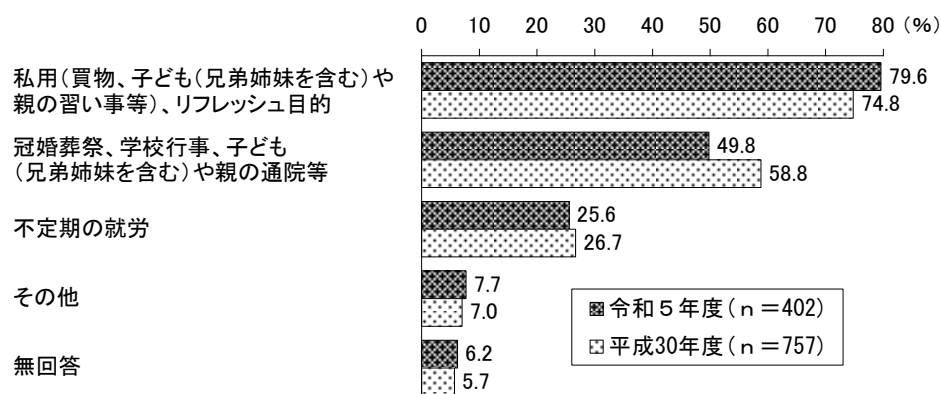
利用したい人の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が79.6%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が49.8%、「不特定の就労」が25.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」は4.8ポイント増加している。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は9.0ポイント減少している。

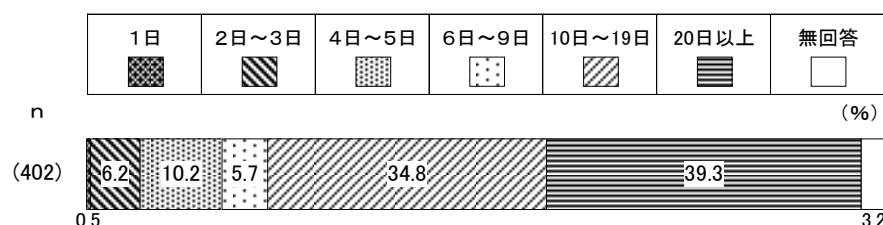
利用したい人の利用希望日数の合計は、「20日以上」が39.3%で最も高く、次いで「10日～19日」が34.8%、「4日～5日」が10.2%となっている。



【利用目的】



【利用希望日数の合計】

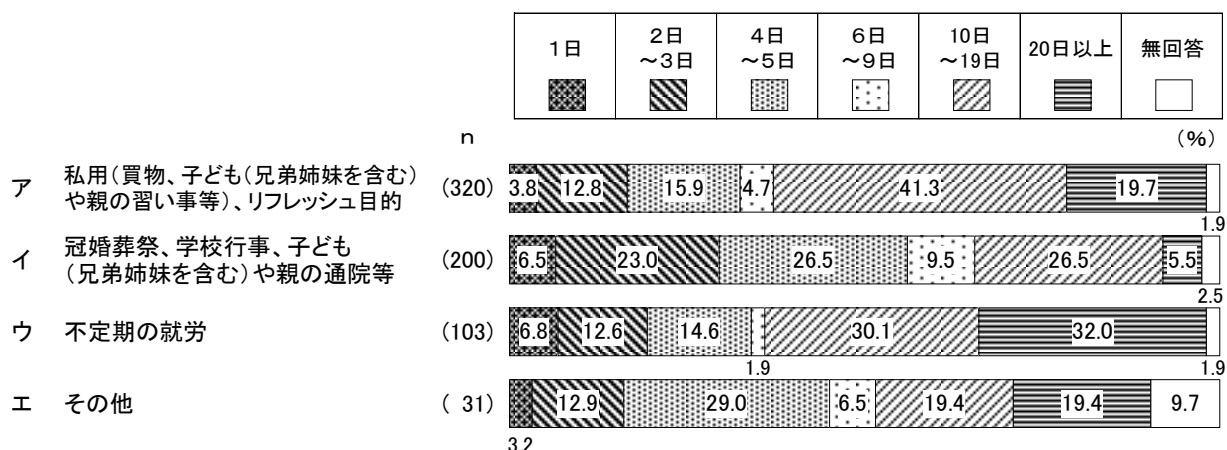


利用したい人の利用目的別の利用希望日数をみると、“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”では、「10日～19日」が41.3%で最も高く、次いで「20日以上」が19.7%、「4日～5日」が15.9%となっている。

“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”では、「4日～5日」と「10日～19日」がともに26.5%で高く、次いで「2日～3日」が23.0%となっている。

“不定期の就労”では、「20日以上」が32.0%で最も高く、次いで「10日～19日」が30.1%、「4日～5日」が14.6%となっている。

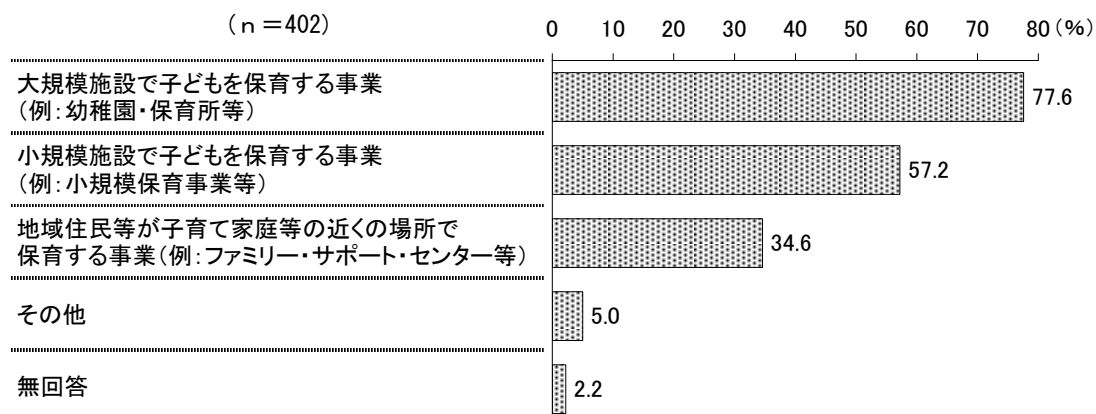
【利用目的別の利用希望日数】



（４）不定期の預かり事業の望ましい事業形態

問26－１ 問26で「利用したい」と回答した方にうかがいます。問26の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の預かり事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が77.6%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が57.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が34.6%となっている。



(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望

問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらう必要が年間何泊くらいあると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望の有無について当てはまる番号、記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。

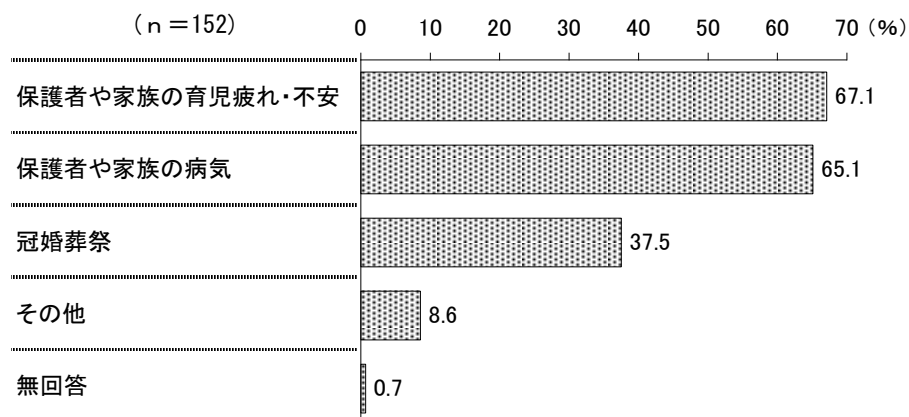
短期入所生活援助事業等の利用希望は、「利用したい」が17.6%、「利用する必要はない」は78.7%となっている。

利用したい人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が67.1%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が65.1%、「冠婚葬祭」が37.5%となっている。

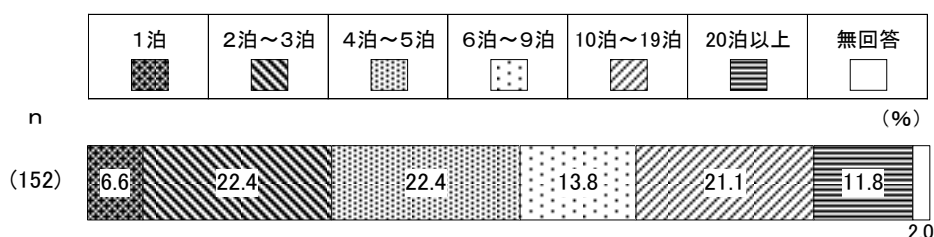
利用したい人の利用希望泊数の合計は、「2泊～3泊」と「4泊～5泊」がともに22.4%で高く、次いで「10泊～19泊」が21.1%、「6泊～9泊」が13.8%となっている。



【利用目的】



【利用希望泊数の合計】

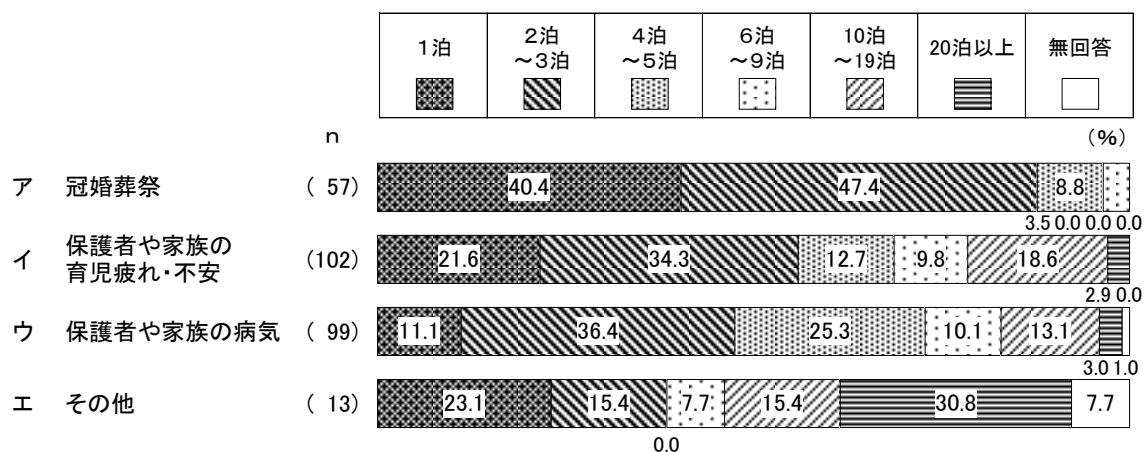


利用したい人の利用目的別の利用希望泊数をみると、“冠婚葬祭”では、「2泊～3泊」が47.4%で最も高く、次いで「1泊」が40.4%、「4泊～5泊」が8.8%となっている。

“保護者や家族の育児疲れ・不安”では、「2泊～3泊」が34.3%で最も高く、次いで「1泊」が21.6%、「10泊～19泊」が18.6%となっている。

“保護者や家族の病気”では、「2泊～3泊」が36.4%で最も高く、次いで「4泊～5泊」が25.3%、「10泊～19泊」が13.1%となっている。

【利用目的別の利用希望泊数】



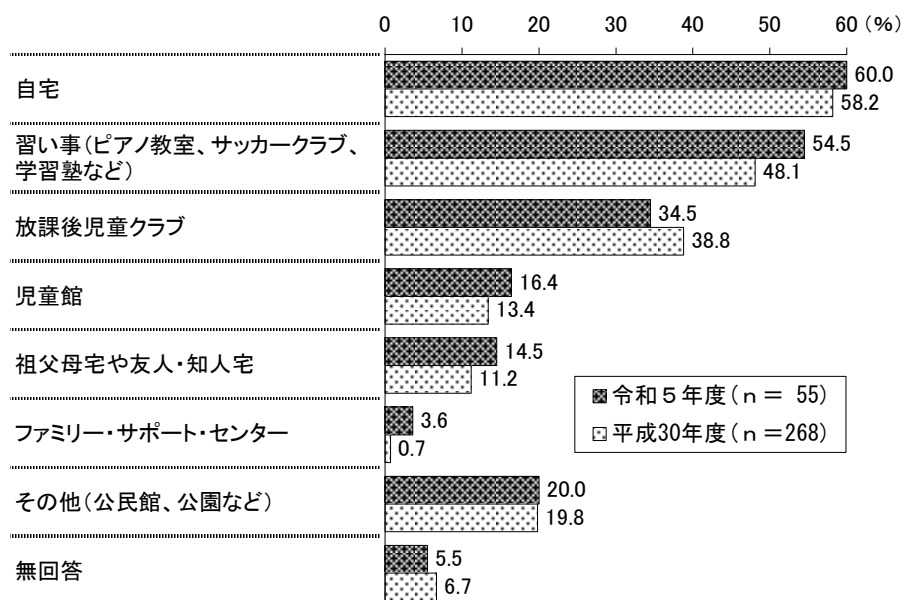
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）は、「自宅」が60.0%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.5%、「放課後児童クラブ」が34.5%、「児童館」が16.4%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は6.4ポイント増加している。一方、「放課後児童クラブ」は4.3ポイント減少している。



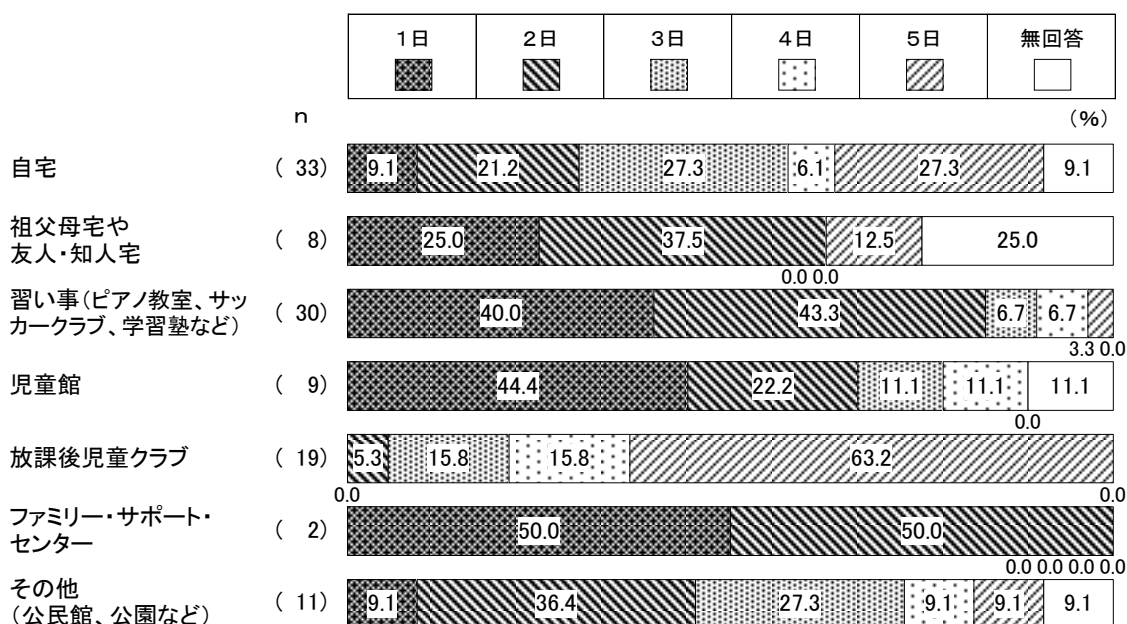
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「3日」と「5日」がともに27.3%で高く、次いで「2日」が21.2%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が43.3%で最も高く、次いで「1日」が40.0%となっている。

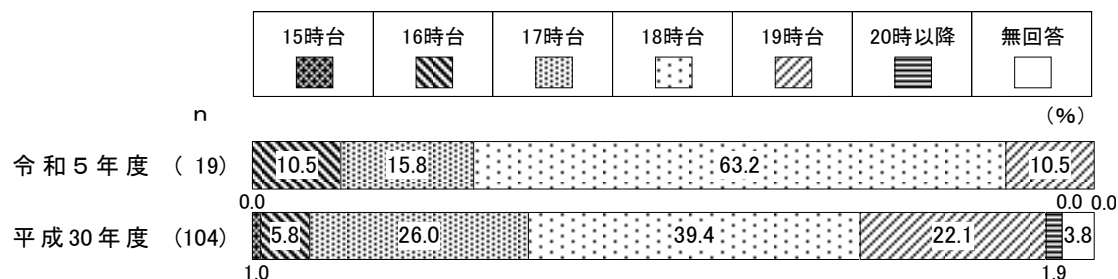
放課後児童クラブの利用終了時刻は、「18時台」が63.2%で最も高く、次いで「17時台」が15.8%、「16時台」と「19時台」がともに10.5%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブの利用終了時刻】

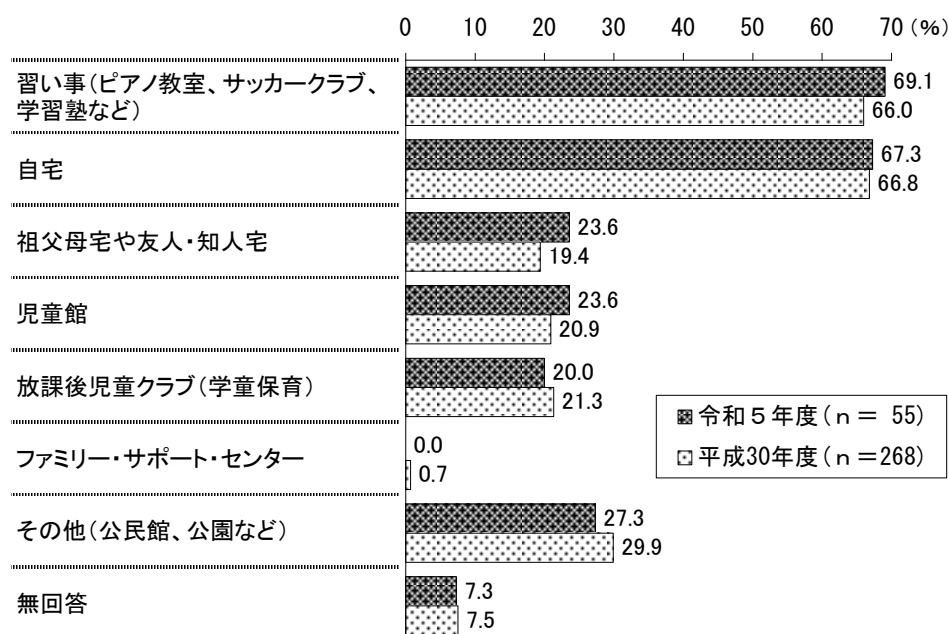


(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が69.1%で最も高く、次いで「自宅」が67.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「児童館」がともに23.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」は4.2ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は3.1ポイント、それぞれ増加している。



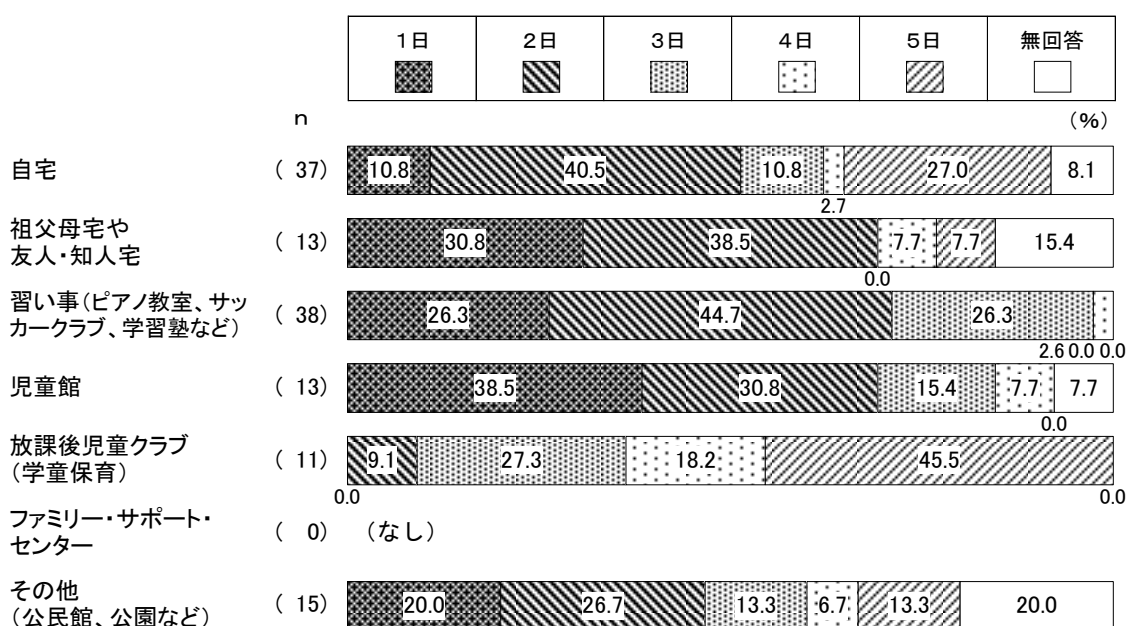
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「2日」が40.5%で最も高く、次いで「5日」が27.0%、「1日」と「3日」がともに10.8%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が44.7%で最も高く、次いで「1日」と「3日」がともに26.3%となっている。

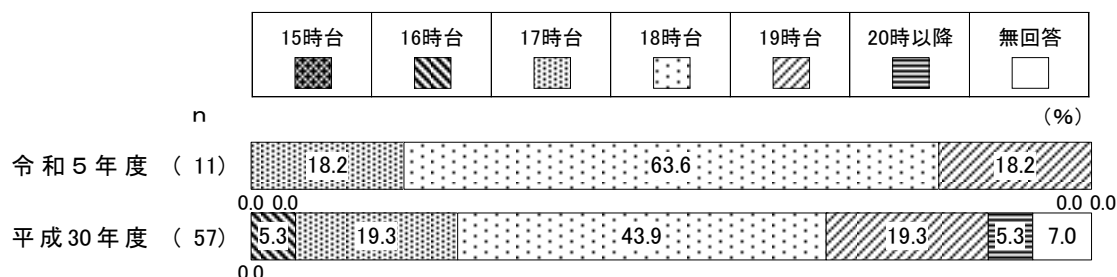
放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時台」が63.6%で最も高く、次いで「17時台」と「19時台」がともに18.2%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻】



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

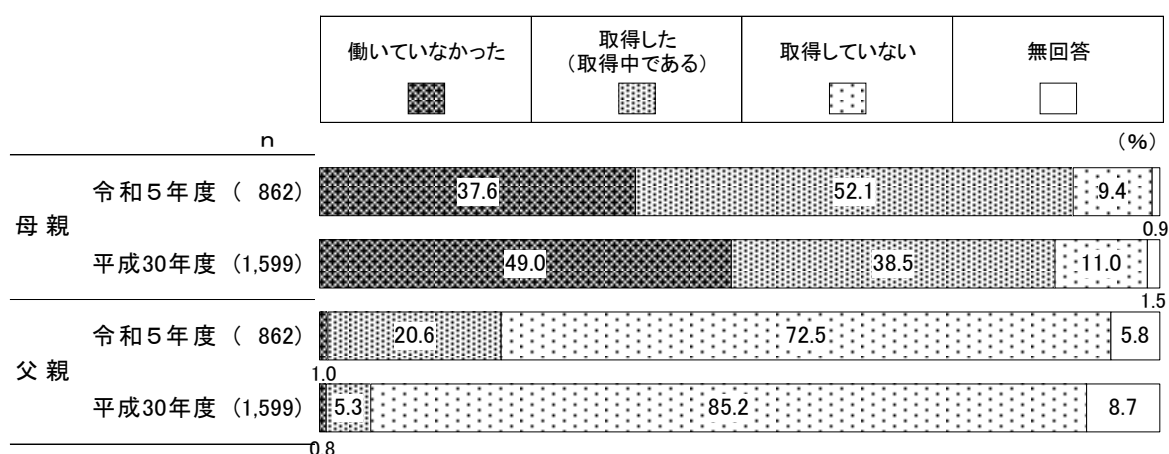
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業の取得状況は、母親では、「取得した（取得中である）」が52.1%、「取得していない」は9.4%となっている。また、「働いていなかった」は37.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」は13.6ポイント増加している。一方、「働いていなかった」は11.4ポイント減少している。

父親では、「取得した（取得中である）」が20.6%、「取得していない」は72.5%となっている。また、「働いていなかった」は1.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」は15.3ポイント増加している。一方、「取得していない」は12.7ポイント減少している。

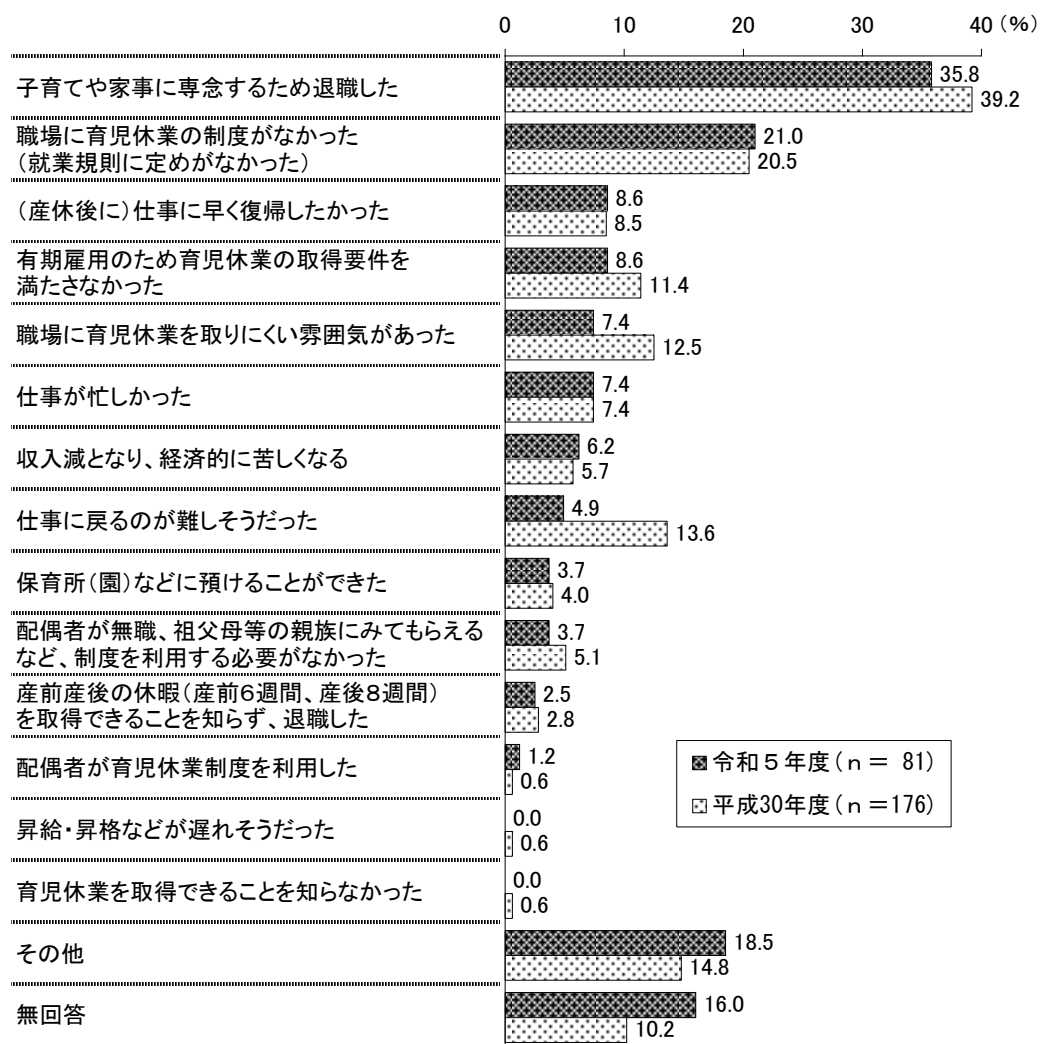


母親の育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.0%、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに8.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「仕事に戻るのが難しそうだった」は8.7ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」は5.1ポイント、それぞれ減少している。

【育児休業を取得していない理由】

（１）母親

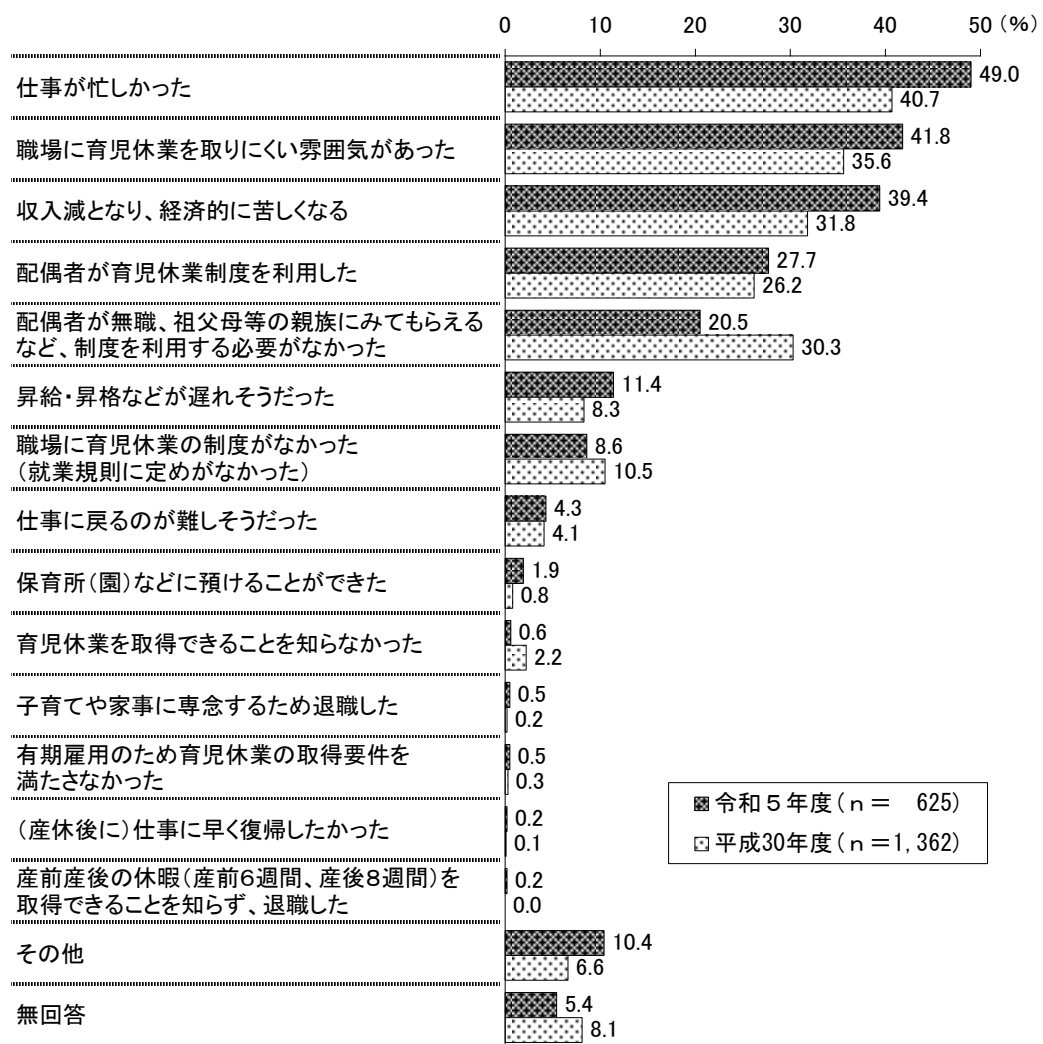


父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が49.0%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が41.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が39.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が27.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」は8.3ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」は7.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」は9.8ポイント減少している。

【育児休業を取得していない理由】

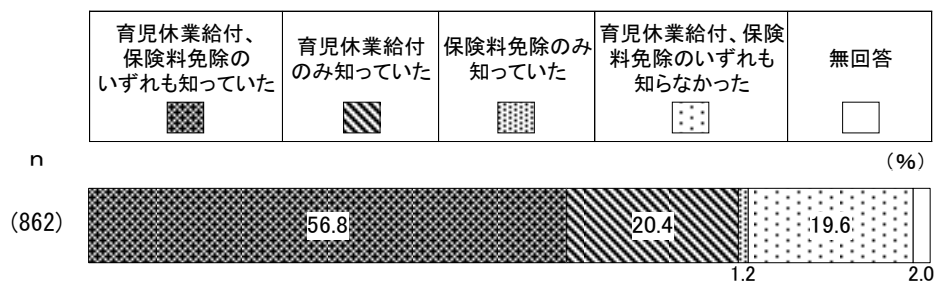
(2) 父親



(2) 育児休業給付、保険料免除についての認知状況

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付、保険料免除についての認知状況は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が56.8%、「育児休業給付のみ知っていた」は20.4%、「保険料免除のみ知っていた」は1.2%となっている。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は19.6%となっている。

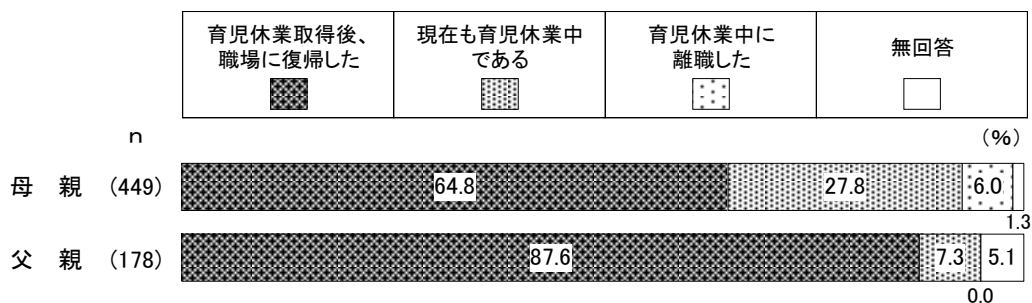


(3) 育児休業取得後の職場復帰の有無

問30-2 問30で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰の有無は、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が64.8%、「現在も育児休業中である」は27.8%となっている。一方、「育児休業中に離職した」は6.0%となっている。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.6%、「現在も育児休業中である」は7.3%となっている。

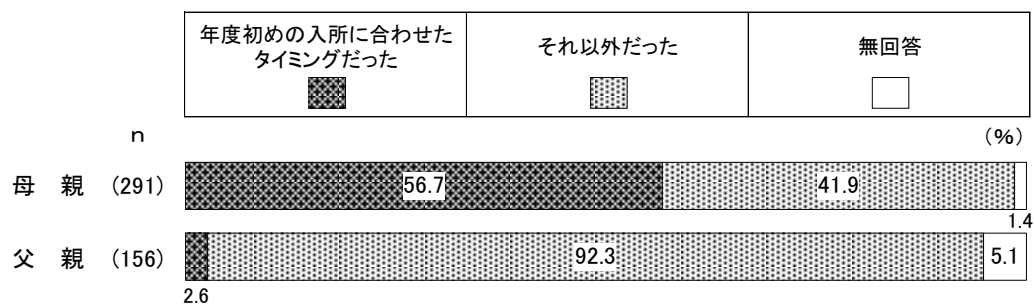


(4) 育児休業取得後の職場復帰の時期

問30－3 問30－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせた
 タイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてく
 ださい。

育児休業取得後の職場復帰の時期は、母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が56.7%、「それ以外だった」は41.9%となっている。

父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が2.6%、「それ以外だった」は92.3%となっている。



(5) 実際に職場復帰した時期と希望の職場復帰の時期

問30-4 問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

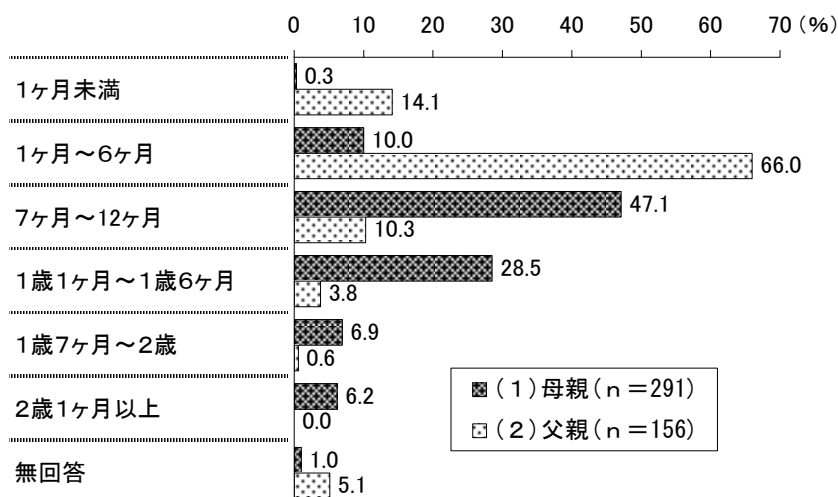
実際に職場復帰した時期は、母親では、「7ヶ月～12ヶ月」が47.1%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が28.5%、「1ヶ月～6ヶ月」が10.0%となっている。

父親では、「1ヶ月～6ヶ月」が66.0%で最も高く、次いで「1ヶ月未満」が14.1%、「7ヶ月～12ヶ月」が10.3%となっている。

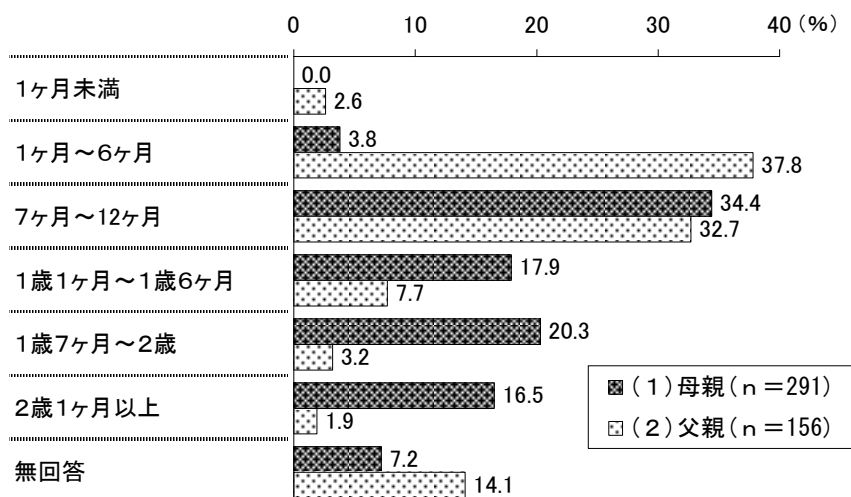
希望の職場復帰の時期は、母親では、「7ヶ月～12ヶ月」が34.4%で最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が20.3%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が17.9%となっている。

父親では、「1ヶ月～6ヶ月」が37.8%で最も高く、次いで「7ヶ月～12ヶ月」が32.7%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が7.7%となっている。

【実際】



【希望】

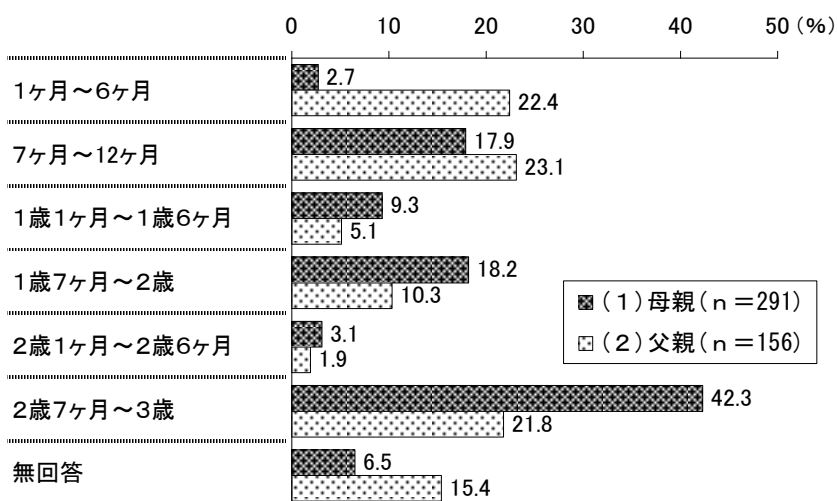


(6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期

問30-5 問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期は、母親では、「2歳7ヶ月～3歳」が42.3%で最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が18.2%、「7ヶ月～12ヶ月」が17.9%となっている。

父親では、「7ヶ月～12ヶ月」が23.1%で最も高く、次いで「1ヶ月～6ヶ月」が22.4%、「2歳7ヶ月～3歳」が21.8%となっている。



(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問30－6 問30－4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

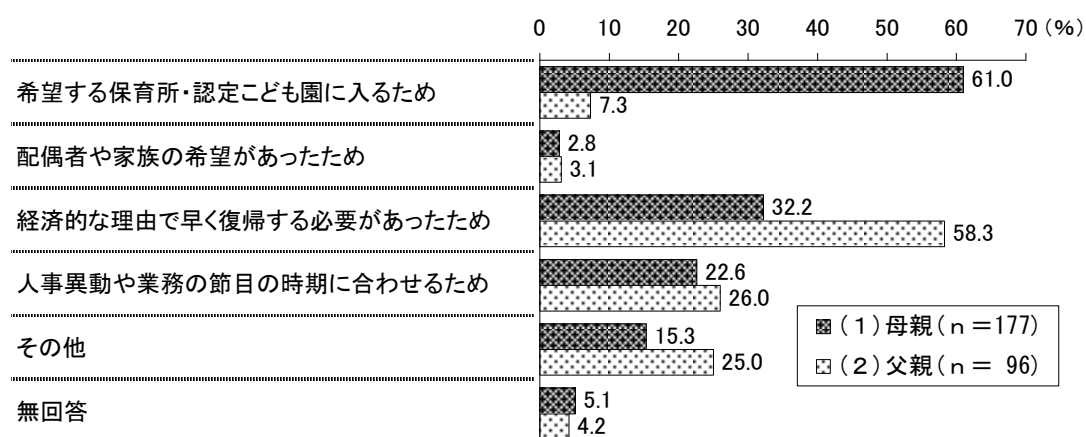
希望より早く復帰した人の希望の時期に職場復帰しなかった理由は、母親では、「希望する保育所・認定こども園に入るため」が61.0%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が32.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.6%となっている。

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が58.3%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.0%、「希望する保育所・認定こども園に入るため」が7.3%となっている。

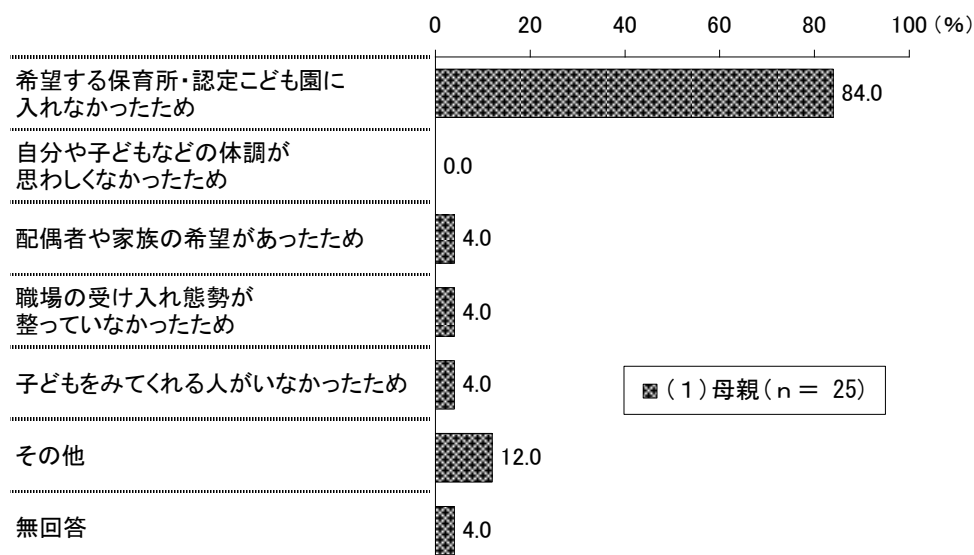
希望より遅く復帰した人の希望の時期に職場復帰しなかった理由は、母親では、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」が84.0%で最も高くなっている。

父親では、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」がそれぞれ1件ずつとなっている。

【希望より早く復帰した人】



【希望より遅く復帰した人】

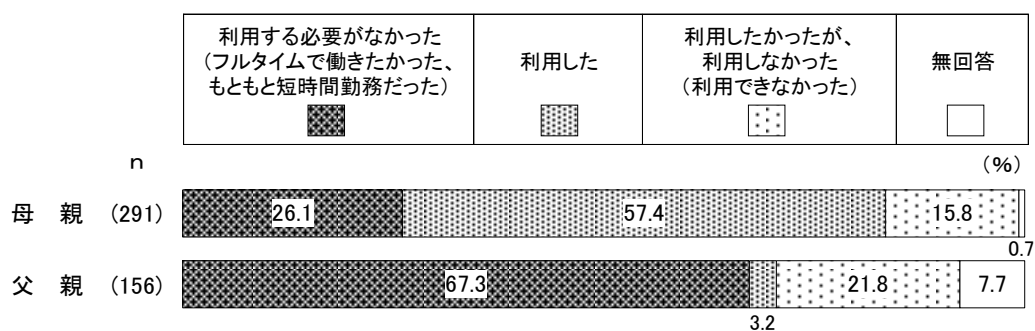


(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問30－7 問30－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では、「利用した」が57.4%、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は15.8%となっている。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」は26.1%となっている。

父親では、「利用した」が3.2%、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は21.8%となっている。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」は67.3%となっている。

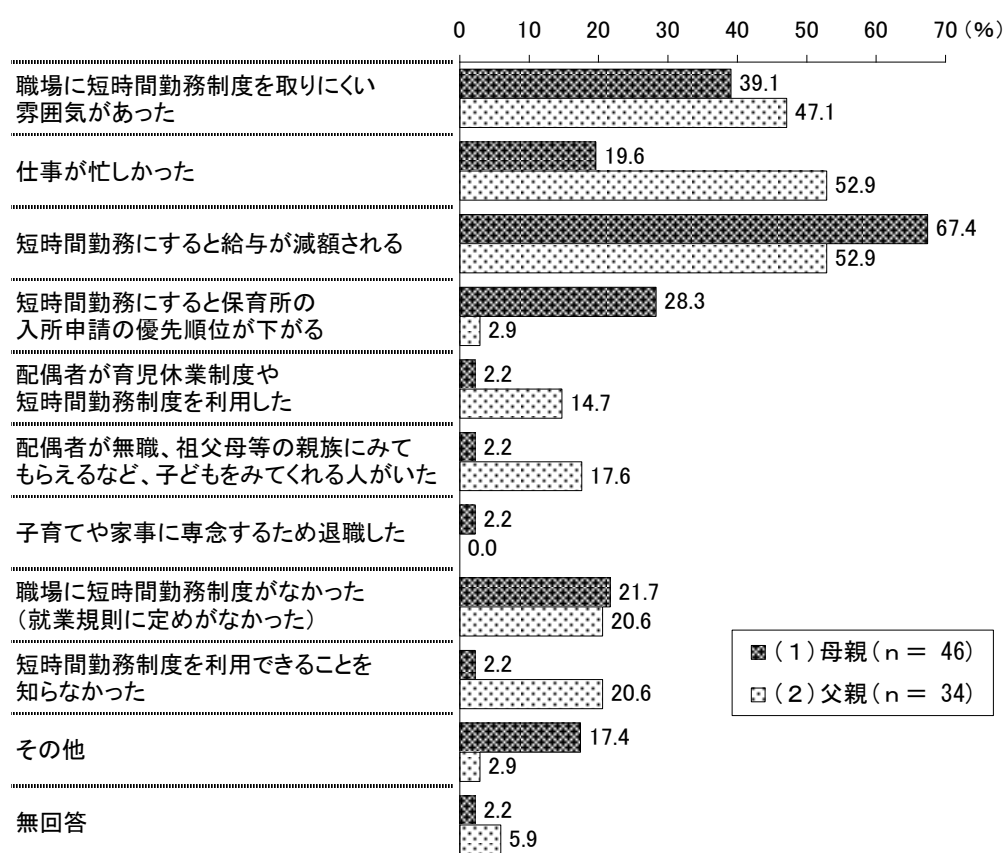


(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問30－8 問30－7で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」が67.4%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が39.1%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が28.3%となっている。

父親では、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに52.9%で高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が47.1%となっている。

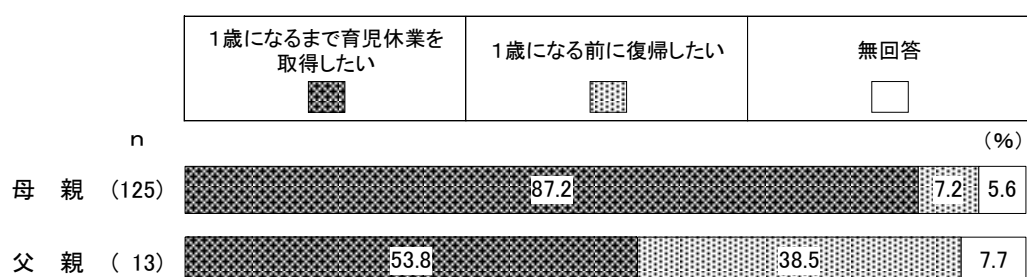


(10) 子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期

問30－9 問30－2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもが1歳になったときに利用できる事業がある場合の職場復帰の時期は、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.2%、「1歳になる前に復帰したい」は7.2%となっている。

父親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が53.8%、「1歳になる前に復帰したい」は38.5%となっている。

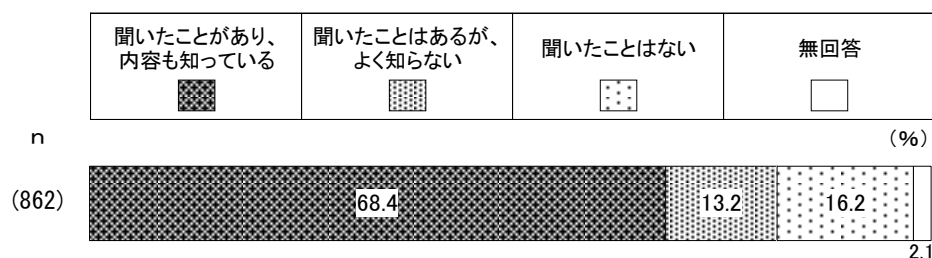


12. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度

問31 ヤングケアラーという言葉をごまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

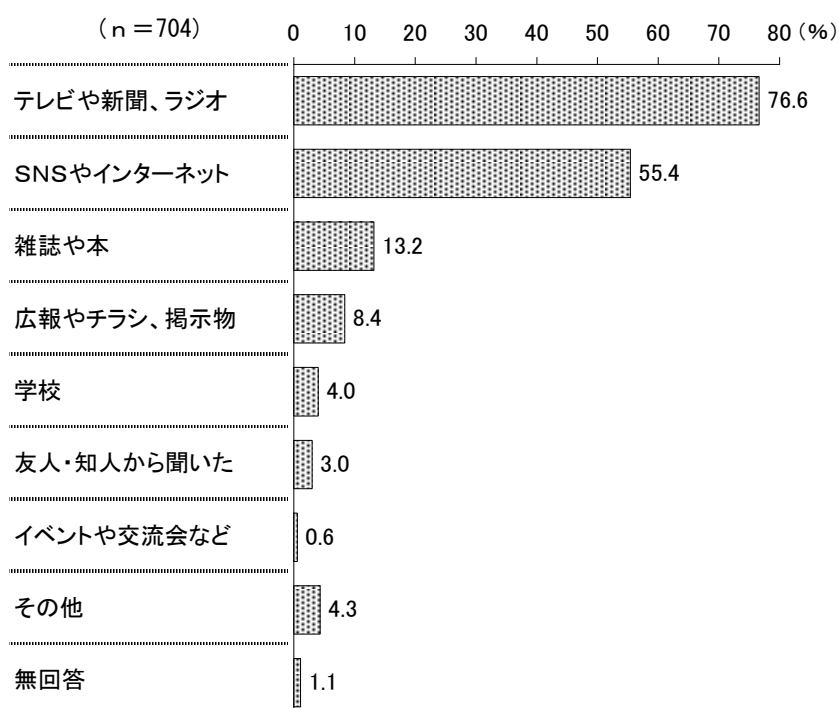
ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が68.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は13.2%となっている。一方、「聞いたことはない」は16.2%となっている。



(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問31-1 問31で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が76.6%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が55.4%、「雑誌や本」が13.2%、「広報やチラシ、掲示物」が8.4%となっている。



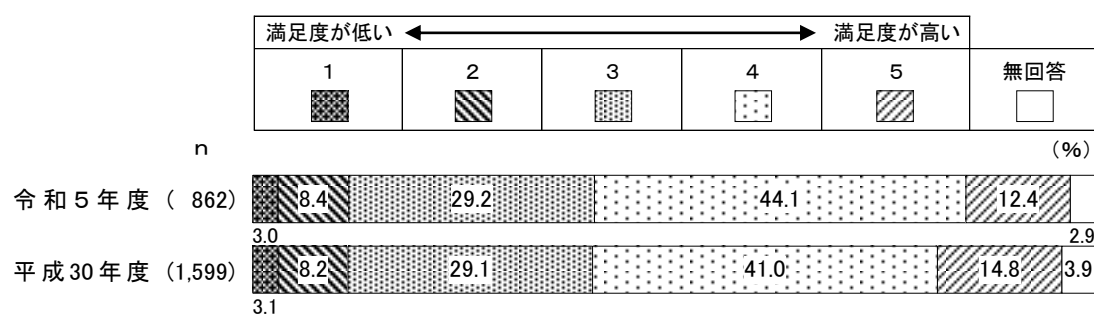
13. 厚木市の子育て環境について

(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階で見ると、「4」が44.1%で最も高く、次いで「3」が29.2%、「5」が12.4%となっている。

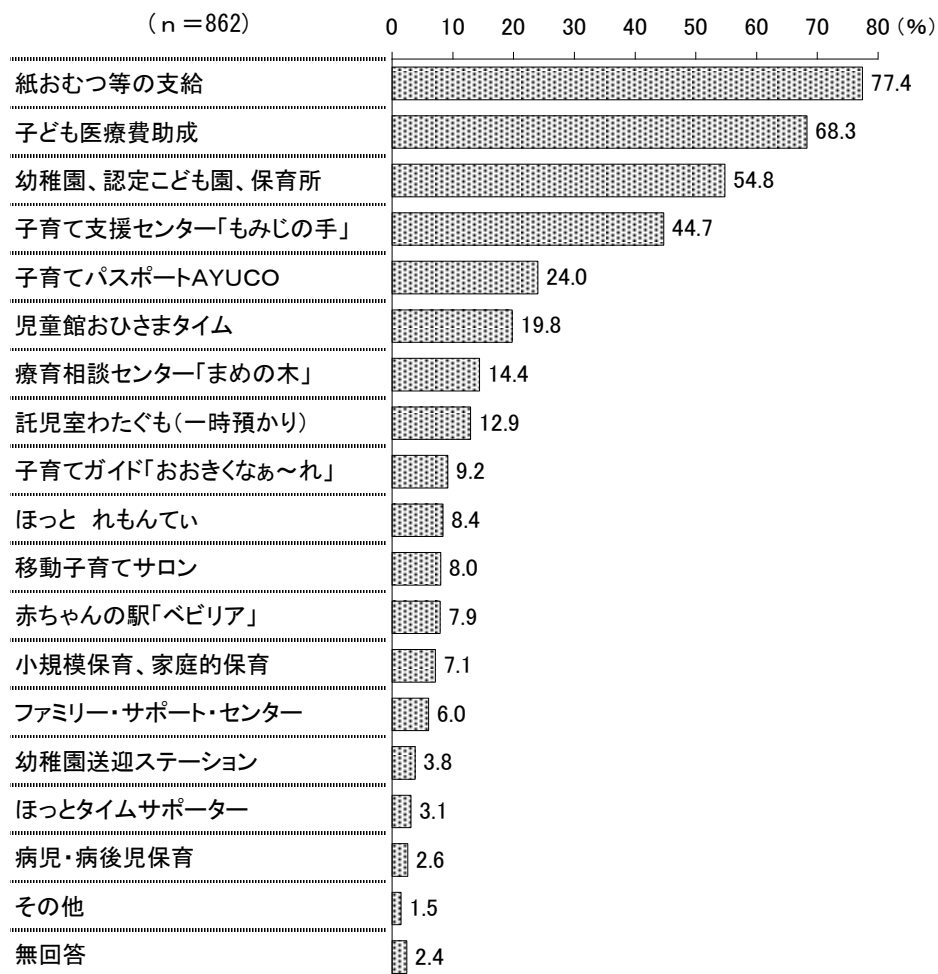
平成30年度調査と比較すると、「4」は3.1ポイント増加している。



(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業

問32-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

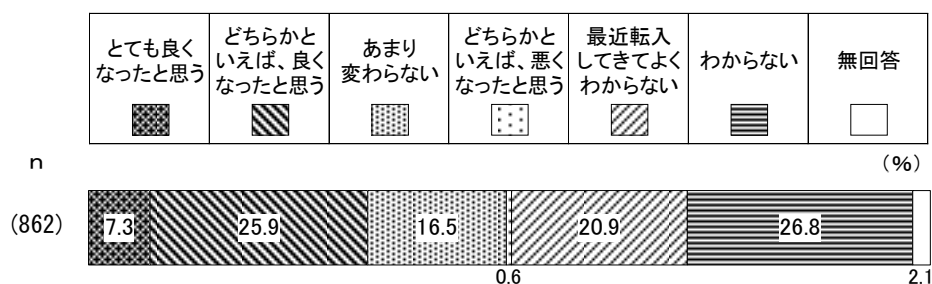
市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業は、「紙おむつ等の支給」が77.4%で最も高く、次いで「子ども医療費助成」が68.3%、「幼稚園、認定こども園、保育所」が54.8%、「子育て支援センター『もみじの手』」が44.7%となっている。



(3) 市の子育て環境の変化

問33 以前（５年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

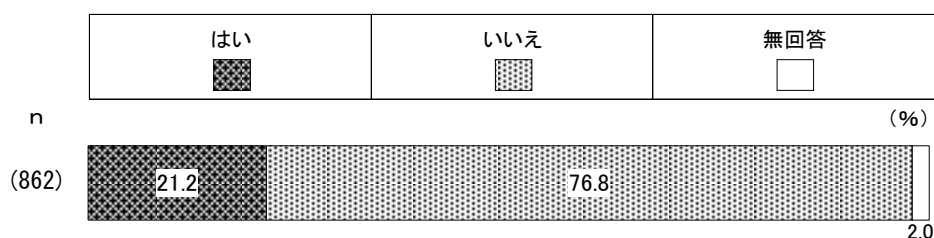
市の子育て環境の変化は、「とても良くなったと思う」が7.3%、「どちらかといえば、良くなったと思う」は25.9%となっている。一方、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が0.6%となっている。また、「あまり変わらない」は16.5%となっている。



(4) 「送迎ステーション事業」の利用意向

問34 本厚木駅近くにある託児室「わたぐも」で朝夕子どもを預かり、利用する幼稚園や保育所等までバスで送迎する「送迎ステーション事業」が利用できる場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。なお、費用は、月4,000円程度とします。

「送迎ステーション事業」の利用意向は、「利用したい（はい）」が21.2%、「利用したくない（いいえ）」は76.8%となっている。



Ⅲ 就学児童調査結果

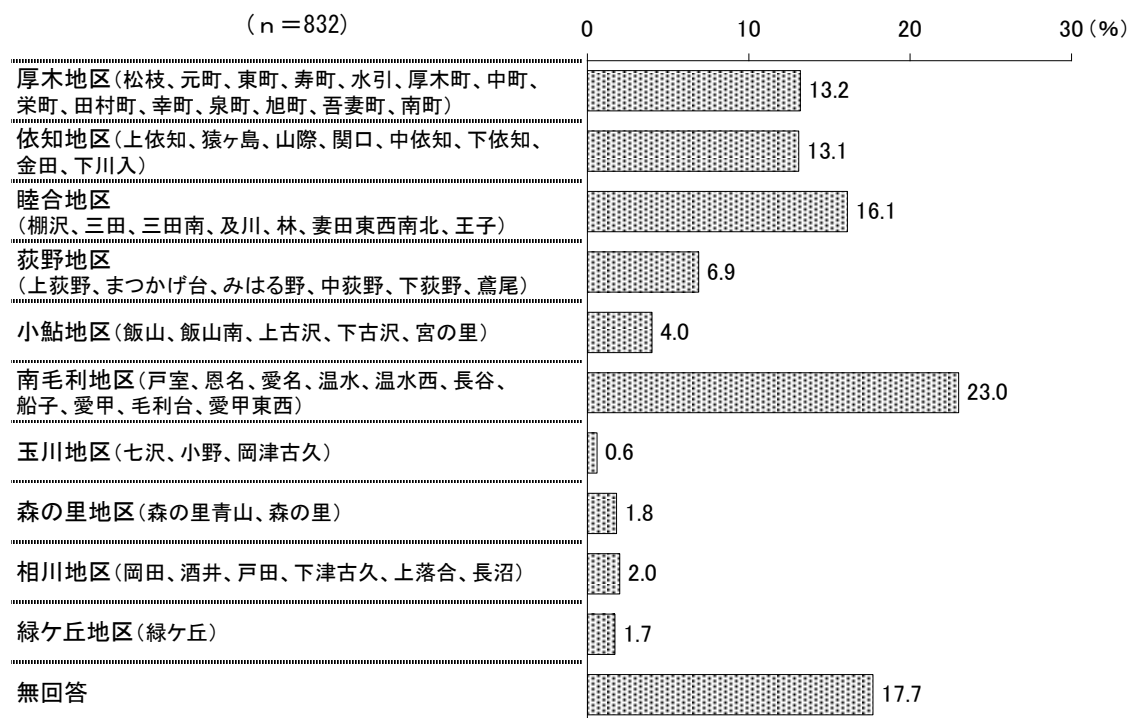
Ⅲ 就学児童調査結果

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「南毛利地区」が23.0%で最も高く、次いで「睦合地区」が16.1%、「厚木地区」が13.2%、「依知地区」が13.1%となっている。

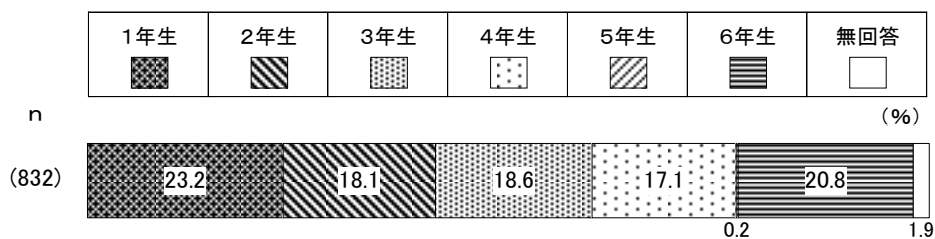


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの学年

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

宛名の子どもの学年は、「1年生」が23.2%で最も高く、次いで「6年生」が20.8%、「3年生」が18.6%、「2年生」が18.1%となっている。



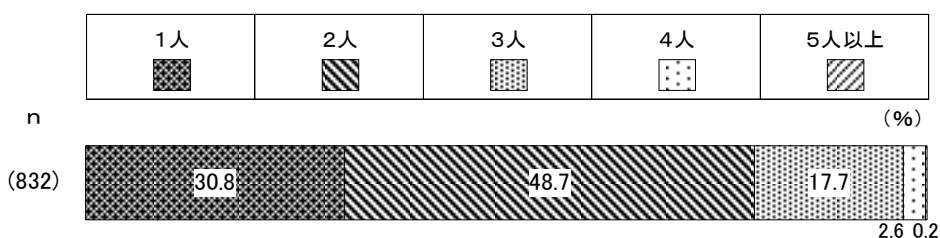
(2) 宛名の子どものきょうだい数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

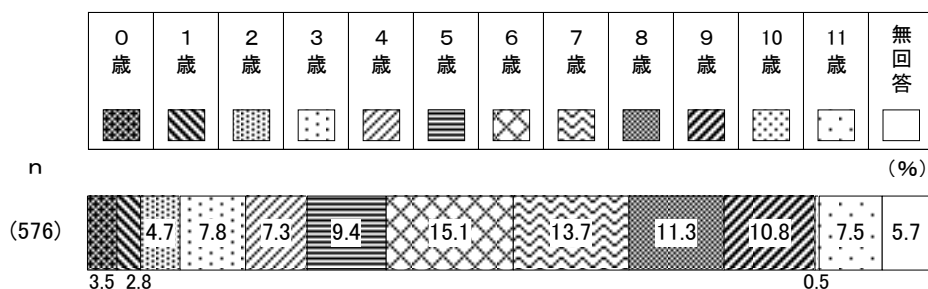
宛名の子どものきょうだい数は、「2人」が48.7%で最も高く、次いで「1人」が30.8%、「3人」が17.7%となっている。

末子の年齢は、「6歳」が15.1%で最も高く、次いで「7歳」が13.7%、「8歳」が11.3%、「9歳」が10.8%となっている。

【きょうだい数】



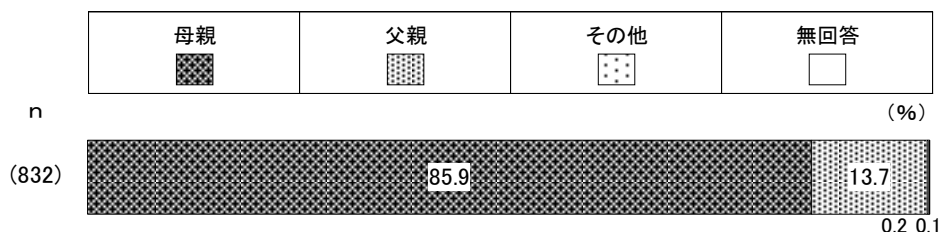
【末子の年齢】



(3) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

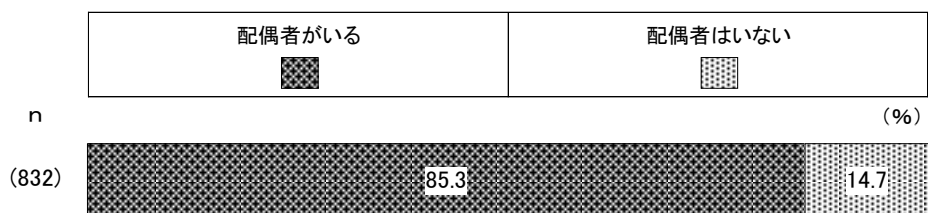
調査票の記入者は、「母親」が85.9%、「父親」は13.7%となっている。



(4) 記入者の配偶者有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の記入者の配偶者有無は、「配偶者がいる」が85.3%、「配偶者はいない」は14.7%となっている。

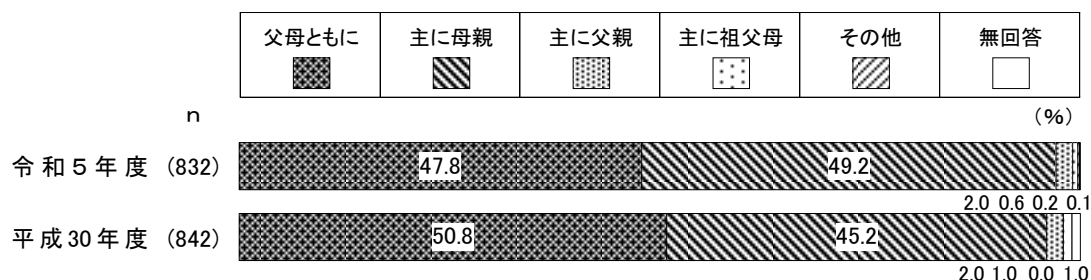


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「主に母親」が49.2%で最も高く、次いで「父母ともに」が47.8%となっている。

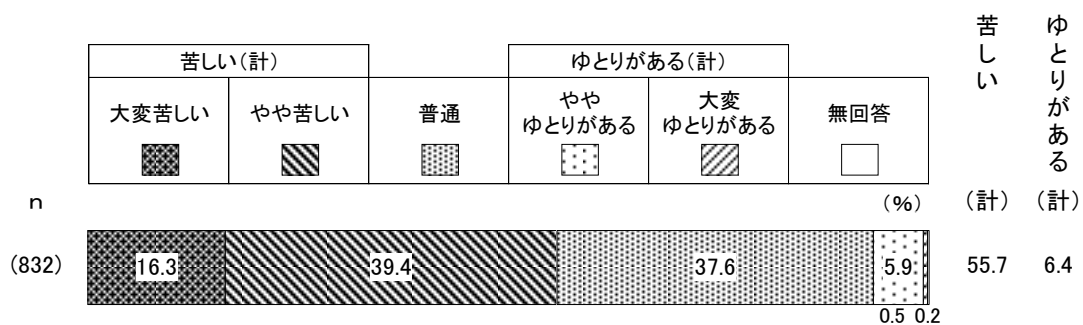
平成30年度調査と比較すると、「主に母親」は4.0ポイント増加している。一方、「父母ともに」は3.0ポイント減少している。



(6) 現在の暮らしの状況

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

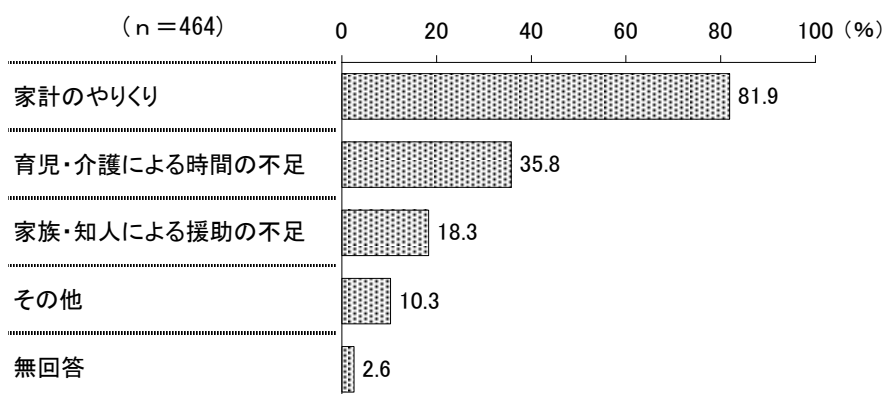
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」（16.3%）と「やや苦しい」（39.4%）を合わせた『苦しい（計）』は55.7%となっている。一方、「ややゆとりがある」（5.9%）と「大変ゆとりがある」（0.5%）を合わせた『ゆとりがある（計）』は6.4%となっている。また、「普通」は37.6%となっている。



(7) 暮らしの状況が苦しい理由

問8 問7で「大変苦しい」または「やや苦しい」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

暮らしの状況が苦しい理由は、「家計のやりくり」が81.9%で最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」が35.8%、「家族・知人による援助の不足」が18.3%となっている。



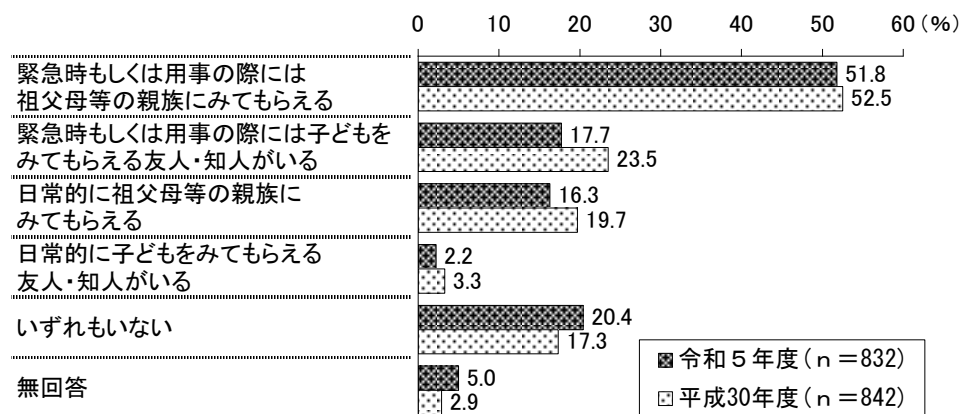
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.8%で最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が17.7%となっている。

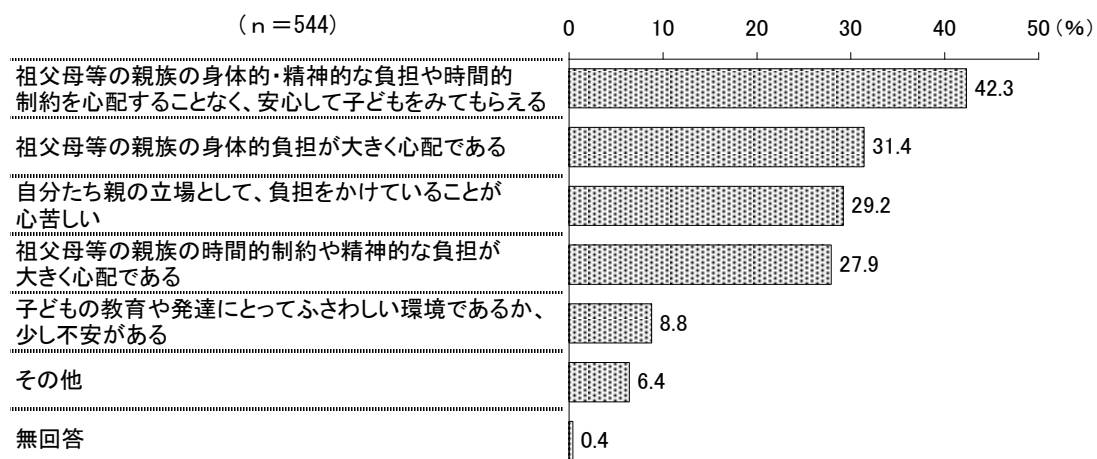
平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は5.8ポイント減少している。



(2) 親族に子どもをみてもらっている状況

問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

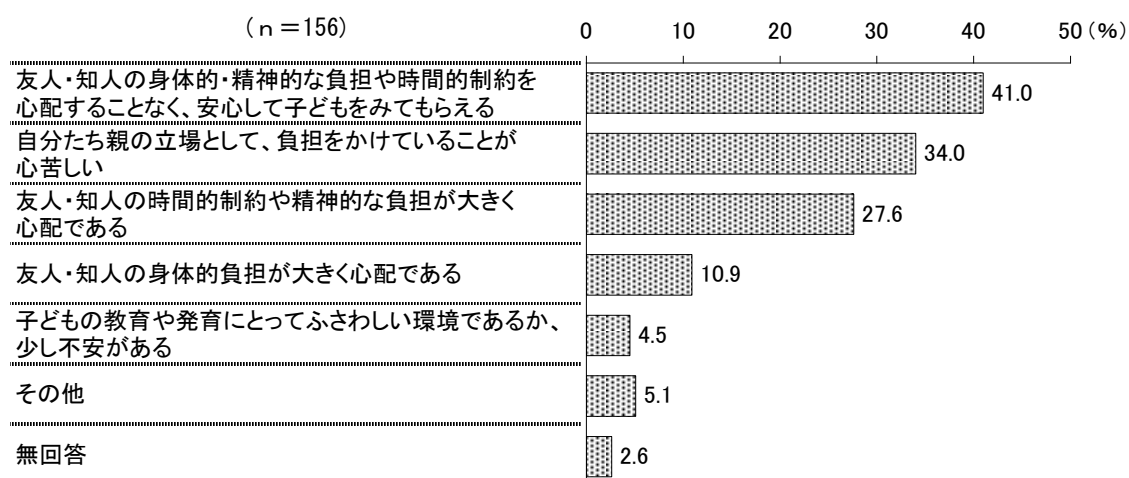
親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.3%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が31.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.2%となっている。



(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が41.0%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が34.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が27.6%となっている。

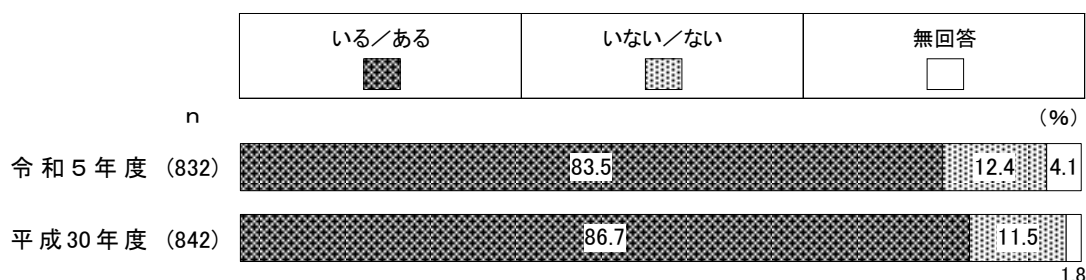


(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる／ある」が83.5%、「いない／ない」は12.4%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」は3.2ポイント減少している。

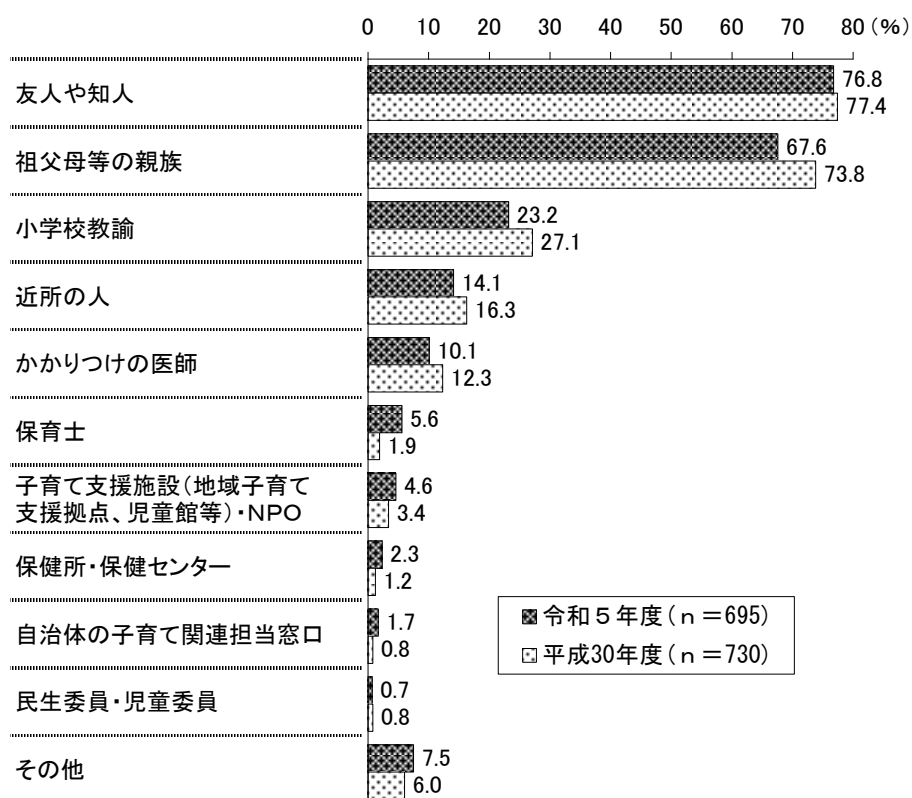


（５）子育てに関しての相談先

問10－１ 問10で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関しての相談先は、「友人や知人」が76.8%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が67.6%、「小学校教諭」が23.2%、「近所の人」が14.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「保育士」は3.7ポイント増加している。一方、「祖父母等の親族」は6.2ポイント、「小学校教諭」は3.9ポイント、それぞれ減少している。



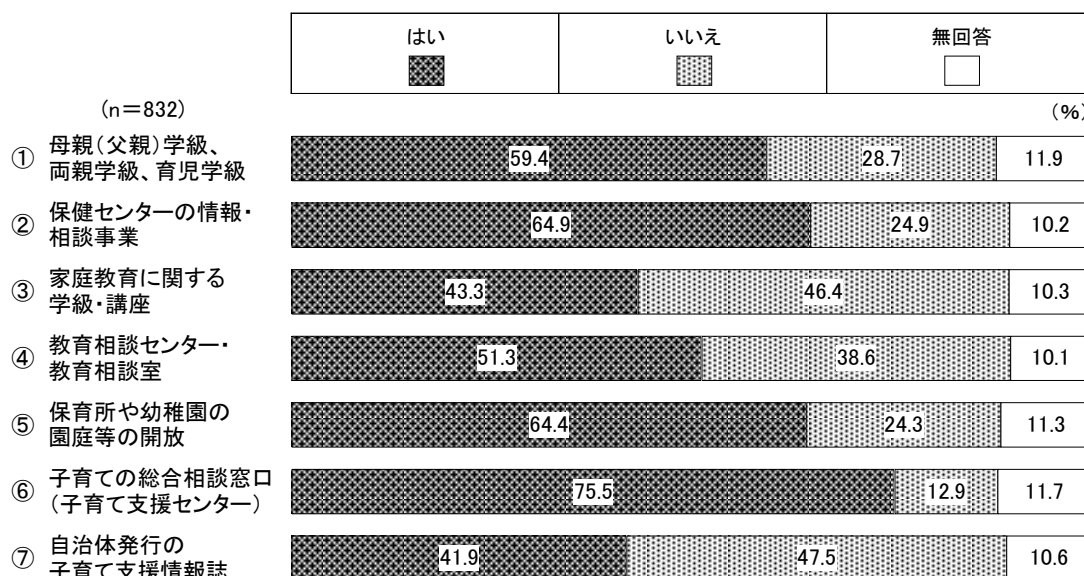
(6) 子育て支援事業の利用状況

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

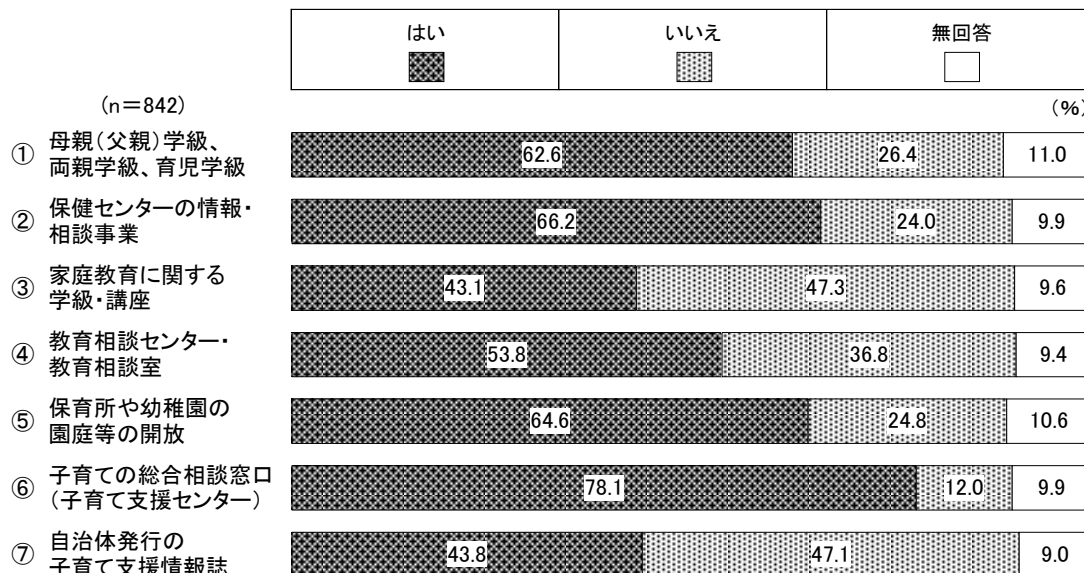
子育て支援事業の認知度について、「知っている（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で75.5%と最も高くなっている。一方、「知らない（いいえ）」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で47.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「知っている」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で3.2ポイント減少している。

【A 認知度（知っている）】



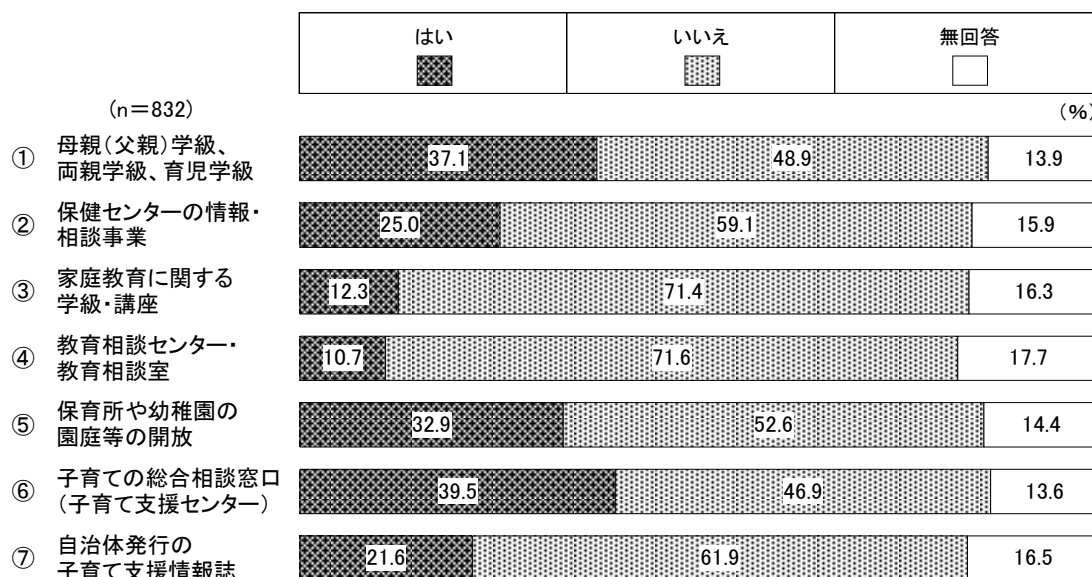
<平成30年度調査>



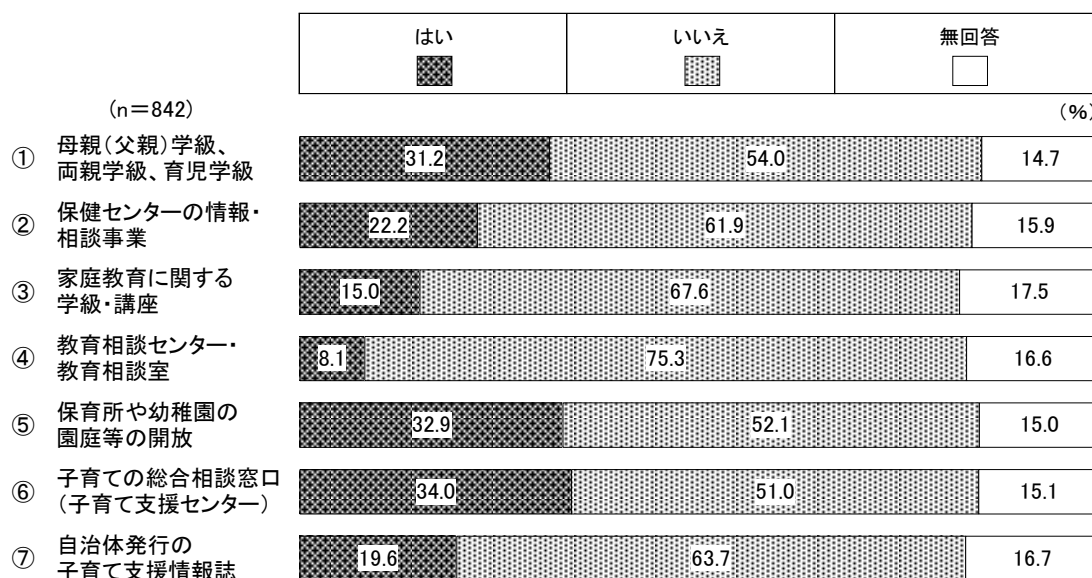
子育て支援事業の利用状況について、「これまでに利用したことがある（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で39.5%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（いいえ）」は“教育相談センター・教育相談室”で71.6%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「これまでに利用したことがある」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で5.9ポイント、“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で5.5ポイント、それぞれ増加している。

【B 利用状況（これまでに利用したことがある）】



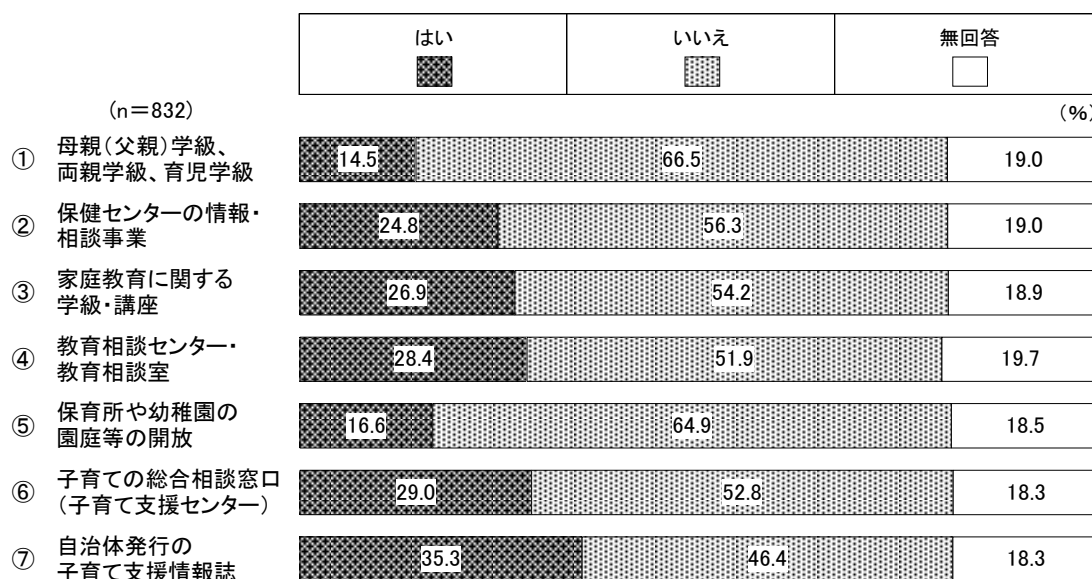
<平成30年度調査>



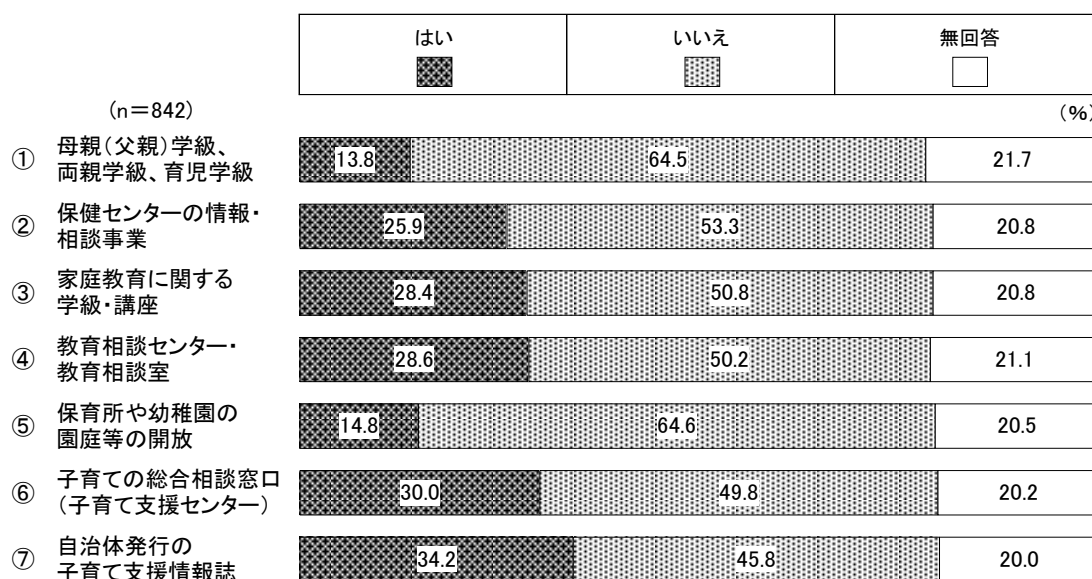
子育て支援事業の利用意向について、「今後利用したい（はい）」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で35.3%と最も高くなっている。一方、「利用したくない（いいえ）」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で66.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」は“家庭教育に関する学級・講座”で3.4ポイント、“保健センターの情報・相談事業”で3.0ポイント、それぞれ増加している。

【C 利用意向（今後利用したい）】



＜平成30年度調査＞

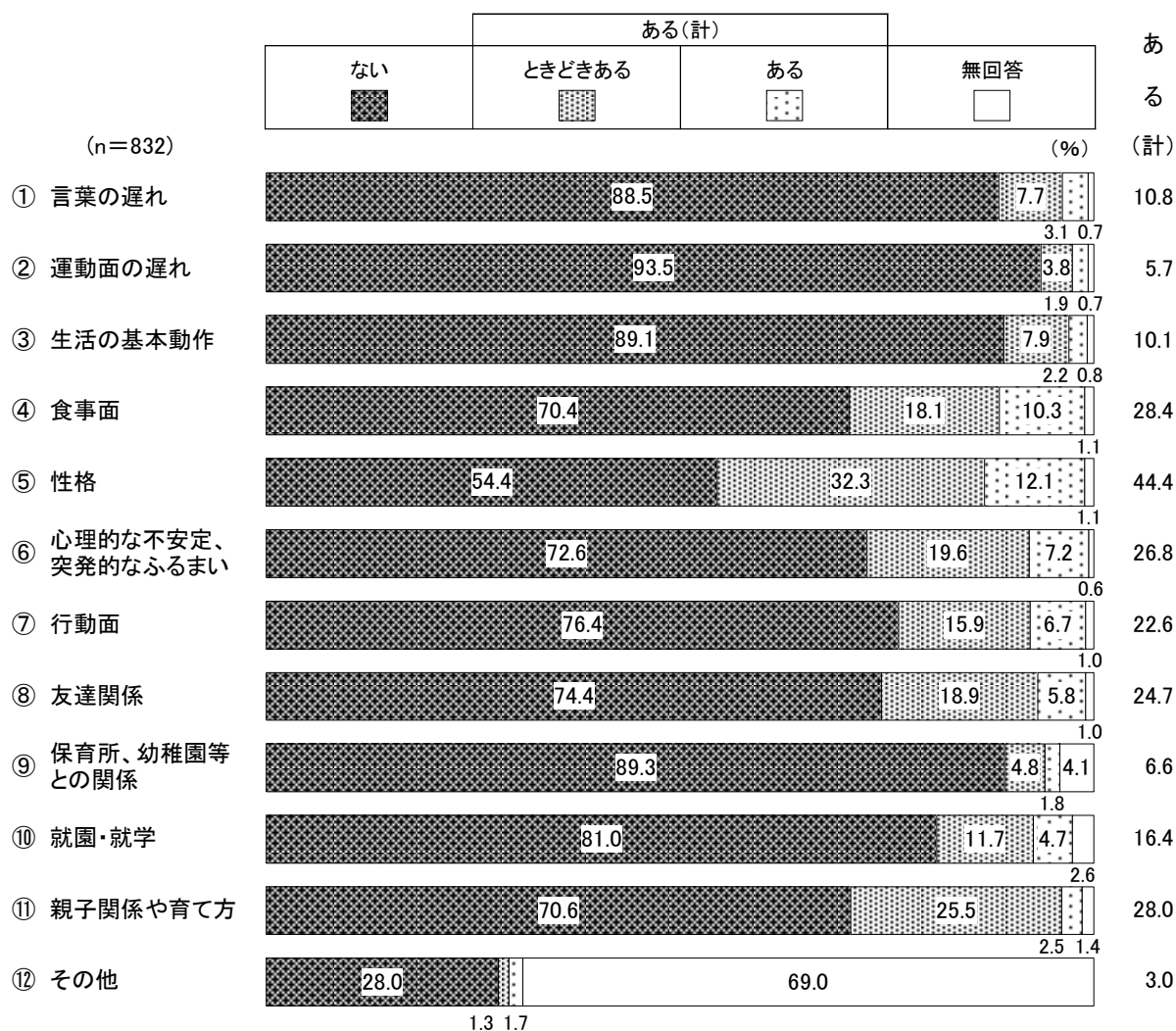


(7) 子どもの発達や育ちについて気になること

問12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

子どもの発達や育ちについて気になることが、「ない」は“運動面の遅れ”で93.5%と最も高く、次いで“保育所、幼稚園等との関係”で89.3%、“生活の基本動作”で89.1%となっている。

一方、「ときどきある」と「ある」を合わせた『ある(計)』は“性格”で44.4%と最も高く、次いで“食事面”で28.4%、“親子関係や育て方”で28.0%となっている。



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

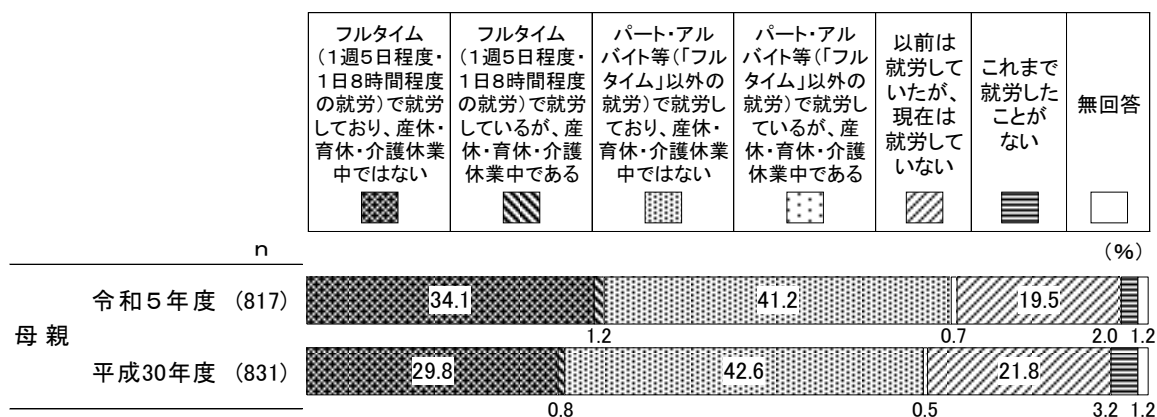
保護者の現在の就労状況は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が41.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4.3ポイント増加している。

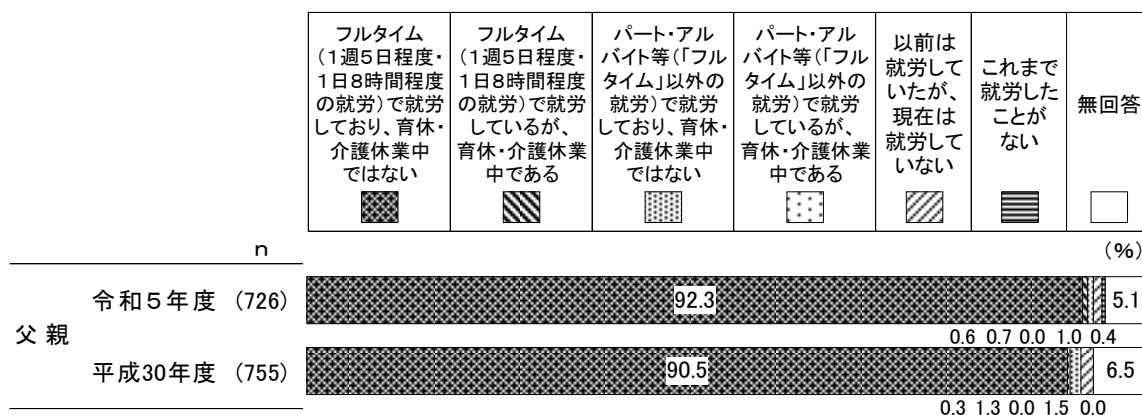
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が92.3%で最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(1) 母親



(2) 父親



(2) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間

問13-1 問13で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数は、母親では、「5日」が50.5%で最も高く、次いで「4日」が21.2%、「3日」が14.4%となっている。

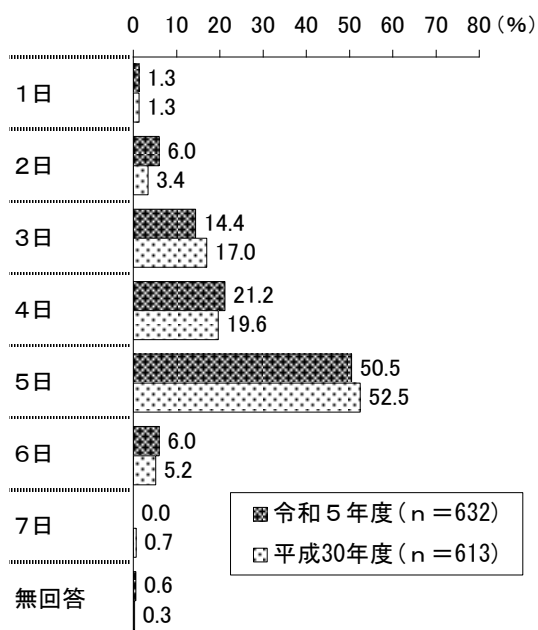
平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

父親では、「5日」が77.8%で最も高く、次いで「6日」が17.2%、「3日」が1.5%となっている。

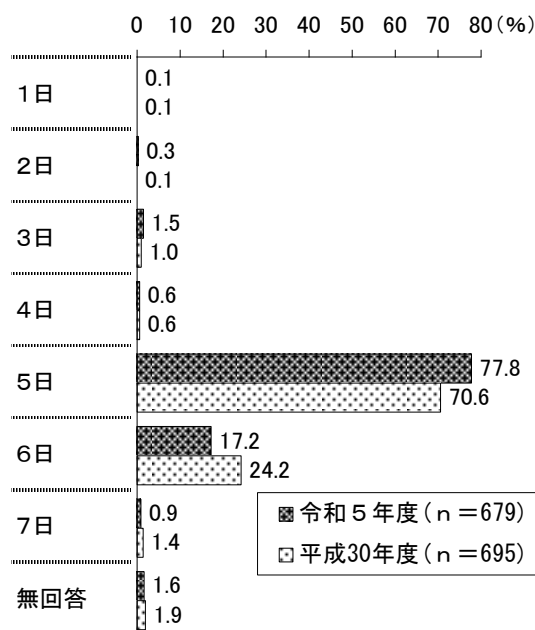
平成30年度調査と比較すると、「5日」は7.2ポイント増加している。一方、「6日」は7.0ポイント減少している。

【1週当たりの就労日数】

(1) 母親



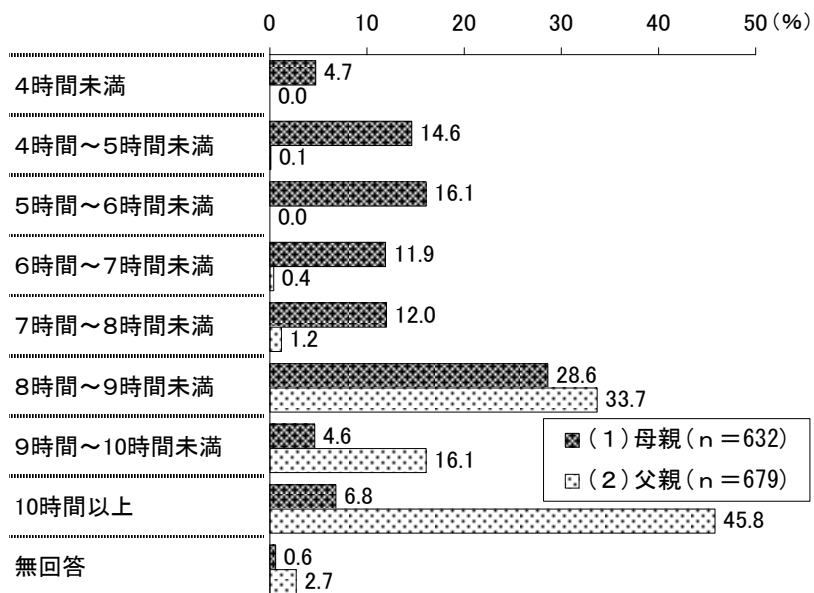
(2) 父親



1日当たりの就労時間は、母親では、「8時間～9時間未満」が28.6%で最も高く、次いで「5時間～6時間未満」が16.1%、「4時間～5時間未満」が14.6%となっている。

父親では、「10時間以上」が45.8%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が33.7%、「9時間～10時間未満」が16.1%となっている。

【1日当たりの就労時間】



(3) 家を出る時刻と帰宅時刻

問13-2 問13で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

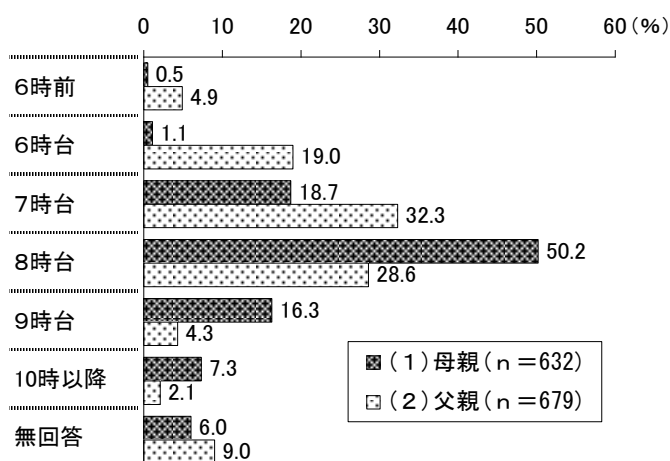
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が50.2%で最も高く、次いで「7時台」が18.7%、「9時台」が16.3%となっている。

父親では、「7時台」が32.3%で最も高く、次いで「8時台」が28.6%、「6時台」が19.0%となっている。

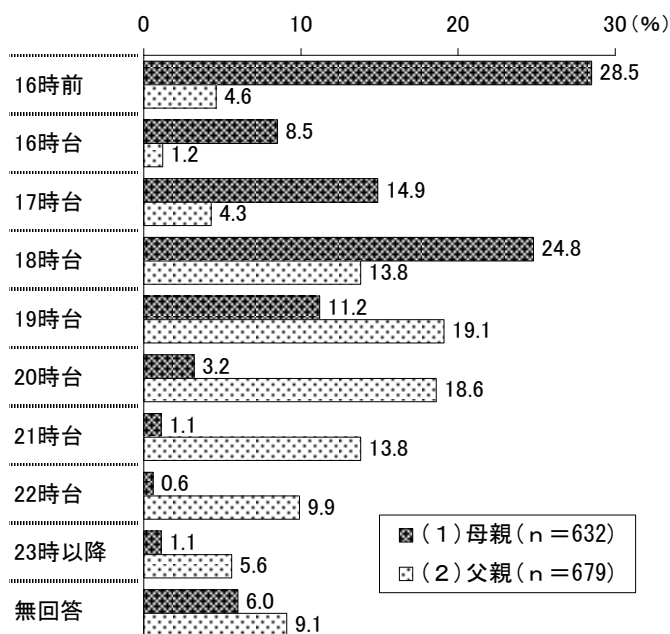
帰宅時刻は、母親では、「16時前」が28.5%で最も高く、次いで「18時台」が24.8%、「17時台」が14.9%となっている。

父親では、「19時台」が19.1%で最も高く、次いで「20時台」が18.6%、「18時台」と「21時台」がともに13.8%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

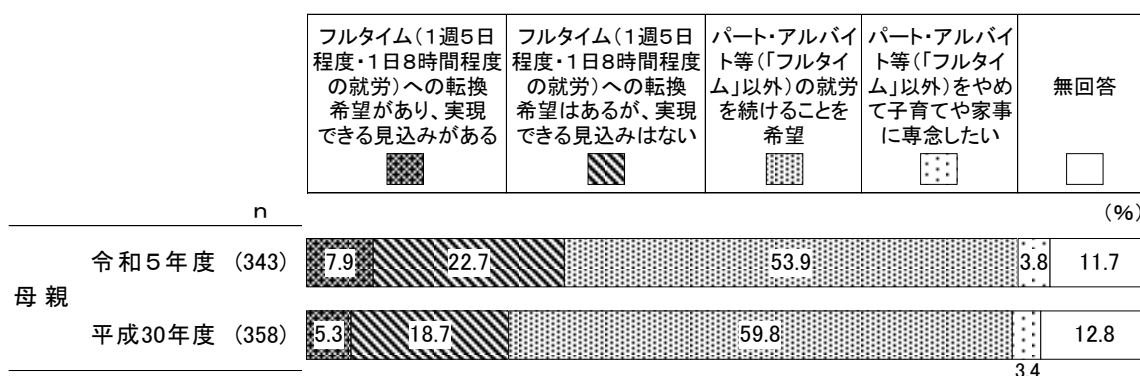
問14 問13で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が53.9%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は4.0ポイント増加している。一方、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」は5.9ポイント減少している。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ1件ずつ、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が3件となっている。

(1) 母親



(5) 未就労者の今後の就労意向

問15 問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

未就労者の今後の就労意向は、母親では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が32.6%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに28.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は10.0ポイント増加している。一方、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は6.5ポイント減少している。

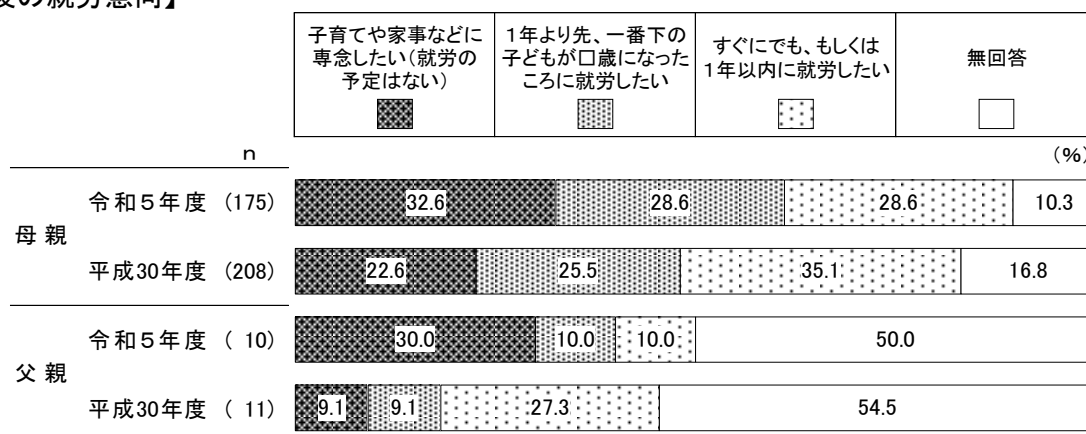
父親では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が30.0%で最も高くなっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

就労を希望するときの末子の年齢は、母親では、「6歳～7歳」が32.0%で最も高く、次いで「12歳～13歳」が16.0%、「4歳～5歳」が12.0%となっている。

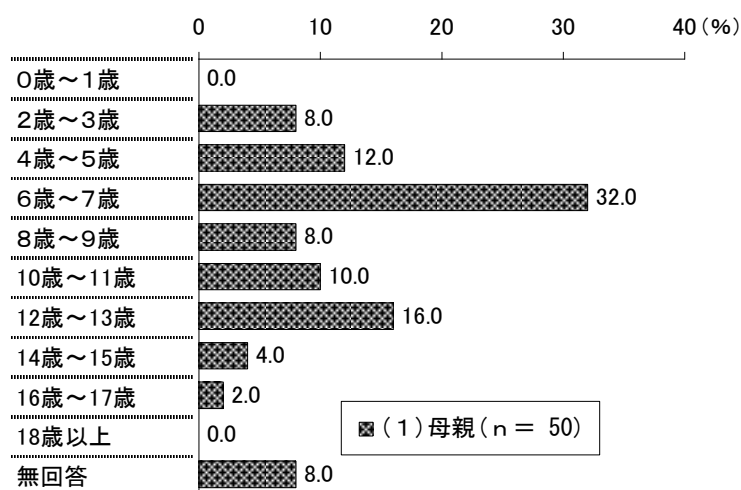
父親では、「12歳～13歳」が1件となっている。

【今後の就労意向】



【就労を希望するときの末子の年齢】

(1) 母親



希望する就労形態は、母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が10.0%、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」は90.0%となっている。

父親では、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」が1件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数は、母親では、「3日」が57.8%で最も高く、次いで「4日」が22.2%、「2日」が15.6%となっている。

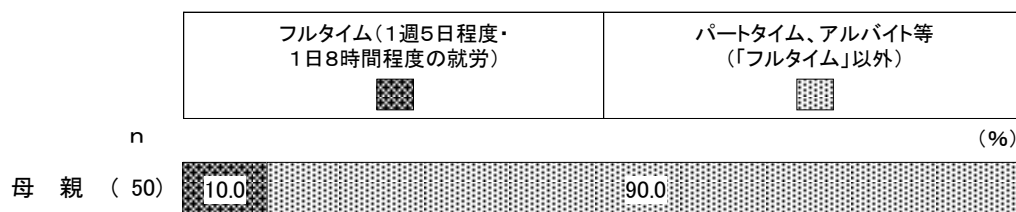
父親では、「5日」が1件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間は、母親では、「5時間～6時間未満」が42.2%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が37.8%、「6時間～7時間未満」が15.6%となっている。

父親では、「4時間～5時間未満」が1件となっている。

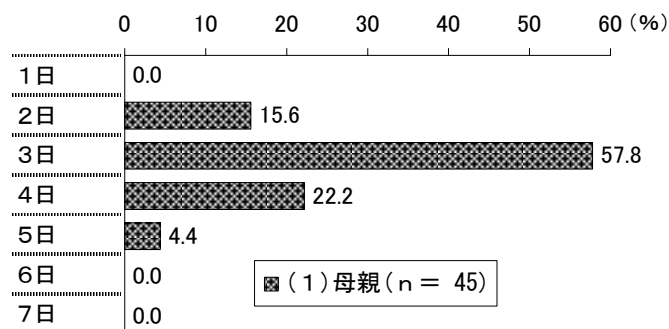
【希望する就労形態】

（1）母親



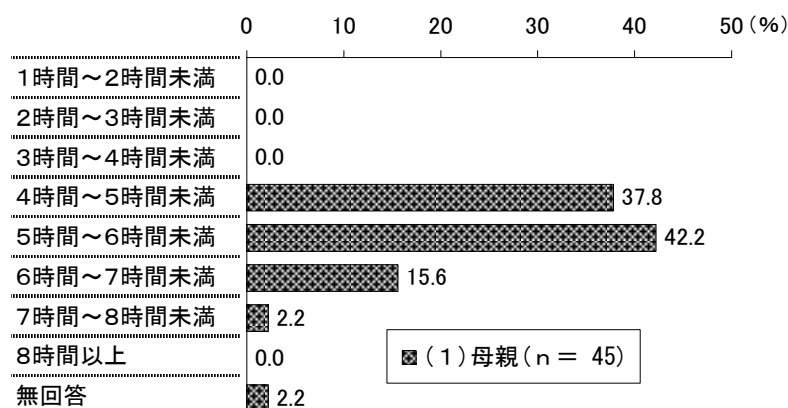
【パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数】

（1）母親



【パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間】

（1）母親

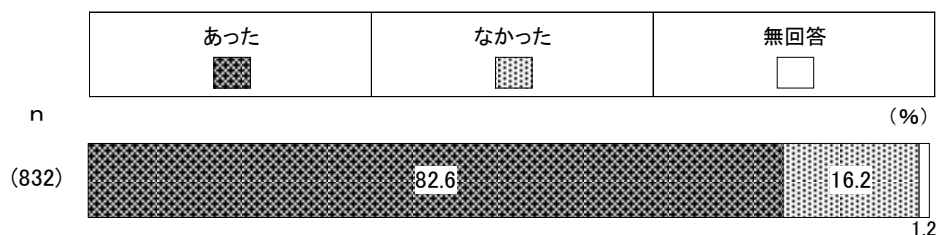


5. 病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無

問16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。

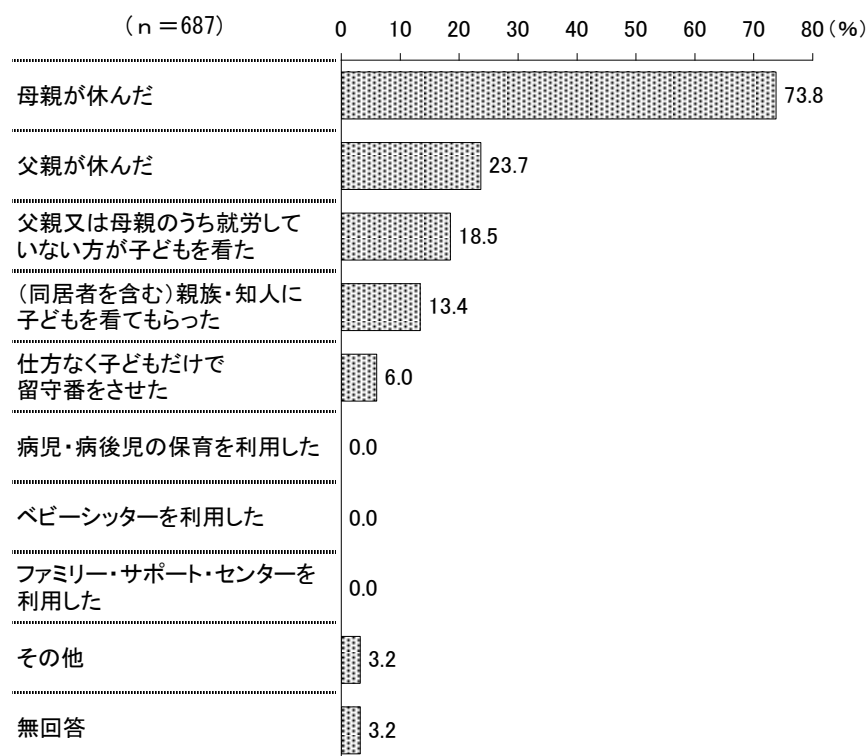
この1年間に子どもが病気やケガで小学校を休んだ経験の有無は、「あった」が82.6%、「なかった」は16.2%となっている。



(2) 小学校を休んだ場合の対処方法

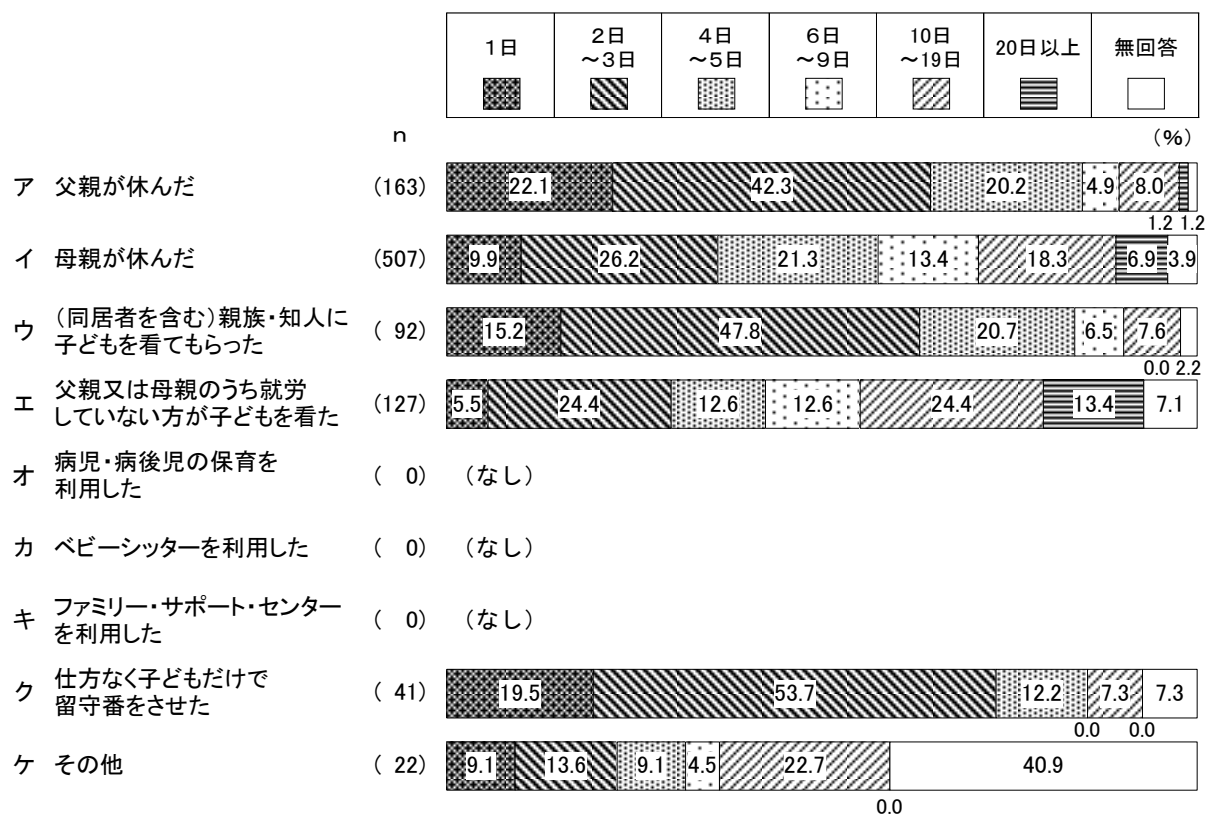
問16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

小学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が休んだ」が73.8%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が23.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が18.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が13.4%となっている。



1年間の対処方法別の日数をみると、「1日」は“父親が休んだ”で22.1%と高くなっている。「2日～3日」は“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”で53.7%と高くなっている。「10日～19日」は“父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た”で24.4%と高くなっている。

【1年間の対処方法別の日数】



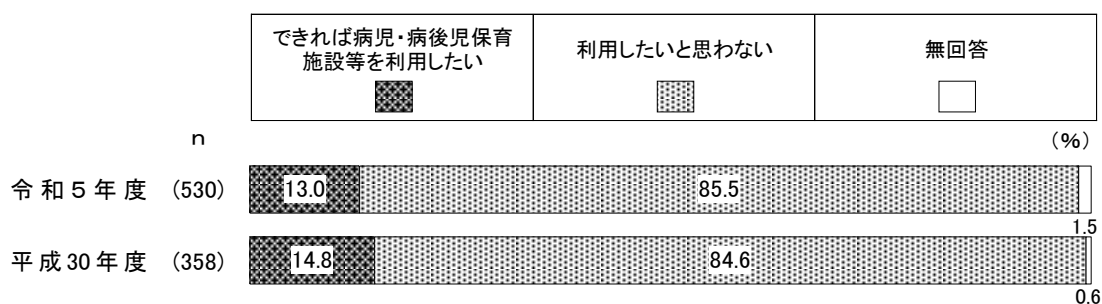
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問16-2 問16-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

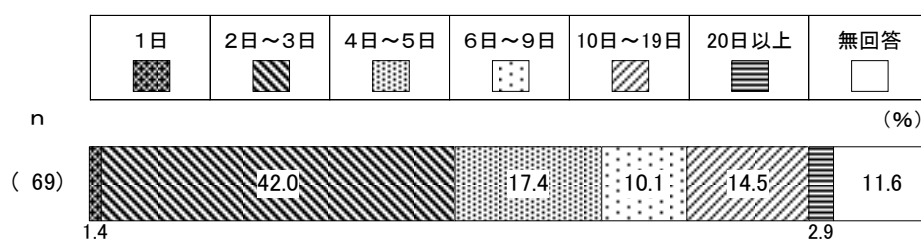
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が13.0%、「利用したいと思わない」は85.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「2日～3日」が42.0%で最も高く、次いで「4日～5日」が17.4%、「10日～19日」が14.5%、「6日～9日」が10.1%となっている。



【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

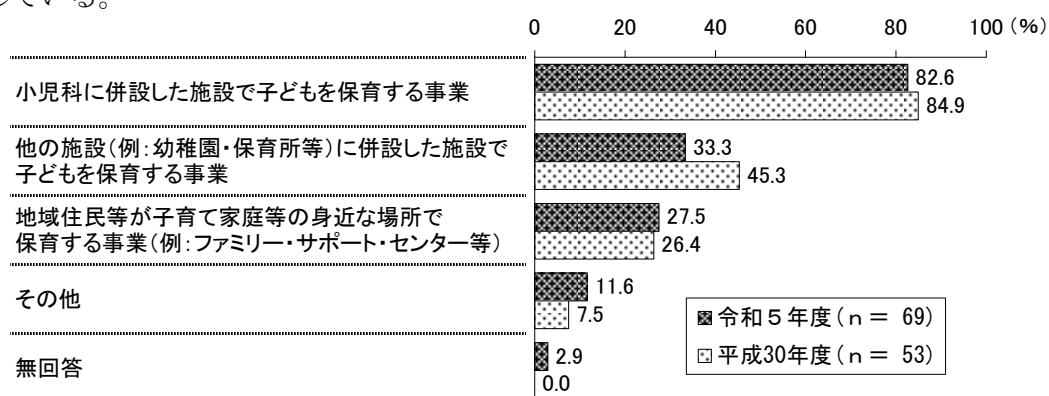


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問16－3 問16－2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方います。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が82.6%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が33.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が27.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」は12.0ポイント減少している。

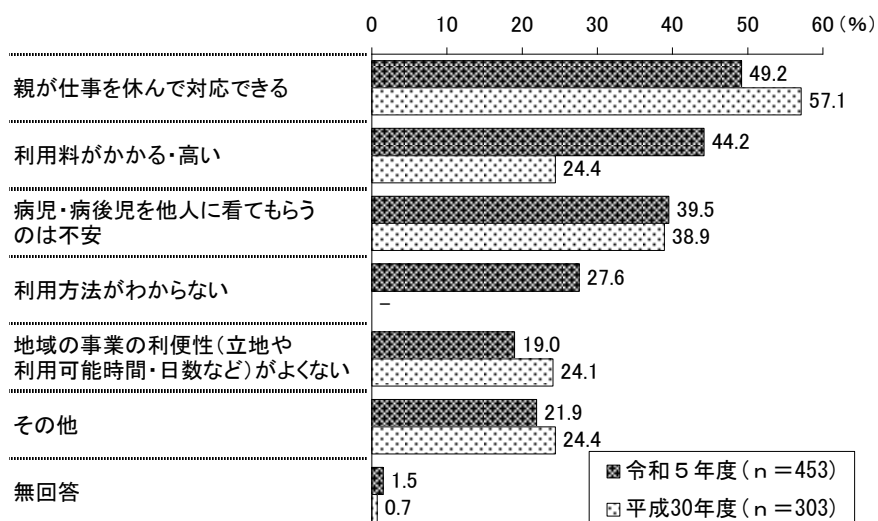


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問16－4 問16－2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応できる」が49.2%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が44.2%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.5%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は19.8ポイント増加している。一方、「親が仕事を休んで対応できる」は7.9ポイント、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」は5.1ポイント、それぞれ減少している。



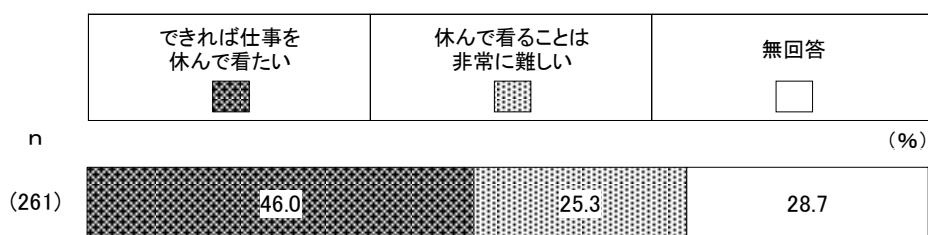
※「利用方法がわからない」は、令和5年度から追加された選択肢

(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか

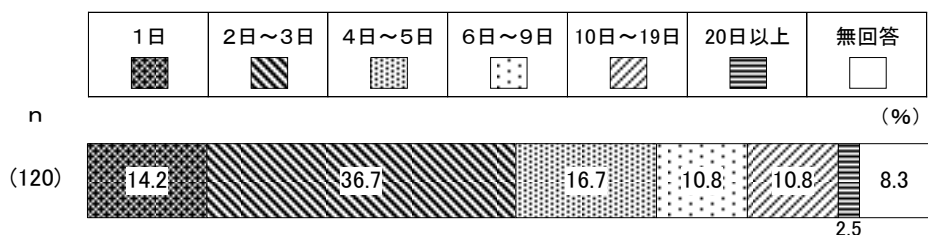
問16-5 問16-1で「父親または母親が休んだ」以外に○をつけた方に伺います。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が46.0%、「休んで看ることは非常に難しい」は25.3%となっている。

仕事を休んで看たいと思った日数は、「2日～3日」が36.7%で最も高く、次いで「4日～5日」が16.7%、「1日」が14.2%となっている。



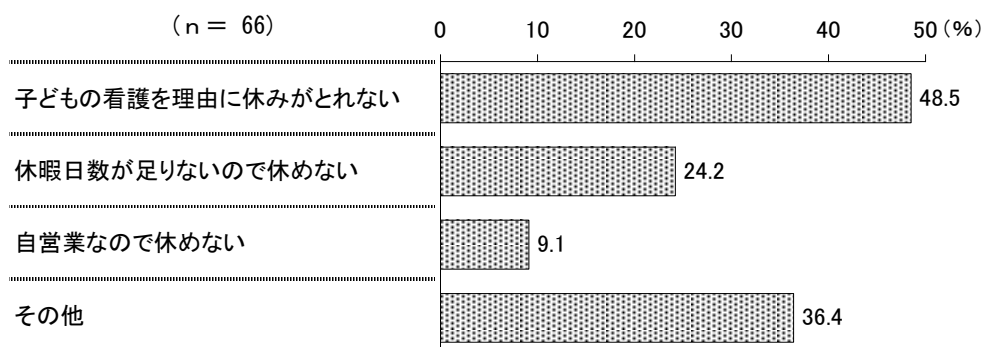
【仕事を休んで看たいと思った日数】



(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問16-6 問16-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を休んで看ることが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が48.5%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が24.2%となっている。



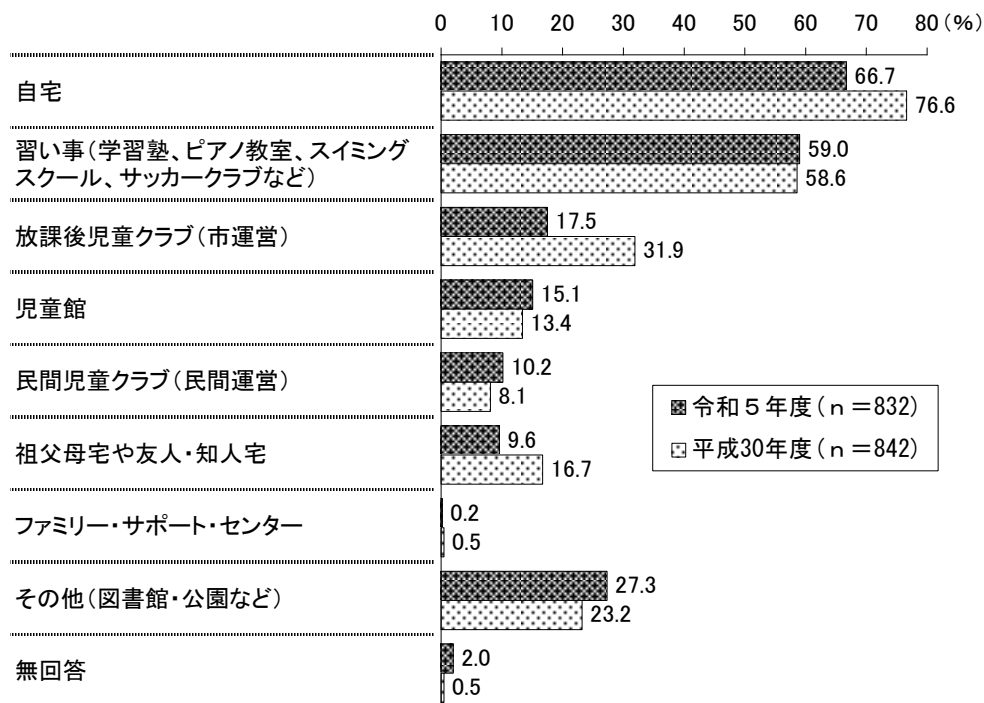
6. 子どもの放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が66.7%で最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」が59.0%、「放課後児童クラブ（市運営）」が17.5%、「児童館」が15.1%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（市運営）」は14.4ポイント、「自宅」は9.9ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」は7.1ポイント、それぞれ減少している。

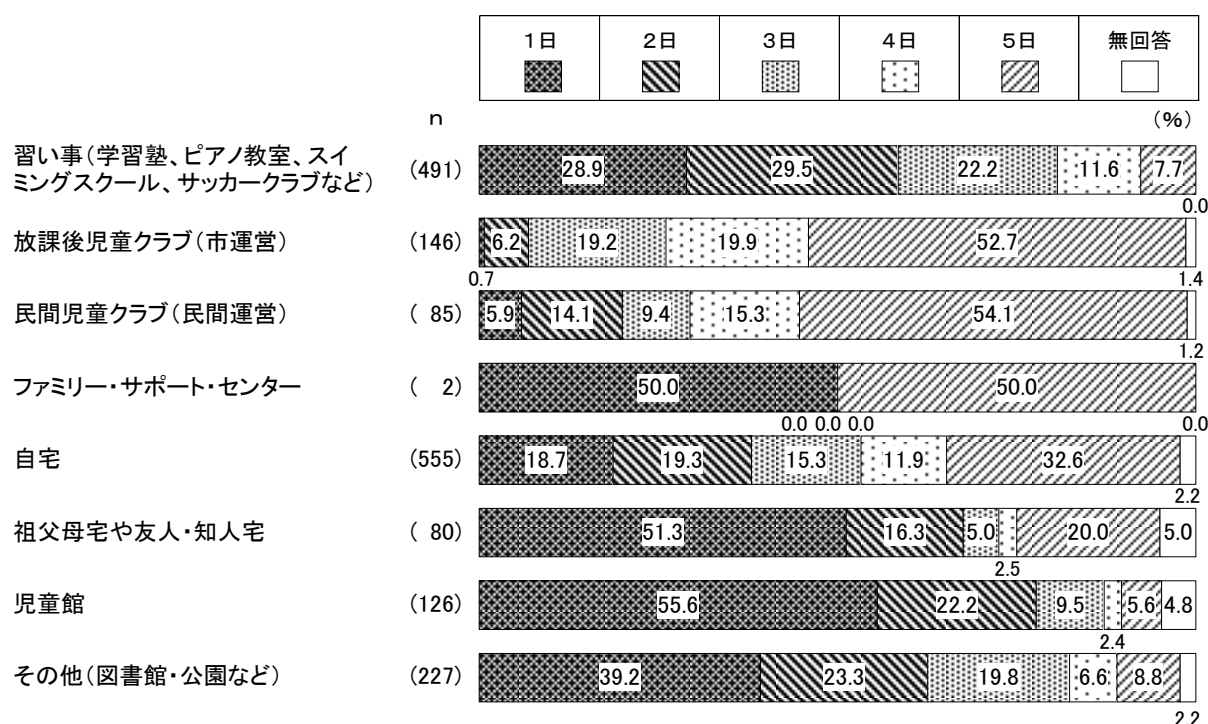


現在の放課後の過ごし方別の1週当たりの日数をみると、「1日」は“児童館”で55.6%と高くなっている。「2日」は“習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）”で29.5%と高くなっている。「5日」は“民間児童クラブ（民間運営）”で54.1%と高くなっている。

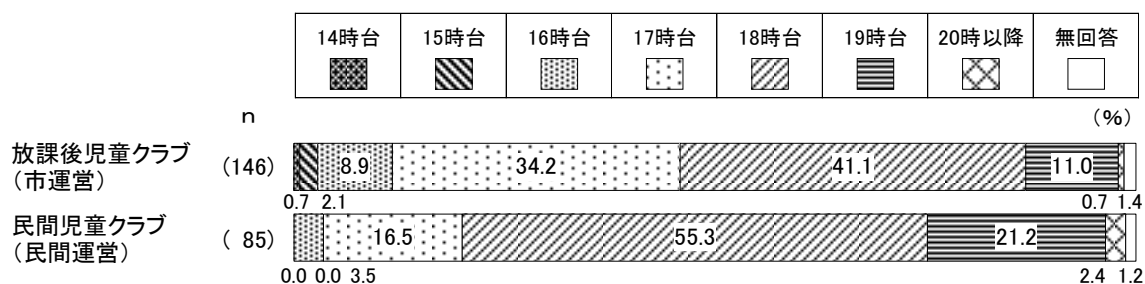
放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻は、放課後児童クラブでは、「18時台」が41.1%で最も高く、次いで「17時台」が34.2%、「19時台」が11.0%となっている。

民間児童クラブでは、「18時台」が55.3%で最も高く、次いで「19時台」が21.2%、「17時台」が16.5%となっている。

【現在の放課後の過ごし方別の1週当たりの日数】



【放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻】

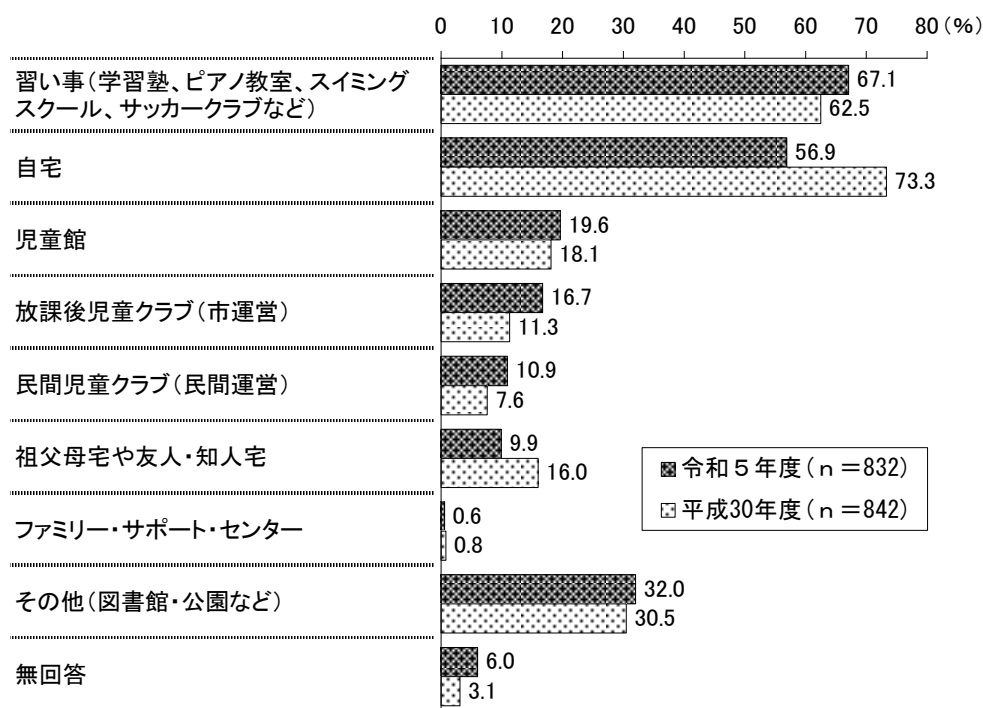


(2) 希望する放課後の過ごし方

問18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

希望する放課後の過ごし方は、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」が67.1%で最も高く、次いで「自宅」が56.9%、「児童館」が19.6%、「放課後児童クラブ（市運営）」が16.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（市運営）」は5.4ポイント、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」は4.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「自宅」は16.4ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」は6.1ポイント、それぞれ減少している。

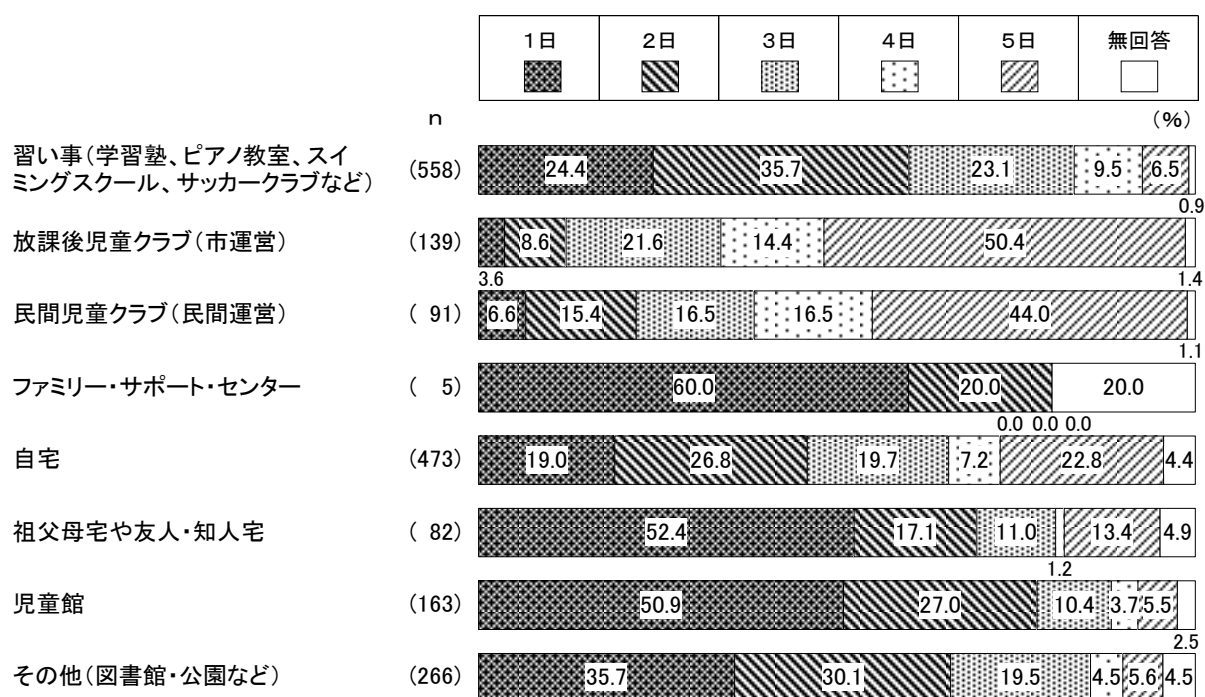


希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、「1日」は“祖父母宅や友人・知人宅”で52.4%と高くなっている。「2日」は“習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）”で35.7%と高くなっている。「5日」は“放課後児童クラブ（市運営）”で50.4%と高くなっている。

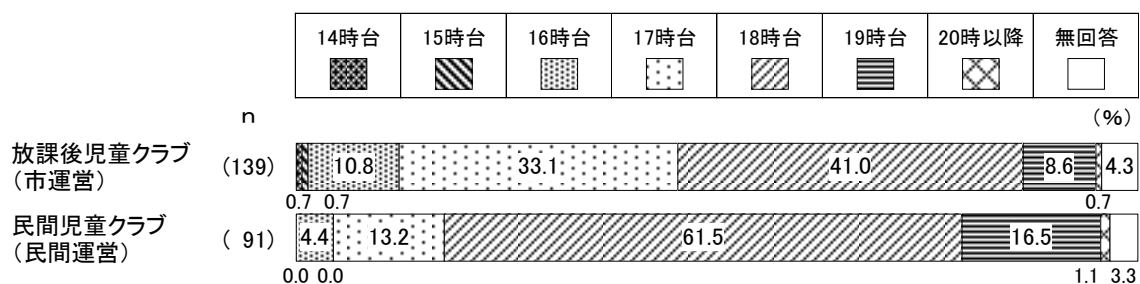
放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻は、放課後児童クラブでは、「18時台」が41.0%で最も高く、次いで「17時台」が33.1%、「16時台」が10.8%となっている。

民間児童クラブでは、「18時台」が61.5%で最も高く、次いで「19時台」が16.5%、「17時台」が13.2%となっている。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブ・民間児童クラブの利用終了時刻】

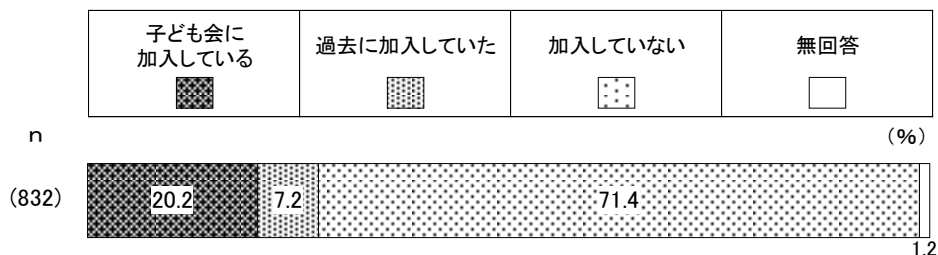


7. 子ども会について

(1) 子ども会への参加状況

問19 宛名のお子さんについて、子ども会への参加状況について当てはまる番号1つに○をつけてください。

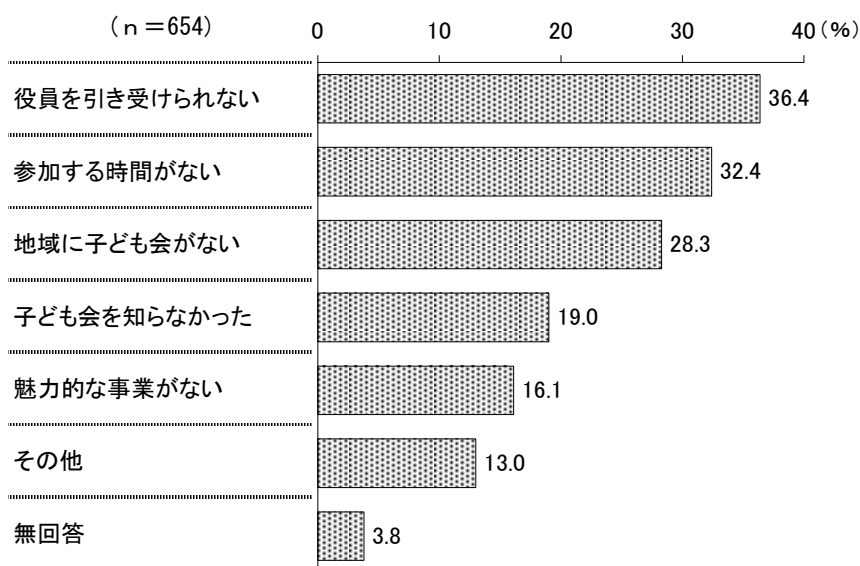
子ども会への参加状況は、「子ども会に加入している」が20.2%となっている。一方、「過去に加入していた」は7.2%、「加入していない」は71.4%となっている。



(2) 子ども会に加入していない理由

問19-1 問19で「過去に加入していた」「加入していない」に○をつけた方に伺います。当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

子ども会に加入していない理由は、「役員を引き受けられない」が36.4%で最も高く、次いで「参加する時間がない」が32.4%、「地域に子ども会がない」が28.3%、「子ども会を知らなかった」が19.0%となっている。

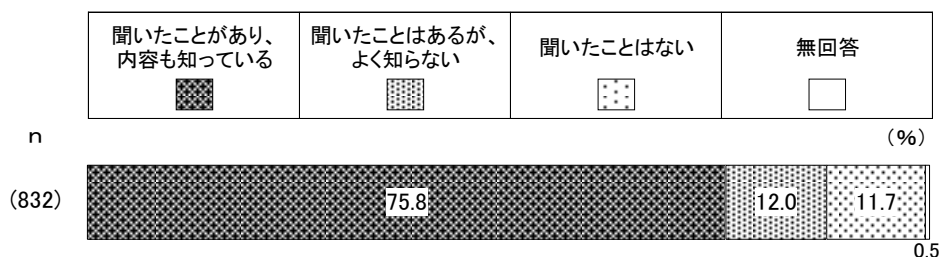


8. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度

問20 ヤングケアラーという言葉をごこれまでに聞いたことはあります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

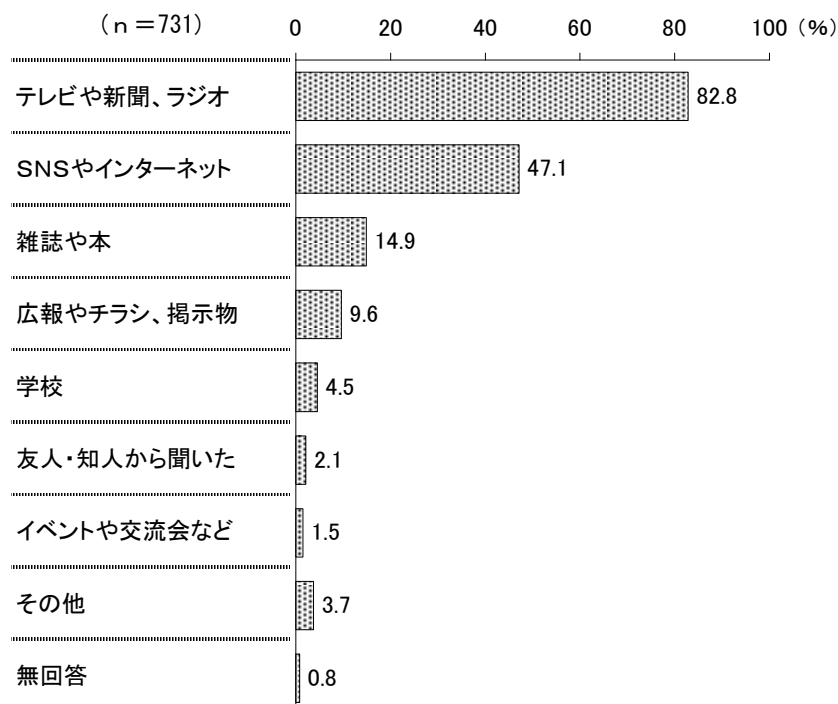
ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が75.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は12.0%となっている。一方、「聞いたことはない」は11.7%となっている。



(2) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問20-1 問20で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が82.8%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が47.1%、「雑誌や本」が14.9%、「広報やチラシ、掲示物」が9.6%となっている。



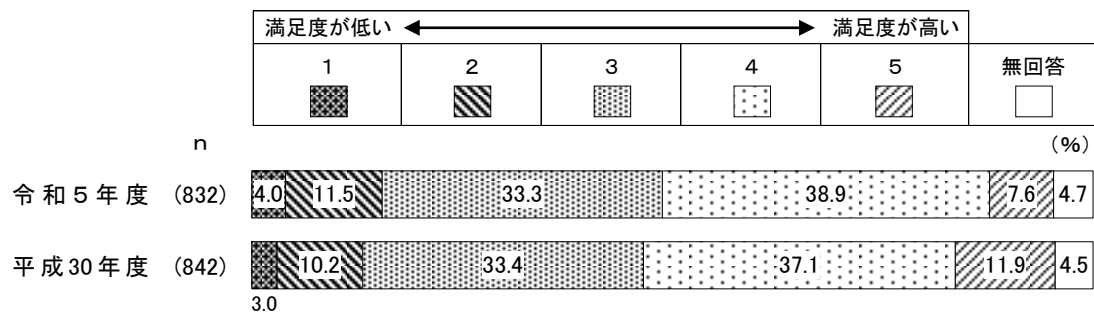
9. 厚木市の子育て環境について

(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階で見ると、「4」が38.9%で最も高く、次いで「3」が33.3%、「2」が11.5%となっている。

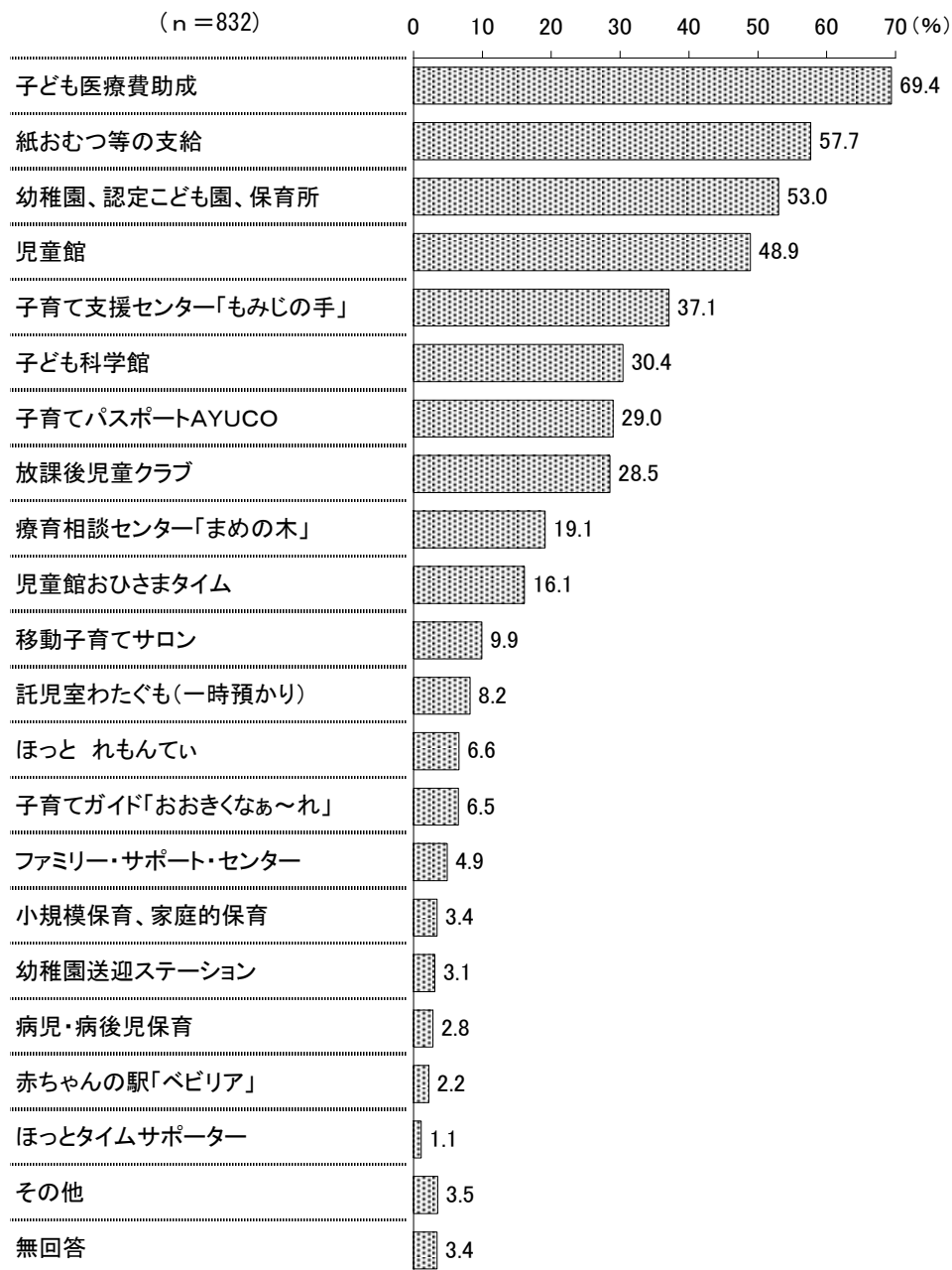
平成30年度調査と比較すると、「5」は4.3ポイント減少している。



(2) 市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業

問21-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

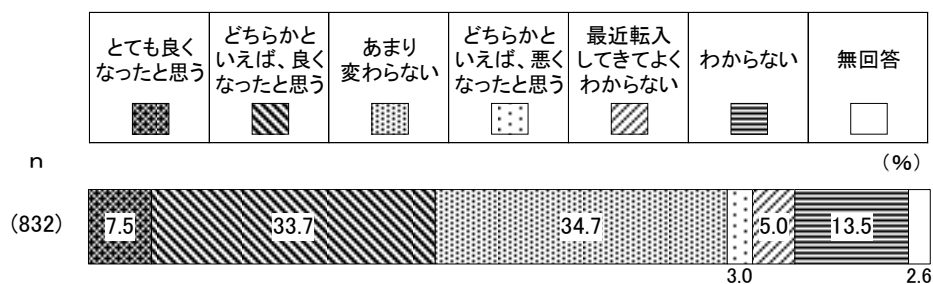
市の子育て支援事業で役に立った満足度の高い事業は、「子ども医療費助成」が69.4%で最も高く、次いで「紙おむつ等の支給」が57.7%、「幼稚園、認定こども園、保育所」が53.0%、「児童館」が48.9%となっている。



(3) 市の子育て環境の変化

問22 以前（５年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

市の子育て環境の変化は、「とても良くなったと思う」が7.5%、「どちらかといえば、良くなったと思う」は33.7%となっている。一方、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が3.0%となっている。また、「あまり変わらない」は34.7%となっている。



IV 小学 5 年児童・中学 2 年生徒調査結果

Ⅳ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

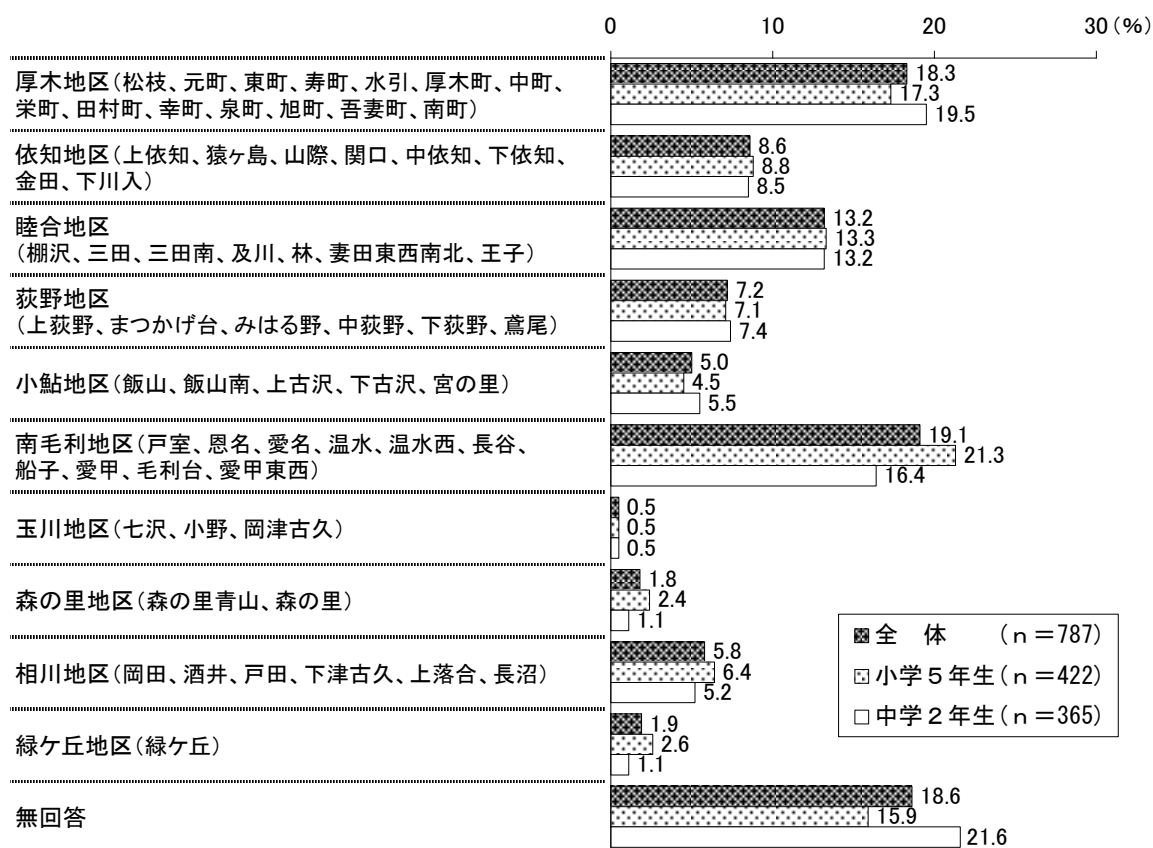
1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、全体では「南毛利地区」が19.1%で最も高く、次いで「厚木地区」が18.3%、「睦合地区」が13.2%、「依知地区」が8.6%となっている。

小学5年生では「南毛利地区」が21.3%で最も高く、中学2年生では「厚木地区」が19.5%で最も高くなっている。

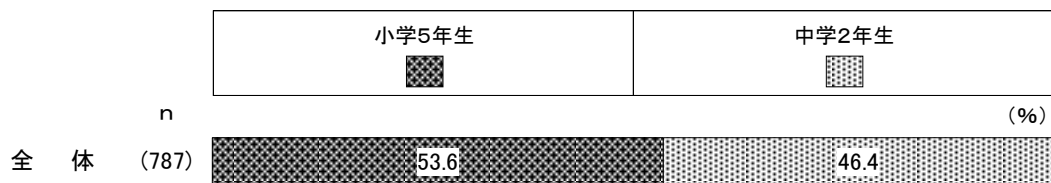


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 学年

問2 あなたの学年を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

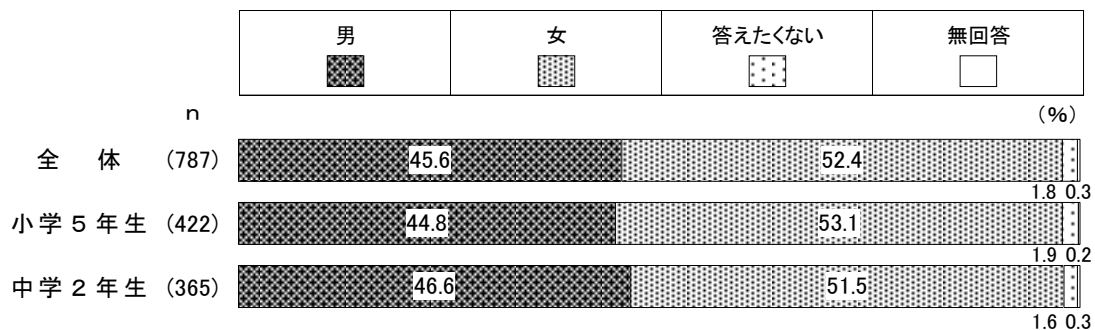
学年は、「小学5年生」が53.6%、「中学2年生」は46.4%となっている。



(2) 性別

問3 性別についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

性別は、全体では「男」が45.6%、「女」は52.4%となっている。



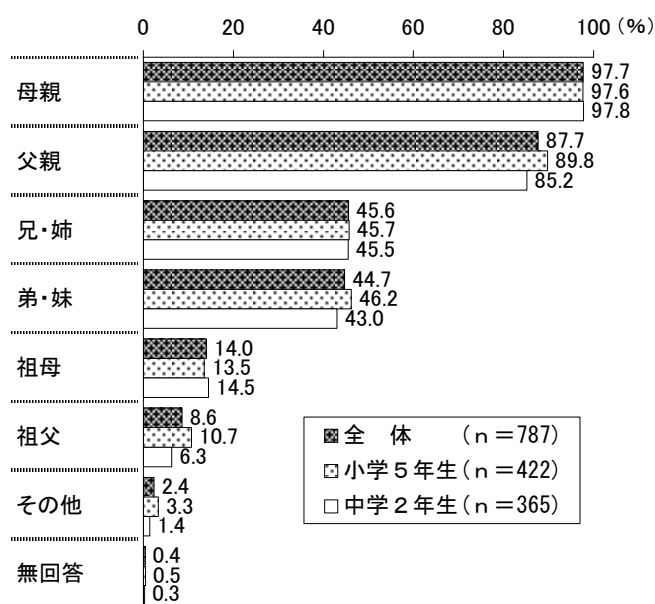
(3) 同居家族

問4 一緒に住んでいる人についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

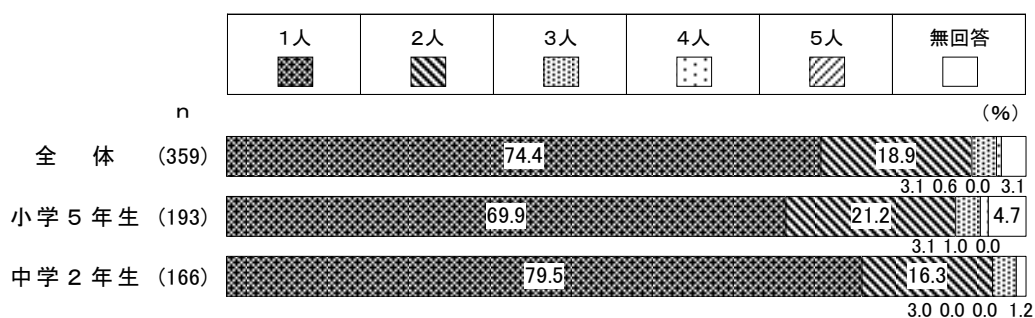
同居家族は、全体では「母親」が97.7%で最も高く、次いで「父親」が87.7%、「兄・姉」が45.6%、「弟・妹」が44.7%となっている。

きょうだい数（兄・姉）は、全体では「1人」が74.4%で最も高く、次いで「2人」が18.9%となっている。

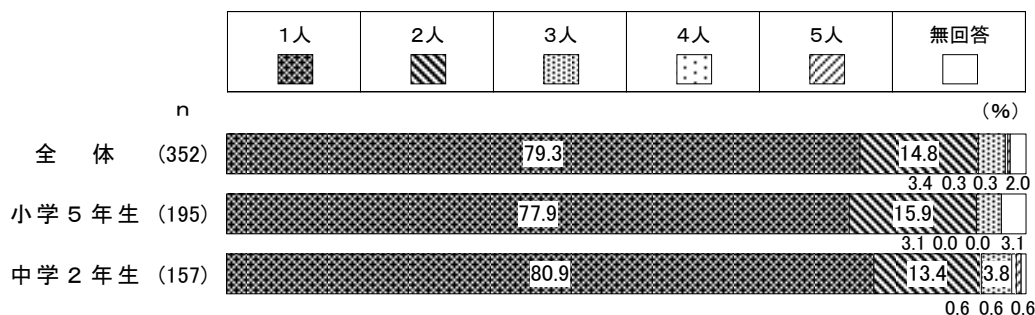
きょうだい数（弟・妹）は、全体では「1人」が79.3%で最も高く、次いで「2人」が14.8%となっている。



【きょうだい数（兄・姉）】



【きょうだい数（弟・妹）】

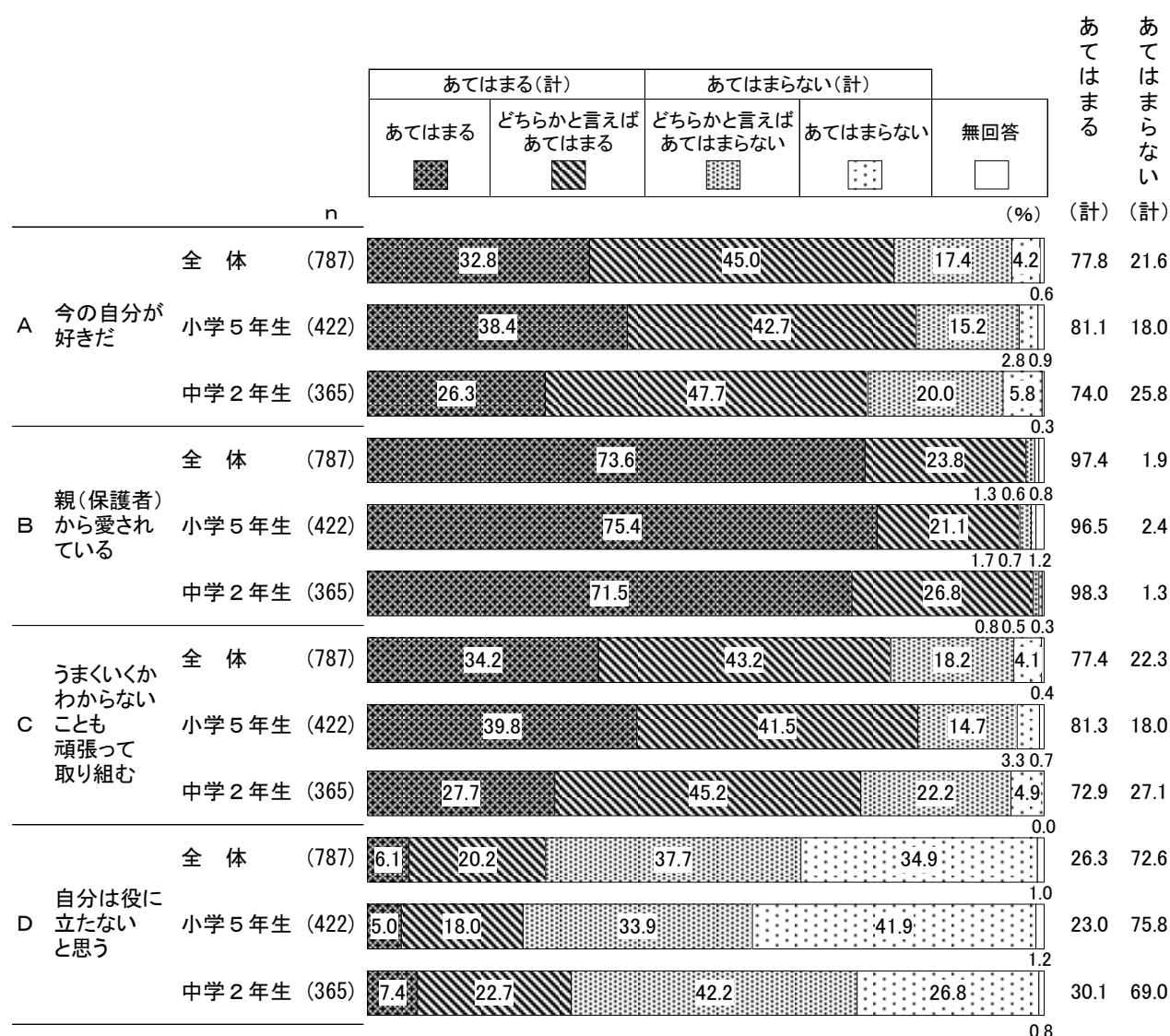


(4) 自分自身について

問5 あなたについて、あてはまるものを選んでください。(A～Dそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

自分自身について、「あてはまる」と「どちらかと言えばあてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“親(保護者)から愛されている”で97.4%と最も高く、次いで“今の自分が好きだ”で77.8%となっている。

一方、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない(計)』は、全体では“自分は役に立たないと思う”で72.6%と最も高く、次いで“うまくいくかわからないことも頑張って取り組む”で22.3%となっている。



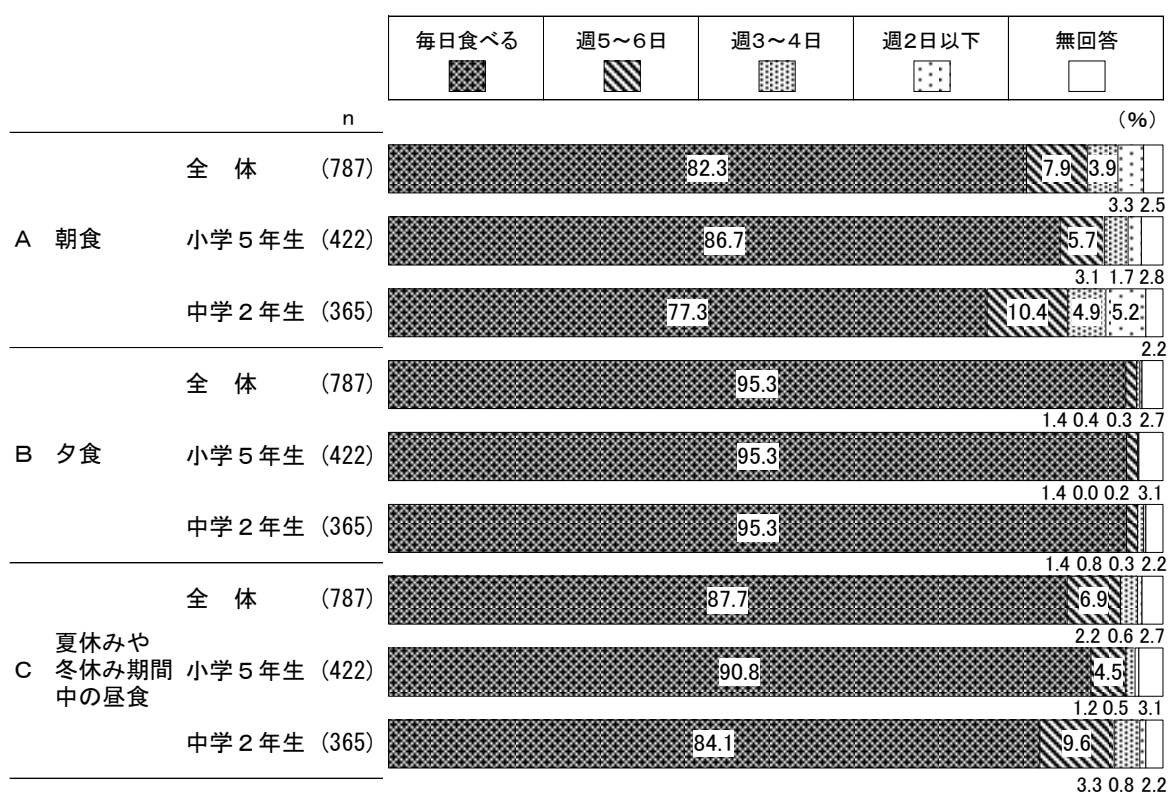
(5) 食事の頻度

問6 あなたは週にどれくらい食事をしていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

朝食の頻度は、全体では「毎日食べる」が82.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が7.9%となっている。

夕食の頻度は、全体では「毎日食べる」が95.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が1.4%となっている。

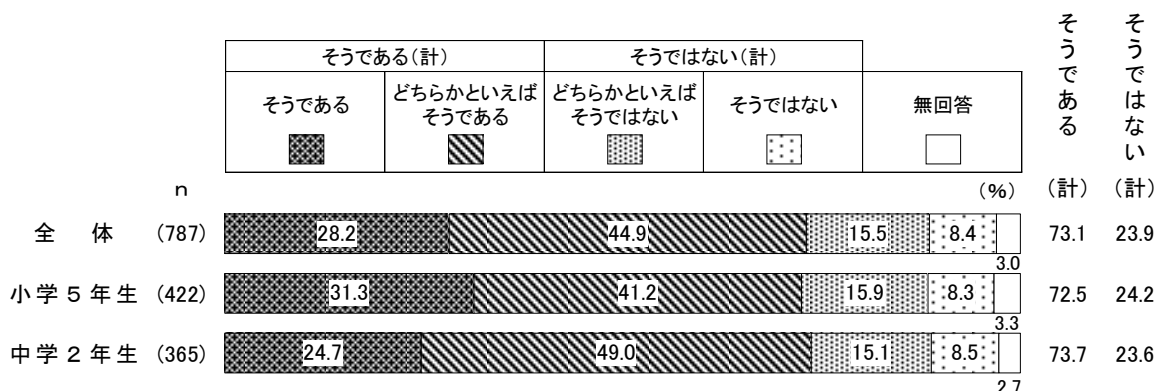
夏休みや冬休み期間中の昼食の頻度は、全体では「毎日食べる」が87.7%で最も高く、次いで「週5～6日」が6.9%となっている。



(6) ふだんの就寝時間

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかは、全体では「そうである」(28.2%)と「どちらかといえばそうである」(44.9%)を合わせた『そうである(計)』は73.1%となっている。一方、「どちらかといえばそうではない」(15.5%)と「そうではない」(8.4%)を合わせた『そうではない(計)』は23.9%となっている。

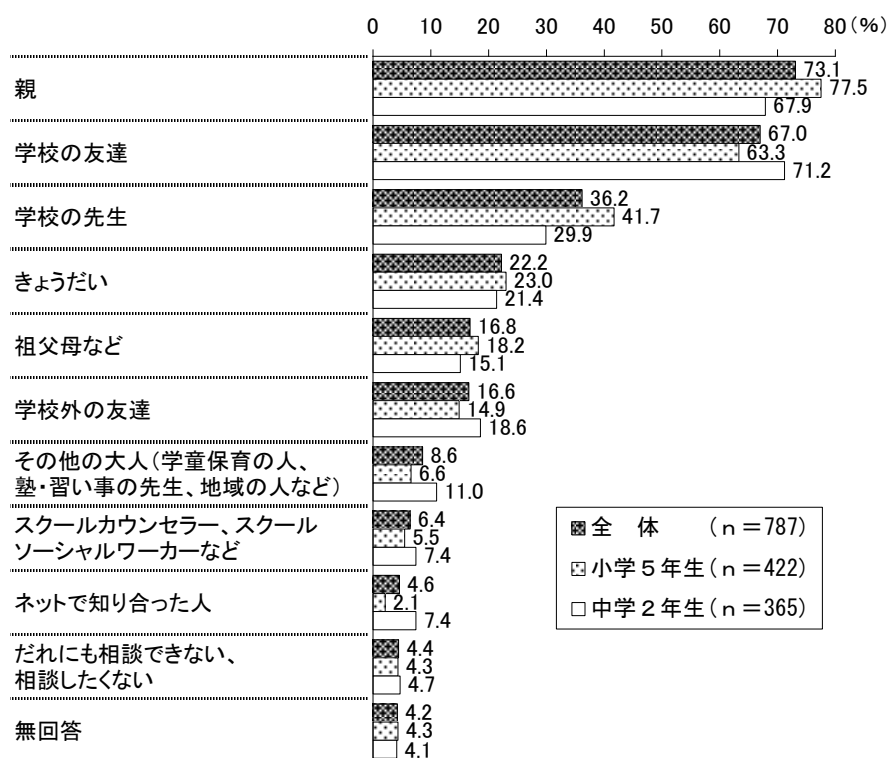


(7) 困っていることや悩みごとがあるときの相談相手

問8 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手は、全体では「親」が73.1%で最も高く、次いで「学校の友達」が67.0%、「学校の先生」が36.2%、「きょうだい」が22.2%となっている。

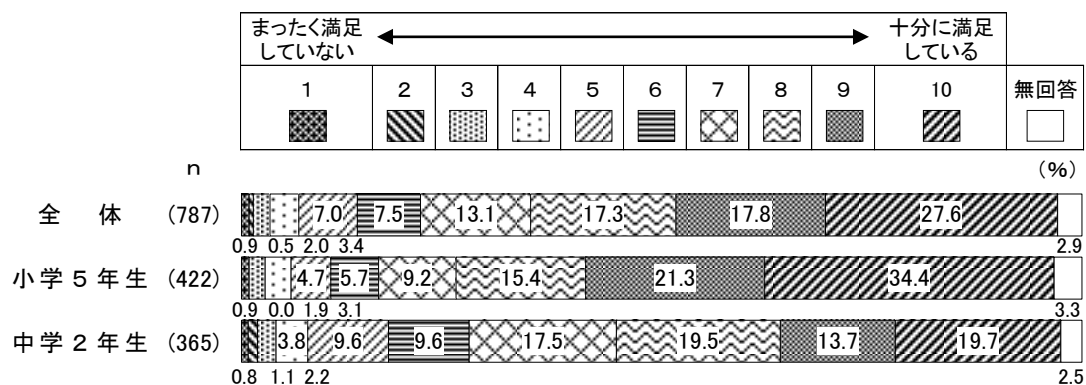
小学5年生では「親」が77.5%で最も高く、中学2年生では「学校の友達」が71.2%で最も高くなっている。



(8) 生活の満足度

問9 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。1つに○をつけてください。

生活の満足度を10段階でみると、全体では「10」が27.6%で最も高く、次いで「9」が17.8%、「8」が17.3%、「7」が13.1%となっている。

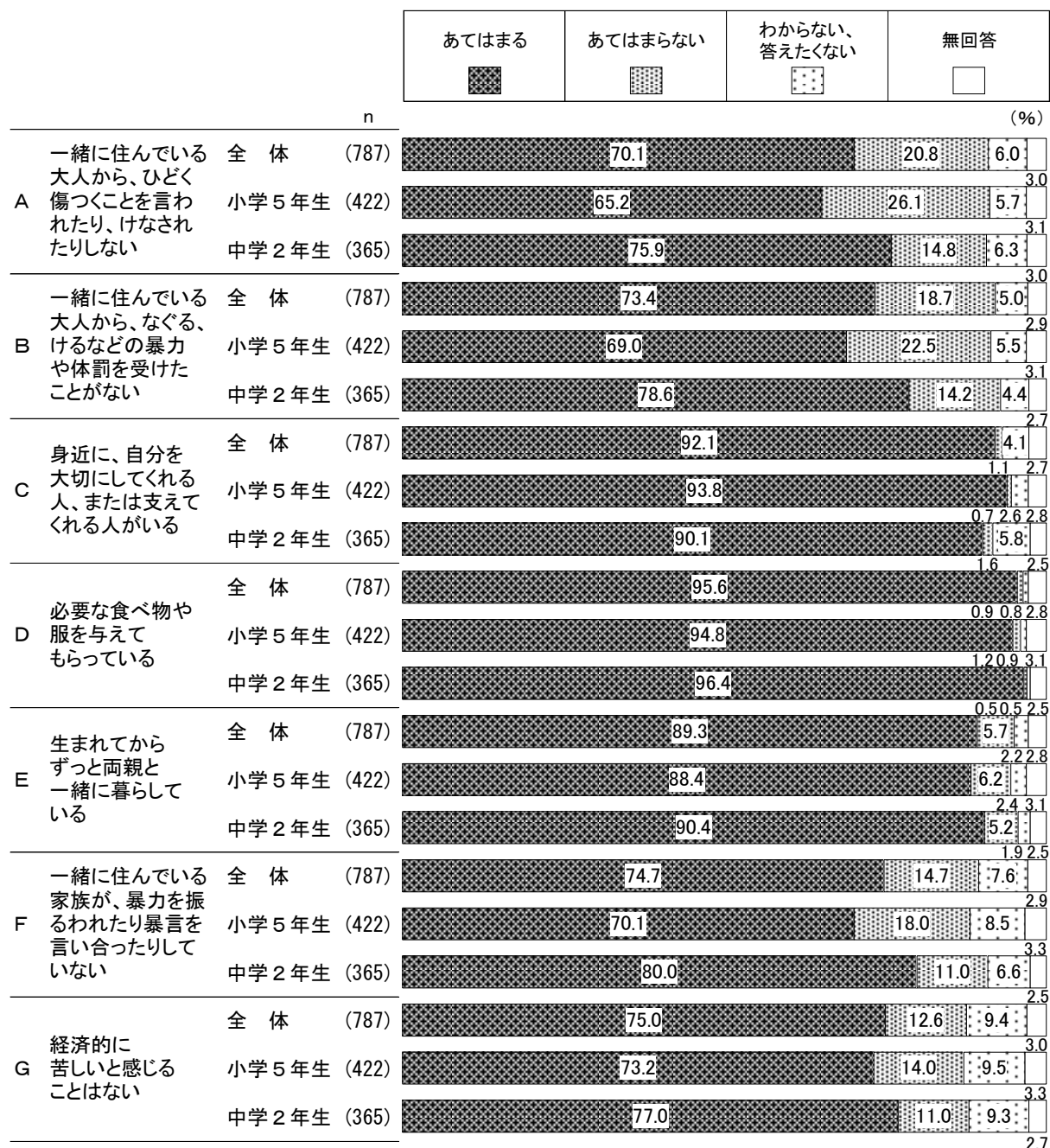


(9) 家庭生活について

問10 以下のそれぞれの質問について、「あてはまる」「あてはまらない」「わからない、答えたくない」のどれかから回答してください。A～Gそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

家庭生活について、「あてはまる」は、全体では“必要な食べ物や服を与えてもらっている”で95.6%と最も高く、次いで“身近に、自分を大切にしてくれる人、または支えてくれる人がいる”で92.1%、 “生まれてからずっと両親と一緒に暮らしている”で89.3%となっている。

一方、「あてはまらない」は、全体では“一緒に住んでいる大人から、ひどく傷つくことを言われたり、けなされたりしない”で20.8%と最も高く、次いで“一緒に住んでいる大人から、なぐる、けるなどの暴力や体罰を受けたことがない”で18.7%、“一緒に住んでいる家族が、暴力を振るわれたり暴言を言い合ったりしていない”で14.7%となっている。

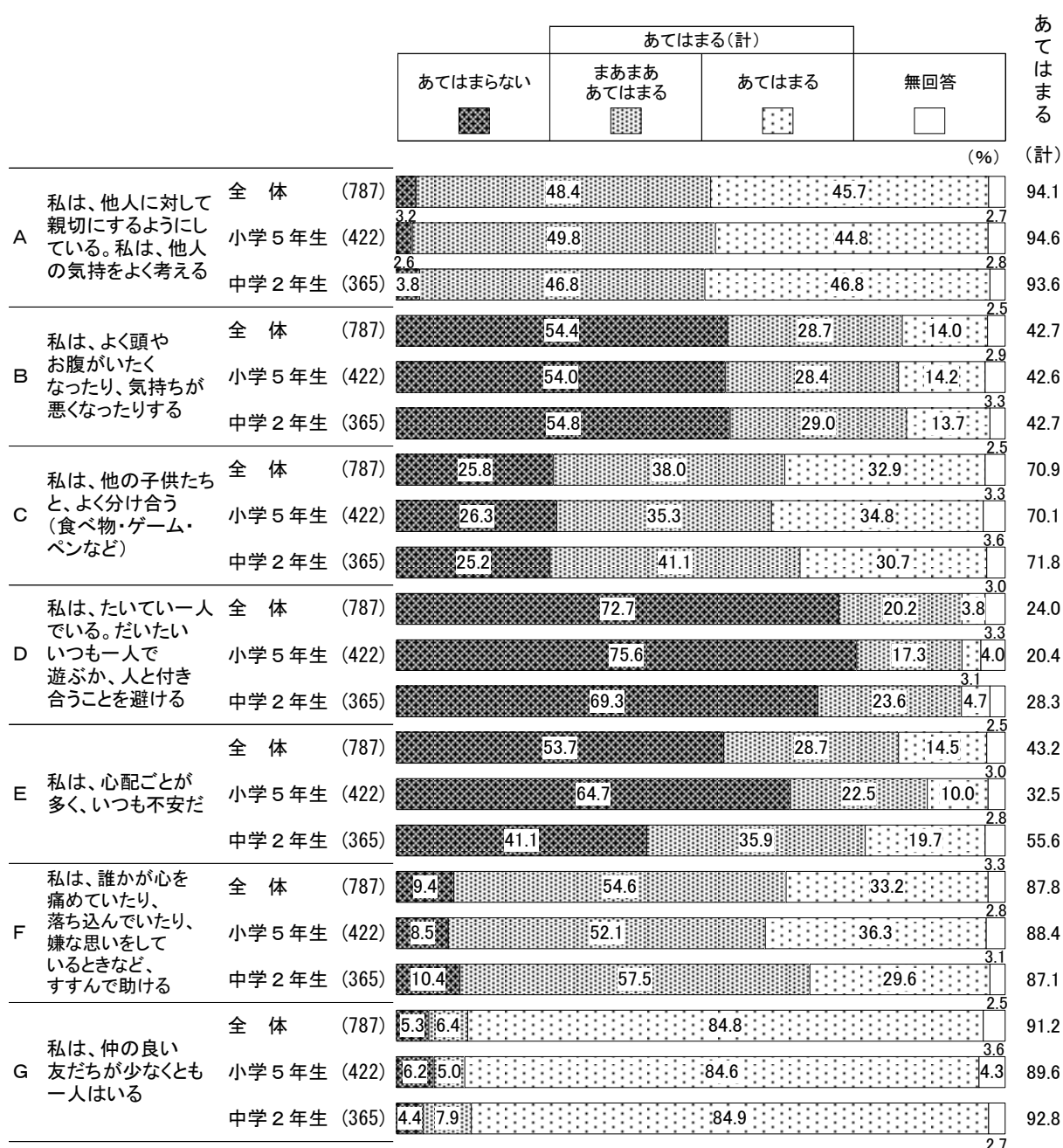


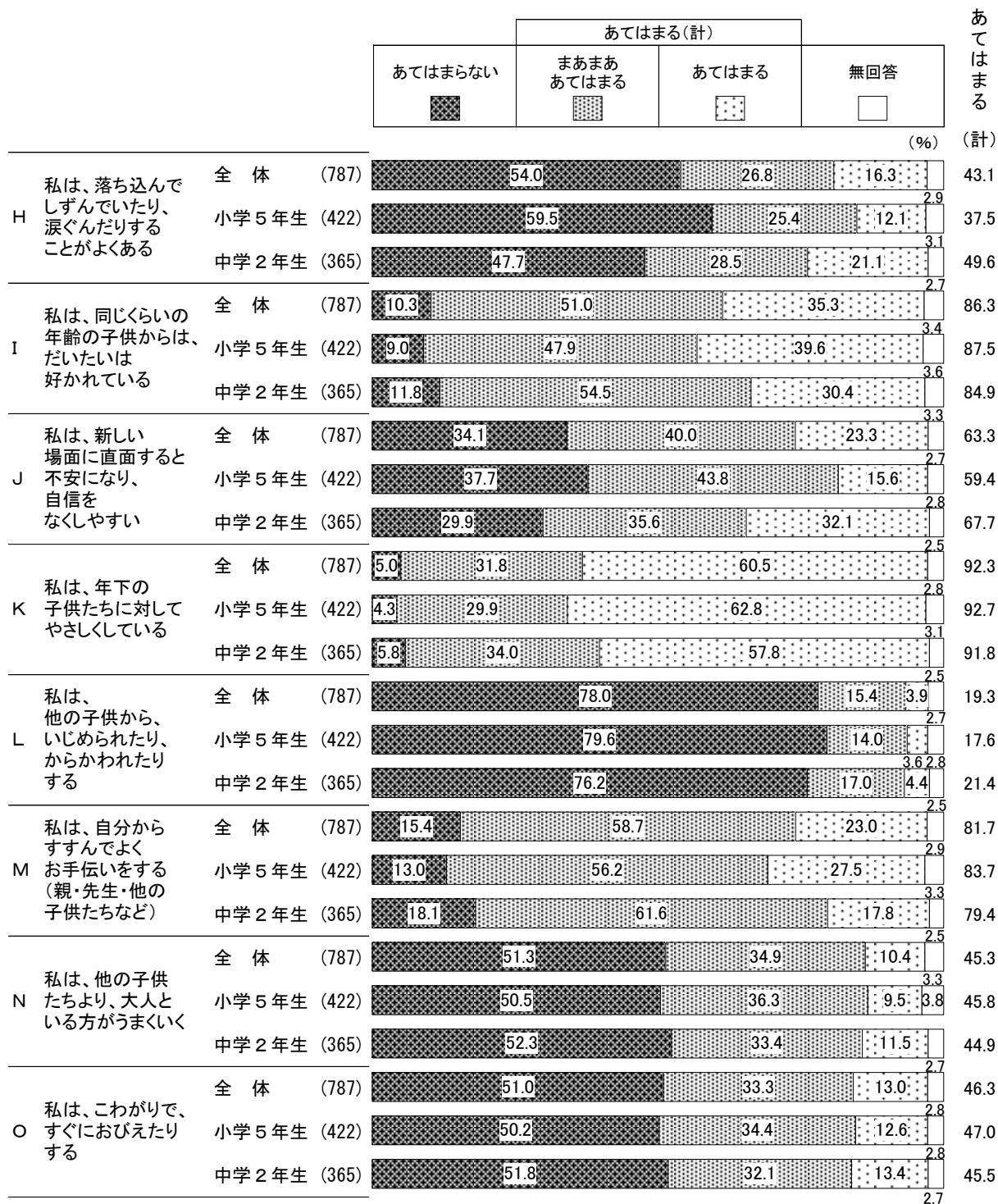
(10) 日常生活について

問11 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まあまああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。A～Oそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

日常生活について、「あてはまらない」は、全体では“私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする”で78.0%と最も高く、次いで“私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける”で72.7%となっている。

一方、「まあまああてはまる」と「あてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える”で94.1%と最も高く、次いで“私は、年下の子供たちに対してやさしくしている”で92.3%となっている。



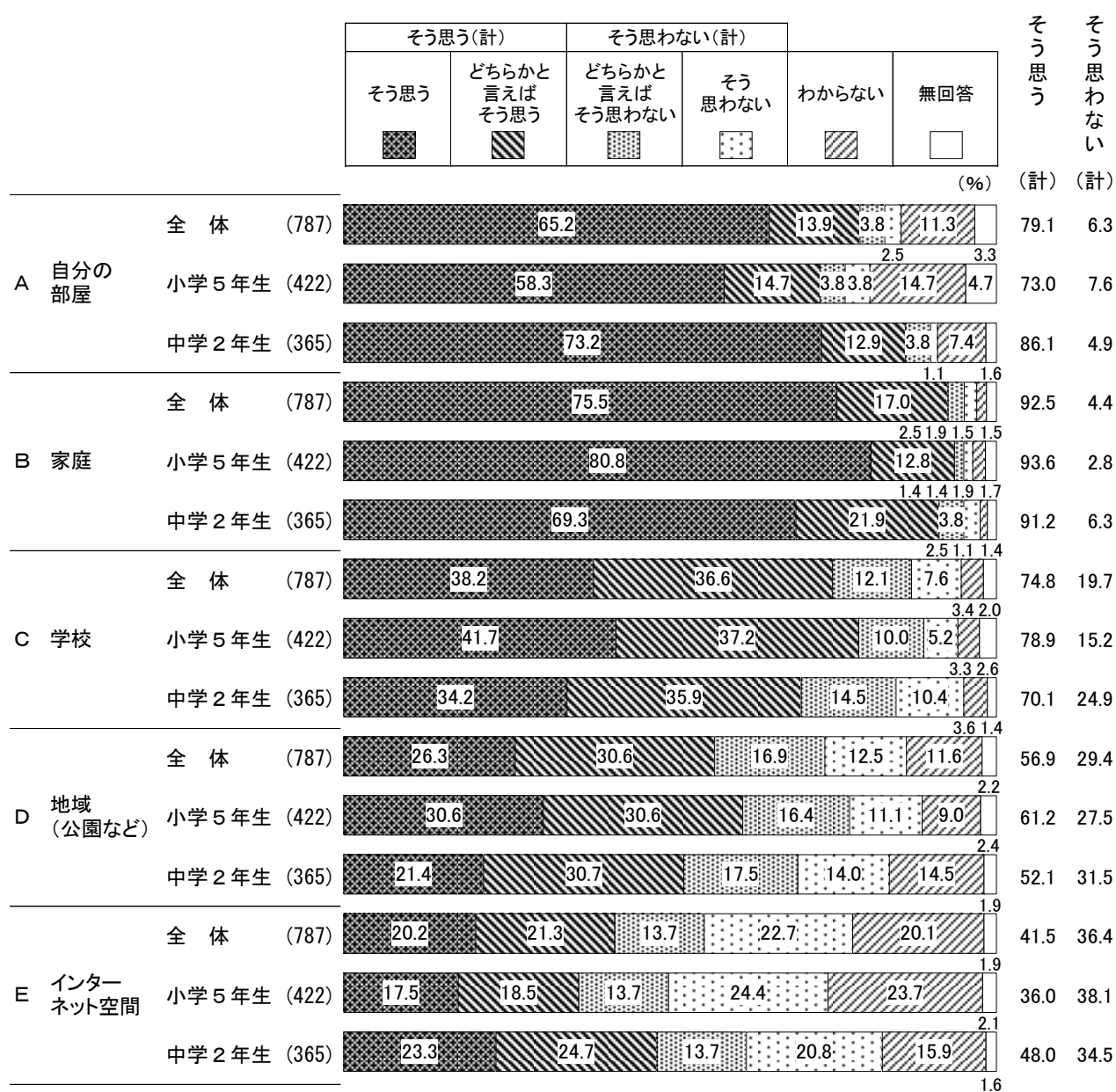


(11) 安心できる居場所

問12 次の場所は、あなたの居場所（安心できる場所）になっていますか。（A～Eそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

安心できる居場所について、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、全体では“家庭”で92.5%と最も高く、次いで“自分の部屋”で79.1%となっている。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、全体では“インターネット空間”で36.4%と最も高く、次いで“地域（公園など）”で29.4%となっている。

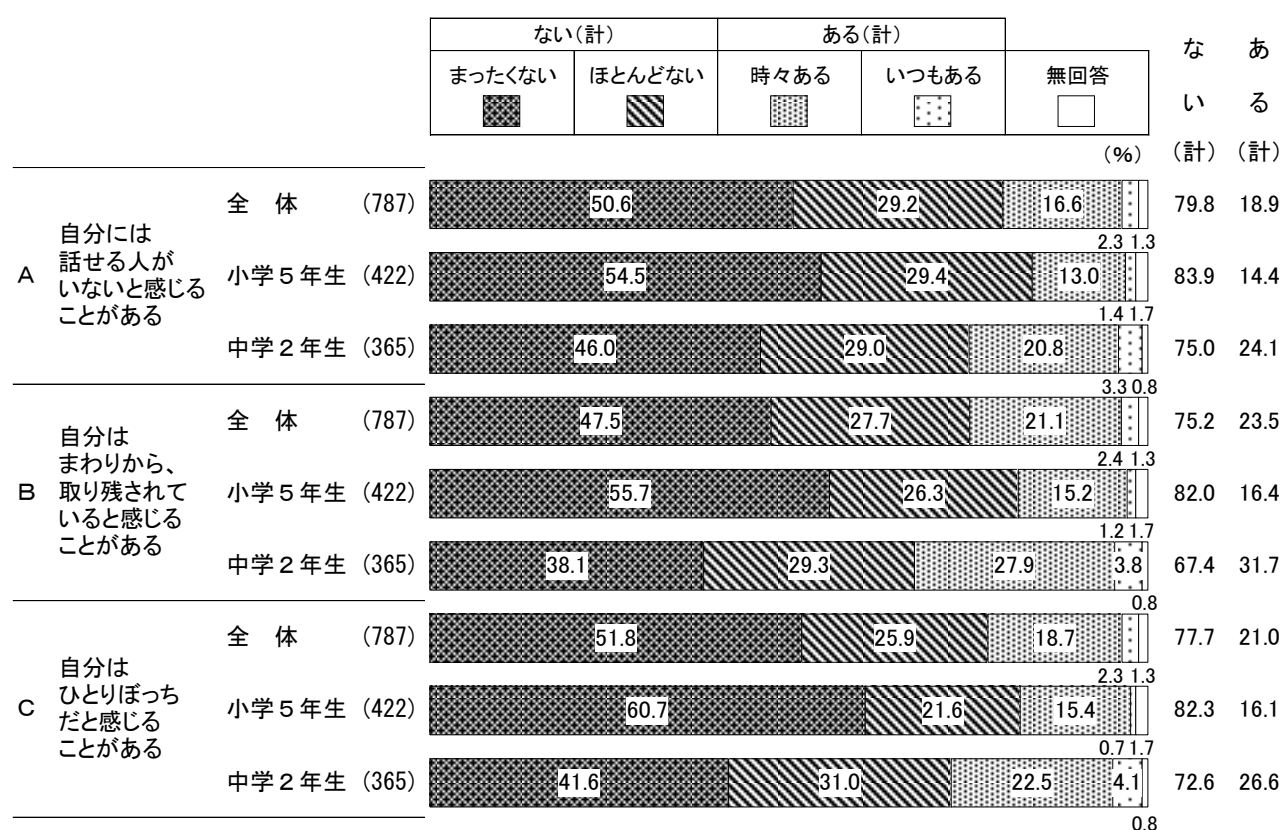


(12) 孤独感について

問13 あなたが次の内容について、どれくらい感じていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

孤独感について、「まったくない」と「ほとんどない」を合わせた『ない(計)』は、全体では“自分には話せる人がいないとを感じることもある”で79.8%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることもある”で77.7%となっている。

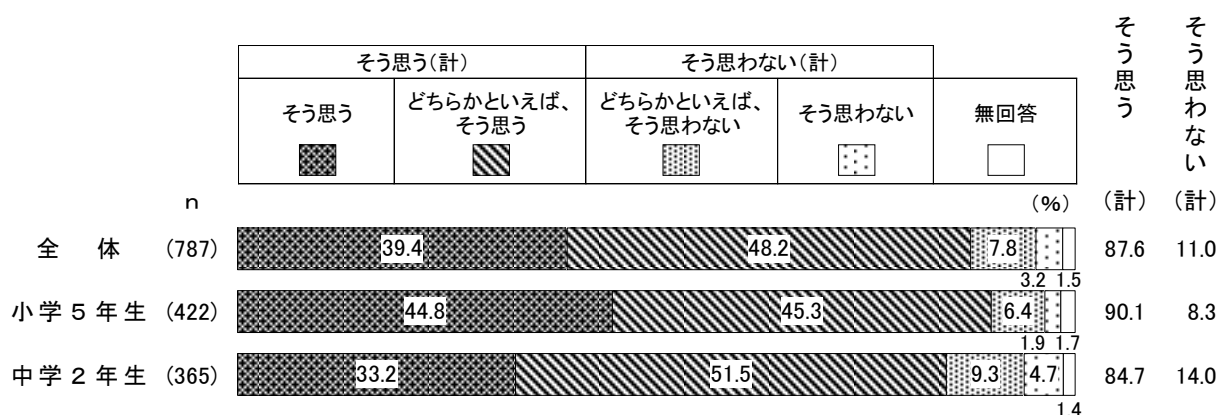
一方、「時々ある」と「いつもある」を合わせた『ある(計)』は、全体では“自分はまわりから、取り残されているとを感じることもある”で23.5%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることもある”で21.0%となっている。



(13) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか

問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

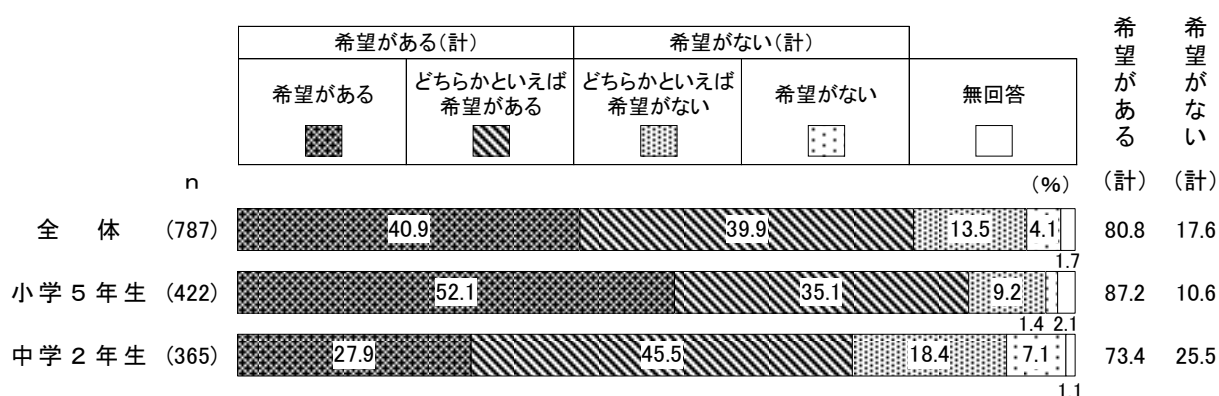
「社会のために役立つことをしたい」と思うかは、全体では「そう思う」(39.4%)と「どちらかといえば、そう思う」(48.2%)を合わせた『そう思う(計)』は87.6%となっている。一方、「どちらかといえば、そう思わない」(7.8%)と「そう思わない」(3.2%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.0%となっている。



(14) 将来について明るい希望の有無

問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(40.9%)と「どちらかといえば希望がある」(39.9%)を合わせた『希望がある(計)』は80.8%となっている。一方、「どちらかといえば希望がない」(13.5%)と「希望がない」(4.1%)を合わせた『希望がない(計)』は17.6%となっている。

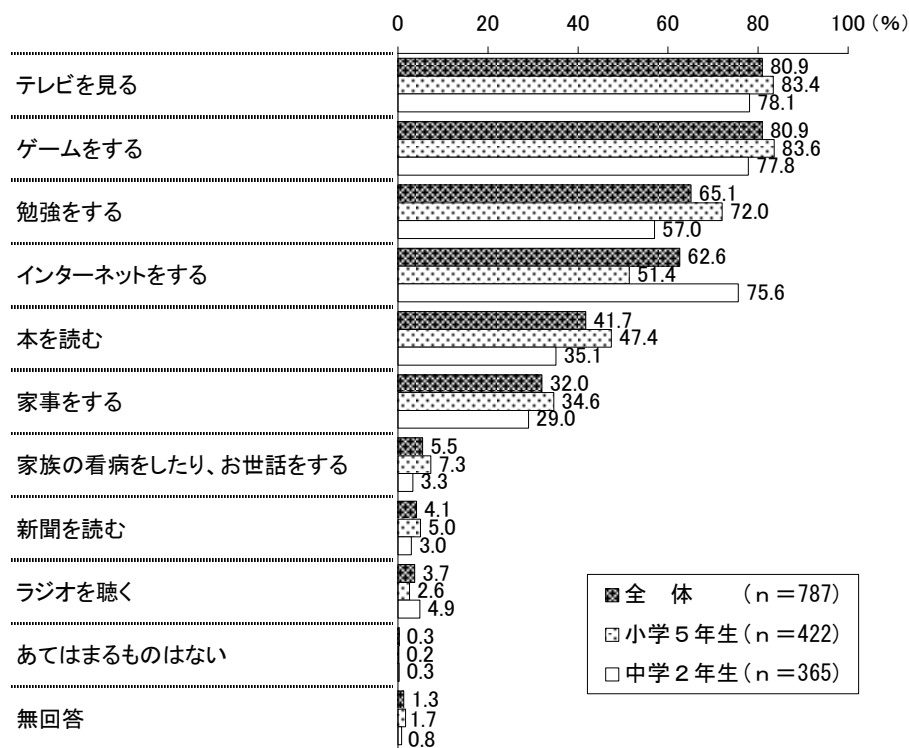


(15) 家での時間の使い方

問16 家にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

家での時間の使い方は、全体では「テレビを見る」と「ゲームをする」がともに80.9%で高く、次いで「勉強をする」が65.1%、「インターネットをする」が62.6%となっている。

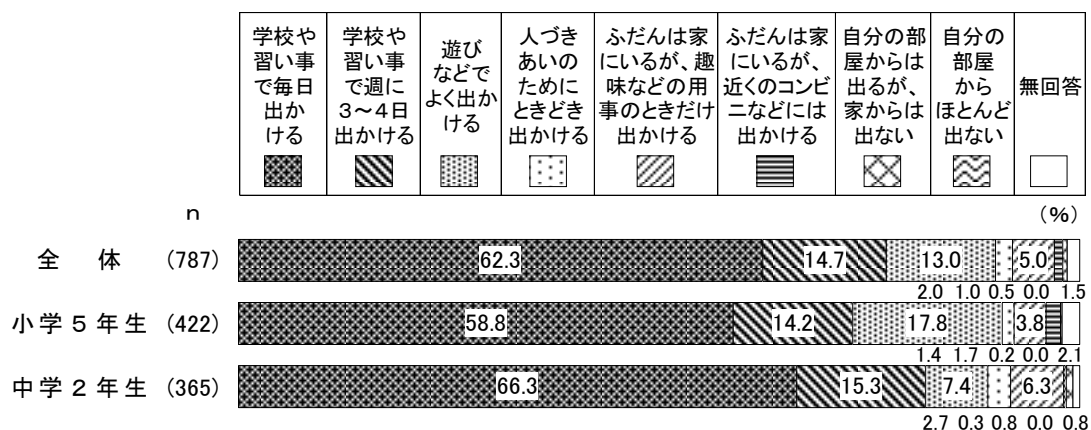
小学5年生では「ゲームをする」が83.6%で最も高く、中学2年生では「テレビを見る」が78.1%で最も高くなっている。



(16) 外出の頻度

問17 あなたは、ふだんどのくらい外に出ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

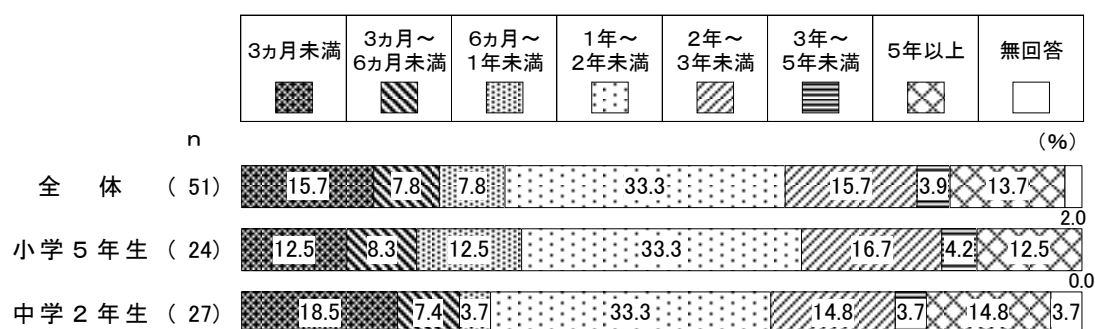
外出の頻度は、全体では「学校や習い事で毎日出かける」が62.3%で最も高く、次いで「学校や習い事で週に3～4日出かける」が14.7%、「遊びなどでよく出かける」が13.0%となっている。



(17) 現在の外出状況になってからの期間

問18 【問17で「ふだんは家にいるが、趣味などの用事の時だけ出かける」「ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください】

あなたの外出状況が今のようにってから、どれくらいたちますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



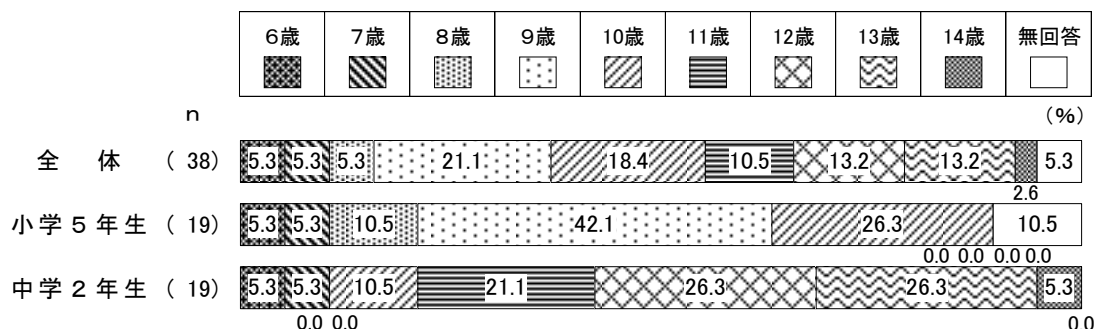
(18) 現在の外出状況になった年齢

問19 【問18で「6ヵ月以上」を選んだ方のみ、お答えください】

あなたの外出状況が今ようになったのは、いくつの頃ですか。

現在の外出状況になった年齢は、全体では「9歳」が21.1%で最も高く、次いで「10歳」が18.4%、「12歳」と「13歳」がともに13.2%となっている。

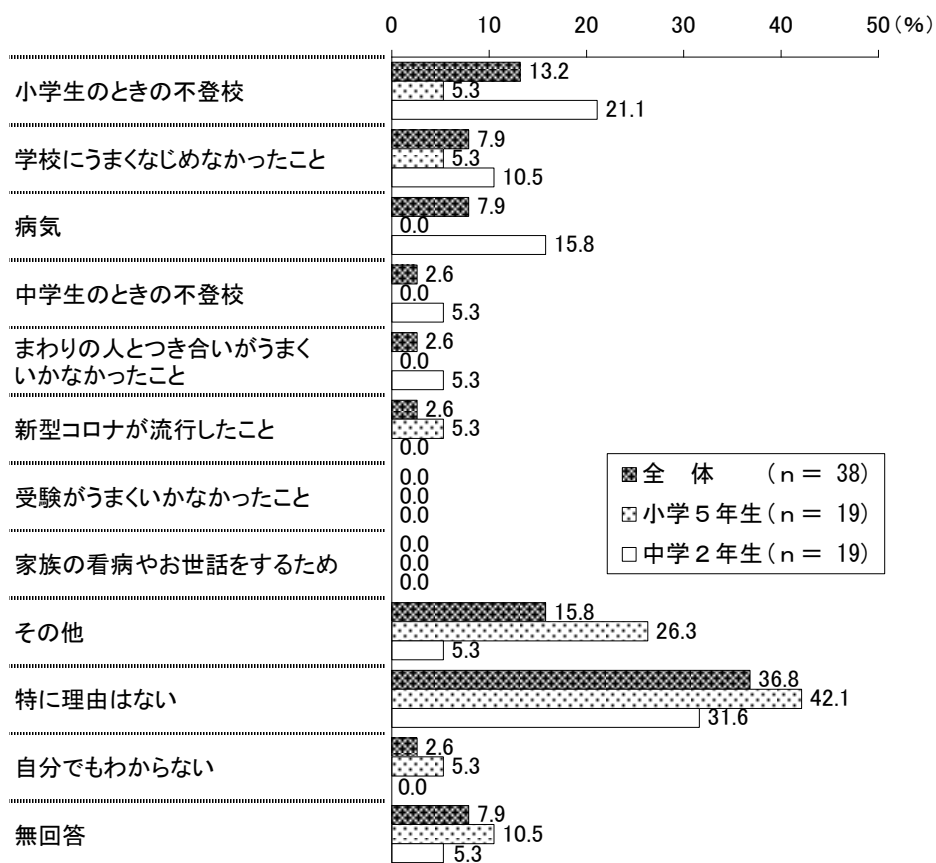
小学5年生では「9歳」が42.1%で最も高く、中学2年生では「12歳」と「13歳」がともに26.3%で高くなっている。



(19) 現在の外出状況になった理由

問20 あなたの外出状況が今のようになった主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

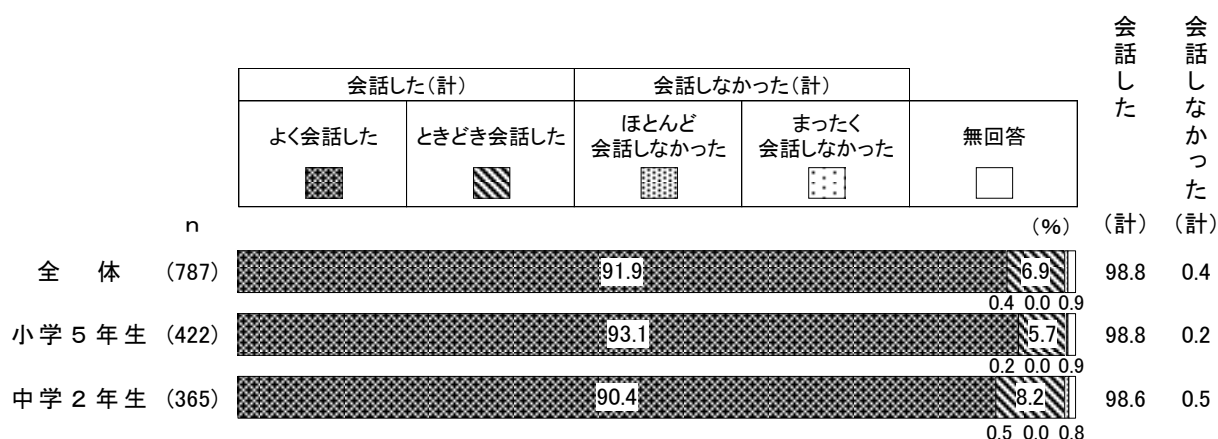
現在の外出状況になった理由は、全体では「特に理由はない」が36.8%で最も高く、次いで「小学生のときの不登校」が13.2%、「学校にうまくなじめなかったこと」と「病気」がともに7.9%となっている。



(20) 最近 6 ヶ月間の家族以外の人との会話

問21 最近 6 ヶ月間に、家族以外の人と会話しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

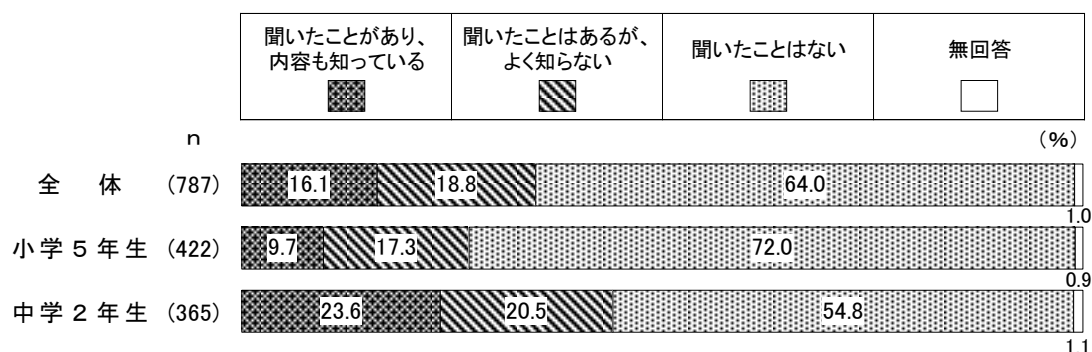
最近 6 ヶ月間の家族以外の人との会話は、全体では「よく会話した」(91.9%)と「ときどき会話した」(6.9%)を合わせた『会話した(計)』は98.8%となっている。一方、「ほとんど会話しなかった」(0.4%)と「まったく会話しなかった」(0.0%)を合わせた『会話しなかった(計)』は0.4%となっている。



(21) ヤングケアラーの認知度

問22 ヤングケアラーという言葉をご存知ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

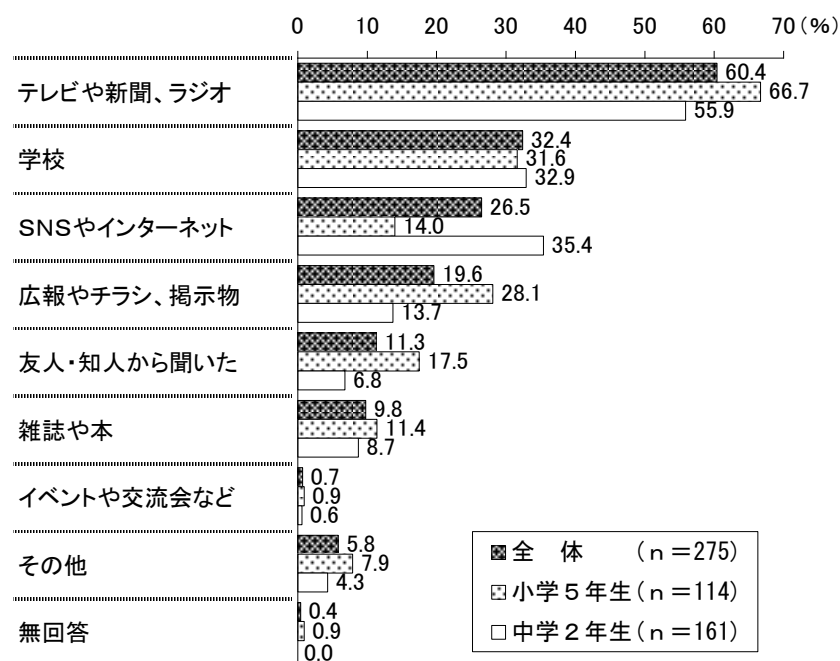
ヤングケアラーの認知度は、全体では「聞いたことがあり、内容も知っている」が16.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は18.8%となっている。一方、「聞いたことはない」は64.0%となっている。



(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問22-1 問22で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きます。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、全体では「テレビや新聞、ラジオ」が60.4%で最も高く、次いで「学校」が32.4%、「SNSやインターネット」が26.5%、「広報やチラシ、掲示物」が19.6%となっている。

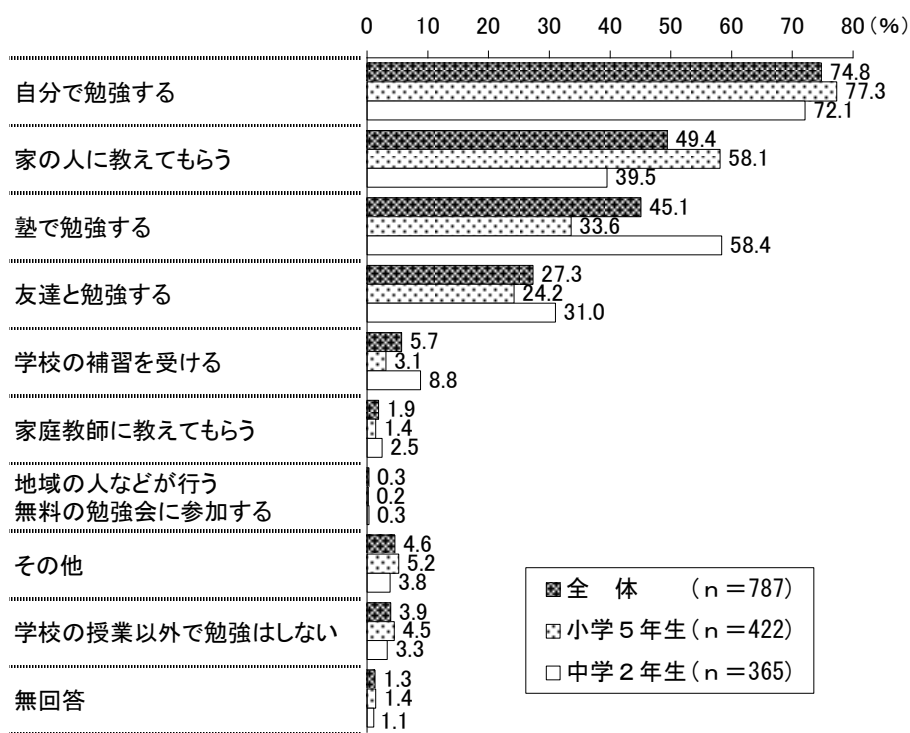


3. 学校での生活状況

(1) 学校の授業以外での学習状況

問23 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

学校の授業以外での学習状況は、全体では「自分で勉強する」が74.8%で最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が49.4%、「塾で勉強する」が45.1%、「友達と勉強する」が27.3%となっている。

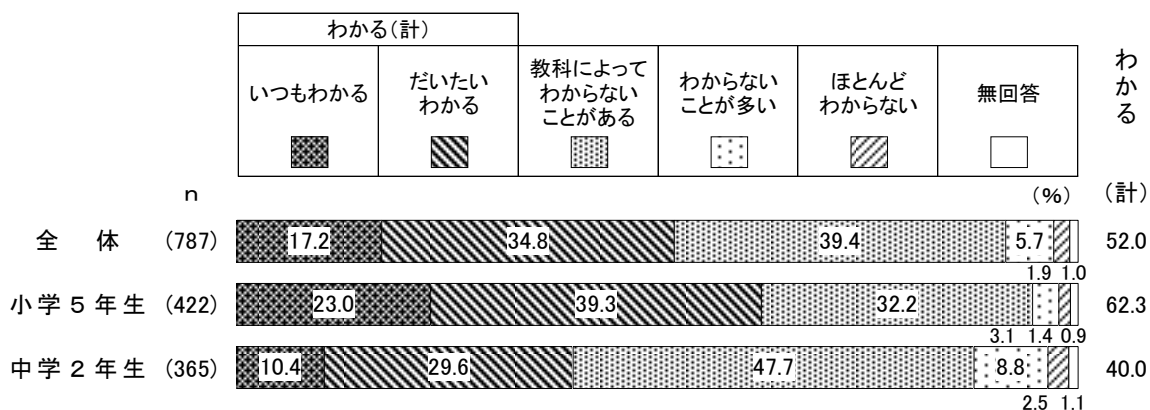


(2) 学校の授業でのわからないことの有無

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。1つに○をつけてください。

学校の授業でのわからないことの有無は、全体では「いつもわかる」(17.2%)と「だいたいわかる」(34.8%)を合わせた『わかる(計)』は52.0%となっている。一方、「教科によってわからないことがある」が39.4%、「わからないことが多い」は5.7%、「ほとんどわからない」は1.9%となっている。

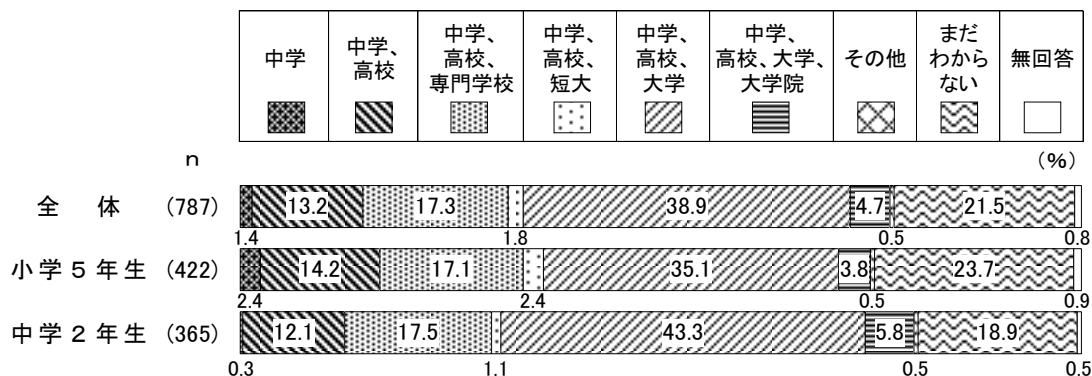
小学5年生では「だいたいわかる」が39.3%で最も高く、中学2年生では「教科によってわからないことがある」が47.7%で最も高くなっている。



(3) 希望する進学先

問25 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。1つに○をつけてください。

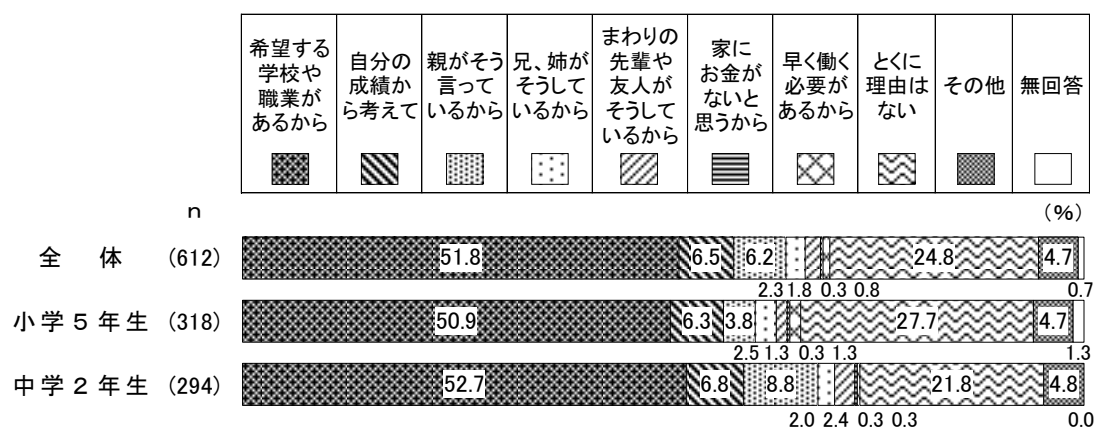
希望する進学先は、全体では「中学、高校、大学」が38.9%で最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が17.3%、「中学、高校」が13.2%となっている。一方、「まだわからない」は21.5%となっている。



(4) 進学先の希望理由

問26 問25で「まだわからない」以外を選んだ場合、その理由は何ですか。1つに○をつけてください。

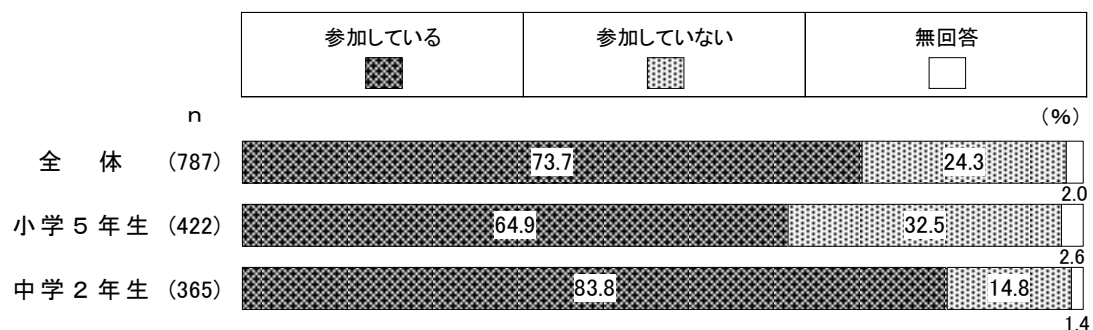
進学先の希望理由は、全体では「希望する学校や職業があるから」が51.8%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が6.5%、「親がそう言っているから」が6.2%となっている。一方、「とくに理由はない」は24.8%となっている。



(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況

問27 あなたは学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブなどに参加していますか。1つに○をつけてください。

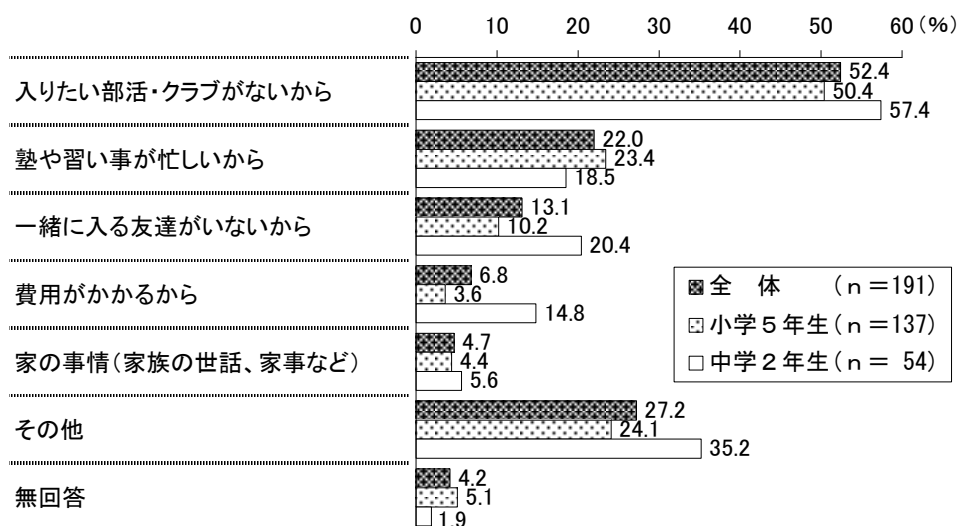
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況は、全体では「参加している」が73.7%、「参加していない」は24.3%となっている。



(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由

問28 問27で「参加していない」を選んだ人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

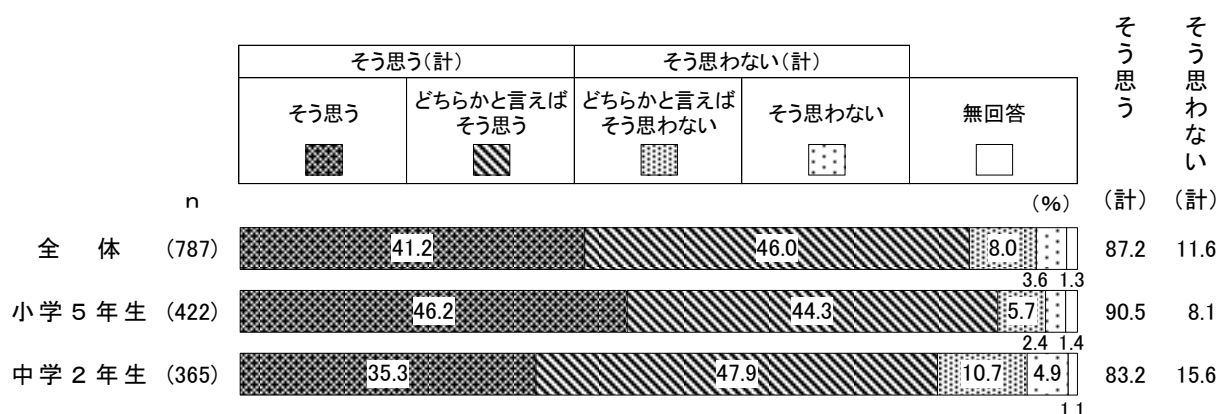
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由は、全体では「入りたい部活・クラブがないから」が52.4%で最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が22.0%、「一緒にいる友達がいないから」が13.1%、「費用がかかるから」が6.8%となっている。



(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか

問29 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。1つに○をつけてください。

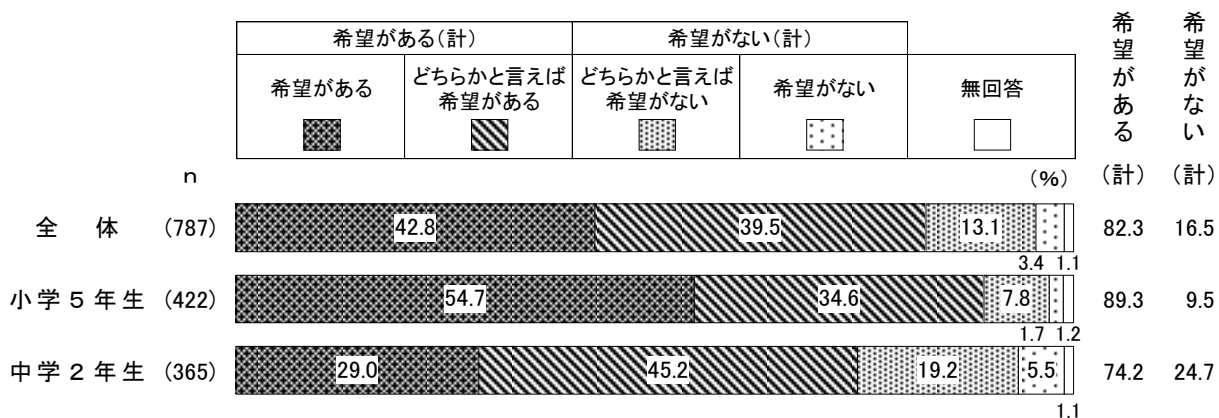
社会のために役立つことをしたいと思うかは、全体では「そう思う」(41.2%)と「どちらかと言えばそう思う」(46.0%)を合わせた『そう思う(計)』は87.2%となっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(3.6%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.6%となっている。



(8) 将来について明るい希望の有無

問30 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。1つに○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(42.8%)と「どちらかと言えば希望がある」(39.5%)を合わせた『希望がある(計)』は82.3%となっている。一方、「どちらかと言えば希望がない」(13.1%)と「希望がない」(3.4%)を合わせた『希望がない(計)』は16.5%となっている。



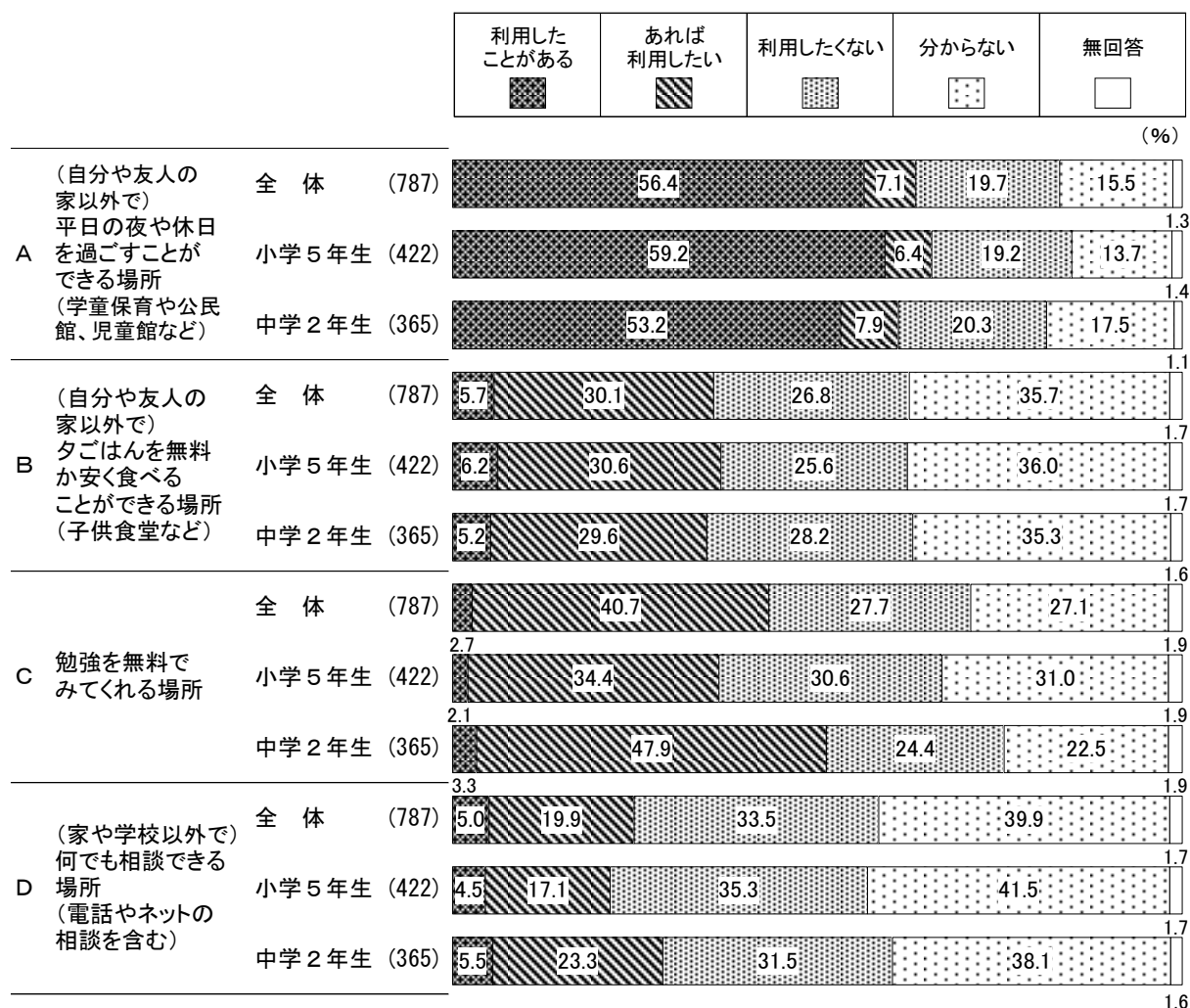
(9) 施設等の利用状況

問31 あなたは、次のA～Dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。A～Dそれぞれについて、1つに○をつけてください。

施設等の利用状況について、「利用したことがある」は、全体では“(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育や公民館、児童館など)”で56.4%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で5.7%となっている。

また、「あれば利用したい」は、全体では“勉強を無料でみてくれる場所”で40.7%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で30.1%となっている。

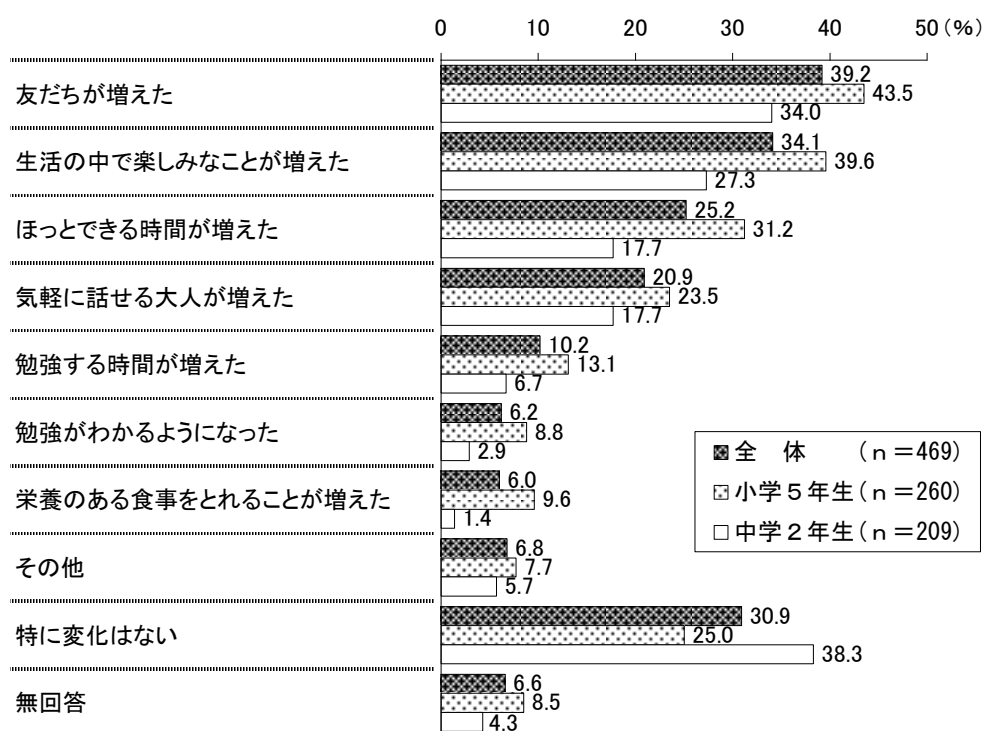
一方、「利用したくない」は、全体では“(家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)”で33.5%と最も高く、次いで“勉強を無料でみてくれる場所”で27.7%となっている。



(10) 施設等を利用したことによる変化

問32 問31で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設等を利用したことによる変化は、全体では「友だちが増えた」が39.2%で最も高く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が34.1%、「ほっとできる時間が増えた」が25.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が20.9%となっている。一方、「特に変化はない」は30.9%となっている。



V 調査票

1. 未就学児調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鷹尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

20 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 20 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問8 問7 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家計のやりくり | 2. 家族・知人による援助の不足 |
| 3. 育児・介護による時間の不足 | 4. その他（ ） |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ ） | | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問11-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問11-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒問12へ |

問11-1 問11 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問11-2 問11 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみ
てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して
子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相
談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問12-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問13 へ |
|--------------------|-------------------|

問12-1 問12 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含
む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつ
けてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 祖父母等の親族3. 近所の人5. 保健所・保健センター7. 幼稚園教諭9. かかりつけの医師11. その他（【例】ベビーシッター | <ol style="list-style-type: none">2. 友人や知人4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、
児童館等）・NPO6. 保育士8. 民生委員・児童委員10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
|--|--|

問13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③生活の基本動作 例)「食事」「衣類の着脱」「トイレ」等	1	2	3
④食事面 例)「アレルギーがある」「偏食がある」等	1	2	3
⑤性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
⑥心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑦行動面 例)「落ち着きがない」「集団行動がとれない」等	1	2	3
⑧友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑨保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑩就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑪親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑫その他()	1	2	3

※子どもの育ちについての悩みごとや心配なことがありましたら、子育て支援センター（☎046-225-2922）や療育相談センター「まめの木」（☎046-225-2252）にご相談ください。

問13-1 子育て（教育を含む）をする上で、支援の窓口として子育て支援センター等がありますが、その他に周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | } | ⇒（１）-1 へ |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; display: inline-block;">⇒（２）へ</div> | | |

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり 日 １日当たり 時間

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | } | ⇒（２）-1 へ |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; display: inline-block;">⇒ 問15へ</div> | | |

- (2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

- (2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問15 問14の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事等に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事等に専念したい

問 16 問 14 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、間17-1 に示した事業が含まれます。

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問17-1 へ	2. 利用していない ⇒問17-5 へ
--------------------	---------------------

2. 利用していない ⇒問17-5へ

問17-1 問17-1～問17-4 は、問17 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()

問17-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な**数字でご記入**ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問17-5 問17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問17-6 問17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。こども誰でも通園制度が始まったら、保育所等を利用したいですか。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. 利用する

2. 利用しない

※ 「こども誰でも通園制度」・・・定員に空きがある保育所等において、地域の保育所等に通園していない未就学児に対して、継続して週1～2日程度の定期的な預かりを実施する制度

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターもみじの手」、「ほっと れもんてい」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

→1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

→1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、 育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支 援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つ に○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に 1～2 回は利用したい | | |

問22-1 問22 の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

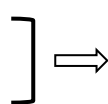
- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため |) |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. リフレッシュ | |
| 5. その他（ | |

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

問 23-1 問 23 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4. リフレッシュ

5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問17 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらない方は、問25 にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問24-1 へ

2. なかった ⇒ 問25 へ

問24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□ □ 日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ()	□ □ 日

⇒ 問24-2 へ

⇒ 問24-5 へ

問24-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、日数についても□内に **数字でご記入** ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問24-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問24-4 へ

問24-3 問24-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問24-4 問24-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。 そう思われる理由について当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 利用料がかかる・高い
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用方法がわからない
5. 親が仕事を休んで対応できる
6. その他（ ）

問24-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても **数字でご記入** ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問25 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問24-6 へ

問24-6 問24-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに
○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

⇒問26へ

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地）がよいくない |
| 5. 利用可能時間が短い | 6. 利用可能日数が少ない |
| 7. 利用料がかかる・高い | 8. 利用料がわからない |
| 9. 自分が事業の対象者になるのか
どうかかわからない | 10. 事業の利用方法（手続き等）がわから
ない |
| 11. その他（ | ） |

問26 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業等） 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（	）
---	---

問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらう必要が年間何泊くらいあると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望の有無について当てはまる番号、記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

		日 数
1. 利用したい		合 計 泊
	ア. 冠婚葬祭	泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	泊
	ウ. 保護者や家族の病気	泊
	エ. その他（ ）	泊
2. 利用する必要はない		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※「放課後児童クラブ」…保護者の就労などにより、放課後家庭において適切な保育を受けることができない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ	週 日くらい →下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 日くらい →下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1.働いていなかった 2.取得した（取得中である） 3.取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） []	1.働いていなかった 2.取得した（取得中である） 3.取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） []

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31 へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した |
|---|

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所・認定こども園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所・認定こども園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

復帰時の子どもの年齢	
実際	希望
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

復帰時の子どもの年齢	
実際	希望
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

（2）父親

	歳			ヶ月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

問30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（1）「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|---|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|---|---|

②父親

- | | |
|---|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ | ） |
|---|---|

（2）「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

②父親

- | | |
|--|---|
| 1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（ | ） |
|--|---|

問30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

ヤングケアラーについてうかがいます。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

問31 ヤングケアラーという言葉のをこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問31-1 問31で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ | ） |

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い
1	2	3	4
			5

問32-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 幼稚園、認定こども園、保育所 | 2. 小規模保育、家庭的保育 |
| 3. 病児・病後児保育 | 4. 幼稚園送迎ステーション |
| 5. 子ども医療費助成 | 6. 紙おむつ等の支給 |
| 7. 子育て支援センター「もみじの手」 | 8. ほっと れもんてい |
| 9. 託児室わたくも（一時預かり） | 10. ファミリー・サポート・センター |
| 11. ほっとタイムサポーター | 12. 移動子育てサロン |
| 13. 児童館おひさまタイム | 14. 療育相談センター「まめの木」 |
| 15. 赤ちゃんの駅「ベビリア」 | 16. 子育てパスポートAYUCO |
| 17. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」 | 18. その他（ |
| | ） |

問32-2 問32-1の子育て支援事業以外で、今後厚木市で実施してほしい、子育て支援事業があればご記入ください。

--

問33 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. とても良くなったと思う | 2. どちらかといえば、良くなったと思う |
| 3. あまり変わらない | 4. どちらかといえば、悪くなったと思う |
| 5. 最近転入してきてよくわからない | 6. わからない |

問34 本厚木駅近くにある託児室「わたぐも」で朝夕子どもを預かり、利用する幼稚園や保育所等までバスで送迎する「送迎ステーション事業」が利用できる場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。なお、費用は、月4,000円程度とします。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

2. 就学児童調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 20 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家計のやりくり
2. 家族・知人による援助の不足
3. 育児・介護による時間の不足
4. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

ください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問10へ
- ⇒問9-1 へ
⇒問9-2 へ

てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

らっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問10-1 へ

2. いない／ない ⇒ 問11 へ

問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 小学校教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（ | ） |

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、**A～Cのそれぞれ**について、「はい」「いいえ」の**いずれかに**○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

問12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③生活の基本動作 例)「食事」「衣類の着脱」「トイレ」等	1	2	3
④食事面 例)「アレルギーがある」「偏食がある」等	1	2	3
⑤性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
⑥心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑦行動面 例)「落ち着きがない」「集団行動がとれない」等	1	2	3
⑧友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑨保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑩就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑪親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑫その他()	1	2	3

問12-1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | <div style="font-size: 4em; line-height: 1;">}</div> <div style="font-size: 2em; line-height: 1;">⇒（１）-1 へ</div> |
| <div style="font-size: 4em; line-height: 1;">}</div> <div style="font-size: 2em; line-height: 1;">⇒（２）へ</div> | |

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

１週当たり 日 １日当たり 時間

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | <div style="font-size: 4em; line-height: 1;">}</div> <div style="font-size: 2em; line-height: 1;">⇒（２）-1 へ</div> |
| <div style="font-size: 4em; line-height: 1;">}</div> <div style="font-size: 2em; line-height: 1;">⇒ 問14へ</div> | |

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問14 問13の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13 の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)

→1週当たり日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

1. あった ⇒ 問16-1 へ 2. なかった ⇒ 問17 へ

問16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他 ()	日

⇒ 問16-2 へ

⇒ 問16-5 へ

問16-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当
てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に
一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前
にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問16-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問16-4 へ

問16-3 問16-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問16-4 問16-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。 そうと思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 利用料がかかる・高い
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用法がわからない
5. 親が仕事を休んで対応できる
6. その他（ ）

問16-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問17 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問16-6 へ

問16-6 問16-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないのので休めない 4. その他（ ）

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

※参考 厚木市における放課後児童対策事業の概要

事業名称	事業内容	利用料（月額）	時間
放課後児童クラブ （市運営）	保護者の就労などにより、放課後家庭において適切な保育を受けることができない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供するもの。	4,000 円（18 時まで） 4,800 円（19 時まで） その他クラブ費 3,500 円 （おやつ代、教材費等）	平日：放課後～19 時 土曜日、夏休み等の長期 休業日等：7 時 30 分～ 19 時
民間児童クラブ （民間運営）		10,000 円～ 50,000 円程度 ※施設により相違	放課後～20 時 ※施設により相違
児 童 館	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置している。	無料	13 時～17 時

問 17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。当てはまる番号にすべてに〇をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

また、2・3を選んだ方は、利用している時間帯を口内に（例）18 時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 日くらい
2. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
3. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
4. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
5. 自宅	週 日くらい
6. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
7. 児童館	週 日くらい
8. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

問 18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。（1～4については有料となります。）

また、2・3を選んだ方は、利用したい時間帯を口内に（例）18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 日くらい
2. 放課後児童クラブ（市運営）	週 日くらい 下校から 時まで
3. 民間児童クラブ（民間運営）	週 日くらい 下校から 時まで
4. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
5. 自宅	週 日くらい
6. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
7. 児童館	週 日くらい
8. その他（図書館・公園など）	週 日くらい

子ども会についてうかがいます。

子ども会は、地域を基盤とした異年齢の集団による、“遊び”を中心とした様々な“豊かな体験”活動を通して、子どもたちの健やかな成長発達を促すとともに、「子どもの夢」と「生きる力」を育む活動集団です。

活動の幅は広く、地域の自然、歴史、文化や様々な地域の人々とのふれあいの中で社会性を身につけ、特に異年齢の仲間集団の中で楽しさや喜びをわかちあうことなどにより豊かな人格を築くとともに、各種の体験活動を企画するなど、自主性を育むことができます。

問 19 宛名のお子さんについて、子ども会への参加状況について当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. 子ども会に加入している | 2. 過去に加入していた | 3. 加入していない |
|----------------|--------------|------------|

問 19-1 問 19で「2. 過去に加入していた 3. 加入していない」に○をつけた方に伺います。当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------|
| 1. 地域に子ども会がない | 2. 子ども会を知らなかった。 | 3. 役員を引き受けられない |
| 4. 魅力的な事業がない | 5. 参加する時間がない | |
| 6. その他（ | | ） |

ヤングケアラーについてうかがいます。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

問20 ヤングケアラーという言葉のをこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

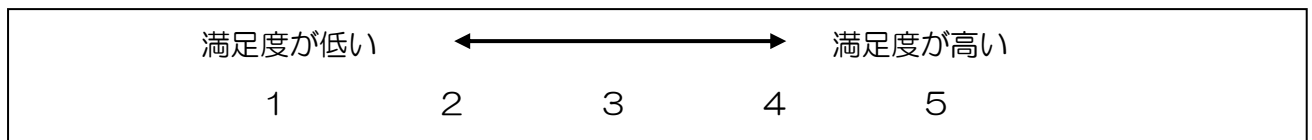
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問20-1 問20で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ | ） |

すべての方に、厚木市の子育て環境についてうかがいます。

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



問21-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 放課後児童クラブ | 2. 児童館 |
| 3. 子ども科学館 | 4. 幼稚園、認定こども園、保育所 |
| 5. 小規模保育、家庭的保育 | 6. 病児・病後児保育 |
| 7. 幼稚園送迎ステーション | 8. 子ども医療費助成 |
| 9. 紙おむつ等の支給 | 10. 子育て支援センター「もみじの手」 |
| 11. ほっと れもんてい | 12. 託児室わたぐも（一時預かり） |
| 13. ファミリー・サポート・センター | 14. ほっとタイムサポーター |
| 15. 移動子育てサロン | 16. 児童館おひさまタイム |
| 17. 療育相談センター「まめの木」 | 18. 赤ちゃんの駅「ベビリア」 |
| 19. 子育てパスポートAYUCO | 20. 子育てガイド「おおきくなぁ〜れ」 |
| 21. その他（ | ） |

問21-2 問21-1の子育て支援事業以外で、今後厚木市で実施してほしい、子育て支援事業があればご記入ください。

問22 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. とても良くなったと思う | 2. どちらかといえば、良くなったと思う |
| 3. あまり変わらない | 4. どちらかといえば、悪くなったと思う |
| 5. 最近転入してきてよくわからない | 6. わからない |

問23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

3. 小学5年児童・中学2年生徒調査

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 厚木地区（松枝、元町、東町、寿町、水引、厚木町、中町、栄町、田村町、幸町、泉町、旭町、吾妻町、南町）
2. 依知地区（上依知、猿ヶ島、山際、関口、中依知、下依知、金田、下川入）
3. 睦合地区（棚沢、三田、三田南、及川、林、妻田東西南北、王子）
4. 荻野地区（上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾）
5. 小鮎地区（飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里）
6. 南毛利地区（戸室、恩名、愛名、温水、温水西、長谷、船子、愛甲、毛利台、愛甲東西）
7. 玉川地区（七沢、小野、岡津古久）
8. 森の里地区（森の里青山、森の里）
9. 相川地区（岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼）
10. 緑ヶ丘地区（緑ヶ丘）

家庭での生活状況についてうかがいます。

問2 あなたの学年を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小学5年生
2. 中学2年生

問3 性別についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男
2. 女
3. 答えたくない

問4 一緒に住んでいる人についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親
2. 父親
3. 兄・姉 → () 人
4. 弟・妹 → () 人
5. 祖母
6. 祖父
7. その他 ()

問5 あなたについて、あてはまるものを選んでください。（A～Dそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない
A 今の自分が好きだ	1	2	3	4
B 親（保護者）から愛されている	1	2	3	4
C うまくいくかわからないことも頑張って取り組む	1	2	3	4
D 自分は役に立たないと思う	1	2	3	4

問6 あなたは週にどれくらい食事をしていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

	毎日食べる	週5～6日	週3～4日	週2日以下
A 朝食	1	2	3	4
B 夕食	1	2	3	4
C 夏休みや冬休み期間中の昼食	1	2	3	4

問7 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そうである | 2. どちらかといえばそうである |
| 3. どちらかといえばそうではない | 4. そうではない |

問8 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------|----------|----------|
| 1. 親 | 2. きょうだい | 3. 祖父母など | 4. 学校の先生 |
| 5. 学校の友達 | 6. 学校外の友達 | | |
| 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | | | |
| 8. その他の大人(学童保育の人、塾・習い事の先生、地域の人 など) | | | |
| 9. ネットで知り合った人 | 10. だれにも相談できない、相談したくない | | |

問9 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。1つに○をつけてください。

1 まったく満足していない ←————→ 10 十分に満足している									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問10 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまる」「2 あてはまらない」「3 わからない、答えたくない」のどれかから回答してください。A～G それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	あてはまる	あてはまらない	わからない、答えたくない
A 一緒に住んでいる大人から、ひどく傷つくことを言われたり、けなされたりしない。	1	2	3
B 一緒に住んでいる大人から、なぐる、けるなどの暴力や体罰を受けたことがない。	1	2	3
C 身近に、自分を大切にしてくれる人、または支えてくれる人がいる。	1	2	3
D 必要な食べ物や服を与えてもらっている。	1	2	3
E 生まれてからずっと両親と一緒に暮らしている。	1	2	3
F 一緒に住んでいる家族が、暴力を振るわれたり暴言を言い合ったりしていない。	1	2	3
G 経済的に苦しいと感じることはない。	1	2	3

※ 家庭のことなど、なやんでいる場合は、子ども専用ダイヤル(電話：046-223-6693)に話してみてください。

問 1 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まあまああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。 A～O それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

	あてはまらない	まあまああてはまる	あてはまる
A 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
B 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
C 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
D 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
E 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
F 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
G 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
H 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
I 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれて いる。	1	2	3
J 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
K 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
L 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
M 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たち など）。	1	2	3
N 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
O 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問12 次の場所は、あなたの居場所（安心できる場所）になっていますか。（A～Eそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない
A 自分の部屋	1	2	3	4	5
B 家庭	1	2	3	4	5
C 学校	1	2	3	4	5
D 地域（公園など）	1	2	3	4	5
E インターネット空間	1	2	3	4	5

問13 あなたが次の内容について、どれくらい感じていますか。（A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

	まったくない	ほとんどない	時々ある	いつもある
A 自分には話せる人がいないと感じることがある	1	2	3	4
B 自分はまわりから、取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
C 自分はひとりぼっちだと感じることがある	1	2	3	4

問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |

問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかといえば希望がある |
| 3. どちらかといえば希望がない | 4. 希望がない |

問16 家にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------|---------------|----------|----------|
| 1. テレビを見る | 2. ラジオを聴く | 3. 本を読む | 4. 新聞を読む |
| 5. ゲームをする | 6. 勉強をする | 7. 家事をする | |
| 8. 家族の看病をしたり、お世話をする | 9. インターネットをする | | |
| 10. あてはまるものはない | | | |

問17 あなたは、ふだんどのくらい外に出ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 学校や習い事で毎日出かける
2. 学校や習い事で週に3～4日出かける
3. 遊びなどでよく出かける
4. 人づきあいのためにときどき出かける
5. ふだんは家にいるが、趣味などの用事のときだけ出かける
6. ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける
7. 自分の部屋からは出るが、家からは出ない
8. 自分の部屋からほとんど出ない

問 21 へお進みください

【問17で5～8を選んだ方のみ、お答えください】

問18 あなたの外出状況が今のようにってから、どれくらいたちますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 3ヵ月末満
2. 3ヵ月～6ヵ月末満
3. 6ヵ月～1年末満
4. 1年～2年末満
5. 2年～3年末満
6. 3年～5年末満
7. 5年以上

問 21 へお進みください

【問18で3～7を選んだ方のみ、お答えください】

問19 あなたの外出状況が今のようになったのは、いくつの頃ですか。

歲

歲

問20 あなたの外出状況が今のようになった主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 学校にうまくなじめなかったこと | 2. 小学生のときの不登校 |
| 3. 中学生のときの不登校 | 4. 受験がうまくいかなかったこと |
| 5. まわりの人とつき合いがうまくいかなかったこと | |
| 6. 病気（病名： ） | 7. 家族の看病やお世話をするため |
| 8. 新型コロナが流行したこと | |
| 9. その他（具体的に： ） | |
| 10. 特に理由はない | 11. 自分でもわからない |

問21 最近6ヵ月間に、家族以外の人と会話しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. よく会話をした | 2. ときどき会話をした |
| 3. ほとんど会話をしなかった | 4. まったく会話をしなかった |

問22 ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

問22-1 問22で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------------------------|----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 2. 雑誌や本 | 3. SNSやインターネット |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 5. イベントや交流会など | 6. 学校 |
| 7. 友人・知人から聞いた | 8. その他（ ） | |

学校での生活状況についてうかがいます。

問23 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。 ※勉強には学校の宿題もふくみます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------|--------------|
| 1. 自分で勉強する | 2. 塾で勉強する | 3. 学校の補習を受ける |
| 4. 家庭教師に教えてもらう | 5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する | |
| 6. 家の人に教えてもらう | 7. 友達と勉強する | |
| 8. その他（ ） | | |
| 9. 学校の授業以外で勉強はしない | | |

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる | 3. 教科によってわからないことがある |
| 4. わからないことが多い | 5. ほとんどわからない | |

問25 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|----------|--------------------------------|
| 1. 中学 | 2. 中学、高校 | 3. 中学、高校、専門学校 |
| 4. 中学、高校、短大 | | 5. 中学、高校、大学 |
| 6. 中学、高校、大学、大学院 | | 7. その他（ ） |
| 8. まだわからない ⇒ 問27 へ | | |

問26 前の質問で1～7を選んだ場合、その理由は何ですか。1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 希望する学校や職業があるから | 2. 自分の成績から考えて |
| 3. 親がそう言っているから | 4. 兄、姉がそうしているから |
| 5. まわりの先輩や友人がそうしているから | 6. 家にお金がないと思うから |
| 7. 早く働く必要があるから | 8. とくに理由はない |
| 9. その他（ | ） |

問27 あなたは学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブなどに参加していますか。
1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 参加している ⇒ 問29へ | 2. 参加していない |
|------------------|------------|

問28 前の質問で参加していないを選んだ人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 入りたい部活・クラブがないから | 2. 塾や習い事が忙しいから |
| 3. 費用がかかるから | 4. 家の事情（家族の世話、家事など） |
| 5. 一緒に入る友達がいないから | |
| 6. その他（ | ） |

問29 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない |

問30 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかと言えば希望がある |
| 3. どちらかと言えば希望がない | 4. 希望がない |

※次ページに続きます。

問3 1 あなたは、次のA～Dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない 場合、今後利用したいと思いますか。A～Dそれぞれについて、1つに○をつけてください。

	利用した ことが ある	利用したことはない		
		あれば利 用したい	利用した くない	分から ない
A (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育や公民館、児童館など)	1	2	3	4
B (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か 安く食べることができる場所 (子供食堂 など)	1	2	3	4
C 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
D (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問3 2 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友だちが増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	
8. その他 ()	
9. 特に変化はない	

厚木市子ども・子育て支援事業ニーズ調査 報告書

令和 6 年 3 月

発 行 厚木市

企画・編集 厚木市 こども未来部 こども育成課
〒243-8511 厚木市中町三丁目 17 番 17 号
電話 046 (225) 2262

調 査 協 力 株式会社エスピー研